

小千谷市

若者の健康と住みよいまちづくりに関する意識調査結果
報告書

令和8年3月

小 千 谷 市

目次

I. 調査概要 P5

- 調査目的
- 調査手法
- 調査対象
- 調査期間
- 配布数
- 回収サンプル数（回収率）
- 有効回答数（有効回答率）
- 設問一覧

II. 調査結果 P9～

- 回答者属性 P9～18
- 単純集計結果（本設問） P19～201
- クロス集計結果（本設問） P202～265

I. 調査概要

I. 調査概要

(1) 調査目的

若者自らが結婚や出産・子育て等のライフデザインを思い描くことができるとともに、自身の健康の保持増進や結婚観及び将来設計を具体的に考える機会となるよう、将来への不安に応える学びの機会や結婚・子育てに対する前向きな意識の醸成に繋がる事業の構築に向けた認識度の調査を実施する。

(2) 調査手法

WEB アンケート

(回答フォームの二次元コードを掲載した依頼状を郵送)

(3) 調査対象

令和7年12月31日時点で小千谷市に住民票がある
生年月日が昭和61年4月2日～平成19年4月1日

(4) 調査期間

2026年2月2日(月)～3月2日(月) 計28日間

(5) 配布数

5,500件

(6) 回収サンプル数

1,096サンプル(回答率19.93%)

(7) 有効回答数

1,092サンプル(有効回答率19.85%)

(8) 設問一覧

次ページに掲載

Q1	あなたの回答 ID をご入力ください。
Q2	あなたの性別を教えてください。
Q3	あなたの年齢を教えてください。
Q4	あなたの婚姻状況を教えてください。
Q5	あなたの子どもの人数を教えてください。
Q6	あなたの雇用形態を教えてください。
Q7	あなたがお住まいの地域を教えてください。
Q8	「プレコンセプションケア」という言葉を聞いたことがありますか。 プレコンセプションケアとは：男女ともに若いうちから健康管理を行うことで、将来の妊娠を考える・考えないに関わらず、自分たちの健康を維持し、より豊かな人生を送るためのケアのことです。
Q9	生涯、心も身体も健康で過ごせるために今から取り組んでいることはありますか。あてはまるものをすべて教えてください。
Q10	自身の健康状態（体重、食事、睡眠等）が、男女ともに妊娠・出産に影響することを知っていますか。
Q11	今後、自分の子どもを持ちたいという希望はありますか。既に子どもがいる方も今後のこととして教えてください。
Q12	前問で「{Q11 の回答}」と回答した理由を可能なかぎり具体的に教えてください。
Q13	現在、ご自身の健康や身体に関して不安を感じていることはありますか。あてはまるものをすべて教えてください。
Q14	あなたの身長と体重を教えてください。 記入の際、小数点以下は切り捨て、2桁もしくは3桁の数字を半角でご入力ください。
Q15	あなたは、現在タバコを吸っていますか。
Q16	あなたは、1日あたりどのくらいの量を飲酒しますか。 ※1合あたりの各酒類の量は下記を目安に換算してください。 日本酒1合（アルコール度数15度・180ml） ビール（アルコール度数5度・500ml） 焼酎（アルコール度数25度・110ml） ワイン（アルコール度数14度・180ml） 缶チューハイ（アルコール度数7度・350ml）
Q17	自分の月経周期（生理の時期や周期）を把握していますか。
Q18	前問で「常に把握している」「だいたい把握している」と回答した方にお聞きします。 どのように管理していますか。あてはまるものをすべて教えてください。 ※ルナルナは、株式会社エムティーアイが運営する女性向けの生理日記録・管理ツールです。
Q19	ご自身の身体や健康に関する悩みや疑問が生じたときに、どうしますか。あてはまるものをすべて教えてください。
Q20	かかりつけの婦人科・泌尿器科はありますか。
Q21	性感染症が将来の不妊の原因になる可能性があることを知っていますか。
Q22	小千谷市では、不妊不育治療費の助成事業があります。知っていましたか。
Q23	ご自身が小・中学校で学んだと記憶しているテーマについて、あてはまるものをすべて教えてください。
Q24	次のうち、今からでも知りたい内容はありますか。あてはまるものをすべて教えてください。

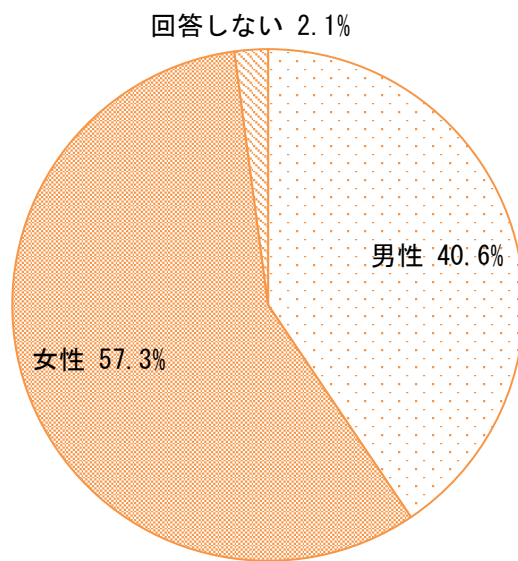
Q25	小千谷市にどのような健康支援や情報提供を期待しますか。あてはまるものをすべて教えてください。
Q26	小千谷市から健康支援や情報提供を受け取る際、どのような情報の伝え方を希望しますか。あてはまるものをすべて教えてください。
Q27	結婚に対してどのようなイメージを持っていますか。
Q28	前問で「{Q27の回答}」と回答した理由をできるだけ具体的に教えてください。
Q29	出産の前後に女性が取得できる「産前産後休業（産休）」、育児をする男女がともに活用できる「育児休業（育休）」の制度内容を知っていますか。
Q30	子どもが生まれた時に男性が活用できる「出生時育児休業（産後パパ育休）」という制度を知っていますか。
Q31	今後、「産前・産後休業（産休）」や「育児休業（育休）」、「出生時育児休業（産後パパ育休）」を取得したいですか。
Q32	これまでに育児休業を取得したことはありますか。
Q33	育児休業を取得しなかった・できなかった理由として、あてはまるものをすべて教えてください。
Q34	育休制度に対して「こうなれば使いやすい」という要望はありますか。あてはまるものをすべて教えてください。
Q35	小千谷市は「子育てするならダンゼン小千谷！」声かけ作戦など、子育て支援に力を入れていますが、小千谷市は子育てしやすい環境だと思いますか。子育て経験のない方は、小千谷市で子育てをしてみたいと思いますか。
Q36	将来のライフプラン（結婚や出産）を描く上で、ハードル（壁）と感じるものはありますか。あてはまるものをすべて教えてください。
Q37	小千谷市は「安心してこどもを産み育てられるまち」「働きがいにあふれ、みんなが選びたくなるまち」を目指しています。市民が普段の生活からそう感じられるようになるには、どのようなことを市に望みますか。自由な発想でお答えください。

II. 調査結果 – 回答者属性 –

- ・ 「n」はアンケートの回答数を示す。
- ・ Q1「回答 ID」は個人情報に紐づくため未掲載としている。
- ・ フリー回答結果は回答者の個人的な意見や感想を原文のまま掲載しているため一部の表現に誤字脱字や異なる表記が含まれる場合がある。
- ・ Q37のフリー回答は、内容をカテゴリ別に分類して掲載しているため、複数のカテゴリにまたがる回答は重複して表示される場合がある。

【Q2】 あなたの性別を教えてください。

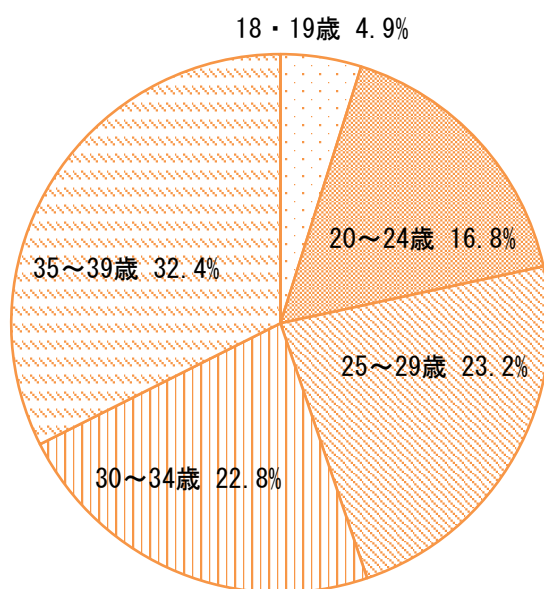
(n=1,092)



単一回答	n	%
全体	1,092	
1 男性	443	40.6
2 女性	626	57.3
3 回答しない	23	2.1

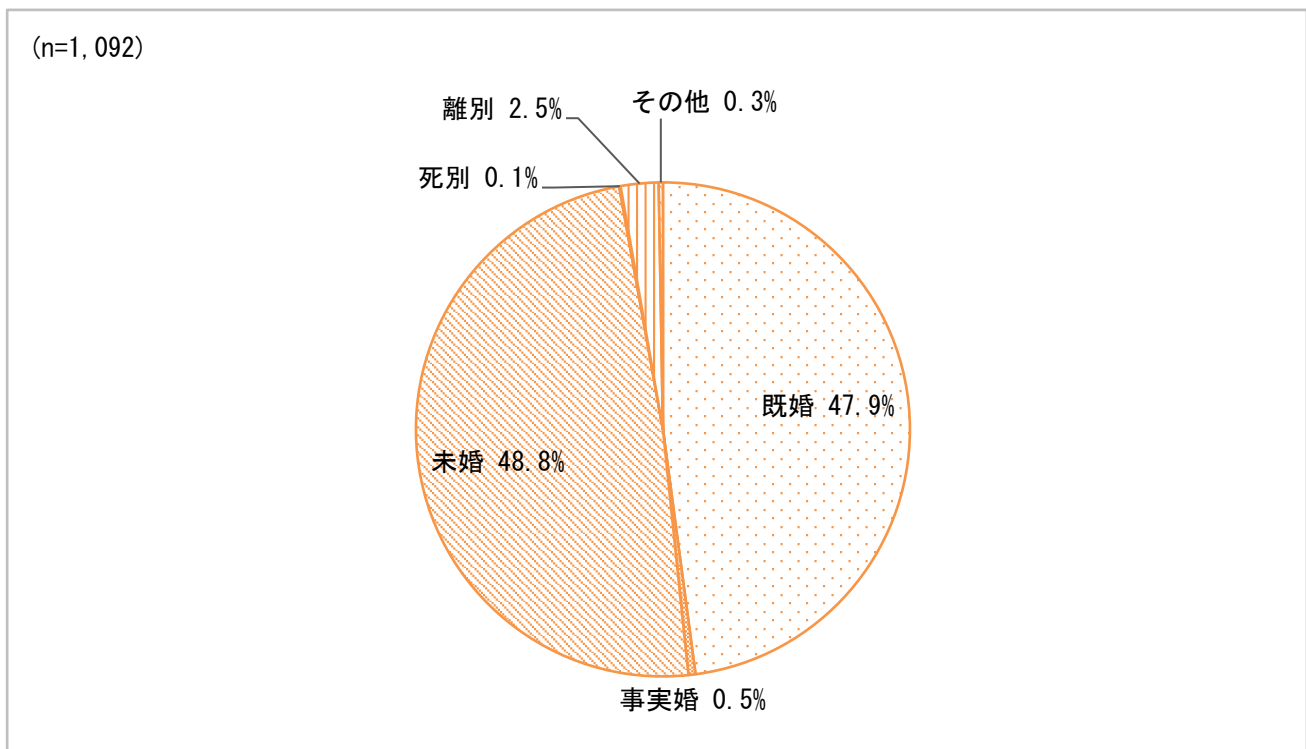
【Q3】 あなたの年齢を教えてください。

(n=1,092)



単一回答		n	%
	全体	1,092	
1	18・19歳	53	4.9
2	20～24歳	183	16.8
3	25～29歳	253	23.2
4	30～34歳	249	22.8
5	35～39歳	354	32.4
6	それ以外	0	0.0

【Q4】 あなたの婚姻状況を教えてください。



単一回答	n	%
全体	1,092	
1 既婚	523	47.9
2 事実婚	5	0.5
3 未婚	533	48.8
4 死別	1	0.1
5 離別	27	2.5
6 その他	3	0.3

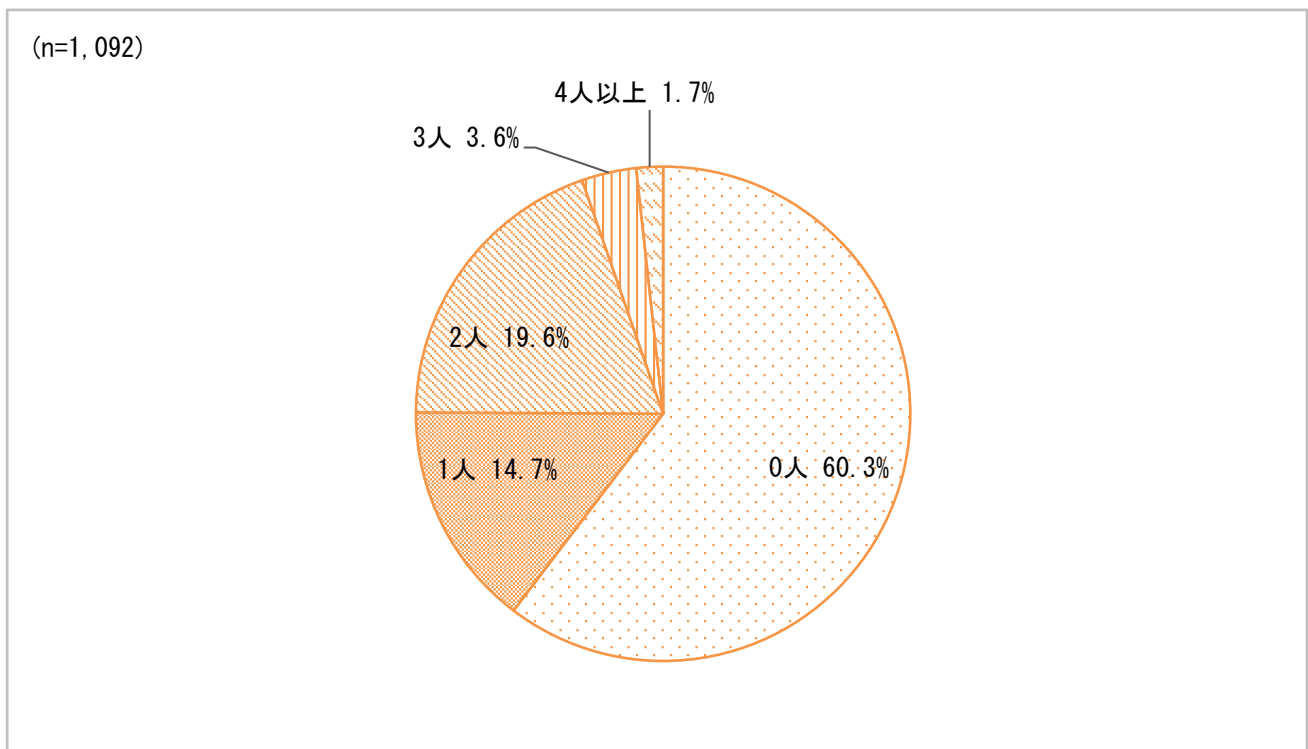
その他の回答

- ・ 結婚していない
- ・ 離婚した
- ・ 独身

年齢別・性別集計

		全体	既婚	事実婚	未婚	死別	離別	その他
全体		(1092)	523 47.9	5 0.5	533 48.8	1 0.1	27 2.5	3 0.3
Q3 あなたの年齢を教えてください。 x Q2 あなたの性別を教えてください。	18・19歳	(53)	1 1.9	0 0.0	52 98.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	男性	(21)	0 0.0	0 0.0	21 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	女性	(28)	1 3.6	0 0.0	27 96.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	回答しない	(4)	0 0.0	0 0.0	4 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	20～24歳	(183)	15 8.2	0 0.0	165 90.2	0 0.0	1 0.5	2 1.1
	男性	(76)	3 3.9	0 0.0	71 93.4	0 0.0	0 0.0	2 2.6
	女性	(107)	12 11.2	0 0.0	94 87.9	0 0.0	1 0.9	0 0.0
	回答しない	(0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	25～29歳	(253)	102 40.3	3 1.2	141 55.7	0 0.0	6 2.4	1 0.4
	男性	(98)	42 42.9	0 0.0	55 56.1	0 0.0	1 1.0	0 0.0
	女性	(147)	58 39.5	2 1.4	81 55.1	0 0.0	5 3.4	1 0.7
	回答しない	(8)	2 25.0	1 12.5	5 62.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	30～34歳	(249)	160 64.3	1 0.4	85 34.1	0 0.0	3 1.2	0 0.0
	男性	(108)	63 58.3	1 0.9	44 40.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	女性	(137)	96 70.1	0 0.0	38 27.7	0 0.0	3 2.2	0 0.0
	回答しない	(4)	1 25.0	0 0.0	3 75.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	35～39歳	(354)	245 69.2	1 0.3	90 25.4	1 0.3	17 4.8	0 0.0
	男性	(140)	86 61.4	1 0.7	50 35.7	0 0.0	3 2.1	0 0.0
	女性	(207)	154 74.4	0 0.0	39 18.8	1 0.5	13 6.3	0 0.0
	回答しない	(7)	5 71.4	0 0.0	1 14.3	0 0.0	1 14.3	0 0.0
それ以外	(0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
男性	(0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
女性	(0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
回答しない	(0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	

【Q5】あなたの子どもの人数を教えてください。

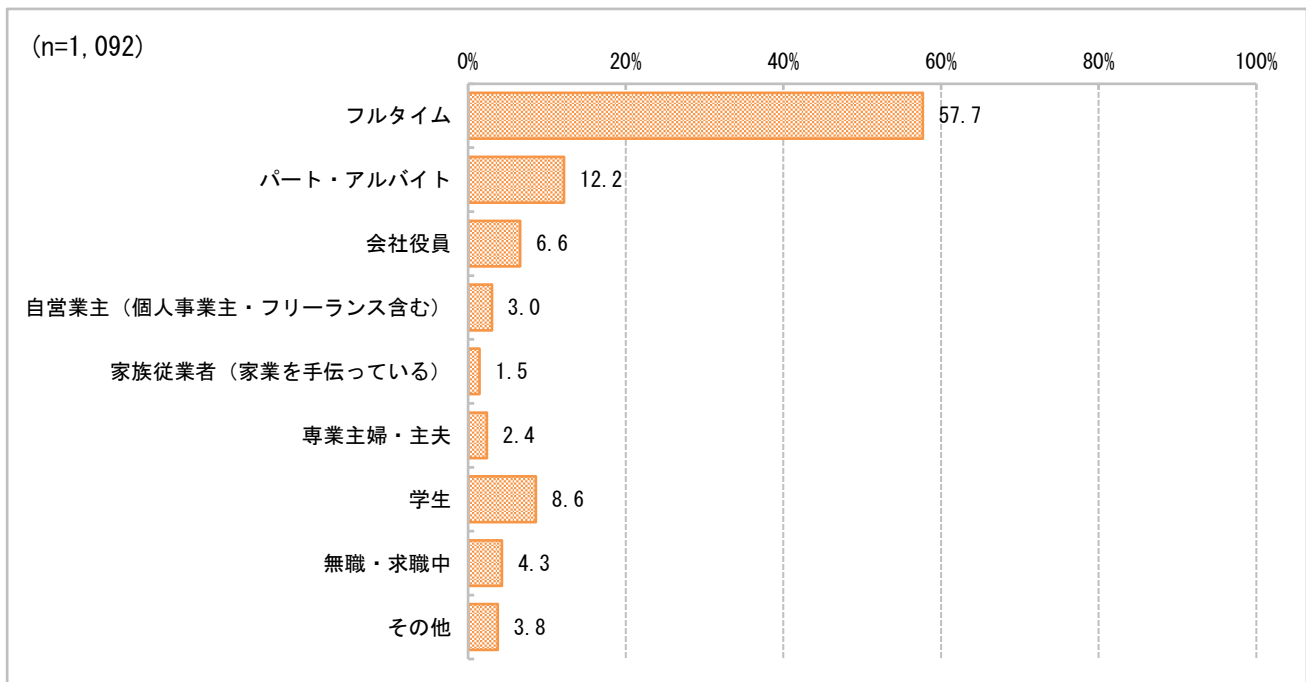


単一回答	n	%
全体	1,092	
1 0人	659	60.3
2 1人	161	14.7
3 2人	214	19.6
4 3人	39	3.6
5 4人以上	19	1.7

年齢別・性別集計

		全体	0人	1人	2人	3人	4人以上
全体		(1092)	659 60.3	161 14.7	214 19.6	39 3.6	19 1.7
Q3 あなたの年齢を教えてください。 x Q2 あなたの性別を教えてください。	18・19歳	(53)	53 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	男性	(21)	21 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	女性	(28)	28 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	回答しない	(4)	4 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	20～24歳	(183)	177 96.7	6 3.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	男性	(76)	74 97.4	2 2.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	女性	(107)	103 96.3	4 3.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	回答しない	(0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	25～29歳	(253)	191 75.5	36 14.2	22 8.7	3 1.2	1 0.4
	男性	(98)	80 81.6	8 8.2	9 9.2	0 0.0	1 1.0
	女性	(147)	105 71.4	27 18.4	13 8.8	2 1.4	0 0.0
	回答しない	(8)	6 75.0	1 12.5	0 0.0	1 12.5	0 0.0
	30～34歳	(249)	118 47.4	57 22.9	66 26.5	6 2.4	2 0.8
	男性	(108)	61 56.5	23 21.3	23 21.3	1 0.9	0 0.0
	女性	(137)	54 39.4	34 24.8	42 30.7	5 3.6	2 1.5
	回答しない	(4)	3 75.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0
	35～39歳	(354)	120 33.9	62 17.5	126 35.6	30 8.5	16 4.5
	男性	(140)	63 45.0	24 17.1	42 30.0	8 5.7	3 2.1
	女性	(207)	54 26.1	38 18.4	80 38.6	22 10.6	13 6.3
	回答しない	(7)	3 42.9	0 0.0	4 57.1	0 0.0	0 0.0
それ以外	(0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
男性	(0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
女性	(0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
回答しない	(0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	

【Q6】 あなたの雇用形態を教えてください。



単一回答	n	%
全体	1,092	
1 フルタイム	630	57.7
2 パート・アルバイト	133	12.2
3 会社役員	72	6.6
4 自営業主 (個人事業主・フリーランス含む)	33	3.0
5 家族従業者 (家業を手伝っている)	16	1.5
6 専業主婦・主夫	26	2.4
7 学生	94	8.6
8 無職・求職中	47	4.3
9 その他	41	3.8

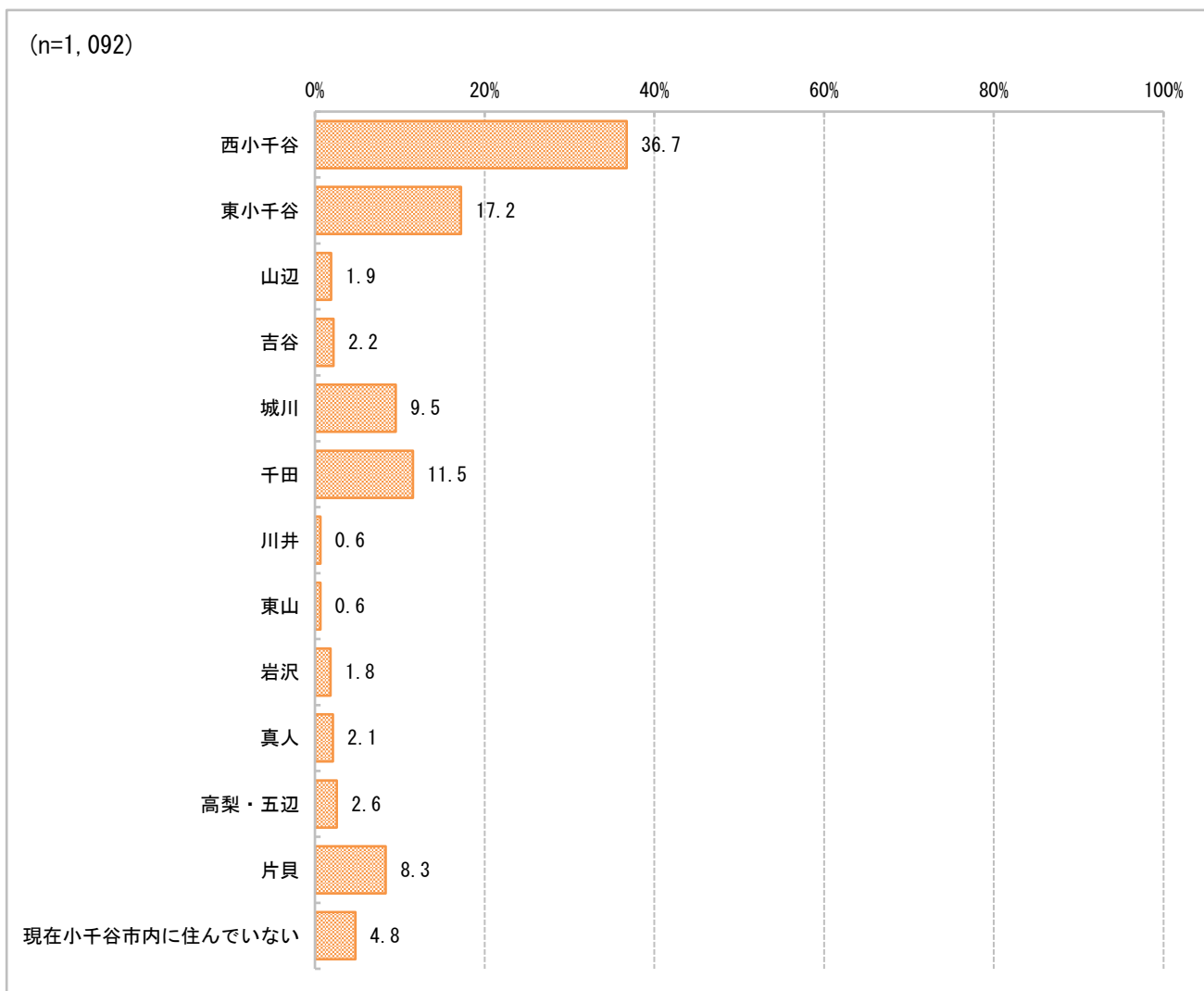
その他の回答

- ・社員
- ・正社員
- ・会社員
- ・会社員、時短勤務中
- ・正社員 時短勤務
- ・時短正社員 (2件)
- ・時短勤務 (5件)
- ・育児短時間勤務利用中
- ・公務員 (2件)
- ・団体職員 (2件)
- ・契約社員 (2件)
- ・臨時職員
- ・派遣社員 (2件)
- ・看護師
- ・福祉施設
- ・三交代制
- ・Nhv vin cng ty
- ・事業所
- ・福祉事業所 通所
- ・事業訓練生
- ・職業訓練生
- ・無職・職業訓練中
- ・公共職業訓練
- ・就労継続支援 B 型 (3件)
- ・障害者施設
- ・障がい福祉施設に通っている
- ・育休中 (2件)
- ・産休中
- ・療養中

年齢別・性別集計

		全体	フルタイム	パート・ アルバイト	会社役員	自営業主 (個人事業主・フリーランス含む)	家族従業者 (家業を手伝っている)	専業主婦・主夫	学生	無職・求職中	その他
全体		(1092)	630 57.7	133 12.2	72 6.6	33 3.0	16 1.5	26 2.4	94 8.6	47 4.3	41 3.8
Q3 あなたの年齢を教えてください。x Q2 あなたの性別を教えてください。	18・19歳	(53)	5 9.4	7 13.2	4 7.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	35 66.0	1 1.9	1 1.9
	男性	(21)	4 19.0	4 19.0	1 4.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	12 57.1	0 0.0	0 0.0
	女性	(28)	1 3.6	3 10.7	2 7.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	20 71.4	1 3.6	1 3.6
	回答しない	(4)	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 75.0	0 0.0	0 0.0
	20～24歳	(183)	68 37.2	14 7.7	16 8.7	3 1.6	1 0.5	1 0.5	58 31.7	10 5.5	12 6.6
	男性	(76)	25 32.9	2 2.6	7 9.2	2 2.6	1 1.3	0 0.0	28 36.8	5 6.6	6 7.9
	女性	(107)	43 40.2	12 11.2	9 8.4	1 0.9	0 0.0	1 0.9	30 28.0	5 4.7	6 5.6
	回答しない	(0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	25～29歳	(253)	176 69.6	27 10.7	18 7.1	7 2.8	2 0.8	1 0.4	1 0.4	15 5.9	6 2.4
	男性	(98)	77 78.6	2 2.0	4 4.1	1 1.0	2 2.0	0 0.0	1 1.0	8 8.2	3 3.1
	女性	(147)	96 65.3	23 15.6	11 7.5	6 4.1	0 0.0	1 0.7	0 0.0	7 4.8	3 2.0
	回答しない	(8)	3 37.5	2 25.0	3 37.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	30～34歳	(249)	157 63.1	32 12.9	15 6.0	9 3.6	4 1.6	8 3.2	0 0.0	11 4.4	13 5.2
	男性	(108)	81 75.0	4 3.7	12 11.1	6 5.6	1 0.9	0 0.0	0 0.0	2 1.9	2 1.9
	女性	(137)	73 53.3	27 19.7	3 2.2	3 2.2	3 2.2	8 5.8	0 0.0	9 6.6	11 8.0
	回答しない	(4)	3 75.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	35～39歳	(354)	224 63.3	53 15.0	19 5.4	14 4.0	9 2.5	16 4.5	0 0.0	10 2.8	9 2.5
	男性	(140)	105 75.0	5 3.6	15 10.7	7 5.0	1 0.7	0 0.0	0 0.0	4 2.9	3 2.1
	女性	(207)	115 55.6	46 22.2	4 1.9	7 3.4	8 3.9	16 7.7	0 0.0	5 2.4	6 2.9
	回答しない	(7)	4 57.1	2 28.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 14.3	0 0.0
それ以外	(0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
男性	(0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
女性	(0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
回答しない	(0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	

【Q7】 あなたがお住まいの地域を教えてください。



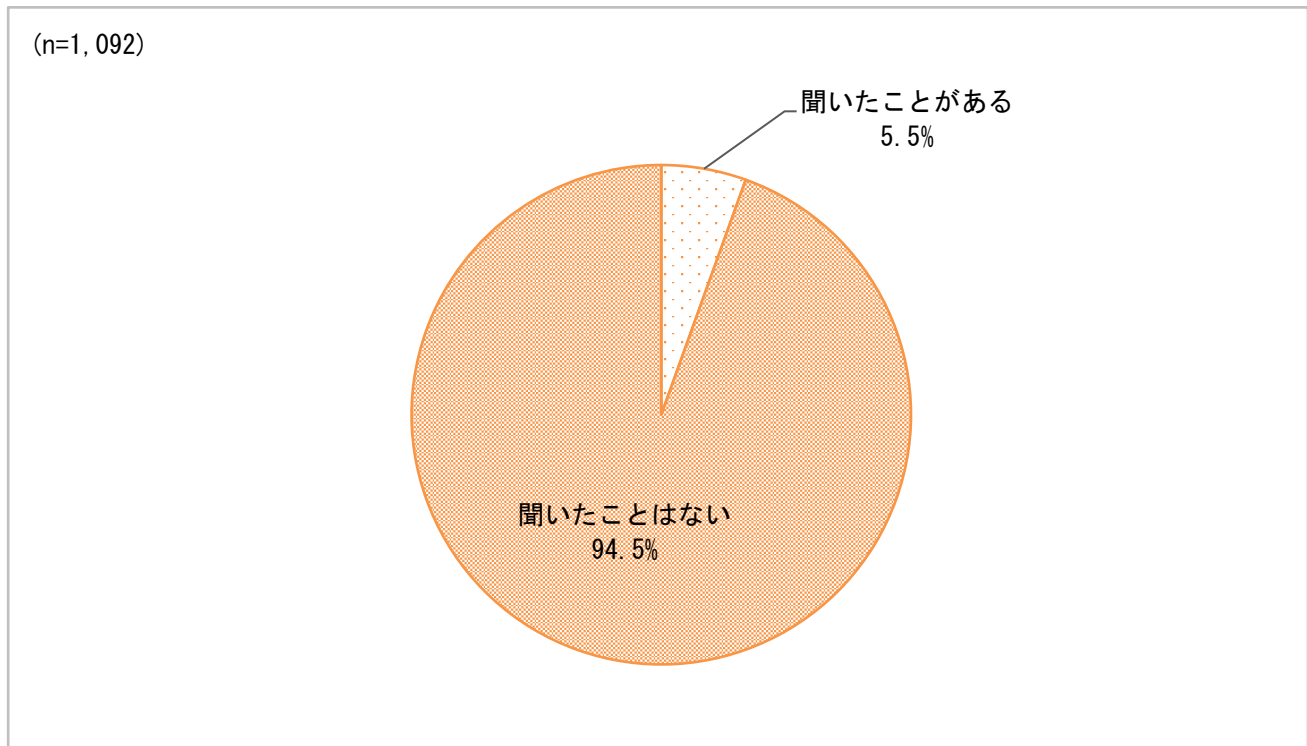
単一回答	n	%
全体	1,092	
1 西小千谷	401	36.7
2 東小千谷	188	17.2
3 山辺	21	1.9
4 吉谷	24	2.2
5 城川	104	9.5
6 千田	126	11.5
7 川井	7	0.6
8 東山	7	0.6
9 岩沢	20	1.8
10 真人	23	2.1
11 高梨・五辺	28	2.6
12 片貝	91	8.3
13 現在小千谷市内に住んでいない	52	4.8

II. 調査結果 — 単純集計結果（本設問） —

- ・「n」はアンケートの回答数を示す。
- ・フリー回答結果は回答者の個人的な意見や感想を原文のまま掲載しているため一部の表現に誤字脱字や異なる表記が含まれる場合がある。個人を特定する内容や暴力的な内容が含まれる回答の一部は（一部編集）と置き換えている。
- ・フリー回答は、傾向別且つ件数の多い順に掲載している。その中での掲載順は、性別、年齢、その他その設問の分析趣旨に沿った属性を選択肢順で掲載している。

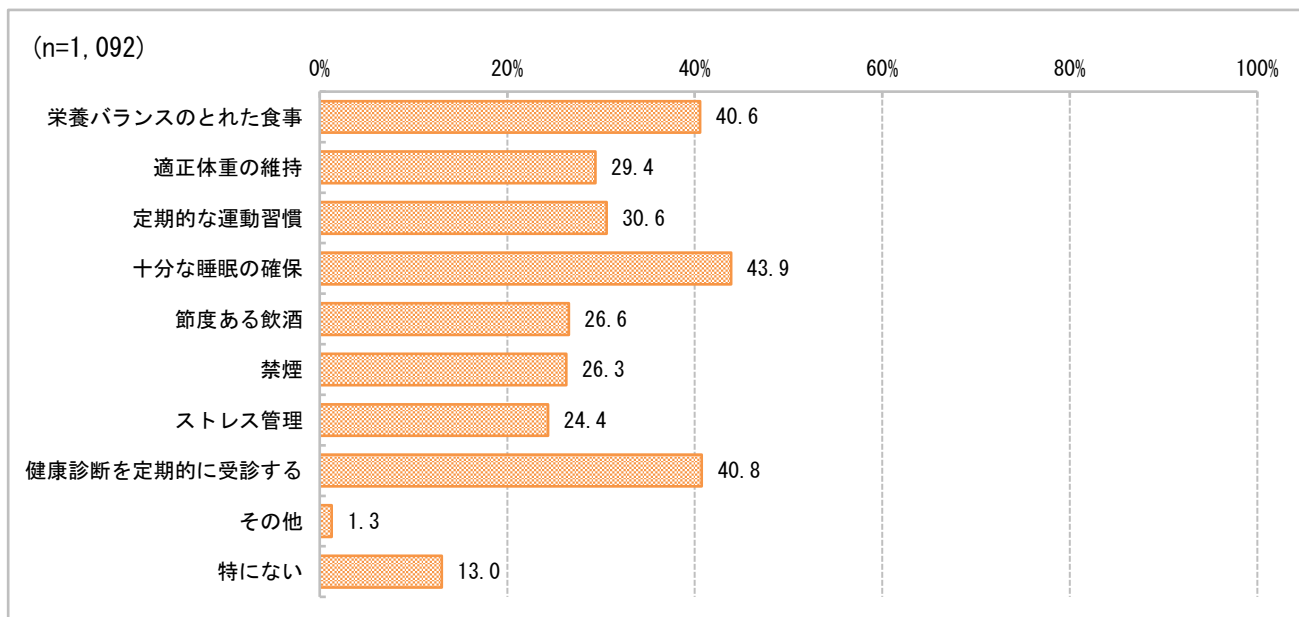
【Q8】 「プレコンセプションケア」という言葉を聞いたことがありますか。

プレコンセプションケアとは：男女ともに若いうちから健康管理を行うことで、将来の妊娠を考える・考えないに関わらず、自分たちの健康を維持し、より豊かな人生を送るためのケアのことです。



単一回答	n	%
全体	1,092	
1 聞いたことがある	60	5.5
2 聞いたことはない	1,032	94.5

【Q9】生涯、心も身体も健康で過ごせるために今から取り組んでいることはありますか。あてはまるものをすべて教えてください。

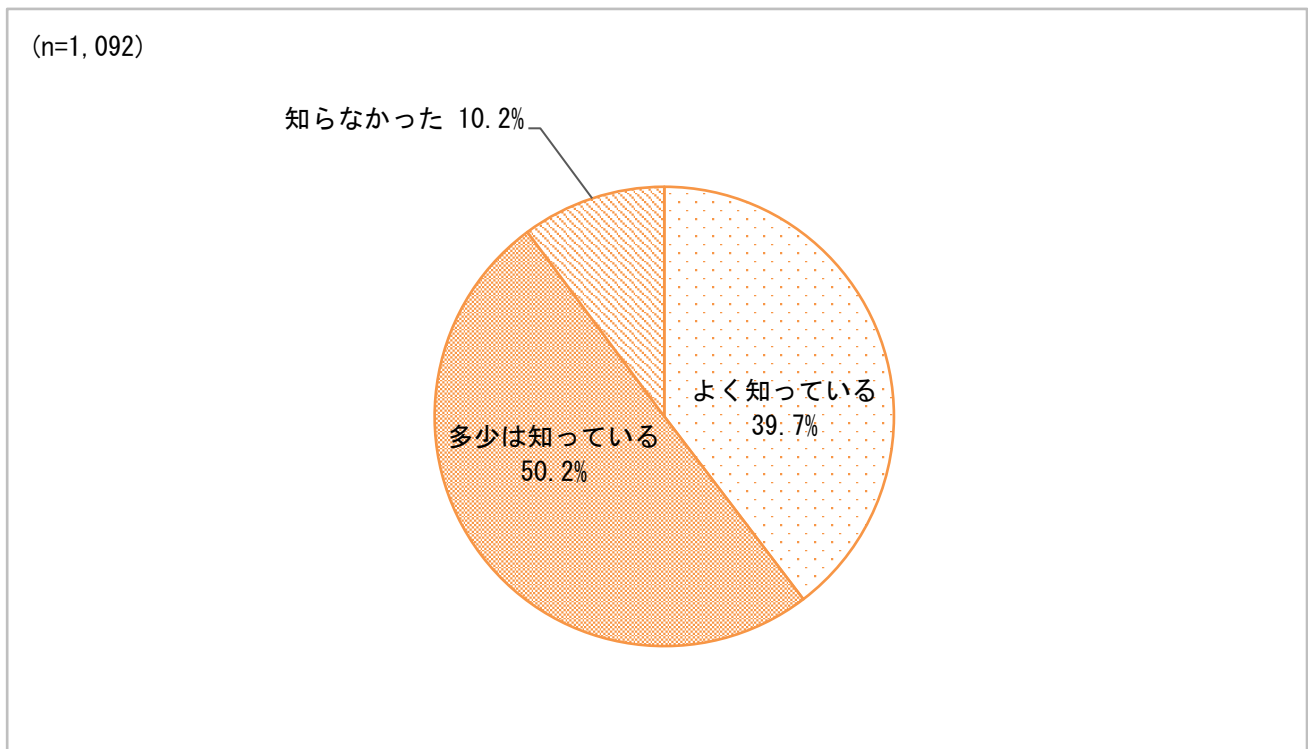


複数回答	n	%
全体	1,092	
1 栄養バランスのとれた食事	443	40.6
2 適正体重の維持	321	29.4
3 定期的な運動習慣	334	30.6
4 十分な睡眠の確保	479	43.9
5 節度ある飲酒	290	26.6
6 禁煙	287	26.3
7 ストレス管理	266	24.4
8 健康診断を定期的に受診する	445	40.8
9 その他	14	1.3
10 特にない	142	13.0

その他の回答

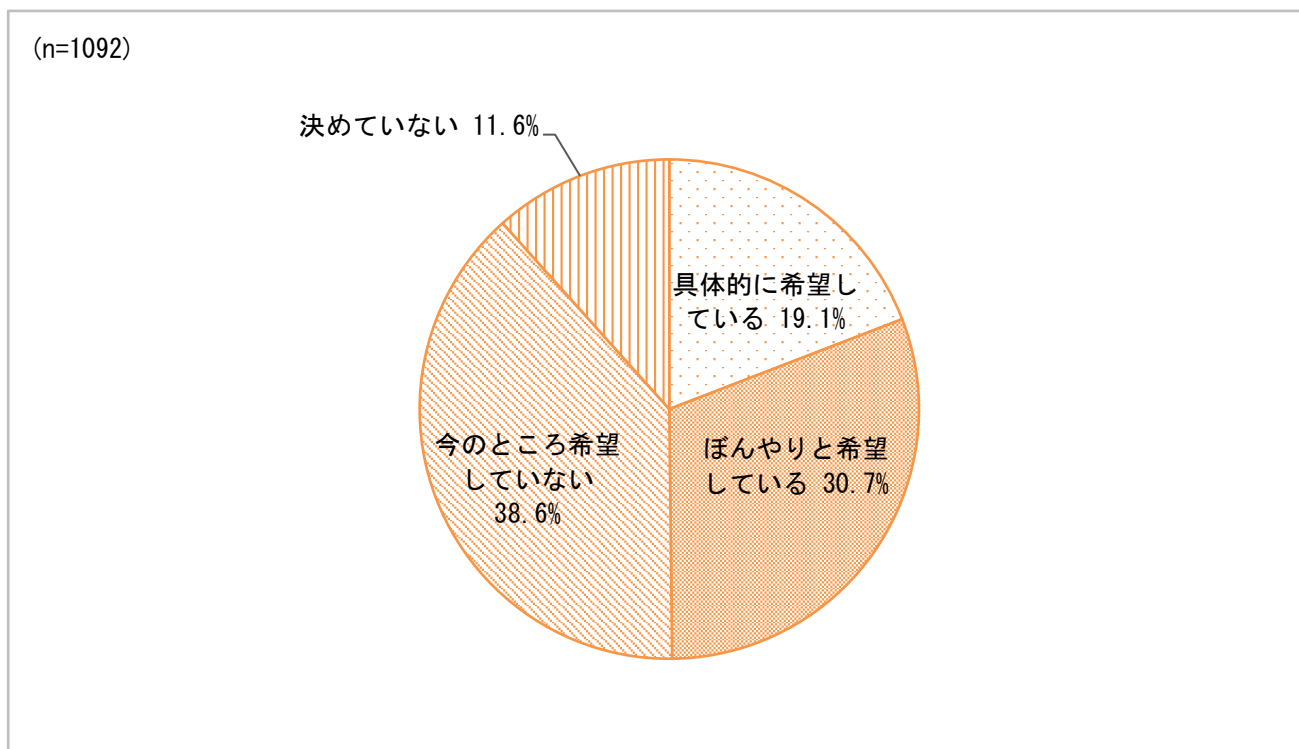
- ・添加物など、体に悪いものを摂取しないように心がけている
- ・季節ごとの服装、水分補給。
- ・運動
- ・タバコは吸わない。お酒は飲まない。
- ・ストレス管理の為に飲酒、喫煙
- ・瞑想、モーニングルーティン（コールドシャワー、16時間断食）等
- ・筋トレ
- ・食事量の制限
- ・サプリ服用／サプリ摂取
- ・余暇を楽しむ
- ・常に趣味を持つ
- ・貯金
- ・設問にあるものに取り組みたいがその余裕がない

【Q10】自身の健康状態（体重、食事、睡眠等）が、男女ともに妊娠・出産に影響することを知っていますか。



単一回答	n	%
全体	1,092	
1 よく知っている	433	39.7
2 多少は知っている	548	50.2
3 知らなかった	111	10.2

【Q11】今後、自分の子どもを持ちたいという希望はありますか。既に子どもがいる方も今後のこととして教えてください。



単一回答	n	%
全体	1,092	
1 具体的に希望している	209	19.1
2 ほんやりと希望している	335	30.7
3 今のところ希望していない	421	38.6
4 決めていない	127	11.6

【Q12】前問で「{Q11の回答}」と回答した理由を可能なかぎり具体的に教えてください。

子どもを持つことを「具体的に希望している」回答理由	性別	年齢	婚姻状況	子の人数
子供がいることが自分にとっての幸せになると思うから	男性	18・19歳	未婚	0人
家庭を築きたい	男性	18・19歳	未婚	0人
子供が欲しい	男性	20～24歳	既婚	0人
今いる子供に姉妹を作ってあげたい。	男性	20～24歳	既婚	1人
子供が好きだから	男性	20～24歳	未婚	0人
個人的な私利私欲	男性	20～24歳	未婚	0人
男の子が欲しいと思っている。	男性	20～24歳	未婚	0人
現在彼女がおり来年結婚する予定です。彼女が結婚してなるべく早く子供を産みたいとのこと自分は彼女の意見を尊重し、計画を今から立てています。	男性	20～24歳	未婚	0人
結婚し子供を授かり家庭を築くことが幸せの象徴であると考えているから。	男性	20～24歳	未婚	0人
子育てがとても楽しみであるため。	男性	20～24歳	未婚	0人
2人くらい	男性	20～24歳	未婚	0人
普通に欲しいから	男性	20～24歳	未婚	0人
幼少期から弟の面倒を見ていた事もあり、小さい子と遊ぶのが好きでした。一時期は保育士になりたいと思っていた時期もありました。	男性しない	20～24歳	未婚	0人
自分の2人子供	男性	20～24歳	未婚	0人
ほしい	男性	20～24歳	未婚	0人
子供が好きだから	男性	25～29歳	既婚	0人
4月に出産予定	男性	25～29歳	既婚	0人
子供が好きだから	男性	25～29歳	既婚	0人
子どもが欲しいから	男性	25～29歳	既婚	0人
今妊活中。	男性	25～29歳	既婚	0人
妊活をしている。	男性	25～29歳	既婚	0人
年齢を考え、近いうちに考えている。	男性	25～29歳	既婚	0人
1,2年後に1人目が欲しい。その後、2人目まで検討中。	男性	25～29歳	既婚	0人
現在妻が妊娠中で子供が好きだから	男性	25～29歳	既婚	0人
夫婦で話し合いをしている	男性	25～29歳	既婚	0人
一人は子どもがほしいと思っているから	男性	25～29歳	既婚	0人
子どもと一緒に色々なことをしたい	男性	25～29歳	既婚	0人
親に孫の顔を見せたい	男性	25～29歳	既婚	0人
二人ぐらいがいいから	男性	25～29歳	既婚	1人
すでに子供が1人いてさらにもう1人妻が妊娠中でその2人の予定	男性	25～29歳	既婚	1人

子供がいると楽しいから	男性	25～29歳	既婚	1人
家族が増えることが嬉しいから	男性	25～29歳	既婚	1人
子供が好きだから 上の子の兄妹がほしい！	男性	25～29歳	既婚	1人
今子供が1人なので兄弟がいたほうが良いと思うから	男性	25～29歳	既婚	1人
夫婦共に兄弟が3人おり、子供も3人が理想だねと話合っているため。	男性	25～29歳	既婚	2人
日本の人口減少	男性	25～29歳	未婚	0人
人生設計を行ううえで、何人、何歳までに欲しいという考えを持っているため。	男性	25～29歳	未婚	0人
子供がいると楽しいから	男性	25～29歳	未婚	0人
子供を育てることは必ずしてみたく今度小千谷市が残るためにも必要だと思うから	男性	25～29歳	未婚	0人
30代前半までに二人	男性	25～29歳	未婚	0人
子供がほしいから	男性	25～29歳	未婚	0人
これから結婚をするから	男性	25～29歳	未婚	0人
育ててみたい	男性	25～29歳	未婚	0人
今年彼女と結婚を予定していて、将来のことを考えている	男性	25～29歳	未婚	0人
結婚したら	男性	25～29歳	未婚	0人
将来的に養えるであろう人数と、子供ができるタイミングを考えているため。	男性	25～29歳	未婚	0人
かわいいから	男性	25～29歳	離別	0人
妻が3月に出産予定の為。	男性	30～34歳	既婚	0人
欲しいから	男性	30～34歳	既婚	0人
春に第一子が生まれる予定です。不妊治療を経て子供を授かることができました。小千谷市の不妊治療への補助の制度に夫婦共々感謝しています。	男性	30～34歳	既婚	0人
2人ほしい	男性	30～34歳	既婚	0人
妊活中	男性	30～34歳	既婚	0人
あともう少しで産まれる。	男性	30～34歳	既婚	0人
既に妻が妊娠中のため。	男性	30～34歳	既婚	0人
今1人目を育児中で少し間を空けて2人目を考えている	男性	30～34歳	既婚	1人
あと1人は欲しいと思っている	男性	30～34歳	既婚	1人
子供が2人欲しいから	男性	30～34歳	既婚	1人
こども2人を計画しているから	男性	30～34歳	既婚	1人
もう1人子供が欲しい	男性	30～34歳	既婚	1人
子供は2人以上欲しいため	男性	30～34歳	既婚	1人
3年以内に1人	男性	30～34歳	既婚	1人
今7ヶ月の子供が居ますが、もう2.3人子供が欲しいと思っています。	男性しない	30～34歳	既婚	1人

2人目	男性	30～34歳	既婚	1人
2人以上は欲しいと思っているから。	男性	30～34歳	既婚	1人
妻の子宮が耐えられるのはあと1人が限度	男性	30～34歳	既婚	1人
子どもがいると今後の生きがいにもなるし、何より可愛い。子どもがいるからこそ味わえる醍醐味を経験できる。	男性	30～34歳	既婚	1人
自分自身が一人っ子だったのでもう1人は欲しい。 賑やかで楽しい家庭にしたい。	男性	30～34歳	既婚	1人
女の子が欲しいため	男性	30～34歳	既婚	2人
今年中に結婚をする為 彼女は高齢出産に値するが2人の意見は子作りをしようと決めてるため	男性	30～34歳	未婚	0人
自身の家庭環境が良かったため、元々家庭を持ちたい願望があり、子供は2から3名ほどを希望。しかし、経済的な不安があり子育てできるか心配もある。	男性	30～34歳	未婚	0人
自分の遺伝子を後世に残したいから	男性	30～34歳	未婚	0人
子供が好きなので子供と一緒に遊んでいたい。	男性	30～34歳	未婚	0人
子どもが欲しいため	男性	35～39歳	既婚	0人
年齢的に早く欲しいです	男性	35～39歳	既婚	0人
人工受精を検討している	男性	35～39歳	既婚	0人
自分が生きた証でもあるから	男性	35～39歳	既婚	0人
不妊治療中	男性	35～39歳	既婚	0人
2人希望	男性	35～39歳	既婚	0人
移住から1年経ち、生活も落ち着いてきた。 小千谷市は安心して子育てできそう。(保育園や病院等)	男性	35～39歳	既婚	0人
二人もを考えているため	男性	35～39歳	既婚	1人
あと1人希望している	男性	35～39歳	既婚	1人
既に子どもがいる。	男性	35～39歳	既婚	1人
1人目の子育てが落ち着いてきて、娘も欲しそうな話をする。	男性	35～39歳	既婚	1人
2人目を考えている。兄弟がほしい。	男性	35～39歳	既婚	1人
次の妊娠・出産を希望	男性	35～39歳	既婚	1人
欲しいと思うから	男性	35～39歳	既婚	1人
兄弟が欲しいから	男性	35～39歳	既婚	1人
子供が今後の国、市町村の将来の行末の担い手となると考える為。	男性	35～39歳	既婚	2人
子育てを通して、様々な人生上の経験ができるので。	男性	35～39歳	既婚	2人
年齢的に。町内の今後等含めて。	男性	35～39歳	未婚	0人
・子供が好きだから ・自分の遺伝子を残したいという本能的な欲求	男性	35～39歳	未婚	0人
嫁さんを見つけない	男性	35～39歳	未婚	0人
楽しく過ごしたいから	男性	35～39歳	未婚	0人

子孫繁栄	男性	35～39 歳	未婚	0 人
小千谷に子供を増やす	女性	18・19 歳	既婚	0 人
自分の決めたパートナーの人と一緒に自分の子どもを産み育て 幸せに過ごしたいと思っているから。	女性	18・19 歳	未婚	0 人
子供が好きだから	女性	18・19 歳	未婚	0 人
2 人くらい育てたいと思っている	女性	20～24 歳	既婚	0 人
自身が兄妹が多く、楽しい時間が沢山だったので自分の子にも そう出来たらいいなと思っている。	女性	20～24 歳	既婚	0 人
28 歳頃にほしい	女性	20～24 歳	既婚	0 人
現在妊娠中	女性	20～24 歳	既婚	0 人
このくらいの年齢で何人ほしいなと考えているから。	女性	20～24 歳	未婚	0 人
好きな人と将来を考えるなら今より家族が増えたらいいなと思 うから。今の家族との暮らしが余裕はないが幸せだから	女性	20～24 歳	未婚	0 人
居ないよりはいいから。	女性	20～24 歳	未婚	0 人
子どもが欲しいから	女性	20～24 歳	未婚	0 人
・両親が子育ては大変だけど、色んな経験を出来ると言っていた から。	女性	20～24 歳	未婚	0 人
3 年以内に結婚して結婚 2 年後に子どもが欲しいと思っている から	女性	20～24 歳	未婚	0 人
自分の家族をつくりたいから。	女性	20～24 歳	未婚	0 人
金銭面と環境が整っていない。妊娠してから出産し子育てする のは今の物価高騰などからは厳しいと思う。 だけど結婚して幸せな家族を築くのは夢だから叶えたい。	女性	20～24 歳	未婚	0 人
子どもが欲しいから	女性	20～24 歳	未婚	0 人
もともと子どもが好きで、好きな人との子どもが欲しいという 気持ちがある。時代が変わってきているという理由もあるかと 思うが、自分が幼少期の頃に比べ、外で遊ぶ子どもたちが少なくな ってきたと感じ、昔みたいに子どもの楽しそうなワイワイと した声が街中に響き渡って欲しいという思いから、まずは自分 が子どもを産み、少しでも子どもの人数が増えることを祈って いる。	女性	20～24 歳	未婚	0 人
子供はできれば早めにほしい。奨学金補助や家賃補助はとても 助かっている。	女性	20～24 歳	未婚	0 人
子供が好きだから	女性	20～24 歳	未婚	0 人
甥っ子がいるので、自分の子供も欲しいなあとすることがあり ます…	女性	20～24 歳	未婚	0 人
子どもがすぎだから。自分の子を育てたいという気持ちがある	女性	20～24 歳	未婚	0 人
幸せな家庭を築きたいから	女性	20～24 歳	未婚	0 人
2 人欲しい	女性	20～24 歳	未婚	0 人

3人くらいほしい。新潟で出産、子育てしたい。	女性	20～24歳	未婚	0人
妊娠中	女性	25～29歳	既婚	0人
結婚式、新婚旅行、マイホームを全て終わらせて、そろそろ子供欲しいという話をしているから	女性	25～29歳	既婚	0人
自分の家族仲がよかったので自分もそういう家庭を築きたい こどもがすき パートナーとのこどもが欲しい	女性	25～29歳	既婚	0人
1人目妊娠中です。いずれは、2人目も欲しいと考えている。	女性	25～29歳	既婚	0人
子どもが好きだから。結婚式も終えて、現在妊活中。	女性	25～29歳	既婚	0人
子供がほしくて不妊治療をしていました。現在は妊娠中です。2人目も希望しています。	女性	25～29歳	既婚	0人
子どもがほしいから	女性	25～29歳	既婚	0人
主人との子供が欲しいから。最近クリニックに通い始めた。	女性	25～29歳	既婚	0人
年齢的問題	女性	25～29歳	既婚	0人
2年以内の出産希望。将来的には2人産みたい。	女性	25～29歳	既婚	0人
子どもの人数や時期などを相談し、予定している	女性	25～29歳	既婚	0人
孤独死したくないから	女性	25～29歳	既婚	0人
既に妊娠中	女性	25～29歳	既婚	0人
妊娠中	女性	25～29歳	既婚	0人
数年後に欲しい	女性	25～29歳	既婚	0人
30歳までには出産をしたい	女性	25～29歳	既婚	0人
できるにはすぐに欲しくて妊活している	女性	25～29歳	既婚	0人
仕事との予定を考えながら5年後にもう1人欲しい	女性	25～29歳	既婚	1人
将来兄弟がいた方が困った時に助け合えるから	女性	25～29歳	既婚	1人
今現在娘が1人いるが、もう1人くらいは産みたいと考えている。	女性	25～29歳	既婚	1人
小千谷人口増加	女性	25～29歳	既婚	1人
もともと2人以上の子供が欲しかったのと、1人目を出産して子供 のかわいさが身に染みて分かり、もう1人欲しいと思ったため。	女性	25～29歳	既婚	1人
育児をもう一度したい	女性	25～29歳	既婚	1人
子供が好きで3人欲しいと思っているから	女性	25～29歳	既婚	1人
もう1人ほしいと思っている	女性	25～29歳	既婚	2人
子供は夫婦の中でも3人欲しいと話合っているから	女性	25～29歳	既婚	2人
自分の子どもを育ててみたいから	女性	25～29歳	事実婚	1人
子どもをもちたい気持ちはあるが、経済面や今の環境だともつ ことはほぼ難しい為	女性	25～29歳	未婚	0人
親戚や自身の家族が子どもがいて大変そうではあるが幸せそう だから	女性	25～29歳	未婚	0人
子供が好きだから、	女性	25～29歳	未婚	0人

こどもがほしい	女性	25～29 歳	未婚	0 人
人生に大きなイベントが減ってくる中で、誰かのためにないと働いたりする意欲が湧かない	女性	25～29 歳	未婚	0 人
子供が欲しいから	女性	25～29 歳	未婚	0 人
2 人くらい 35 歳までに出産したい。	女性	25～29 歳	未婚	0 人
子どもが好きなのでほしいと思ってる。できれば 2 人ほしい。	女性	25～29 歳	未婚	0 人
結婚予定があるため	女性	25～29 歳	未婚	0 人
今結婚し、子供を育てるために婚活をしたりなど活動をしているため。将来子供を育てるためにかかる金額などを考えている。	女性	25～29 歳	未婚	0 人
結婚を控え、家庭を持ちたいから	女性	25～29 歳	未婚	0 人
家族を持ちたいため 自分が高齢になった時に介護など心配なため	女性	25～29 歳	未婚	0 人
35 歳までに出産したい 母子のリスクを考慮し、高齢出産を避けたい	女性	25～29 歳	未婚	0 人
きょうだいがいいたら嬉しいから。	女性	25～29 歳	離別	1 人
3 月に出産予定	女性	30～34 歳	既婚	0 人
結婚式も終わり、自分の事にひと段落がついた。次は自分の子供を持ちたいと強く思った。	女性	30～34 歳	既婚	0 人
現在妊活中のため	女性	30～34 歳	既婚	0 人
主人の DNA を遺してあげたい	女性	30～34 歳	既婚	0 人
2～3 人程度欲しい 不妊治療を最近始めた	女性	30～34 歳	既婚	0 人
不妊治療をしている	女性	30～34 歳	既婚	0 人
1 人目に兄弟をつかってあげたい	女性	30～34 歳	既婚	1 人
2 人目を今年から来年に妊娠したいと思っている	女性	30～34 歳	既婚	1 人
もう 1 人欲しい	女性	30～34 歳	既婚	1 人
2 人目が欲しいと考えている	女性	30～34 歳	既婚	1 人
もともと子供は 2 人以上欲しいと思っていたから	女性	30～34 歳	既婚	1 人
2 人は子どもが欲しいから	女性	30～34 歳	既婚	1 人
家族計画は子供 2 人のため今後あと 1 人妊娠希望。	女性	30～34 歳	既婚	1 人
子供は 2 人出来れば 3 人欲しくて、経産婦だが高齢出産は避けたいため、今年また妊活を始める予定	女性	30～34 歳	既婚	1 人
昨年 1 人目を出産して、2 人目も欲しいから	女性	30～34 歳	既婚	1 人
2 人目を考えている	女性	30～34 歳	既婚	1 人
今現在子どもがいて大変ではあるが、楽しいこともあるので	女性	30～34 歳	既婚	1 人
夫と将来の生活や家族構成、家族の在り方について話し合い、子どもと共に日々を重ねていく人生を望み、子どもを持つことを希望しました。現在、第二子を妊娠しています。	女性	30～34 歳	既婚	1 人
兄弟と何歳差にするか、貯蓄はどのくらい必要か。	女性	30～34 歳	既婚	2 人

兄弟が増える事は、子どもたちには負担になることも今はあると思うが、少子化が進んでいくにつれて、周りの子が少ない分兄弟が多いことにメリットを感じる。	女性	30～34 歳	既婚	2 人
自分自身が 3 人兄弟のため、自分も 3 人子供が欲しいと思っていたから。	女性	30～34 歳	既婚	2 人
子どもは 3 人くらい欲しいと思っているから。	女性	30～34 歳	既婚	2 人
昔から子供が欲しく、育てたかったから。 今子育て中ですが、とても充実している。	女性	30～34 歳	既婚	2 人
少子化に貢献したい	女性	30～34 歳	既婚	3 人
子どもが欲しいから	女性	30～34 歳	未婚	0 人
姉、友達に子供がいて関わるにつれて自分の未来も考えるようになった為	女性	30～34 歳	未婚	0 人
夫婦ともに子どもを持ちたいという希望があるため	女性	35～39 歳	既婚	0 人
不妊治療のため通院している。	女性	35～39 歳	既婚	0 人
答える必要はない	女性	35～39 歳	既婚	0 人
不妊検査を行っている	女性	35～39 歳	既婚	0 人
お腹の中に 2 人目がいる為	女性	35～39 歳	既婚	1 人
第二子妊娠中	女性	35～39 歳	既婚	1 人
子どもに兄弟をつくりたいため、2 人目以降を希望している	女性	35～39 歳	既婚	1 人
今 1 人いるので兄弟がいたらいいなと考えている	女性	35～39 歳	既婚	1 人
2 人目の出産希望	女性	35～39 歳	既婚	1 人
1 人目の子どもにきょうだい欲しいと思うため。	女性	35～39 歳	既婚	1 人
子供が好きだから。 子供がいる事でまた違った楽しみや経験が増える為。	女性	35～39 歳	既婚	2 人
夫とも、また上の娘とも、3 人子どもがいたら良いね、という話が出てくるので。時期的なことから具体的に考えつつあるところ です。	女性	35～39 歳	既婚	2 人
子育てが落ち着いてきて、自分も働くことができお金もある程度余裕があるのでもう 1 人欲しい	女性	35～39 歳	既婚	2 人
3 人目がほしい	女性	35～39 歳	既婚	2 人
現在 2 人目を妊娠中ですが、少子化の影響もあり、近所に子供達同士で遊べるような年の近いお友達がいません。 この先更にこの地区から子供が減っていくのを危惧しているので、可能ならば少しでも多く兄弟がいた方がいいのでは…と考えています。	女性	35～39 歳	既婚	2 人
子供は好きなので希望しています。(一部編集)が見つかり手術しました、今は傷口のケロイド治療でステロイド注射をしているのでそれが終われば妊娠 OK ができます。	女性	35～39 歳	未婚	0 人
子どもが好きだから	女性	35～39 歳	未婚	0 人

近年中に希望しているから	女性	35～39 歳	未婚	0 人
--------------	----	---------	----	-----

※特になし、なしの回答（1件）

子どもを持つことを「ぼんやりと希望している」回答理由	性別	年齢	婚姻状況	子の人数
子供が好きだから	男性	18・19 歳	未婚	0 人
・将来的には子供は欲しいがそもそも結婚が出来るかが怪しい ・子供は好きだが自分で育てるという自覚や経済的余裕がまだない	男性	18・19 歳	未婚	0 人
今はぼんやりと子供が欲しいと思っているけど、まずは自分にとって1番大切な人と結婚することが1番だから。大切な人の気持ちもあるからそこからしっかり話し合っ決めてたい	男性	18・19 歳	未婚	0 人
結婚したら子供が欲しいと思っている。	男性	18・19 歳	未婚	0 人
子供はほしいから	男性	18・19 歳	未婚	0 人
子供がいた方が人生楽しそうだから。	男性	18・19 歳	未婚	0 人
幸せな家庭を築くことが夢だから子供欲しい	男性	18・19 歳	未婚	0 人
何年か経ってからもう1人欲しい きっちりした計画はない	男性	20～24 歳	既婚	1 人
現在の生活状況や社会情勢を鑑みるに時期尚早だなと感じているため	男性	20～24 歳	未婚	0 人
家庭を持つか、持たずに旅に出るかで迷っています。	男性	20～24 歳	未婚	0 人
同棲中のパートナーと将来について話すが、子供は1人は欲しいという程度で具体的な人数、年齢等は決めていない。	男性	20～24 歳	未婚	0 人
家庭形成には一定の関心がある一方で、今のうちに頼ることができる人や関係を形成しないと（一部編集）状態に陥るのではないかという懸念も抱いている。	男性	20～24 歳	未婚	0 人
将来的には持ちたいと思うが今は現実的ではない	男性	20～24 歳	未婚	0 人
子育てというものを一度体験してみたいと思っている 加えて自身の子供というのに興味がある	男性	20～24 歳	未婚	0 人
人生や老後を考えると家族を築いていくことは必要だと思う。 しかし、それよりも先にお金の確保をしなければ十分な教育や選択を与えてあげることができない。なのでお金の不安がある 限り難しいと思う。	男性	20～24 歳	未婚	0 人
いつか持ちたいとは思っているが具体的にいつ頃、何人、どこで そしてお金などのプランは全くない	男性	20～24 歳	未婚	0 人
まだ交際している相手などもないため先は不透明でわからない が結婚したら子どもは欲しいなと考えているため	男性	20～24 歳	未婚	0 人
将来的には結婚し子どもを持ちたいと考えているが、仕事が忙しく難しい。	男性	20～24 歳	未婚	0 人
なんとなくでしかない。	男性	20～24 歳	未婚	0 人

そのうち子どもを持っている未来を想像している。				
子供がすぎ	男性	20～24歳	未婚	0人
欲しいかと言われたら欲しいが、まだ具体的に考えているわけでは無いから	男性	20～24歳	未婚	0人
子供は欲しいと考えているが現在パートナーがいないため	男性	20～24歳	未婚	0人
一人で生きていくのは経済や精神的にも厳しく、独身税の課される世の中になった時の負担を減らすため	男性	20～24歳	未婚	0人
子供は欲しいがお金がなくて育てられるか心配している	男性	20～24歳	未婚	0人
将来的には欲しいから	男性	20～24歳	未婚	0人
結婚したいから	男性	20～24歳	未婚	0人
自分の子供が欲しいから	男性	20～24歳	未婚	0人
親に孫の顔を見せてあげたい気持ちがある。しかし、育てることの不安感があり、お金、時間ともに自分には十分なものを用意できるかが心配であるため、ぼんやりと希望している。	男性	20～24歳	未婚	0人
子どもと一緒に遊ぶことが好きだから。	男性	20～24歳	未婚	0人
いつかは自分の家族を持ちたいと考えているため	男性	20～24歳	未婚	0人
結婚しようと考えてるため	男性	20～24歳	未婚	0人
結婚したら子供が好きなのでほしいとは思っているがまだ具体的な希望はない	男性	20～24歳	未婚	0人
あんまり、子供をもつことへのイメージがわからないため	男性	20～24歳	未婚	0人
幸せな充実した生活を送りたいから	男性	20～24歳	未婚	0人
子供が好きだから	男性	20～24歳	未婚	0人
まだ結婚の予定がなく、想像ができない。	男性	20～24歳	未婚	0人
なんとなく、将来は子供が欲しいかなと思うから。子供がいたほうが楽しいと思うから。	男性	20～24歳	未婚	0人
将来的に結婚できた場合は子供が欲しいと思うから	男性	20～24歳	その他	0人
時期及び人数は未定だが、近い将来に子どもを持ちたいという希望はあるから。	男性	25～29歳	既婚	0人
生活的に余裕があるわけではないため	男性	25～29歳	既婚	0人
子供がほしいから	男性	25～29歳	既婚	0人
時期は決まっていないため	男性	25～29歳	既婚	0人
いつかは欲しいな思ってます。具体的にいつまでとかは決めてないです。	男性	25～29歳	既婚	0人
数年以内に子供が欲しい	男性	25～29歳	既婚	0人
欲しい気持ちはあるが必ず授かるとは限らない為	男性	25～29歳	既婚	0人
状況による	男性	25～29歳	既婚	0人
2人以上は子どもを持ちたいと考えているが、経済的な面を考慮する必要もあるため。	男性	25～29歳	既婚	0人

2人目も欲しいけど、現状は1人でいっぱいっばいな感じもあるのぼんやりと考えている。	男性	25～29歳	既婚	1人
3人目を作るかどうか迷っている	男性	25～29歳	既婚	2人
養子として2人おり、実子も1人は欲しいとは考えている。マイホームを購入するにあたり、物価高影響等で月々の支出が増える中、現実的に幼い3人を育て上げることに不安があり、ぼんやりと3人は欲しいけどなあ～と言った感じである。(妻も、男の子2人のため女の子が欲しいと言ってる面もある)	男性	25～29歳	既婚	2人
もう1人欲しいと思ってるから。	男性	25～29歳	既婚	2人
現在パートナーがいない上、結婚やパートナー作りよりも生活の安定を優先している為。優先順位は下になっている。	男性	25～29歳	未婚	0人
いつかは結婚して子供が欲しいと思っている	男性	25～29歳	未婚	0人
人並みほど子供が欲しい願望はない。人生設計として、いつかは子供を授かるべきだろうと考えている程度。	男性	25～29歳	未婚	0人
まだ働いておらず、将来が予想できないため	男性	25～29歳	未婚	0人
自分も兄弟がいるから	男性	25～29歳	未婚	0人
子供は持ちたいと考えているが、未婚のため。	男性	25～29歳	未婚	0人
将来的には子供がほしい	男性	25～29歳	未婚	0人
養育費などの不安	男性	25～29歳	未婚	0人
なんとなく	男性	25～29歳	未婚	0人
お金の事とか考えると結婚して子どもを育てられるか不安	男性	25～29歳	未婚	0人
子供が好きで幸せな家庭を築きたい	男性	25～29歳	未婚	0人
今は結婚していないが、将来設計として考えている。	男性	25～29歳	未婚	0人
将来的に欲しいが、今は収入面や自分に時間を使いたい気持ちがあるため。	男性	25～29歳	未婚	0人
いずれ結婚したら子供はほしいと考える	男性	25～29歳	未婚	0人
実は生活習慣病で、または(一部編集)を持っています。定期的に受診に通っていますが、いくらなんでも、食べたり運動したりしても体重は減りません。こんな体の状態では、女性とお付き合いできるのか心配です。一様希望としてはあります。	男性	25～29歳	未婚	0人
子供は欲しいが、独身のため想像があまりできない	男性	25～29歳	未婚	0人
今のパートナーとの間に子供が欲しいと思う。時期等については具体的には決めていない。	男性	25～29歳	未婚	0人
欲しいけど今の給料だと不安がある	男性	25～29歳	未婚	0人
相手が現在いないため、あまり想像が出来ないため	男性	25～29歳	未婚	0人
いずれは子どもは欲しいと考えているが、具体的な見通しは持っていない。	男性	25～29歳	未婚	0人
結婚したらほしい	男性	25～29歳	未婚	0人
金銭的な事情に不安がある	男性	30～34歳	既婚	0人

金銭面の心配がある	男性	30～34 歳	既婚	0 人
妻の体調が最優先のため	男性	30～34 歳	既婚	0 人
子どもが欲しくてもできるかどうか不明なため。	男性	30～34 歳	既婚	0 人
子育てを経験したい。子育てをしない限りはずっと子供のままであるという考えを持っている。	男性	30～34 歳	既婚	0 人
金銭的・時間的に少し不安があるが、老後を考えると子供を持ちたいと思う。	男性	30～34 歳	既婚	0 人
自分は子どもがいたら楽しいかと思う反面、出産の怖さやちゃんと育てられるか、(一部編集) あったらどうしようと考えてしまう。年齢も高齢出産に近いので不安がある。	男性	30～34 歳	既婚	0 人
2人目は欲しいが経済的に不安しかない。 もっと手厚い給付金等があるとちょっと不安が軽減される。	男性	30～34 歳	既婚	1 人
第一子が生まれたばかりのためまだ明確な希望が持っていないから	男性	30～34 歳	既婚	1 人
希望はあるが、経済的な面を考えると難しそうと具体的な試算をせずに思っているから。	男性	30～34 歳	既婚	1 人
姉弟がいた方が子どもの為になると思うが金銭的な面で心配	男性	30～34 歳	既婚	1 人
金銭面で余裕がないので子どもは欲しいと考えてはいるが現実的に難しい	男性	30～34 歳	既婚	1 人
家計的に難しいと思うので余裕があればもう 1 人は欲しいとは思っている	男性	30～34 歳	既婚	2 人
必ず欲しいというわけではないから。	男性	30～34 歳	既婚	2 人
経済的に余裕が出来ればもう 1 人ほしい。	男性	30～34 歳	既婚	2 人
明確にいつほしいかが決まっていない。また、今の環境で子どもを育てていけるか不安だから。	男性	30～34 歳	事実婚	0 人
まだ結婚もしていないので、すぐに決められない	男性	30～34 歳	未婚	0 人
結婚して家庭を持ちたいので	男性	30～34 歳	未婚	0 人
まだ結婚していないから考えにくい	男性	30～34 歳	未婚	0 人
子どもを育てることは必要なことだから	男性	30～34 歳	未婚	0 人
手取りが少ないから	男性	30～34 歳	未婚	0 人
世間体のため	男性	30～34 歳	未婚	0 人
いないよりはいたほうがいい	男性	30～34 歳	未婚	0 人
そもそも、お付き合いしている人がいないため	男性	30～34 歳	未婚	0 人
子供は欲しいと思っているが、まだ結婚していない	男性	30～34 歳	未婚	0 人
7月に子供が産まれます	男性	30～34 歳	未婚	0 人
結婚するかどうかまだ分からないから	男性	30～34 歳	未婚	0 人
自分の事で精一杯で、そこまで本気になれてないからです。	男性	30～34 歳	未婚	0 人
収入等のバランス	男性	30～34 歳	未婚	0 人
なんとなく	男性	30～34 歳	未婚	0 人

1人だとさみしい	男性	30～34歳	未婚	0人
彼女が希望していないため	男性	30～34歳	未婚	0人
子供は欲しいが、具体的な計画、相手はいないため。	男性	30～34歳	未婚	0人
親に孫を見せたいから	男性	30～34歳	未婚	0人
結婚したら子供は欲しいなあーくらいな感じで考えています。	男性	30～34歳	未婚	0人
子供を育てている他の家族が羨ましく思うから	男性	35～39歳	既婚	0人
2人目は欲しいが金銭面に不安があるのでサポートが欲しい。	男性	35～39歳	既婚	1人
もう一人欲しいと考えている。	男性	35～39歳	既婚	1人
もう一人は欲しいがもう少し、生活が落ち着いてからの予定	男性	35～39歳	既婚	1人
できればもう一人欲しい	男性	35～39歳	既婚	1人
経済的理由と健康問題で決断できずにいる	男性	35～39歳	既婚	1人
子どもは2人いてもいいと思ってるから	男性	35～39歳	既婚	1人
少子化もあるので3人目までは可能性はある	男性	35～39歳	既婚	1人
兄弟はいた方がいいと思うから。	男性	35～39歳	既婚	1人
2人子どもがいて、3人目を考えては居るがもう少し子育てが落ち着いてからでもいいかなと迷っている。 あとはタイミング次第。	男性	35～39歳	既婚	2人
昨年子供が生まれたばかりでゆっくりと考える時間がないため	男性	35～39歳	既婚	2人
現在、妻と子供は（一部編集）におり、私は日本で仕事をしているため、別々に暮らしています。将来的にはもう一人子供が欲しいという気持ちはありますが、今の生活状況では具体的な計画を立てるのが難しいため、「ぼんやりと希望している」と回答しました。	男性	35～39歳	既婚	2人
同級生にも子供がいる家庭が増えてきたため	男性	35～39歳	既婚	2人
2人いるのもういいかなと。	男性	35～39歳	既婚	2人
1～2年くらいの間にと思っている	男性	35～39歳	既婚	2人
ぼんやりと今後もう1人産む計画はあるが、その時の年齢や経済状況を考えてどうするか決める予定	男性	35～39歳	既婚	3人
相手の希望次第です	男性	35～39歳	未婚	0人
仕事に時間を取られてしまい、育児と両立する自信がない	男性	35～39歳	未婚	0人
相手がいれば欲しい	男性	35～39歳	未婚	0人
子供が好きなので自分の子供を育ててみたいが、結婚生活を続けられる自信がない。	男性	35～39歳	未婚	0人
まだ結婚をしていないため	男性	35～39歳	未婚	0人
出来たら欲しい	男性	35～39歳	未婚	0人
彼女ができたなら考えようとおもっているので	男性	35～39歳	未婚	0人
未婚のため	男性	35～39歳	未婚	0人
未婚だから	男性	35～39歳	未婚	0人
結婚の予定がないから	男性	35～39歳	未婚	0人

子供がいたらいいと思うが、具体的にどのように育てていくか等は考えていない	男性	35～39歳	未婚	0人
現在パートナーと相談している為	男性	35～39歳	未婚	0人
いずれ結婚し、子育てをして、幸せな家庭を築きたいと思っているが、今現在、結婚出来るような状況にない。	男性	35～39歳	未婚	0人
老後に家族がいないと不安だから	男性	35～39歳	未婚	0人
年内に結婚したいと考えているが、私の両親が結婚を反対しているため	男性	35～39歳	未婚	0人
なんとなく あと、質問とは関係ないのですが、「可能なかぎり」と質問に掲載しているにもかかわらず、必ず回答となっていることに疑問を感じます。	男性	35～39歳	離別	0人
少子高齢化で今後高齢者を支える立場の人が少なくなりつつあるから。また子どもを育てることに興味があるから	女性	18・19歳	未婚	0人
キャリアウーマンに憧れがあるから	女性	18・19歳	未婚	0人
今の恋人との子供が欲しいから。一緒に子供を育てたいから。	女性	18・19歳	未婚	0人
子供を持ちたいと思うが、不安を感じる面もあるから。	女性	18・19歳	未婚	0人
子供が好きだから。	女性	18・19歳	未婚	0人
2人以上ほしいけど、いつ、何人、までは考えていない	女性	18・19歳	未婚	0人
経済面やその時自分が1番頑張りたいこと次第	女性	18・19歳	未婚	0人
子供が欲しいとは思いますが、まだ現実的に考えてはいないから。	女性	18・19歳	未婚	0人
時期や人数など考えたりしているから	女性	18・19歳	未婚	0人
金銭面が厳しいので、きちんと考えてから産みたいから	女性	20～24歳	既婚	0人
大学を出て就職したばかりで収入も少なく、子供を持ちたいという気持ちはあれど収入面の不安から現状維持の気持ちが強いため。	女性	20～24歳	既婚	0人
1人目を産んだばかりで大変なのと、2人目を育てられる経済力がない	女性	20～24歳	既婚	1人
子どもはほしいが、できないかった時のショック軽減したいため、ぼんやりとしか話さない	女性	20～24歳	既婚	1人
子供は欲しいが、自分ごととしてまだ現実的ではない	女性	20～24歳	未婚	0人
健康やお金の事を考えてみてから決めてみたい	女性	20～24歳	未婚	0人
まだ学生の身であるためぼんやりという感じです。	女性	20～24歳	未婚	0人
金銭面の問題	女性	20～24歳	未婚	0人
憧れがあるから。	女性	20～24歳	未婚	0人
相手がいなし、まだ子供のことを考えられるほどの人間性ではないから	女性	20～24歳	未婚	0人
子どもは育ててみたいとが、まだ先のことだと思っているから	女性	20～24歳	未婚	0人
恋人がいる為	女性	20～24歳	未婚	0人

いずれ子どもを持ちたいという願望はありますが、自分の生活でいっぱい今の世の中で結婚をし子どもを育てることはかなり高い壁だと感じています。	女性	20～24 歳	未婚	0 人
子育てをできる自信はないが、子どものいない人生も寂しい気がするから。子どもがいないと、周囲になじめないのではないかと思う。	女性	20～24 歳	未婚	0 人
子どもは欲しいが、いつ、という明確な算段はたっていないから。	女性	20～24 歳	未婚	0 人
プロポーズされて、今年中に結婚を予定しているので、式が終わったら 1 年以内には子供を授かりたいと考えています。パートナーとは 2 人欲しいね、と話しており、もし妊娠に踏み込むのであれば、不妊治療もしたいと話しています。まだ、入籍もしていないのでどうなるかは分かりませんが結婚したら不妊検査を受けたいと考えてます。	女性	20～24 歳	未婚	0 人
子どもが好き	女性	20～24 歳	未婚	0 人
パートナーも私もまだ学生で考えるには早いと感じている	女性	20～24 歳	未婚	0 人
賑やかな家族にしたいから	女性	20～24 歳	未婚	0 人
仕事があるため、いつ産むかは具体的に決められていないため。	女性	20～24 歳	未婚	0 人
相手がいないのと、金銭面的に心配だから。	女性	20～24 歳	未婚	0 人
出来たら良いなあ～程度	女性	20～24 歳	未婚	0 人
親の苦勞を知りたい 現実の予算の不安がある 相性の良い相手といつ結ばれのか分からない	女性	20～24 歳	未婚	0 人
持ちたいと考えてはいるが、まだ学生のため将来の経済状況などが確定しておらず具体的には希望出来ずにいる。	女性	20～24 歳	未婚	0 人
まだ結婚する予定が全くないため	女性	20～24 歳	未婚	0 人
結婚して子供が欲しいから	女性	20～24 歳	未婚	0 人
20 代後半には子どもを産みたい	女性	20～24 歳	未婚	0 人
2 人くらいは欲しいなと思ってる	女性	20～24 歳	未婚	0 人
29 歳までに第 1 子出産	女性	20～24 歳	未婚	0 人
結婚したら妊娠できるように準備したい	女性	20～24 歳	未婚	0 人
将来欲しいなというぼんやりとした思いはありますが、現在は仕事のことなど子供を持つ以前に必死に向き合っているものがあり、具体的な考えには及んでいないため。	女性	20～24 歳	未婚	0 人
子どもはほしいが、周囲の支援や十分なお金がないと、子育ては困難であると考えているため。	女性	20～24 歳	未婚	0 人
わかんない	女性	20～24 歳	未婚	0 人
だいたい何人くらい欲しいという目安だけあるから	女性	20～24 歳	未婚	0 人
子供を持ちたいと考えているが、現給料ではすぐにとは考えられない。	女性	20～24 歳	未婚	0 人

今の自分の家族のように自分の家庭を持ちたいから。	女性	20～24 歳	未婚	0 人
いつか欲しいという夢程度なため	女性	20～24 歳	未婚	0 人
将来的には希望しているが今はまだいいと思うから。	女性	20～24 歳	未婚	0 人
絶対にほしいというわけではないけど子どもは好きだし将来的には子どもを持つのかと考えているから	女性	20～24 歳	未婚	0 人
ぼんやりとは考えているがまだ現実的ではなく分からないから。	女性	20～24 歳	未婚	0 人
将来、子どもは欲しいと思うが、年齢的にまだその段階ではないため。	女性	20～24 歳	未婚	0 人
将来的には子どもを持ちたいと思っていますが、今すぐという訳ではないため	女性	25～29 歳	既婚	0 人
時期が決まっていないため。	女性	25～29 歳	既婚	0 人
子供欲しいけど必ず欲しいというわけではない。	女性	25～29 歳	既婚	0 人
30 歳までに子供は欲しいなと考えている	女性	25～29 歳	既婚	0 人
今後も授かれたら子どもを欲しいと考えているけど、具体的な時期などは考えていない。経済面等を考えながらになるかと。	女性	25～29 歳	既婚	0 人
将来的には 2 人くらい持ちたい希望がある	女性	25～29 歳	既婚	0 人
数年以内に出産できればと考えているから。	女性	25～29 歳	既婚	0 人
既に 1 人いるが今後また希望するかはまだ考えられていないので。	女性	25～29 歳	既婚	1 人
数年内にもう一人子供がほしい	女性	25～29 歳	既婚	1 人
経済的に少し余裕ができたなら考えている	女性	25～29 歳	既婚	1 人
期間や人数は決めていない	女性	25～29 歳	既婚	1 人
経済状況によるため	女性	25～29 歳	既婚	1 人
生活状況をよく考えて検討したいため	女性	25～29 歳	既婚	1 人
金銭面の不安	女性	25～29 歳	既婚	2 人
ほしいけど金銭面とか自分の時間とかの問題がある	女性	25～29 歳	既婚	2 人
家計が整ったら	女性	25～29 歳	既婚	2 人
既に 2 人いるから。授かりものだから。	女性	25～29 歳	既婚	2 人
金銭的に余裕ができたなら授かりたいと思う。	女性	25～29 歳	既婚	2 人
現在抱えている問題を解決してからでないとは困難なため	女性	25～29 歳	事実婚	0 人
現在の生活ではっきりとしたイメージが付かないから	女性	25～29 歳	未婚	0 人
なんとなくです	女性	25～29 歳	未婚	0 人
自分自身が生活するのに精一杯 子供を安定して育てられる自信が無い 出産への不安がある	女性	25～29 歳	未婚	0 人
いつか結婚したら自分の子どもを育てたい。親に孫をみせたい。	女性	25～29 歳	未婚	0 人
いつかは子供は欲しいが、結婚をしていない、金銭的にも不安なため。	女性	25～29 歳	未婚	0 人
父母を見て自分も家庭を持つのかなと何となく感じているから	女性	25～29 歳	未婚	0 人

欲しい気持ちはあるが、ちゃんと育児ができるか不安だから。	女性	25～29 歳	未婚	0 人
まだ未婚なため。	女性	25～29 歳	未婚	0 人
1 人～2 人くらいを希望	女性	25～29 歳	未婚	0 人
授かり物だから	女性	25～29 歳	未婚	0 人
現在の恋人に 3 年以内に結婚しようと言われていて、子供の希望人数なども話している。理想は 2 人産みたいと思っているが、核家族で子育てとなると体力的にも経済的にも 1 人産むのが限界のように思う。	女性	25～29 歳	未婚	0 人
子供は欲しいが、未婚であるためまだ明確には決まっていないため。	女性	25～29 歳	未婚	0 人
自分が不妊治療必要かどうか分からないから	女性	25～29 歳	未婚	0 人
次世代に繋げるため	女性	25～29 歳	未婚	0 人
なんとなく、社会通念的に(?)、適齢期になれば自然と子どもを持つのだろうと考えていますが、具体的な年齢や人数は全く想像が付きません。子どもに関わる仕事をしています、自分が親になり子を育てるという現実的なイメージが湧かないです。	女性	25～29 歳	未婚	0 人
交際相手との家族が欲しいから	女性	25～29 歳	未婚	0 人
20 代のうちに 1 人は欲しいなって感じです	女性	25～29 歳	未婚	0 人
子供は欲しいが、付き合っている相手もいないし、具体的に婚活などを行っているわけではないから。	女性	25～29 歳	未婚	0 人
まだ結婚してないため。 すぐに子供を欲しいとは思ってないため。	女性	25～29 歳	未婚	0 人
出生前診断を必ず行い可能であれば 2 人か 3 人くらい子供が欲しい。	女性	25～29 歳	未婚	0 人
まだ今は現実味がないが今のパートナーとの将来を想像した時に幸せなんだろうと思えるため	女性	25～29 歳	未婚	0 人
子どもは持ちたいが、自身の現在の生活では金銭面健康面で不安があるためまだぼんやり。数年後には具体的にしたい。	女性	25～29 歳	未婚	0 人
特に予定はないが結婚したら欲しいと思う	女性	25～29 歳	未婚	0 人
今は自分のやりたいことがあるが将来的にはほしい	女性	25～29 歳	未婚	0 人
未婚のためいつかできたらいいなという希望のため	女性	25～29 歳	未婚	0 人
欲しいとは思いますが、相手あつてのことであることもあり、具体的なことをいえない状況。	女性	25～29 歳	未婚	0 人
いたらいいのかな、と思うけど自分はその状況(結婚し子育てをすること)になるイメージが湧かない また、切望もしていないから	女性	25～29 歳	未婚	0 人
子どもが好きなので子どもと一緒に過ごす未来をぼんやりと描いています。	女性	25～29 歳	未婚	0 人
子孫を残したい	女性	25～29 歳	未婚	0 人

いつかは欲しいが、具体的時期までは考えていない	女性	25～29 歳	未婚	0 人
時期は決めていないがいたらいいなと思う。 とはいえ直近は金銭的に希望していない。	女性	25～29 歳	未婚	0 人
相手がまだいない	女性	25～29 歳	未婚	0 人
子どもはもちたいが、1 人の問題ではないので	女性	25～29 歳	未婚	0 人
結婚の予定がない	女性	25～29 歳	未婚	0 人
結婚できるか分からないから	女性	25～29 歳	未婚	0 人
今の子供の事を考えると作るか悩むから	女性	25～29 歳	未婚	1 人
全国的に少子高齢化なので	女性	25～29 歳	離別	1 人
3 人子供が欲しいとおもっている	女性	25～29 歳	離別	2 人
子供に兄弟姉妹は作ってあげたいが、具体的な行動はしていないから	女性	25～29 歳	その他	1 人
できれば欲しいと考えている	女性	30～34 歳	既婚	0 人
年齢や経済的なことも考慮して、2 年以内に子どもを持ちたいな と思っている。	女性	30～34 歳	既婚	0 人
今妊娠中で、実際になかなかお金がかかるし収入が少なく、まだ出 産できていないけど生活が苦しい状況。お金があれば 3 人まで 産みたいと思っている。	女性	30～34 歳	既婚	1 人
物価高、高い税金、大雪などもう 1 人子供を持つには障害が多 すぎる。いまいる子供に寂しい思いや負担をかけてまで親のエ ゴで兄弟を増やして良いのかと悩んでいる	女性	30～34 歳	既婚	1 人
2 人目は欲しいが時期は仕事や家庭環境で具体的ににならない	女性	30～34 歳	既婚	1 人
なんとなく	女性	30～34 歳	既婚	1 人
望んではいるが時期やタイミングは決めていないためぼんやり と希望にした。	女性	30～34 歳	既婚	1 人
ひとりっ子でさみしくないように兄弟がいた方がいいかなと思 っています。	女性	30～34 歳	既婚	1 人
2 人目を希望しているが、経済的に、また仕事との両立不安から 現実的ではないと感じている。	女性	30～34 歳	既婚	1 人
いつか 2 人目はほしい	女性	30～34 歳	既婚	1 人
私は妊娠を望んでいるが、配偶者はそうじゃなく、話し合いが必 要だから。	女性	30～34 歳	既婚	1 人
第 1 子を出産したばかりなので、まだすぐにはありませんが、 いずれは 2 人目もほしいなと思っています。	女性	30～34 歳	既婚	1 人
昨年出産してまだ半年ほどしかたっていないため。	女性	30～34 歳	既婚	1 人
欲しいが金銭的に苦	女性	30～34 歳	既婚	2 人
3 人目が欲しいと思いつつも経済的な面などで悩んでいる	女性	30～34 歳	既婚	2 人
もし授かれたらもう 1 人産みたいと思うから。	女性	30～34 歳	既婚	2 人

現在子供は2人いる為、3人目がほしいけれども経済面も不安があります。子供部屋を2つで作っているため、部屋問題もあり悩み中。	女性	30～34歳	既婚	2人
金銭的にもう1人育てられるかが心配	女性	30～34歳	既婚	2人
経済的負担が気になる	女性	30～34歳	既婚	2人
余裕が出来たらもう1人欲しい	女性	30～34歳	既婚	2人
経済面の不安	女性	30～34歳	既婚	2人
3人目が欲しいが金銭面が厳しいので諦めかけている	女性	30～34歳	既婚	2人
3人目が欲しいが転職もしたい。今の仕事を辞められず、育休や手当てなどの問題もありなかなか難しい。お金に余裕があれば手当てのことを考えなくても良いのと思います。出産後、退院するまで上のきょうだいを誰が見るか、など壁がある	女性	30～34歳	既婚	2人
もう1人授かれたらとは思いますが、急いではいないから、ぼんやりと希望しているにした。	女性	30～34歳	既婚	2人
金銭面の問題	女性	30～34歳	既婚	2人
自分の体調が整わないため 子供はもう1人居てもいいなあと思う	女性	30～34歳	既婚	2人
3人目をいつ頃望もうか考え中のため	女性	30～34歳	既婚	2人
欲しいとは思いますが出来るかどうかは別の話だと思う	女性	30～34歳	未婚	0人
子どもが好きだから。	女性	30～34歳	未婚	0人
子供は可愛いとは思いますが、金銭、精神的に厳しいだろうと思う	女性	30～34歳	未婚	0人
ほしいなと思いつつ授かりものでもあるのと金銭的にも余裕があるとはいえないのであまり具体的には考えられていない	女性	30～34歳	未婚	0人
結婚できれば欲しいと思っている	女性	30～34歳	未婚	0人
自分やパートナーが子供を持てる身体なのか、分からないから。また、小千谷市の冬は厳しく、除雪などがとても大変なので、自分たちが今の状況で子育てできるのだろうかという不安も抱いている。子供を持てたら良いなあ、くらいに思っていた方が精神的に楽だと個人的に感じる。	女性	30～34歳	未婚	0人
はっきりとした計画や予定は今のところないが、将来的には必ず子どもを産み、小千谷で育てたいと思っているため	女性	30～34歳	未婚	0人
子供が欲しい気持ちはあるが不安も大きい	女性	30～34歳	未婚	0人
考えているが、未婚のため具体的には考えられない	女性	30～34歳	未婚	0人
子育てはお金もかかり大変なイメージがあるので、必ずしも子どもが欲しいわけではないが、タイミングが来れば欲しいかなとも思う	女性	30～34歳	未婚	0人
結婚相手探しを行っており、詳細は相手と相談すべき内容だと考えているから	女性	30～34歳	未婚	0人

自身の老後を考えると子どもが必要だと思うため	女性	30～34歳	未婚	0人
婚活中ですが、結婚できたら子供がほしいです。	女性	30～34歳	未婚	0人
結婚相手が見つければ欲しい	女性	30～34歳	未婚	0人
年齢的に高齢出産なので。	女性	35～39歳	既婚	0人
必ず欲しいという強い希望ではないため	女性	35～39歳	既婚	0人
いつかは欲しい	女性	35～39歳	既婚	0人
高齢出産のリスクの心配もあり、妊娠出産やその後のお金の心配があるため。	女性	35～39歳	既婚	0人
もう1人欲しいとは思いますが、上の子の先天性の病気と経済的な事を考えると躊躇してしまいます。	女性	35～39歳	既婚	1人
子供も欲しいけど、経済的な心配や子供の体調不良の際の仕事のことを考えるとなかなか難しい	女性	35～39歳	既婚	1人
2人目がほしいが、年齢や家族のサポート、金銭的なことが不安で踏み切れずにいるから。	女性	35～39歳	既婚	1人
ひとりっ子だとかわいそうだから。 子供は2人欲しいと思うから。	女性	35～39歳	既婚	1人
1人目で自身の貯金を切り崩し、2人目が出来た場合、夫に負担が増える。また妊娠中のつわりと出産後、(一部編集)で1ヶ月まともに動けなかったことを考えると上の子を見ながら2人目を育てることは難しい。小千谷市の将来的な分娩体制も不安で、(一部編集)の産婦人科がなくなったら上記の環境で長岡に通えない。2人目を希望するのは可愛いとか兄弟を作ってあげたいという安易な感情論で現実的ではない。	女性	35～39歳	既婚	1人
子どもが好きだから	女性	35～39歳	既婚	1人
1人目も妊活のうえ、難産で出産になり、お金も仕事にも負担がかかった。同居でもないし、1人目を育てながら妊活して出産するイメージが現状キツすぎて、できたら嬉しいけど、難しいだろうなと思うから。	女性	35～39歳	既婚	1人
現在の状況が好転したら第二子を考えている	女性	35～39歳	既婚	1人
出来ることならもう1人子どもを欲しいとは思いますが金銭面を考えると厳しいから	女性	35～39歳	既婚	1人
すでに2人子供がおり、3人目が欲しいと言う気持ちはあるが、不妊治療に踏み切るには、通院する時間が避けない事や自分の体力がもつのがハードルになっている。	女性	35～39歳	既婚	2人
3人目が欲しいが、育てられるか不安	女性	35～39歳	既婚	2人
仕事と調整しながら子どもを授かりたいから	女性	35～39歳	既婚	2人
2人子供がいるので3人目は検討中	女性	35～39歳	既婚	2人
3人目の教育費や生活費の不安 年齢的な出産のリスク	女性	35～39歳	既婚	2人

3人目が欲しいが、金銭面や年齢を考えると躊躇する 仕事も現在フルタイムだが、今後このまま2人だろうと3人だ ろうと子育てしていく上で、子どもにとってこれでいいのかと 迷っている	女性	35～39歳	既婚	2人
自然にまかせるという意味	女性	35～39歳	既婚	2人
既に3人いるので、必ずではないが、もう1人いたらいいなど 思っている。金銭的な面や自分のキャパ的に育てていけるか不 安はあるため。	女性	35～39歳	既婚	3人
現在保育園児を育児中ですが、既にフルタイムの仕事と育児が 両立できているとはいえない状態で、これ以上子どもが増える とフルタイムは無理そう。でも収入が減ると生活できない。でも 可能ならもう一度出産がしたい。	女性	35～39歳	既婚	3人
4人の子育て中で、現実的にいろいろ考えることは多々ありま すが、子どもが好きで、女性は産める期限があるため悩む	女性	35～39歳	既婚	4人以上
ご縁があったら	女性	35～39歳	未婚	0人
歳も歳だしまだ未婚の為子供が産める年齢で結婚出来たら子供 が欲しいと思っている	女性	35～39歳	未婚	0人
子どもは欲しいが未婚のため	女性	35～39歳	未婚	0人
できれば欲しいが、年齢もあり難しいと考えてる	女性	35～39歳	未婚	0人
年齢的に遅いとは思いますが、自分の子供は一人でも欲しいと思う。	女性	35～39歳	未婚	0人
自分の子どもを持ちたい気持ちはあるが今現在、独身のため。	女性	35～39歳	未婚	0人
いつかは、ぐらいの気持ち	女性	35～39歳	未婚	0人
出来たら嬉しいけど、出来なくても仕方ない	女性	35～39歳	未婚	0人
希望はするが現実的に子育てしていける余裕がない	女性	35～39歳	未婚	0人
お金がかかるから	女性	35～39歳	未婚	0人
現在婚活中ですが、パートナーがいないのでパートナーが現れ てから話し合う予定です。	女性	35～39歳	未婚	0人
離婚していて、新たに婚姻の予定がないため	女性	35～39歳	離別	1人
子供が好きなのでもう1人はほしいと思うから	女性	35～39歳	離別	1人
なんとなく	回答しない	18・19歳	未婚	0人
1人欲しい	回答しない	25～29歳	事実婚	0人
子どもを持ちたいと思いつつながら、自分が親としてつとめられる かが不安であるため。	回答しない	25～29歳	未婚	0人

※特になし、なしの回答（7件）

子どもを持つことを「今のところ希望していない」回答理由	性別	年齢	婚姻状況	子の人数
あまり結婚する気がない	男性	18・19歳	未婚	0人
メリットを感じない	男性	18・19歳	未婚	0人
金銭面での不安がある	男性	18・19歳	未婚	0人
子どもがいると負担が大きすぎる	男性	18・19歳	未婚	0人
自分に子育てはできないと思っているから	男性	18・19歳	未婚	0人
欲しいと思わない	男性	20～24歳	未婚	0人
結婚をしたいとは考えているが精神的に不安定でそれらのことを考えていられない	男性	20～24歳	未婚	0人
特にイメージできない	男性	20～24歳	未婚	0人
結婚のハードル、今は自分のことでいっぱい	男性	20～24歳	未婚	0人
相手から遺伝性の病気を遺伝させたくないと伝えられているため	男性	20～24歳	未婚	0人
自分は、無職で将来に希望が無いから	男性	20～24歳	未婚	0人
経済的な不安から	男性	20～24歳	未婚	0人
幸せにできる確信が持てないから	男性	20～24歳	未婚	0人
自分のことでいっぱい想像できない	男性	20～24歳	未婚	0人
自分のことで手一杯なので考えようと思わない。いずれ持ってもいいかもというぐらい。	男性	20～24歳	未婚	0人
金銭的、身分的余裕がないため	男性	20～24歳	未婚	0人
独身がいい	男性	20～24歳	未婚	0人
そもそも結婚願望が今の所ないため	男性	20～24歳	未婚	0人
結婚もしたくないので、子供も必要ない	男性	20～24歳	未婚	0人
現在は学生のため	男性	20～24歳	未婚	0人
結婚する気がない	男性	20～24歳	未婚	0人
仕事で忙しいから	男性	20～24歳	未婚	0人
教えないない	男性	25～29歳	既婚	0人
子供を育てられるほどの金がないから。金があったとしても子供に対して自身の少ない余暇時間を割きたくないから。金と時間が有り余っている状況にならない限り子供はいらない。	男性	25～29歳	既婚	0人
金銭的な理由	男性	25～29歳	既婚	2人
2人産まれたし、経済的に厳しい。 まず小千谷市にこれと言って遊ぶところもない。	男性	25～29歳	既婚	2人
金銭面など考えると二人で十分と思ってしまう。3人目を考えるメリットが特に感じられない。	男性	25～29歳	既婚	2人
金銭面等、不安が大きい為	男性	25～29歳	既婚	2人
既に2人いるから	男性	25～29歳	既婚	2人
そのままの答え	男性	25～29歳	既婚	4人以上
子供に苦しい人生を歩ませたくないから	男性	25～29歳	未婚	0人

子どもを育てる能力が自分にあるとは思えない 自分の面倒も見れないのに子供の面倒はなおさら見れない そもそも子育てって面倒くさそう	男性	25～29歳	未婚	0人
年齢	男性	25～29歳	未婚	0人
結婚の希望がないので、子どもを育てることを考えられない。	男性	25～29歳	未婚	0人
全弟が血を残すので	男性	25～29歳	未婚	0人
結婚する気がない	男性	25～29歳	未婚	0人
結婚できる能力が無い	男性	25～29歳	未婚	0人
子育てができる自信がない	男性	25～29歳	未婚	0人
結婚する気がないから。	男性	25～29歳	未婚	0人
自己管理すら怪しいので子供を持つ余裕がない	男性	25～29歳	未婚	0人
子供を愛するより妻を愛したい	男性	25～29歳	未婚	0人
親のために結婚や子供を作るように思うことはあっても、自分自身に結婚願望や子供が欲しいとおもうことはなく、それではあまり付き合う相手に良くないと思っているため	男性	25～29歳	未婚	0人
結婚もしておらず、貯蓄もまだ十分に無いため	男性	25～29歳	未婚	0人
相手いない 金が無い	男性	25～29歳	未婚	0人
子供を持つことは幸福などのメリットよりも、金銭面や子ガチャなどといった懸念要素及びデメリットが圧倒的に多いと考えている為。	男性	25～29歳	未婚	0人
自身の給与で子供を養育することがむずかしく感じる。自身の時間を大切にしたい。	男性	30～34歳	既婚	0人
経済的な理由から	男性	30～34歳	既婚	1人
1人子供がいて、収入が少ない為	男性	30～34歳	既婚	1人
金銭的に難しい	男性	30～34歳	既婚	1人
1人で十分	男性	30～34歳	既婚	1人
収入的に二人でいっぱいいっぱい。大学まで無償化だったり、せめて給食費の免除などがあると助かるし、3人目産むともっと色々なことが優遇されたり、免除されなら3人欲しいなと思う人も増えるんじゃないかなとおもいます	男性	30～34歳	既婚	2人
費用的に3人は厳しい為	男性	30～34歳	既婚	2人
金銭的にも、精神的にも生活に余裕がないから	男性	30～34歳	既婚	2人
現在2人の子供がおり、経済的、体力的に3人目を考える余裕がないため	男性	30～34歳	既婚	2人
これ以上の子供は育てきれない余裕がないと思うから	男性	30～34歳	既婚	2人
金銭的不安	男性	30～34歳	既婚	2人
子供を増やしたいが、経済的に厳しい。	男性	30～34歳	既婚	2人
経済的、体力的に厳しそう	男性	30～34歳	既婚	2人
育児が大変なので	男性	30～34歳	既婚	2人

二人いるし、三人目ができても、今の所得では不安	男性	30～34歳	既婚	2人
フルタイム勤務の共働きで、子どもに向き合う時間が取りにくい。勤務時間が2時間程度短く、同じ収入ならもう1人、2人育てることも可能かもしれない。	男性	30～34歳	既婚	2人
経済的問題、メンタル的な問題	男性	30～34歳	既婚	2人
経済的にもう1人は厳しい	男性	30～34歳	既婚	2人
子供2人いるから。	男性	30～34歳	既婚	2人
2人以上は考えてないため	男性	30～34歳	既婚	2人
金がない	男性	30～34歳	既婚	2人
これ以上の子どもを今のところ望んでいないため	男性	30～34歳	既婚	2人
子供はもう十分なため	男性	30～34歳	既婚	2人
3人以上は経済的に厳しい	男性	30～34歳	既婚	3人
そもそも子供いない。	男性	30～34歳	未婚	0人
金銭の問題	男性	30～34歳	未婚	0人
想像がつかない	男性	30～34歳	未婚	0人
結婚や子育てに関しての経済的な余裕がないため。	男性	30～34歳	未婚	0人
お金がかかるため	男性	30～34歳	未婚	0人
仕事と生活で手一杯	男性	30～34歳	未婚	0人
自信が無い。	男性	30～34歳	未婚	0人
子どもを持つということは、どんな子ども・どんな状況であっても責任を持って育てるということであり、自身の経済面・人間性を考慮して子どもを持たない方が賢明であると判断しました。	男性	30～34歳	未婚	0人
育児に費やせる金銭と時間の余裕がないため。	男性	30～34歳	未婚	0人
結婚のビジョンが見えない	男性	30～34歳	未婚	0人
子育てをする自分が一切想像できない為(自分の性格的に)	男性	30～34歳	未婚	0人
自分がやりたい活動に専念するため	男性	35～39歳	既婚	0人
健康面で子供を育てられる状態ではない。	男性	35～39歳	既婚	0人
1人でいっぱい	男性	35～39歳	既婚	1人
現在子どもが1人。2人目は考えていないため	男性	35～39歳	既婚	1人
今から2人目を育てるというモチベーションはないから	男性	35～39歳	既婚	1人
生活費が高くなる	男性	35～39歳	既婚	1人
歳も歳なので	男性	35～39歳	既婚	2人
子供を育てていく上での金銭面の余裕や時間の余裕がないため	男性	35～39歳	既婚	2人
3人目は考えていないため	男性	35～39歳	既婚	2人
すでに子育てのため	男性	35～39歳	既婚	2人
生計と希望のバランス	男性	35～39歳	既婚	2人
3人以上は、育児コスト、住居のキャパからして厳しい。家族で出掛ける際、軽自動車では足りない。	男性	35～39歳	既婚	2人
既に子供がいるから	男性	35～39歳	既婚	2人

すでに子供を2人育てており、妻の妊娠出産や育児の負担を考えると3人目以降は現実的でないと感じるため。	男性	35～39歳	既婚	2人
すでに希望の人数いるから。	男性	35～39歳	既婚	2人
息子と娘がおり、男女に偏りが無い事。 年齢、体力的、金銭的に不安がある為。	男性	35～39歳	既婚	2人
年齢的に。将来に希望が持てない。	男性	35～39歳	既婚	2人
経済的に厳しいことと、ワンオペになる事が多く2人でも今のところはきつい。	男性	35～39歳	既婚	2人
すでに2人子どもがおり、3人目以降は金銭面的にも難しいため	男性	35～39歳	既婚	2人
3人目は考えていない	男性	35～39歳	既婚	2人
経済的・体力的に3人目は難しいと思う	男性	35～39歳	既婚	2人
年齢的に	男性	35～39歳	既婚	2人
2人で十分	男性	35～39歳	既婚	2人
ある程度自由時間を確保したいため	男性	35～39歳	既婚	2人
2人がいいと夫婦で話し合ったため	男性	35～39歳	既婚	2人
現在、経済は依然として困難に直面しています。	男性	35～39歳	既婚	2人
子育てにお金がかかるから	男性	35～39歳	既婚	2人
2人いるため3人目以降は経済的にも厳しい	男性	35～39歳	既婚	2人
子どもをすでに2人授かっており、家族計画は十分達成されているため	男性	35～39歳	既婚	2人
もう子どもが2人いるので、これ以上は	男性	35～39歳	既婚	2人
金銭的に厳しい	男性	35～39歳	既婚	2人
金銭的に余裕がない	男性	35～39歳	既婚	2人
経済的に余裕がないから	男性	35～39歳	既婚	2人
新たに子育てをする体力もないし、経済的にも厳しい。また、今の家が手狭になり建て替えをしないとイケなくなる。	男性	35～39歳	既婚	2人
経済的に無理なため	男性	35～39歳	既婚	2人
既に2人いるため、これ以上は必要ないと考えている。	男性	35～39歳	既婚	2人
子供は多い方がいいが、これ以上は金銭的に難しい。	男性	35～39歳	既婚	3人
すでに3人の子どもに恵まれており、現在の家族構成に満足しているため	男性	35～39歳	既婚	3人
既に子供が3人いるから	男性	35～39歳	既婚	3人
すでに3人いて、これ以上は色々大変だから考えていない	男性	35～39歳	既婚	3人
3人子どもがいる。手当等が充分であれば希望する。	男性	35～39歳	既婚	3人
すでに3人いるため。	男性	35～39歳	既婚	3人
これ以上は家計が厳しい	男性	35～39歳	既婚	3人
すでに子供4人いるので不要	男性	35～39歳	既婚	4人以上
現状4人の子どもがいるので十分	男性	35～39歳	既婚	4人以上
金銭面、またお互いの自由の時間が無くなるため	男性	35～39歳	事実婚	0人

金銭的理由の為	男性	35～39 歳	未婚	0 人
養い育てる自信がない	男性	35～39 歳	未婚	0 人
相手がいない	男性	35～39 歳	未婚	0 人
独身で結婚の予定もないので。	男性	35～39 歳	未婚	0 人
家庭の事情（母親が病気で入院中。）	男性	35～39 歳	未婚	0 人
経済的に余裕を感じないため	男性	35～39 歳	未婚	0 人
子供が苦手だから	男性	35～39 歳	未婚	0 人
子育ての自信が無い	男性	35～39 歳	未婚	0 人
自分が生まれてきてよかったとは思ってないです。今はインターネットが発達したせいで、便利な面もあるが自分の子供の頃より、子供が生きづらくなっていると思います。それによって子供につらい人生を歩ませたくないから。	男性	35～39 歳	未婚	0 人
家庭を持つこと、パートナーを求めている	男性	35～39 歳	未婚	0 人
子育ては自分に向いてなさそうだから	男性	35～39 歳	未婚	0 人
経済的、身体的、精神的に負担がかかる為	男性	35～39 歳	未婚	0 人
（一部編集）	男性	35～39 歳	未婚	0 人
未婚のため	男性	35～39 歳	未婚	0 人
一人で居ることに不安や不満がない。逆に相手を持つことにストレスを感じるとともに経済的に余裕がない	男性	35～39 歳	未婚	0 人
金銭的な余裕が無いというよりも、仕事が忙しく精神的な余裕が無いため。結婚は近々考えているが 2 人の時間を大切にしたいと考えているため。	男性	35～39 歳	未婚	0 人
未婚のため	男性	35～39 歳	未婚	0 人
年齢と健康状態を考えると希望はしない	男性	35～39 歳	離別	1 人
お金がかかる	女性	18・19 歳	未婚	0 人
経済状況	女性	18・19 歳	未婚	0 人
子育てに自信がないから。	女性	18・19 歳	未婚	0 人
夫婦間でお互いに余裕がなくなってしまうそうだから。家族ができるとうことは幸せなことなのに、それがきっかけでお互いの余裕がなくなり亀裂が入ってしまうのが嫌です。	女性	18・19 歳	未婚	0 人
相手がいないから	女性	18・19 歳	未婚	0 人
・自分が子供を育てられると思えないから。	女性	18・19 歳	未婚	0 人
今の自分の経済状況的にまだ子供を養うだけの余裕がないのと、子供を産み育てるメリットが今の段階では考えられないため	女性	20～24 歳	未婚	0 人
いろんなことが遺伝したらかわいそうだから	女性	20～24 歳	未婚	0 人
子供が好きじゃない	女性	20～24 歳	未婚	0 人
精神的に子供を育てるほど立派だと思っていないから。金銭的にも多額の奨学金を返すのが第一優先だと考えるから。	女性	20～24 歳	未婚	0 人

金銭的な不安と精神面で子育てに向いていないと思っているから。また、出産・子育てに伴うデメリット(仕事の調整・スキルダウンや出産時の痛み、近所付き合い)が大きいと感じるから。	女性	20～24歳	未婚	0人
子供を育てる余裕はない。今のパートナーとの時間を優先したい	女性	20～24歳	未婚	0人
パートナーを作る気がない	女性	20～24歳	未婚	0人
結婚願望がない	女性	20～24歳	未婚	0人
子育てできる自信がないから。	女性	20～24歳	未婚	0人
お金がかかるため	女性	20～24歳	未婚	0人
子育て出来る自信がないから。	女性	20～24歳	未婚	0人
経済面及び自分の(一部編集)を子どもに遺伝させたくないため	女性	20～24歳	未婚	0人
育児ができる自信がない	女性	20～24歳	未婚	0人
育てていく自信と覚悟がまだ持っていないから	女性	20～24歳	未婚	0人
お金がかかる 精神的な負担になる リスクしかない 自由がなくなる	女性	20～24歳	未婚	0人
同性愛者であるため	女性	20～24歳	未婚	0人
今のところ希望していません。今後、考えようと思います	女性	20～24歳	未婚	0人
現在の貯金では子どもにお金をかけることができない	女性	20～24歳	未婚	0人
今お金も時間もなくて、不安だから。 出産する時の病院代とか、その間会社休まないといけないのとか、そういうの考えるとちょっとお金無くなるだろうなと思って、なかなか考えられない。パートナーともそう話し合っている。もし産むとしたら、支援が多くある地域に住んで産みたい。	女性	20～24歳	未婚	0人
出産が怖いから。また、現在、PMS や月経困難症の症状を緩和するために(一部編集) 将来もし出産を考える時、休業しなければならないこと、それによって症状が抑えられないことも怖いから。	女性	20～24歳	未婚	0人
子どもが苦手だから	女性	20～24歳	未婚	0人
子供までの面倒やメンタル管理ができないと感じるから	女性	20～24歳	未婚	0人
若いうちは仕事に専念したい。	女性	20～24歳	未婚	0人
1人で過ごしたいという思いが強いため。仕事を頑張りたいため。子育てに漠然とした不安があるから。	女性	20～24歳	未婚	0人
・女性側なので体調が悪くなったり痛みが出るのが怖い ・すごく大きなお金がかかる ・まだ精神的に育てられる歳じゃないと思っている	女性	20～24歳	未婚	0人
市内で結婚する気がない	女性	20～24歳	未婚	0人
1人いる	女性	20～24歳	離別	1人
お金がかかる 自分の時間がなくなる	女性	25～29歳	既婚	0人

重症悪阻で2ヶ月入院、切迫早産で2ヶ月自宅安静、（一部編集）だった為次の妊娠が怖い	女性	25～29歳	既婚	1人
1人目を出産し、妊娠出産がとても体に負担がかかりつらかったためもう経験したくない。	女性	25～29歳	既婚	1人
金銭面に余裕がないから	女性	25～29歳	既婚	1人
既に二人いて、これ以上は金銭的に苦しくなるから。 金銭的に余裕があれば3人目ほしい。 あとキャリア的にこれ以上休むのはしんどいと思っている。	女性	25～29歳	既婚	2人
2人目が産まれたばかりなのと3人目は今の所考えていないため。	女性	25～29歳	既婚	2人
金銭的余裕がないため	女性	25～29歳	既婚	2人
物価高なのにも関わらず、個人負担があることを考えると希望していません。	女性	25～29歳	既婚	2人
既に3人いてお金に余裕がないから。	女性	25～29歳	既婚	3人
こんな市政では子供を育てていける環境ではない。	女性	25～29歳	既婚	3人
・自分に子育てをこなせる自信がないから ・そもそも結婚願望がないから	女性	25～29歳	未婚	0人
そもそも結婚の予定が無いことと、相手がいない。 もし仮にいたとしても自分自身の生活で余裕がなく、精神的にも金銭的にも作ろうと思えない。	女性	25～29歳	未婚	0人
どうやって持つかわからない	女性	25～29歳	未婚	0人
子育てする自信や経済力がないため。	女性	25～29歳	未婚	0人
子供を持つことに魅力を感じていないため	女性	25～29歳	未婚	0人
相手がいない お金がない	女性	25～29歳	未婚	0人
経済的な理由	女性	25～29歳	未婚	0人
興味はあるが、子どもがいる事で自分の人生を我慢することになると思うから。経済的なことを考えて希望していないというより、仕事のストレスに加えて子育てのストレスが加わるということが想像に耐えない。仕事で疲れて帰ってきて休む時間が圧倒的に減ることが考えられない。	女性	25～29歳	未婚	0人
自分で子育てをするビジョンが見えない	女性	25～29歳	未婚	0人
自分が仕事をしながら子育てをできるとは思わないため。	女性	25～29歳	未婚	0人
・ノンセクシャルの可能性大 ・子どもを欲しいと思ったことがない ・自分を生かすので精一杯 ・趣味一直線	女性	25～29歳	未婚	0人
見通しが立たない	女性	25～29歳	未婚	0人
子どもを持ちたいと思えない	女性	25～29歳	未婚	0人

服薬しているため、妊娠したくてもできない。また、金銭的な問題や自分のことでいっぱいなので、他人の世話をしている場合ではない。	女性	25～29 歳	未婚	0 人
今は欲しいと思っていないから。結婚に憧れがあまりないため。	女性	25～29 歳	未婚	0 人
自分のことで精一杯で、子供を育てていける自信がないから。今のところ欲しいという願望がないから。	女性	25～29 歳	未婚	0 人
子宮の病気なので。	女性	25～29 歳	未婚	0 人
結婚をするつもりが一切ないし、産みたくない。仮に子どもが欲しくなったとしても産むくらいなら里親になる。そもそも余計なお金が掛かる他人を人生設計に含みたくない。	女性	25～29 歳	未婚	0 人
今一緒にいる人と 2 人で幸せに暮らせればそれでいいと思っているため	女性	25～29 歳	未婚	0 人
教育費がかかる、育児をしながら今の仕事ができると思わない。	女性	25～29 歳	未婚	0 人
自分のことで手一杯だから	女性	25～29 歳	未婚	0 人
結婚したくないから	女性	25～29 歳	未婚	0 人
既に 1 人いるけどもう子育てする余裕がありません	女性	25～29 歳	未婚	1 人
物価高騰に加え、子供に苦しい思いをさせないように稼げば手当は減らされ、両親の手を借りなければ育てられない。これで子供を産むというのはあまりにも非現実的で無責任だから。	女性	25～29 歳	未婚	1 人
シンママだから	女性	25～29 歳	離別	2 人
経済的、身体的、精神的に負担がかかるとってしまう 子供が好きではない デメリットとしか捉えられない	女性	30～34 歳	既婚	0 人
健康面、経済面で不安がある	女性	30～34 歳	既婚	0 人
金銭的に余裕がないので考えていないのと、子供を産むことで子供自身が苦勞する世の中である事が目に見えている為。	女性	30～34 歳	既婚	0 人
年齢とこの後の将来を考えていない	女性	30～34 歳	既婚	0 人
自身のキャリアや育児キャバを鑑みて希望していない。	女性	30～34 歳	既婚	1 人
既に子ども 1 人いるのと現在地妊娠中であり、経済状況や子育て支援等を考えると 2 人以上子どもを持つのは厳しいと考えているため	女性	30～34 歳	既婚	1 人
不妊治療と悪阻がとても苦痛だったから。	女性	30～34 歳	既婚	1 人
大学卒業までの養育費を用意できる自信がないから	女性	30～34 歳	既婚	1 人
犬でじゅうぶん	女性	30～34 歳	既婚	1 人
・無痛分娩を 24 時間対応している病院ができればいいと思っている ・出産費用無料 ・出産前と出産後のいろいろな手続き、書類などをもっと簡単にしてほしい	女性	30～34 歳	既婚	1 人

<ul style="list-style-type: none"> ・男の育休を強制してほしい。会社によって取れないところもある ・育休手当が少なすぎる ・いろんな手当が入金されるのが遅すぎる ・保育園3歳以下も無料 				
現在妊娠中で臨月。産まれてきた子どもを育てていくことがまずは第一であるため、今の所は考えてない。	女性	30～34歳	既婚	1人
もう二人いるから	女性	30～34歳	既婚	2人
希望人数産んだため	女性	30～34歳	既婚	2人
経済的理由	女性	30～34歳	既婚	2人
経済的な理由	女性	30～34歳	既婚	2人
<p>経済的不安</p> <p>幼稚園などの役員をなるべくしたくない</p> <p>祝日に会社が出勤日だった時にたびたび休まなければいけない</p> <p>風邪などの病気になったときも会社を休まなければいけない</p> <p>子育てに追われて自分の時間がとれない</p>	女性	30～34歳	既婚	2人
2人目を出産したばかりだから	女性	30～34歳	既婚	2人
年齢的にはまだ産めますが、とにかくお金が無いので現実的ではなく、いわゆる産み控え状態です。もし仮にお金の面で心配が無かったとしたら、子供好きなので産めるだけ産んでただろうなと思います。	女性	30～34歳	既婚	2人
3人目の子どもは経済的に不安があるため	女性	30～34歳	既婚	2人
不妊治療が心身ともに負担な為。	女性	30～34歳	既婚	2人
現在の子どもを育てるので手一杯と考えるから。	女性	30～34歳	既婚	2人
子育てが大変すぎる。お金がかかって養育できない	女性	30～34歳	既婚	2人
2人で精一杯	女性	30～34歳	既婚	2人
子どもの人数に満足しているから	女性	30～34歳	既婚	2人
2人以上は経済的に余裕がないため	女性	30～34歳	既婚	2人
自分の余裕と、経済的な余裕が生まれたら考えたいと思っているため	女性	30～34歳	既婚	2人
子供は2人で十分だと思うため。	女性	30～34歳	既婚	2人
現在、子どもが2人いるため。3人目はハードルが高い。(核家族であり、私自身フルタイムの仕事なので)	女性	30～34歳	既婚	2人
今いる2人で以上は望まない。経済的にももう一人増える余裕が持てないため。	女性	30～34歳	既婚	2人
<ul style="list-style-type: none"> ・現在2人子どもがいること、30歳を越えたため出産のリスクが高まるなかでの妊娠・出産は希望しない ・金銭的に余裕がない 	女性	30～34歳	既婚	2人
2人子どもいるので	女性	30～34歳	既婚	2人

金銭的にも体力的にも限界だし、今いる 2 人の子育てをしながら自分の人生を楽しみたい。	女性	30～34 歳	既婚	2 人
経済的に養えないから。	女性	30～34 歳	既婚	2 人
2 人いて下の子が（一部編集）が必要なので今は考えられない	女性	30～34 歳	既婚	2 人
希望の人数いるから	女性	30～34 歳	既婚	3 人
今の生活に余裕がないため	女性	30～34 歳	既婚	3 人
すでに 3 人おり、これ以上は望んでない	女性	30～34 歳	既婚	3 人
既に 3 人の子どもがいる為	女性	30～34 歳	既婚	3 人
4 人子供がいていっぱいいっぱいになっているから。市や県からもう少し補助などがあれば考えたい。	女性	30～34 歳	既婚	4 人以上
子供 4 人も恵まれたので満足	女性	30～34 歳	既婚	4 人以上
金銭面や育児の自信がないこと、どうしても女性が主体にならないといけないことが多く不安しかかないため。 自身が男性だったら希望していたかもしれません。	女性	30～34 歳	未婚	0 人
未婚のため。	女性	30～34 歳	未婚	0 人
（一部編集）なので生まれてくる子どもにも遺伝して苦勞するのではないかと考えてしまうため。好きな作品にお金を注ぎたいので子どもが出来ると負担になるから。	女性	30～34 歳	未婚	0 人
子孫を残すことが必要ではないと感じるため。	女性	30～34 歳	未婚	0 人
子供が嫌い産みたくないため	女性	30～34 歳	未婚	0 人
結婚願望もないため	女性	30～34 歳	未婚	0 人
自分の子孫を残したくないから この社会で子供を産んだ場合、経済面や現在の社会状況では生きていくのに生まれてくる子供が可哀想だから	女性	30～34 歳	未婚	0 人
自分が子供を産んで育てるという未来が見えない。	女性	30～34 歳	未婚	0 人
仕事が忙しくて、考える時間がまだ無いです。	女性	30～34 歳	未婚	0 人
母親のロールモデルが身近にいないから。子どもと触れ合った経験が少なく、どうやって遊んで良いのか分からないから。仕事を休みたいから。	女性	30～34 歳	未婚	0 人
（一部編集）の経験があり、おそらく出産や育児のストレスに自身が耐えられないため。	女性	30～34 歳	未婚	0 人
子供は好きだが、自身が子育てをしたいと思えない	女性	30～34 歳	未婚	0 人
自分のコンプレックスが似てしまう可能性があるため踏み切れないから。	女性	30～34 歳	未婚	0 人
子供があまり好きではないから	女性	30～34 歳	未婚	0 人
結婚自体も希望が無く、子どもが好きという訳でもないため	女性	30～34 歳	未婚	0 人
自分の親を見てそう思った。仕事だから仕方ないと、自分がほとんど放置されて育ったのを大人になって理解して、自分もそうなるんだろうなと思っているから。	女性	30～34 歳	未婚	0 人

仕事で疲れて出産育児をする体力がない。仕事と両立できない。子どもが苦手。	女性	30～34 歳	未婚	0 人
子供を望まないから	女性	30～34 歳	未婚	0 人
今は子どもを持ちたいという気持ちがないから。	女性	30～34 歳	未婚	0 人
離婚を控えていて将来のことを今、考えたくないから	女性	30～34 歳	離別	0 人
離婚しているの。	女性	30～34 歳	離別	1 人
1人で十分だから	女性	30～34 歳	離別	1 人
子供をもうけても経済的にも精神的にも負担にしかならない。子育て支援金が出たとしても足りないし、仕事も夫婦揃って子育てを優先した働き方が出来ない。確実にワンマン育児になるのが見えている。	女性	35～39 歳	既婚	0 人
子供を養える程の経済的余裕が無いから	女性	35～39 歳	既婚	0 人
妊娠に恵まれなかったことから、2人で生きていくと決めた。夫婦2人の生活が自身に合って子どもを持ちたいとは思わない	女性	35～39 歳	既婚	0 人
子供が嫌い。産んでみればかわいいといわれるが、愛情を持たなかったら代わりに育ててくれるのか？ 重度の（一部編集）を持っていたら経済的に援助してくれるのか？ 乳児院などの施設に入れたら親として～なんて周りに言われるのがわかっています。何よりそんな実験のような意味で子供を持ったら子供がかわいそうで、子供を持つという選択はなくなりました。	女性	35～39 歳	既婚	0 人
自身が（一部編集）で、適切な育児ができる精神状態に無いから。	女性	35～39 歳	既婚	0 人
不妊で授かれません	女性	35～39 歳	既婚	0 人
仕事で多忙なため	女性	35～39 歳	既婚	0 人
一人で十分だから。これ以上増やすと上の子への愛情がなくなりそうだから。	女性	35～39 歳	既婚	1 人
まだ一才に満たないので考えられない。	女性	35～39 歳	既婚	1 人
すでに1人子どもがいるため	女性	35～39 歳	既婚	1 人
年齢が理由	女性	35～39 歳	既婚	1 人
主人の年齢、世帯の都合からこれ以上子どもを産み育てることは難しいと判断した	女性	35～39 歳	既婚	1 人
we decided to have one child only.	女性	35～39 歳	既婚	1 人
早発閉経のため	女性	35～39 歳	既婚	1 人
育てる自信がないのと、金銭的に不安なため	女性	35～39 歳	既婚	1 人
経済的、精神的なキャパを考えて子供は1人でいいかなと思っている	女性	35～39 歳	既婚	1 人
・高齢出産になってしまうので ・育児と仕事の両立が難しい ・金銭面	女性	35～39 歳	既婚	1 人
年齢的にもですが、本当は3人子供が欲しかったけど金銭的に	女性	35～39 歳	既婚	2 人

2人でやめました。				
年齢的、経済的に考えて	女性	35～39歳	既婚	2人
3人目は希望していないため	女性	35～39歳	既婚	2人
子供は好きだが、子供が希望する進路を選ばせてあげられるか（金銭面など）の不安はある。物価が全てが高くなっているの で、簡単に決断することはできない。	女性	35～39歳	既婚	2人
既に2人いるので	女性	35～39歳	既婚	2人
賃上げも期待できない中での物価高騰	女性	35～39歳	既婚	2人
お金がかかるから	女性	35～39歳	既婚	2人
経済的に困難	女性	35～39歳	既婚	2人
これから妊娠、出産となると年齢や家庭環境もあり育てる自信 はない。	女性	35～39歳	既婚	2人
歳をとったから	女性	35～39歳	既婚	2人
元々2人がよかったから。 年齢、金銭、体力的にこれ以上は作る気はない。	女性	35～39歳	既婚	2人
夫婦共にフルタイムで働いていても金銭面が厳しいと感じてい る（特に贅沢な生活はしていない）事、体力的にも子供2人で精 一杯である。	女性	35～39歳	既婚	2人
子供が2人おり、現状で満足している。経済的、身体的、精神的 負担を考えると、子供を増やす事に踏み切れない。	女性	35～39歳	既婚	2人
経済的にも現在のふたりが限界	女性	35～39歳	既婚	2人
現在いる子どもで手一杯	女性	35～39歳	既婚	2人
家族計画で予定人数通り産まれてくれて育てているので満足し ているから希望はしてないですが、もし自然に授かることがあ れば産みたいです。	女性	35～39歳	既婚	2人
年齢的にもう出産や子育ては難しいと考えて、積極的には希望 していない。	女性	35～39歳	既婚	2人
年齢的に不安を感じているから	女性	35～39歳	既婚	2人
すでに2人子どもがいるが、経済的にも時間的にも精神的余裕 を考えた時にこれ以上を望んでいないから	女性	35～39歳	既婚	2人
子供2人いるので満足している	女性	35～39歳	既婚	2人
現在2人いてそれ以上は無理	女性	35～39歳	既婚	2人
すでに2人いるから	女性	35～39歳	既婚	2人
すでに希望の人数子どもがいる為	女性	35～39歳	既婚	2人
2人子どもがいるのでこれ以上は体力的に、仕事環境的に、産め ない	女性	35～39歳	既婚	2人
体力的に無理	女性	35～39歳	既婚	2人
2人いるのでいいかなと感じている	女性	35～39歳	既婚	2人
年齢的に、経済的に	女性	35～39歳	既婚	2人

去年（一部編集）になり患部を手術し、妊娠すると流産になる可能性が高くなったから。	女性	35～39 歳	既婚	2 人
経済的な余裕がないから。（子どもを増やすなら仕事を増やさなければならぬが、家庭の時間がとれなくなる） 小千谷の産科が今後も継続できるのか不安があるから。	女性	35～39 歳	既婚	2 人
もう 2 人いて、手いっぱいなため。仕事の時短で、休みが取りやすく、同じ収入が得られるならもう 1 人欲しいが、今の環境だと難しいため。	女性	35～39 歳	既婚	2 人
新生児を見るともう一度育児をしたいと思う反面、金銭的体力的に考えると難しいと思うため。	女性	35～39 歳	既婚	2 人
子育てにかかるお金や体力に限界を感じるから	女性	35～39 歳	既婚	2 人
もう 2 人いるので、これ以上は考えていない。 金銭的にも、手も 2 つなので、3 人以上の育児に自信が無い。	女性	35～39 歳	既婚	2 人
年齢、金銭的余裕がないから。	女性	35～39 歳	既婚	2 人
現在子どもがおり、今の生活に満足しているため。	女性	35～39 歳	既婚	2 人
既に 2 人いるから	女性	35～39 歳	既婚	2 人
不妊治療をしないと授からないため 仕事もしないといけないので、今現在の子どもで、以降は計画していません。	女性	35～39 歳	既婚	2 人
金銭面的に難しい	女性	35～39 歳	既婚	2 人
すでに 2 人いるから	女性	35～39 歳	既婚	2 人
・高齢出産となり不安なため ・子育てにかかる費用が高額なため ・両親など育児を手伝ってほしい親戚も高齢となり頼るのが難しいため	女性	35～39 歳	既婚	2 人
経済的、年齢的に	女性	35～39 歳	既婚	2 人
3 人目を育てるお金や時間や気持ちの余裕が持てない為。	女性	35～39 歳	既婚	2 人
2 人子どもがいるため	女性	35～39 歳	既婚	2 人
経済的、年齢的、体力的に今の子供たちを育てることで手一杯だから。	女性	35～39 歳	既婚	2 人
今は 2 人の子供の育児、家事、仕事に精一杯の為。 育児や家事を手伝ってくれる家族がいれば 3 人目も欲しいが、今のところその環境にいない	女性	35～39 歳	既婚	2 人
すでに子どもが 2 人いるから	女性	35～39 歳	既婚	2 人
子どもがすでに 2 人いるので。	女性	35～39 歳	既婚	2 人
2 人で子育ては十分だと感じたから	女性	35～39 歳	既婚	2 人
年齢的にも金銭的にも無理だと思ったから	女性	35～39 歳	既婚	2 人
もうすでに 2 人の子育て中。やっと小学生になり仕事も再就職先したので今の生活を壊したくない	女性	35～39 歳	既婚	2 人

金銭的に余裕がないから。	女性	35～39 歳	既婚	2 人
すでに子供がいるので、これ以上は経済的にも体力的にも厳しい	女性	35～39 歳	既婚	2 人
年齢と金銭的に余裕がないため	女性	35～39 歳	既婚	2 人
子供が 2 人いるから	女性	35～39 歳	既婚	2 人
既に 2 人いるから。3 人目も考えたが現在の経済状況と会社での立ち位置的にもう無理だなと考えた。	女性	35～39 歳	既婚	2 人
30 代後半という年齢を考えると子どもが成人する時には定年が近いし、体力的に厳しいし経済的にも厳しい	女性	35～39 歳	既婚	2 人
①年齢が 35 歳を超えているため今後の妊娠出産の母子の健康リスクが増えると考えているため②現在の自分の経済状況では子ども 2 人の育児が限界であると感じているため③育児をする気力体力が今で精一杯のため④同居の義両親が後期高齢者のため 3 人目をこれから産み育てるとなると将来の両親の介護とのダブルケアになるため⑤家業の交代がすぐに控えているので妊娠出産で仕事に穴を開けられないため⑥(一部編集)で子育てができないことのある義姉とその子どもを親族として支えねばならず、自分の子と合わせ実質的に 3 人の子育てを担っているため。	女性	35～39 歳	既婚	2 人
半年前に第二子を出産したばかりのため、今のところ、今後の予定としては考えられないため	女性	35～39 歳	既婚	2 人
物価高で生活が苦しい中で、もう 1 人ほしいとは思えない。	女性	35～39 歳	既婚	2 人
物価高もあり、年々生活が厳しく、金銭面的に 2 人を育てるだけで精一杯。将来子どもの希望の大学や専門学校に行かせてあげたいという気持ちが強く 3 人は厳しい。	女性	35～39 歳	既婚	2 人
お金がかかる。年齢的なこともある。	女性	35～39 歳	既婚	2 人
帝王切開での出産で、出血量が多く輸血ギリギリだったので次の出産は考えていません。	女性	35～39 歳	既婚	2 人
年齢的な部分と経済的な部分。	女性	35～39 歳	既婚	3 人
3 人欲しいという希望は叶ったので。	女性	35～39 歳	既婚	3 人
3 人で充分	女性	35～39 歳	既婚	3 人
経済的に難しいから。	女性	35～39 歳	既婚	3 人
すでに 3 人子供がおり、今年 3 月に 4 人目も産まれる予定の為。	女性	35～39 歳	既婚	3 人
すでに希望人数の子どもがもっているため。	女性	35～39 歳	既婚	3 人
すでに三人こどもがいるため	女性	35～39 歳	既婚	3 人
育てきれぬお金がない	女性	35～39 歳	既婚	3 人
3 人いるから	女性	35～39 歳	既婚	3 人
現在子供が 3 人いるためこれ以上は望んでいない。年齢的にも経済的にも厳しい。	女性	35～39 歳	既婚	3 人

3人産んだので。	女性	35～39歳	既婚	3人
年齢や体力、金銭面を考えると妊娠はできないと思う。	女性	35～39歳	既婚	3人
既に3人いるので、これ以上は考えられない。年齢的にも体力的にも経済的にも厳しい。	女性	35～39歳	既婚	3人
1番下の子が小学生になり、少しずつ手がかからなくなってきて、自分の時間が少し取れるようになってきたので、その自分時間を楽しみたい。	女性	35～39歳	既婚	3人
3人も子どもがいるので。	女性	35～39歳	既婚	3人
経済的な理由で、産むとしたら4人目になるので。	女性	35～39歳	既婚	3人
既に子が複数おり、これ以上は年齢的にも無理だと考えるため。	女性	35～39歳	既婚	3人
すでに3人子供がいるから	女性	35～39歳	既婚	3人
すでに希望していた人数の子どもがいるため。 また、金銭的に余裕がないため。	女性	35～39歳	既婚	3人
現在の経済状況ではこれ以上の子どもを希望することはできないから。	女性	35～39歳	既婚	4人以上
子どもが5人いるのもう産む予定はないです	女性	35～39歳	既婚	4人以上
子供がいるから。	女性	35～39歳	既婚	4人以上
希望する人数の子どもを既に持てたから	女性	35～39歳	既婚	4人以上
すでに子どもが4人いるため。	女性	35～39歳	既婚	4人以上
我が家はおかげさまで4人の子どもに恵まれました。26歳で第一子を出産し、35歳で四子を出産しました。これからは、4人の子ども達の成長のために全てを捧げるつもりでいます。	女性	35～39歳	既婚	4人以上
4人以上は考えていない。	女性	35～39歳	既婚	4人以上
育てられる自信がない	女性	35～39歳	未婚	0人
子供を育てられる自信がないため	女性	35～39歳	未婚	0人
親が発達傾向があり自分にも遺伝しています。怒りっぽい、こだわりが強いなど村社会では特に生きにくく、自分のエゴで遺伝子を継承しようと思わない事、自分自身も生きにくく自分の人生で精一杯なため。	女性	35～39歳	未婚	0人
希望しないため	女性	35～39歳	未婚	0人
自由に生きたい	女性	35～39歳	未婚	0人
親族間の問題があり、苦勞をかける未来しかないため	女性	35～39歳	未婚	0人
年齢、収入、	女性	35～39歳	未婚	0人
育てていける収入か不安	女性	35～39歳	未婚	0人
結婚しないから。	女性	35～39歳	未婚	0人
子供が好きではないから	女性	35～39歳	未婚	0人
結婚したくないし、子供も欲しくない。子供は嫌い。	女性	35～39歳	未婚	0人
年齢的にもう産めないし、周りで子育てが大変なのを見ている	女性	35～39歳	未婚	0人

から産みたいとも思わない				
望む理由がない 金銭的・身体的に負担が大きく、また安心して子育てできる制度が整っていないと思う。	女性	35～39歳	未婚	0人
年齢	女性	35～39歳	未婚	0人
離婚していること、今後再婚したとしても高齢出産になるため。	女性	35～39歳	離別	1人
ひとり親で再婚は考えていないため。	女性	35～39歳	離別	1人
小千谷市には（一部編集）の他に婦人科も産婦人科もない。子供が出来ても小児科も耳鼻科もとても少ない。ここで子育てをしても何もメリットがない。晩婚化が進む一方でそれに対処する病院や措置が長岡までいかないとない。そんなところで前向きに子育てについて考えられない。今いる子供もここに住ませたいと思うメリットが少なすぎる。	女性	35～39歳	離別	1人
結婚はもうしたくないと思うため	女性	35～39歳	離別	1人
離婚していて、もう既に子供がいるから。年齢的にも。	女性	35～39歳	離別	1人
経済面で難しい	女性	35～39歳	離別	1人
二人いれば十分だから	女性	35～39歳	離別	2人
年齢、金銭を考えた時に現実的ではないから。	女性	35～39歳	離別	2人
子どもが4人いると、再婚が難しい	女性	35～39歳	離別	4人以上
4人いるから	女性	35～39歳	離別	4人以上
パートナーを作るつもりがない	回答しない	18・19歳	未婚	0人
恋愛をしたくない。	回答しない	18・19歳	未婚	0人
彼女がいない	回答しない	25～29歳	未婚	0人
欲しくないから	回答しない	25～29歳	未婚	0人
奇形があるため	回答しない	25～29歳	未婚	0人
今いるから お金がないから	回答しない	30～34歳	既婚	2人
子供が嫌い	回答しない	30～34歳	未婚	0人
子育てを出来る気がしないから	回答しない	30～34歳	未婚	0人
すでに2人いるため	回答しない	35～39歳	既婚	2人
今の子ども達との暮らしで充分だから	回答しない	35～39歳	既婚	2人
すでにいるので	回答しない	35～39歳	既婚	2人
新潟県は給料が低い、かつ雪国なだけあって、光熱費が嵩みます。つまり、生活するだけでいっぱい입니다。すでに子供がいるので、これ以上持つことは、金銭的にも精神的にも難しいです。	回答しない	35～39歳	既婚	2人
アレルギー体質で子どもへの遺伝が怖いから 金銭面での理由	回答しない	35～39歳	未婚	0人
年齢的な問題。	回答しない	35～39歳	離別	0人

※特になし、なし、無回答の回答（3件）

子どもを持つことを「決めていない」回答理由	性別	年齢	婚姻状況	子の人数
恋人とかも居ないし、結婚なんて全く考えられないから。 子どもが欲しい感覚も、いらぬ感覚もわからない。	男性	18・19歳	未婚	0人
自分の将来が全然想像できないから	男性	18・19歳	未婚	0人
そのままの意味	男性	18・19歳	未婚	0人
何も考えないから	男性	18・19歳	未婚	0人
考えていられるほど余裕が無いから	男性	18・19歳	未婚	0人
将来のお金等の事情を考慮してその時に考えたい	男性	18・19歳	未婚	0人
子供を持てば自分の遺伝子や経験を将来に伝えることができ、 日本のためになる。一方、子育ては時間と費用という点で非常に 大変なものであり、子供を持つかどうか悩ましいから。	男性	18・19歳	未婚	0人
今を生きるのに必死で考えた事すらない	男性	20～24歳	未婚	0人
今後の人生どうなるか分かりません	男性	20～24歳	未婚	0人
はい	男性	20～24歳	未婚	0人
今はパートナーを作る予定はないが、余裕ができ、やる事が無 くなった時、もしかしたら…があるため	男性	20～24歳	未婚	0人
(一部編集)があるため、一般的な結婚は難しい	男性	20～24歳	未婚	0人
回答者自身が(一部編集)のため結婚もないと思う	男性	20～24歳	未婚	0人
まだ結婚していない為	男性	20～24歳	未婚	0人
将来のことはまだ考えていない	男性	20～24歳	未婚	0人
結婚しているビジョンが見えない	男性	20～24歳	未婚	0人
結婚しても子供は欲しいと思わない	男性	20～24歳	その他	0人
パートナーがいないため	男性	25～29歳	未婚	0人
もし子供ができて遊ばせる場所などが無いし、小千谷市の会 社全体的に給料が低く生活的にも大変だろうから	男性	25～29歳	未婚	0人
結婚をしていない為	男性	25～29歳	未婚	0人
具体的に今後の人生設計が出来ていないため	男性	25～29歳	未婚	0人
結婚できるかどうか分からないだけ	男性	25～29歳	未婚	0人
お金がない	男性	25～29歳	未婚	0人
決めてない	男性	30～34歳	既婚	0人
子供に向き合える余裕(精神面)が家庭にないと思うため	男性	30～34歳	既婚	1人
結婚していないから	男性	30～34歳	未婚	0人
まだ結婚の予定がなく、仮に結婚したとしても相手と相談して 決めたい。	男性	30～34歳	未婚	0人
まだ欲しいか分からない 子育てへの不安がある	男性	30～34歳	未婚	0人
現状結婚の予定がない為	男性	30～34歳	未婚	0人
子育てができるか不安だから。お金の面	男性	30～34歳	未婚	0人
未婚のため	男性	30～34歳	未婚	0人

そもそも相手が見つかる展望がまったく見えない 今の仕事では出会いも何もない	男性	30～34 歳	未婚	0 人
小千谷市では子育てでは、厳しいと思っているからです。 理由は宅配関係が充実してない(Uber、出前など) 高齢者が多く、村社会文化が強すぎる為 小千谷市が意味のない方向に子育て支援を行っていることが理由です。	男性	30～34 歳	未婚	0 人
わからないため	男性	30～34 歳	未婚	0 人
財政的な不安解消が為されればあるいは	男性	35～39 歳	既婚	0 人
未定	男性	35～39 歳	既婚	1 人
タイミング	男性	35～39 歳	既婚	1 人
金銭面	男性	35～39 歳	既婚	1 人
妊娠中～産後までのお金が足りないんだよ！！	男性	35～39 歳	既婚	2 人
2 人の子どもがいて今後の未来の見通しがつかないため。	男性	35～39 歳	既婚	2 人
2 人目が半年間に生まれたので	男性	35～39 歳	既婚	2 人
きめてない	男性	35～39 歳	既婚	4 人以上
未婚なので	男性	35～39 歳	未婚	0 人
金銭的に家庭と子供を持つことが困難なため (一部編集) の疑いがあり これを遺伝したくないため	男性	35～39 歳	未婚	0 人
子供が欲しい気持ちはあるが、授かるか分からない為。	男性	35～39 歳	未婚	0 人
決めていない	男性	35～39 歳	未婚	0 人
「子供がいる」幸せもあるし、「子供がいない」幸せもある。と いうことを今まで出会った諸先輩達からのお話で考えるよう になりました。 例えば、自分で稼いだ金は自分達の為だけに使いたい(子供いら ない) 子供や孫がいなかったら誰が老後の面倒見るんだ(子供ほしい) 自分自身の状況によって(持病や収入、性格・家族構成等により 可否判断) そんな中でも、一番心に残っている話は「自分自身が人生に対し て辛く苦しいことが多々あった…子供にはそんな思いさせたく ない。だから不要」色々経験談や感情論・綺麗事などあるかと 思いますが「ありのままの」上記の話がすべてではないかなあ… とっております。私自身もその考えに近いです。	男性	35～39 歳	未婚	0 人
今を生きることに必死だから。	男性	35～39 歳	未婚	0 人
相手の意向に沿うつものため	男性	35～39 歳	未婚	0 人
どうしようと考えてないだけ	男性	35～39 歳	未婚	0 人
子供に指し示せる未来も語れる希望も、私には持ち合わせてい ないから。	男性	35～39 歳	未婚	0 人

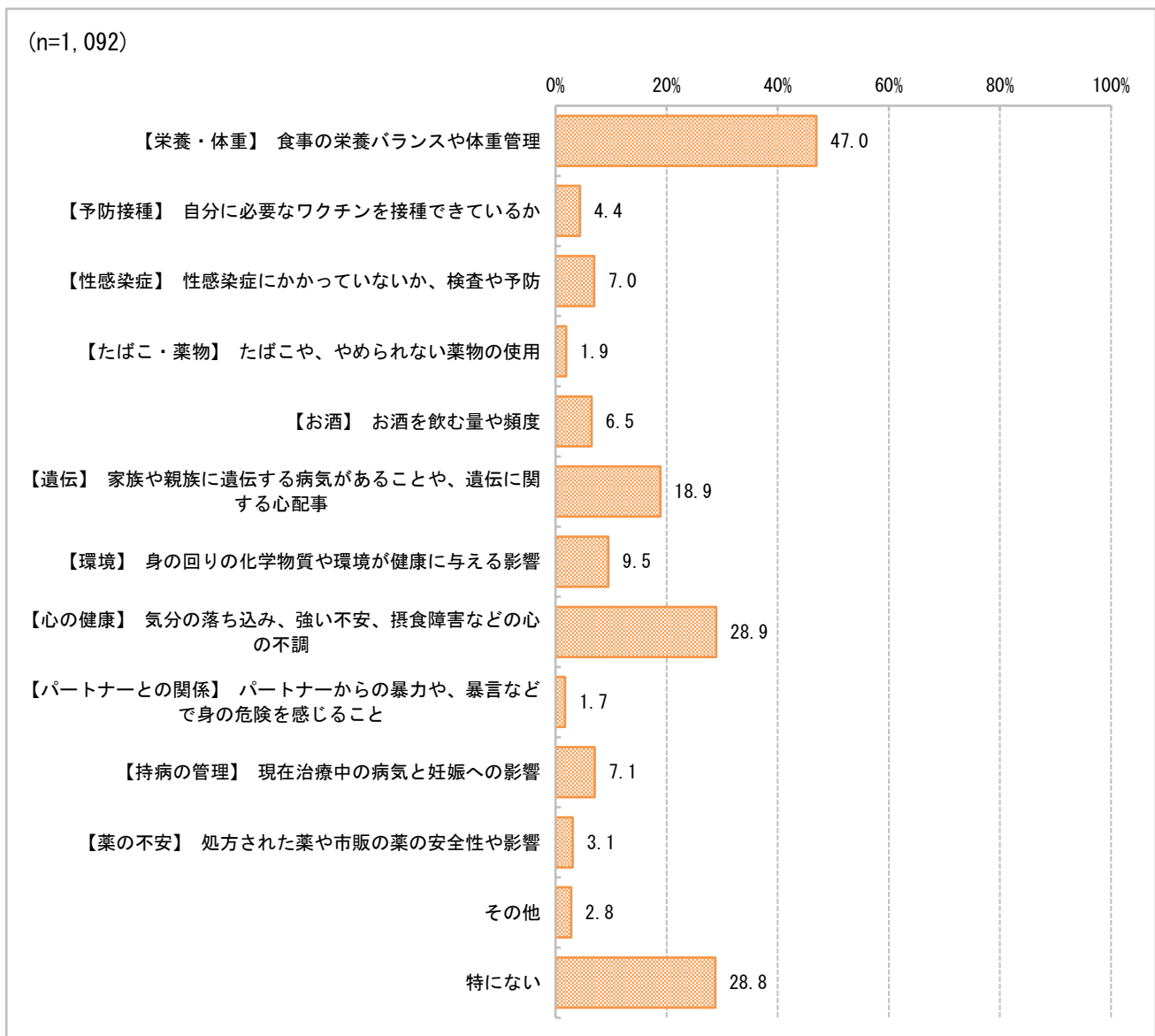
結婚をしてないのでそういう考えになってない	男性	35～39歳	未婚	0人
結婚するかどうかわからない	男性	35～39歳	未婚	0人
今は自分の事で、精一杯だからです。	男性	35～39歳	未婚	0人
人生どうなるか分からないし望んでも恵まれないかもしれない 今、1人で考えるのではなくパートナーとなる方と総合的に話し合い方向性を決めて行きたいと思うから	男性	35～39歳	離別	2人
知りません。	女性	18・19歳	未婚	0人
いない	女性	18・19歳	未婚	0人
結婚のよていがいないため	女性	18・19歳	未婚	0人
まだ先のことで考えていないから。	女性	18・19歳	未婚	0人
怖いから	女性	18・19歳	未婚	0人
結婚する予定がないから	女性	18・19歳	未婚	0人
まだ学業の方に集中したいから	女性	18・19歳	未婚	0人
まだ学生であり、将来についてよく考えていないから。	女性	18・19歳	未婚	0人
夫は子どもが欲しいと言うが、私自身が妊娠出産に対して恐怖心がある 産んだとしてもちゃんと育てられる自信がない	女性	20～24歳	既婚	0人
まだ将来をきちんと考えられていない	女性	20～24歳	既婚	0人
病気を持っているため	女性	20～24歳	未婚	0人
(一部編集)があるから	女性	20～24歳	未婚	0人
Cn ang lm vic	女性	20～24歳	未婚	0人
他のことで忙しいから	女性	20～24歳	未婚	0人
Cha mun kt hn ln chx ngh n	女性	20～24歳	未婚	0人
Vn cn tr	女性	20～24歳	未婚	0人
まずまず恋愛等に関心がないから結婚まで行きつかないし子供とか考えられない	女性	20～24歳	未婚	0人
将来のことについてまだ考えがまとまっていないから。	女性	20～24歳	未婚	0人
そこまで明確に考えたことがない。	女性	20～24歳	未婚	0人
不安が多いから	女性	20～24歳	未婚	0人
学生のため。	女性	20～24歳	未婚	0人
将来のことはわからないため。	女性	20～24歳	未婚	0人
子どもが好きではないから パートナーと2人で過ごしたいから	女性	25～29歳	既婚	0人
子供を育てあげるための、金銭面が不安。	女性	25～29歳	既婚	1人
2人目を育てる余裕が今のところない(金銭的ではなく、気持ち的に)	女性	25～29歳	既婚	1人
お金がない	女性	25～29歳	未婚	0人
結婚とかあまり考えてないから。	女性	25～29歳	未婚	0人
出会いがなく結婚ができない	女性	25～29歳	未婚	0人
理由が無いから	女性	25～29歳	未婚	0人

今は就職のことを優先してるから	女性	25～29 歳	未婚	0 人
自分には難しい	女性	25～29 歳	未婚	0 人
出会いがないため	女性	25～29 歳	未婚	0 人
今は考えられないため	女性	25～29 歳	離別	1 人
現在の生活を維持するので精いっぱいだから。	女性	30～34 歳	既婚	0 人
(一部編集)があるため第二子をどうするか悩んでいるから。	女性	30～34 歳	既婚	1 人
まだ 1 人目が産まれたばかりなのではっきりとは今のところ考えられないです。	女性	30～34 歳	既婚	1 人
結婚したいとは思っていないが、結婚できたらラッキー程度。そのため相手が望めば考えるが、別に欲しいとも思っていないから。また、パートナーとの子供が欲しいと思えるかもわからないから。	女性	30～34 歳	未婚	0 人
子供に興味はあるものの、今の社会情勢で生まれてきた子どもは環境問題や国家間の諍いの影響を大きく受けてしまい幸せになるイメージがないし、もしケアが必要な子どもが産まれた場合、十分な支援がないので共倒れになりそうだと思うから。	女性	30～34 歳	未婚	0 人
結婚してないから	女性	30～34 歳	未婚	0 人
授かり物だから	女性	35～39 歳	既婚	0 人
将来がどうなるか不安だから	女性	35～39 歳	既婚	1 人
欲しい気持ちもあるが年齢的にも金銭的にも厳しいのかなと思っている	女性	35～39 歳	既婚	2 人
2 人いるため	女性	35～39 歳	既婚	2 人
妊娠出産は奇跡の連続、こどもは授かりもののため、希望はしていないが、できたら嬉しいと思う	女性	35～39 歳	既婚	3 人
すでに希望の人数を現在妊娠中だから	女性	35～39 歳	既婚	4 人以上
この家族形態で過ごしたいから	女性	35～39 歳	既婚	4 人以上
授かりものなので	女性	35～39 歳	既婚	4 人以上
子供がいる、いないに関わらず、自分の人生を楽しみたいから。	女性	35～39 歳	未婚	0 人
結婚できるかどうかもわからないから	女性	35～39 歳	未婚	0 人
結婚は、しないからです。相手を見つけないからです	女性	35～39 歳	未婚	0 人
子どもを産んで育てることが具体的に想像できない。	女性	35～39 歳	未婚	0 人
結婚できたら	女性	35～39 歳	未婚	0 人
先のことは分からないから。	女性	35～39 歳	未婚	0 人
相手の意向があるため	女性	35～39 歳	未婚	0 人
先のことは分からないので決めようが無い	女性	35～39 歳	未婚	0 人
パートナーがいないから	女性	35～39 歳	未婚	1 人
自身が経済的、精神的に不安定な状態であるから。	女性	35～39 歳	死別	1 人
既に子供ができない体になっているため	女性	35～39 歳	離別	1 人
とても子供が出来るとは思えないから	回答しない	18・19 歳	未婚	0 人

経済的に厳しい	回答しない	25～29 歳	既婚	3 人
相手の考えもあるので	回答しない	25～29 歳	未婚	0 人
まず相手がない。子供を育てる経済的余裕がない。	回答しない	30～34 歳	未婚	0 人

※特になし、なしの回答（9件）

【Q13】現在、ご自身の健康や身体に関して不安を感じていることはありますか。あてはまるものをすべて教えてください。



複数回答	n	%
全体	1,092	
1 【栄養・体重】 食事の栄養バランスや体重管理	513	47.0
2 【予防接種】 自分に必要なワクチンを接種できているか	48	4.4
3 【性感染症】 性感染症にかかっていないか、検査や予防	76	7.0
4 【たばこ・薬物】 たばこや、やめられない薬物の使用	21	1.9
5 【お酒】 お酒を飲む量や頻度	71	6.5
6 【遺伝】 家族や親族に遺伝する病気があることや、遺伝に関する心配事	206	18.9
7 【環境】 身の回りの化学物質や環境が健康に与える影響	104	9.5
8 【心の健康】 気分の落ち込み、強い不安、摂食障害などの心の不調	316	28.9
9 【パートナーとの関係】 パートナーからの暴力や、暴言などで身の危険を感じる	19	1.7
10 【持病の管理】 現在治療中の病気と妊娠への影響	77	7.1
11 【薬の不安】 処方された薬や市販の薬の安全性や影響	34	3.1
12 その他	31	2.8
13 特になし	314	28.8

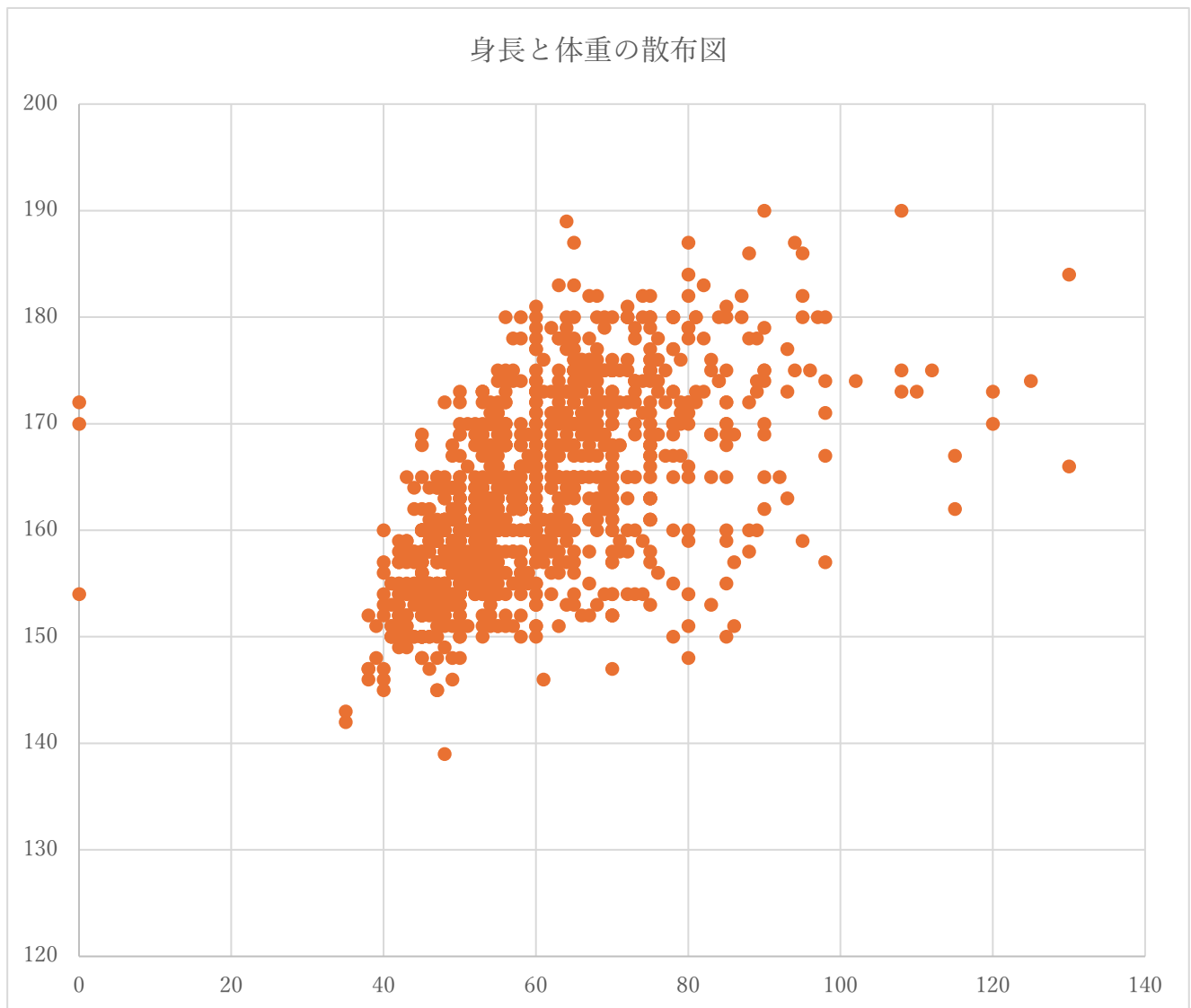
その他の回答

- ・（一部編集）ほどじゃないレベルの心の健康
- ・（一部編集）
- ・家族の飲酒について心配が絶えないこと
- ・妊活
- ・妊娠できるか
- ・自然妊娠しづらい体質
- ・生理不順
- ・（一部編集）と診断されたことがあり、それが（一部編集）を診断されたことがあり、子供に遺伝してしまうか心配
- ・ストレス管理の困難さと睡眠不足
- ・ストレス
- ・仕事等で生じるストレスによる体調不良
- ・仕事へのストレス
- ・睡眠不足（2件）
- ・運動不足
- ・筋力、体力の低下。腰や肩の身体の痛みや不調。
- ・現在、デスクワークで運動が足りてるか不安です。
- ・体の不調がつづいている
- ・身体に多少違和感があっても病院に行かないから自分の身体の状態が分からない
- ・慢性的な腰痛や肩こりなどが年齢を重ねた時にどうなるのか不安
- ・すぐに体調を崩す
- ・体調
- ・糖質
- ・アトピー体質で、頭皮が痒くなりやすい。皮膚科クリニックが小千谷にないこと。
- ・現在目の治療中の不安
- ・持病の管理
- ・金銭的に余裕がないため、不調を感じても受診できない
- ・（一部編集）の悪い評判をよく聞く
- ・まともに見てくれる医療機関が少なく今後が不安。
- ・現在、借家での一人暮らしですが（一部編集）リスクがある病気持ちです。一人の時死んだらどうなるのかな？と純粹に疑問と興味があります。
- ・嫁ぎ先の家庭環境

【Q14】 あなたの身長と体重を教えてください。

記入の際、小数点以下は切り捨て、2桁もしくは3桁の数字を半角でご入力ください。

(任意回答) n=1,057

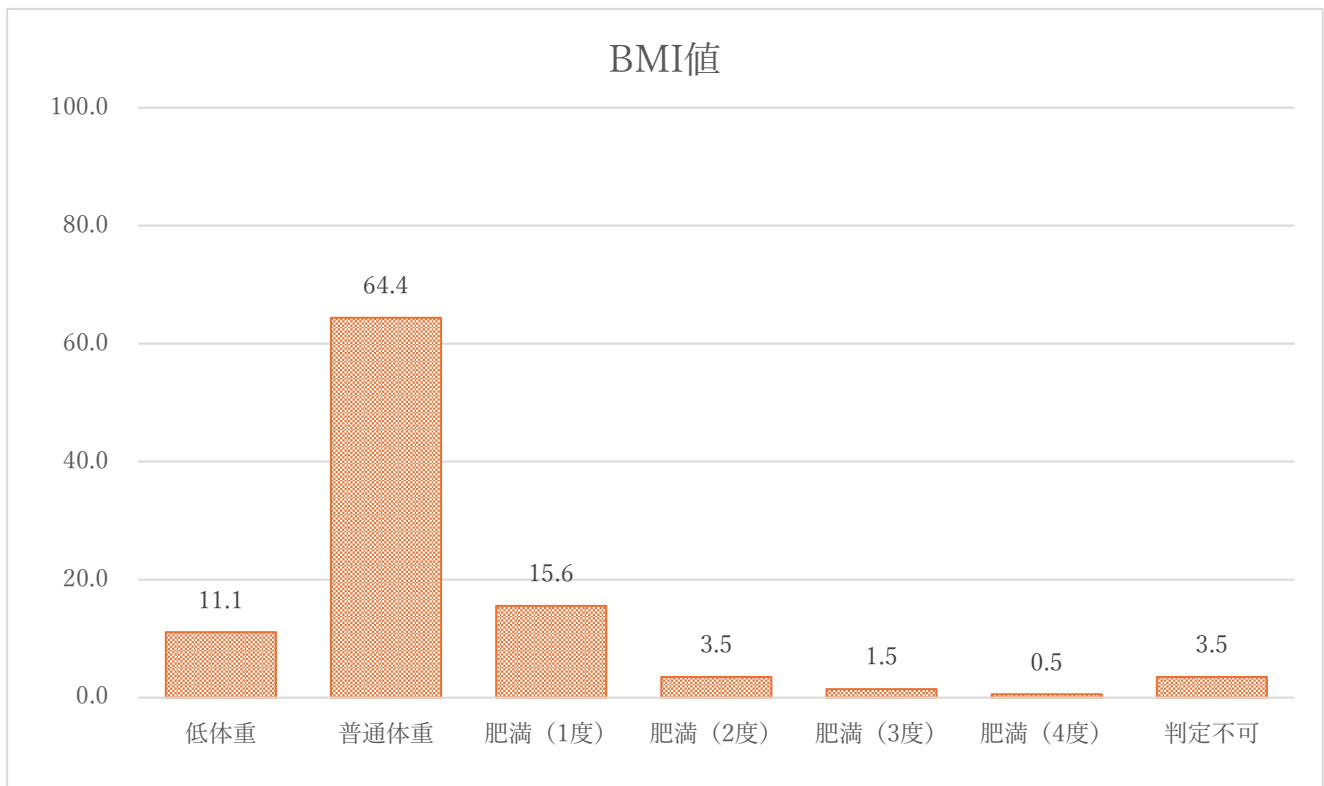


数値回答マトリクス

	全体	有効ケー ス数	合計	平均	標準偏差	最小値	最大値	中央値	無回答
1 身長	1,092	1,057	172,944	163.62	8.80	139.00	190.00	163.00	35
2 体重	1,092	1,054	63,991	60.71	13.90	35.00	130.00	58.00	38

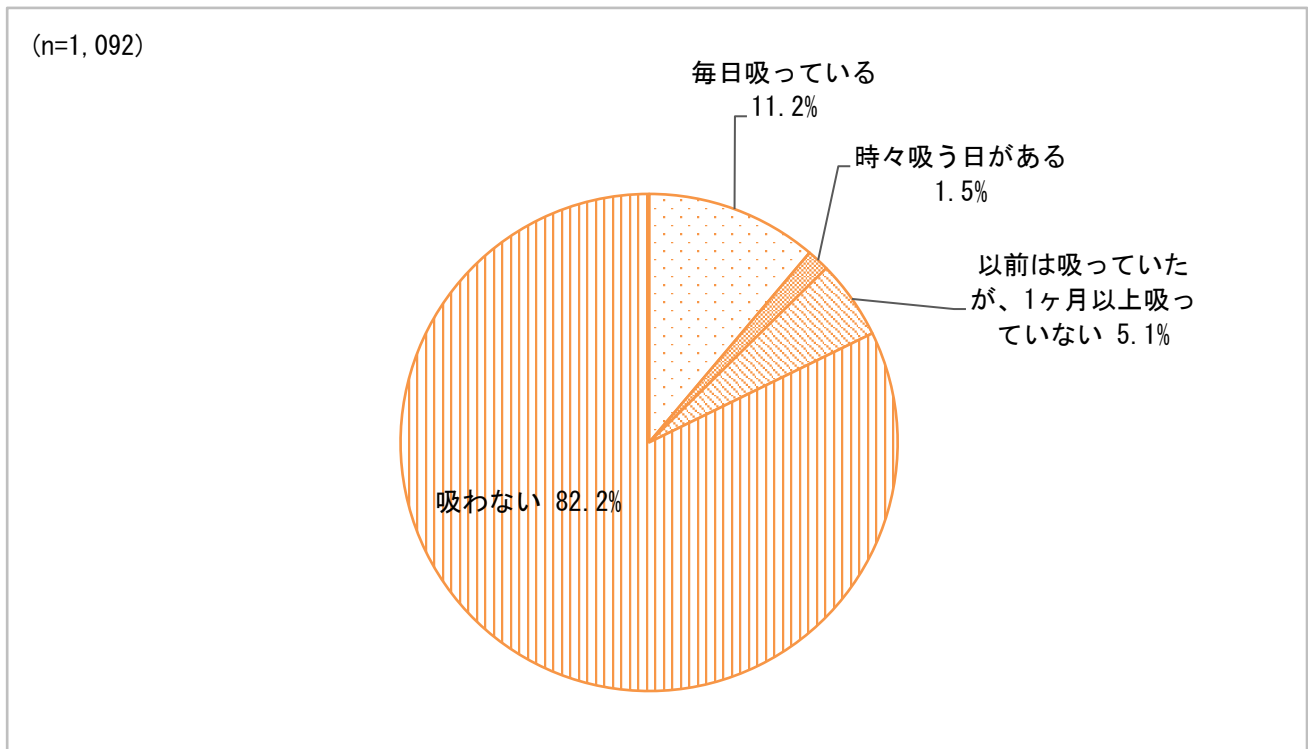
BMI 値として集計

(任意回答) n=1,054



	全体	低体重	普通体重	肥満 (1度)	肥満 (2度)	肥満 (3度)	肥満 (4度)	判定不可
全体	1,092	121	703	170	38	16	6	38
		11.1	64.4	15.6	3.5	1.5	0.5	3.5

【Q15】あなたは、現在タバコを吸っていますか。



単一回答	n	%
全体	1,092	
1 毎日吸っている	122	11.2
2 時々吸う日がある	16	1.5
3 以前は吸っていたが、1ヶ月以上吸っていない	56	5.1
4 吸わない	898	82.2

【Q16】あなたは、1日あたりどのくらいの量を飲酒しますか。

※1合あたりの各酒類の量は下記を目安に換算してください。

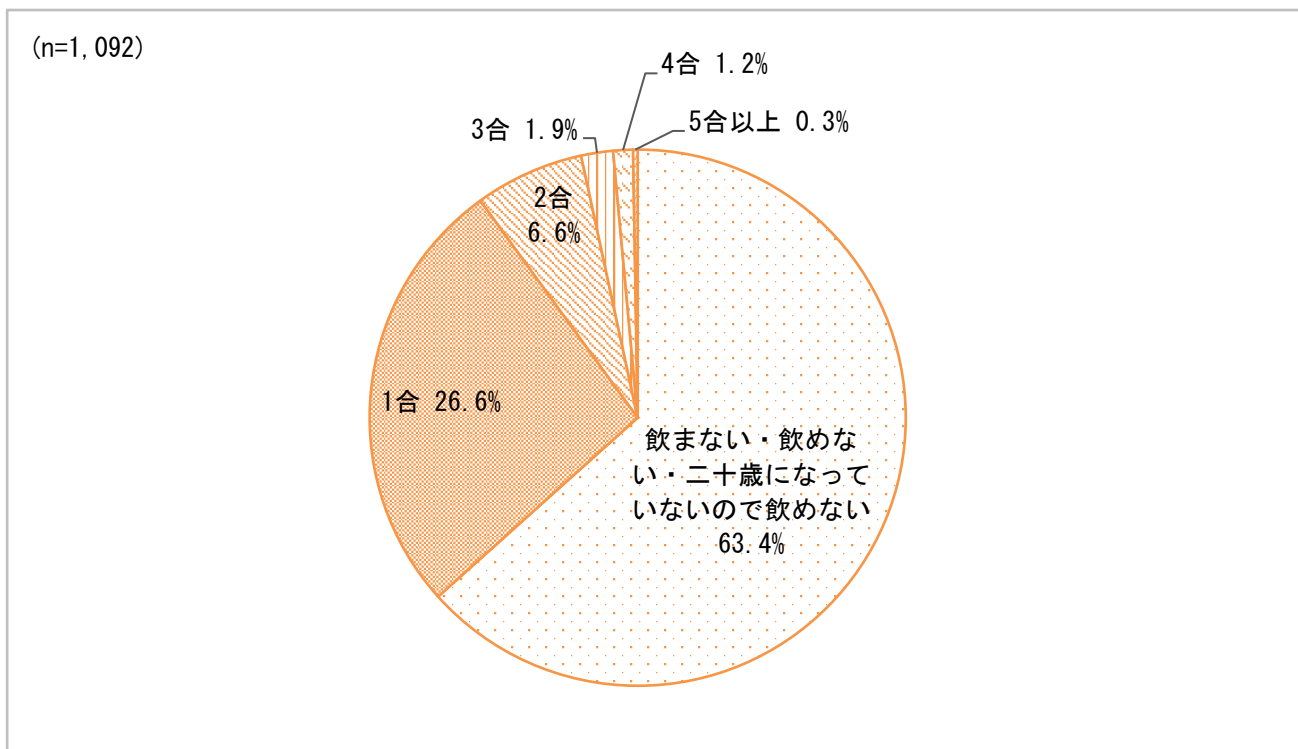
日本酒 1合（アルコール度数 15 度・180ml）

ビール（アルコール度数 5 度・500ml）

焼酎（アルコール度数 25 度・110ml）

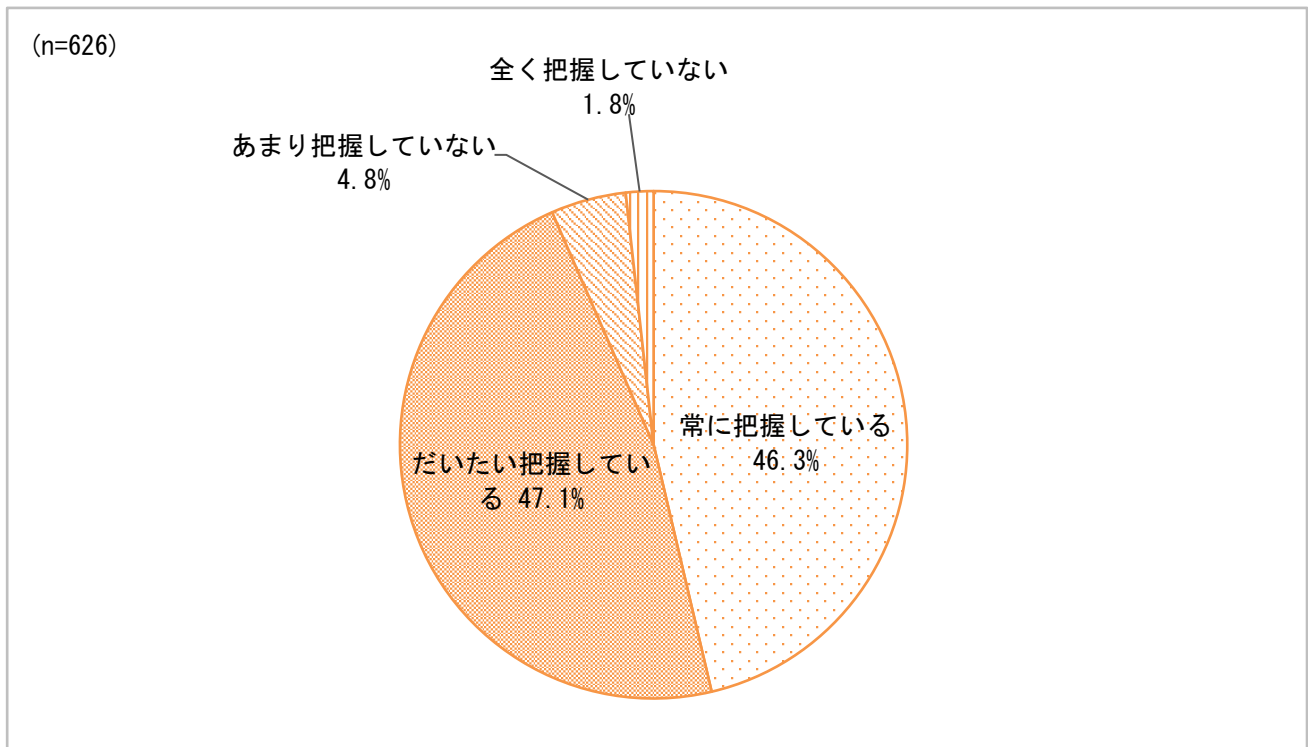
ワイン（アルコール度数 14 度・180ml）

缶チューハイ（アルコール度数 7 度・350ml）



単一回答	n	%
全体	1,092	
1 飲まない・飲めない・二十歳になっていないので飲めない	692	63.4
2 1合	291	26.6
3 2合	72	6.6
4 3合	21	1.9
5 4合	13	1.2
6 5合以上	3	0.3

【Q17】自分の月経周期（生理の時期や周期）を把握していますか。

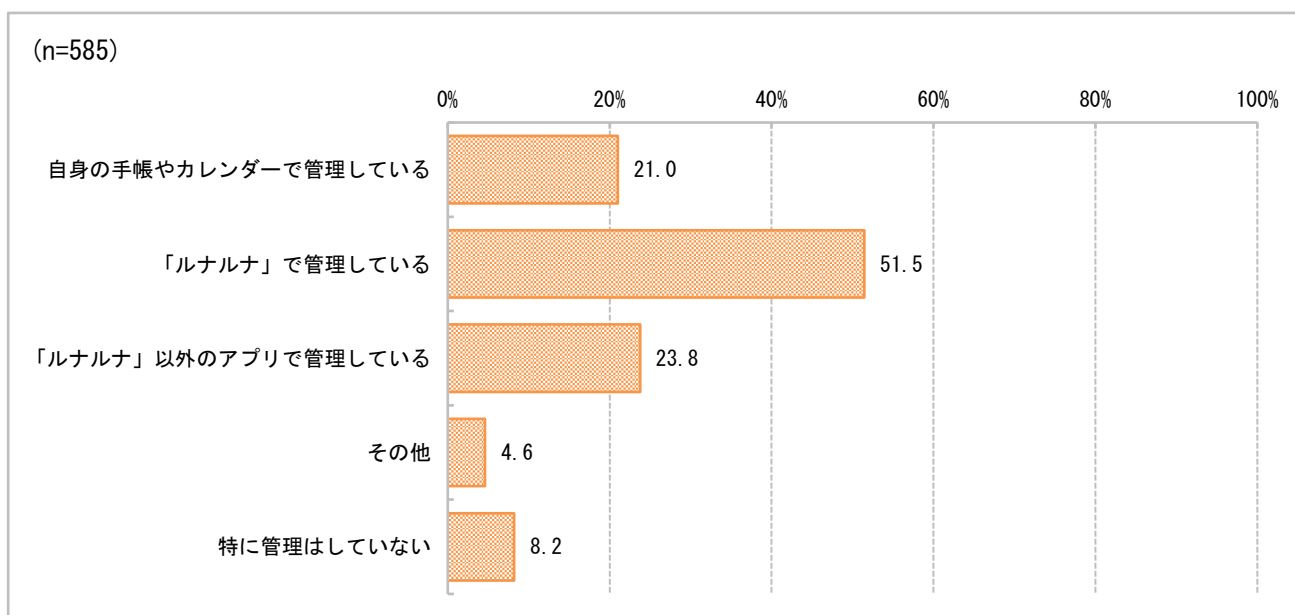


単一回答	n	%
全体	626	
1 常々把握している	290	46.3
2 だいたい把握している	295	47.1
3 あまり把握していない	30	4.8
4 全く把握していない	11	1.8

(Q2で「女性」を選択した626名が回答)

【Q18】前問で「常に把握している」「だいたい把握している」と回答した方にお聞きします。どのように管理していますか。あてはまるものをすべて教えてください。

※ルナルナは、株式会社エムティーアイが運営する女性向けの生理日記録・管理ツールです。



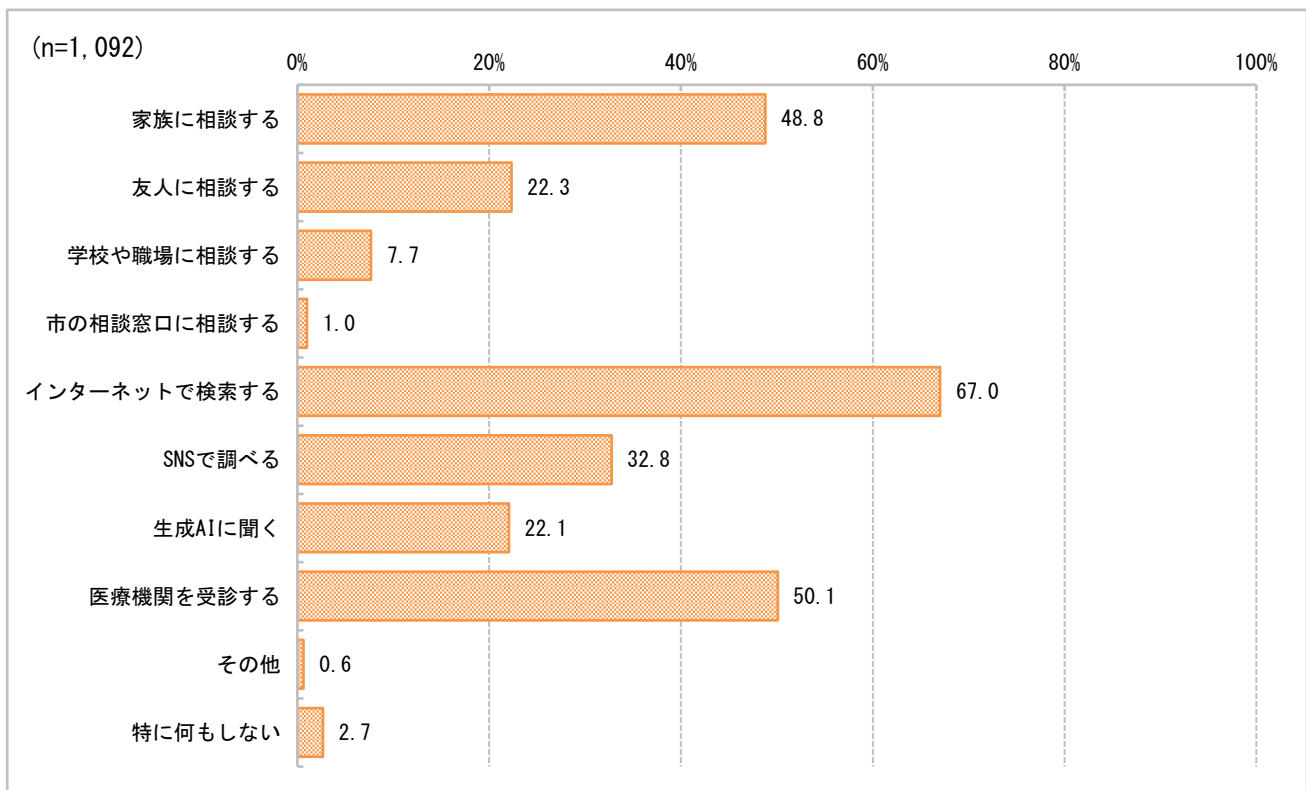
複数回答	n	%
全体	585	
1 自身の手帳やカレンダーで管理している	123	21.0
2 「ルナルナ」で管理している	301	51.5
3 「ルナルナ」以外のアプリで管理している	139	23.8
4 その他	27	4.6
5 特に管理はしていない	48	8.2

(Q17で「常に把握している」「だいたい把握している」を選択した585名が回答)

その他の回答

- ・記憶している
- ・感覚
- ・ヘルスケア
- ・カレンダーで
- ・スケジュール帳
- ・ソフィ be
- ・内服管理
- ・薬にて管理
- ・服薬により管理
- ・薬で対応している
- ・薬でコントロール
- ・月経困難症であるため生理が来ないような薬を服用して
- ・月経困難症治療薬の薬シートに日付を書き込むスペースを活用している
- ・医療機関での通院を通じて把握。
- ・非妊娠時、ピルにて管理
- ・ピル服用 (2件)
- ・ピル
- ・ピルを飲んでいるので、休薬期間から把握している
- ・ピルを飲んでいる (3件)
- ・ピルを内服している
- ・低用量ピルを常用している
- ・低容量ピルを服用している
- ・低容量ピルを服用中
- ・低容量ピルを飲んでるので周期がわかる

【Q19】ご自身の身体や健康に関する悩みや疑問が生じたときに、どうしますか。あてはまるものをすべて教えてください。

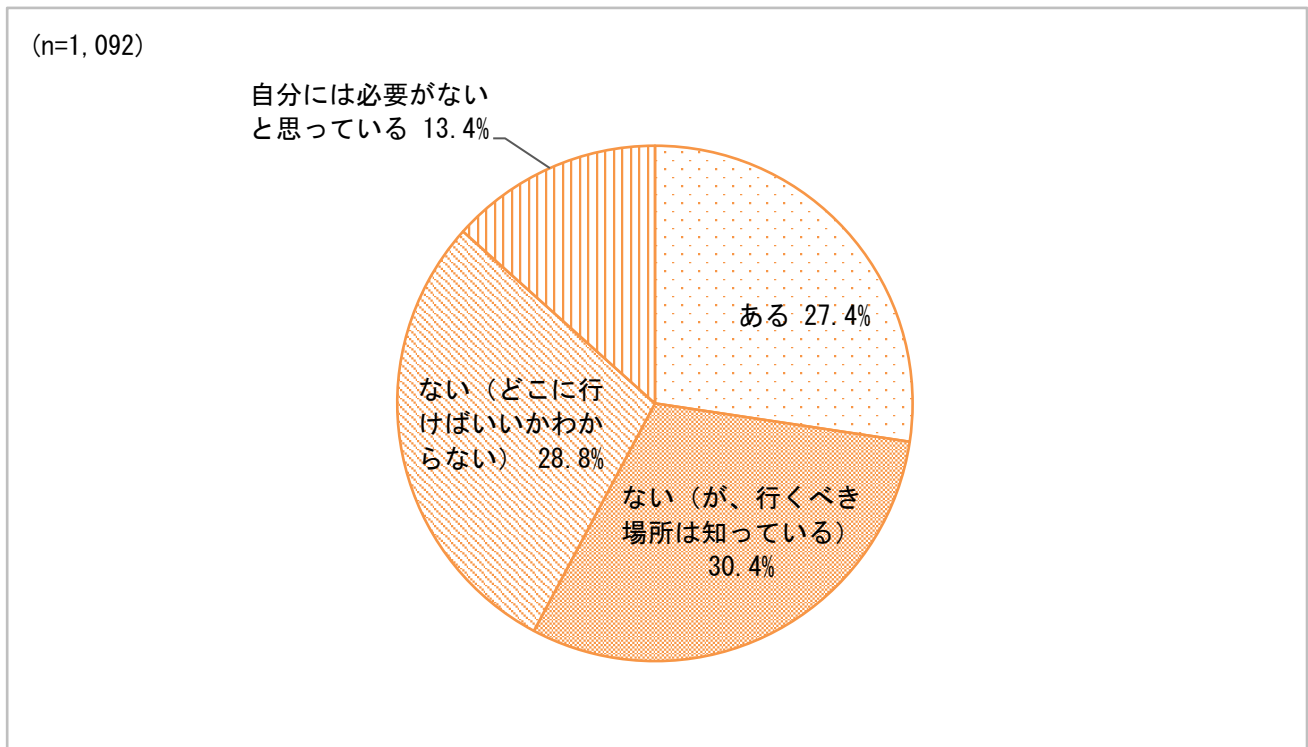


複数回答	n	%
全体	1,092	
1 家族に相談する	533	48.8
2 友人に相談する	244	22.3
3 学校や職場に相談する	84	7.7
4 市の相談窓口相談する	11	1.0
5 インターネットで検索する	732	67.0
6 SNSで調べる	358	32.8
7 生成AIに聞く	241	22.1
8 医療機関を受診する	547	50.1
9 その他	7	0.6
10 特に何もしない	29	2.7

その他の回答

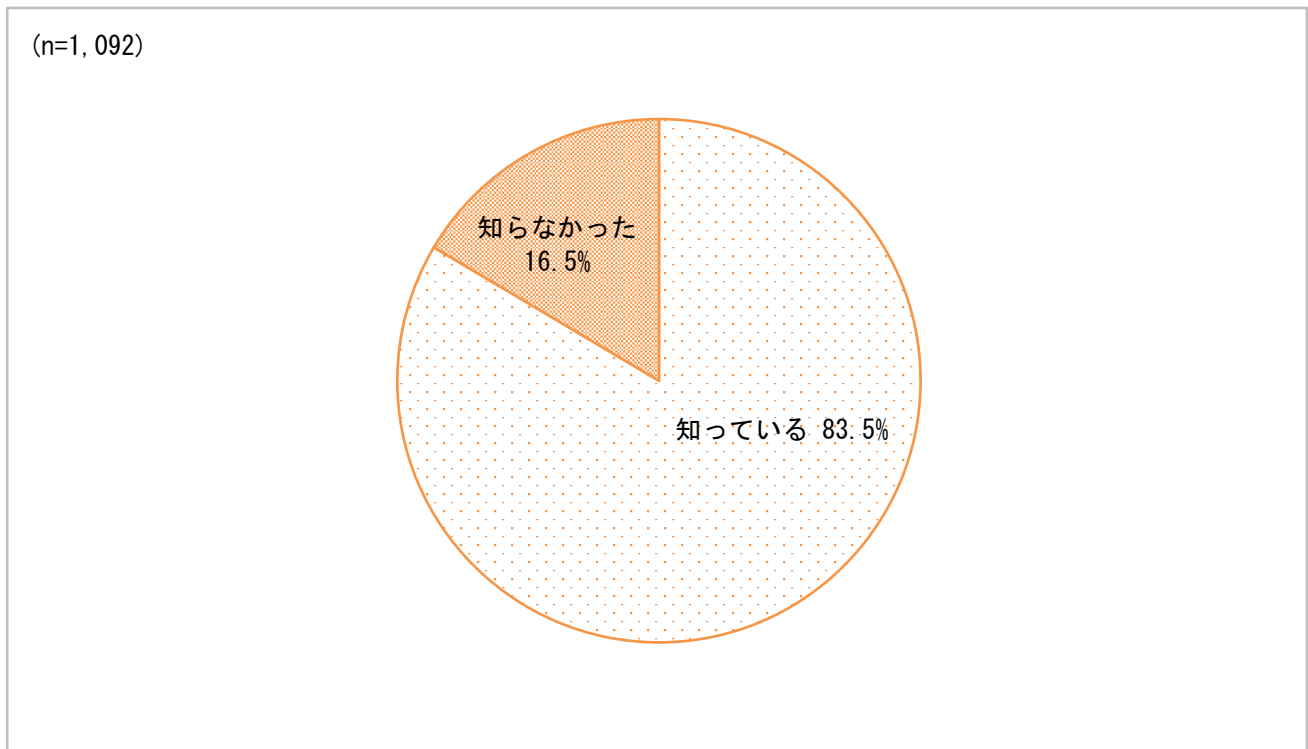
- ・相談事業所に相談する
- ・就労支援施設に相談する。
- ・彼氏に相談
- ・通院している病院がある
- ・自分の師匠に聞く
- ・職場で意見を聞く
- ・会社の先輩に相談する

【Q20】 かかりつけの婦人科・泌尿器科はありますか。



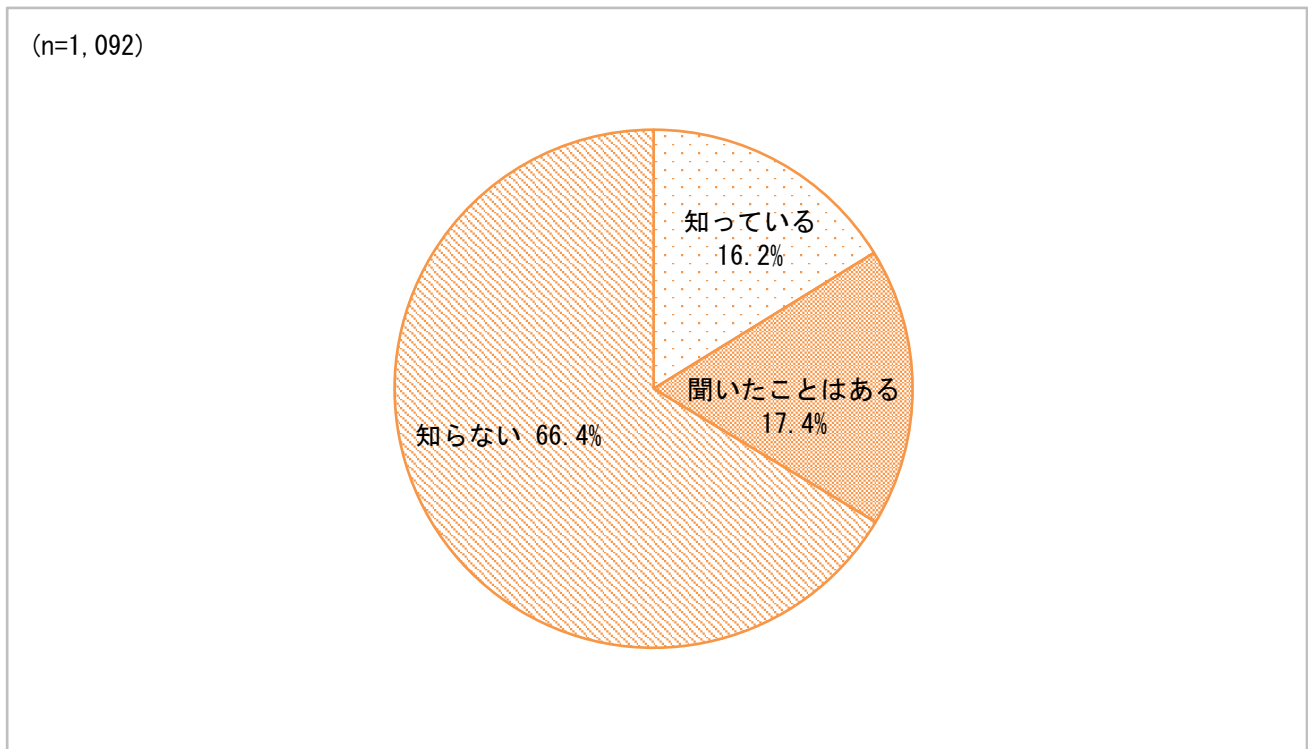
単一回答	n	%
全体	1,092	
1 ある	299	27.4
2 ない（が、行くべき場所は知っている）	332	30.4
3 ない（どこに行けばいいかわからない）	315	28.8
4 自分には必要がないと思っている	146	13.4

【Q21】 性感染症が将来の不妊の原因になる可能性があることを知っていますか。



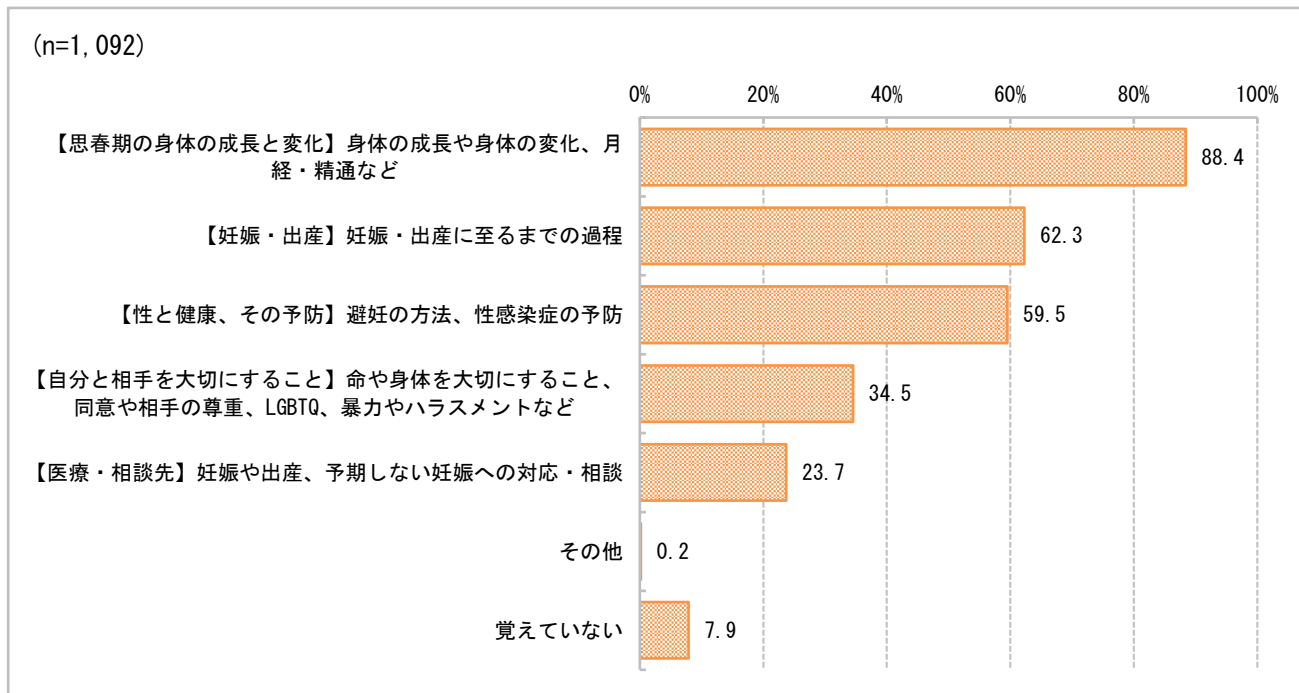
単一回答	n	%
全体	1,092	
1 知っている	912	83.5
2 知らなかった	180	16.5

【Q22】小千谷市では、不妊不育治療費の助成事業があります。知っていましたか。



単一回答	n	%
全体	1,092	
1 知っている	177	16.2
2 聞いたことはある	190	17.4
3 知らない	725	66.4

【Q23】ご自身が小・中学校で学んだと記憶しているテーマについて、あてはまるものをすべて教えてください。

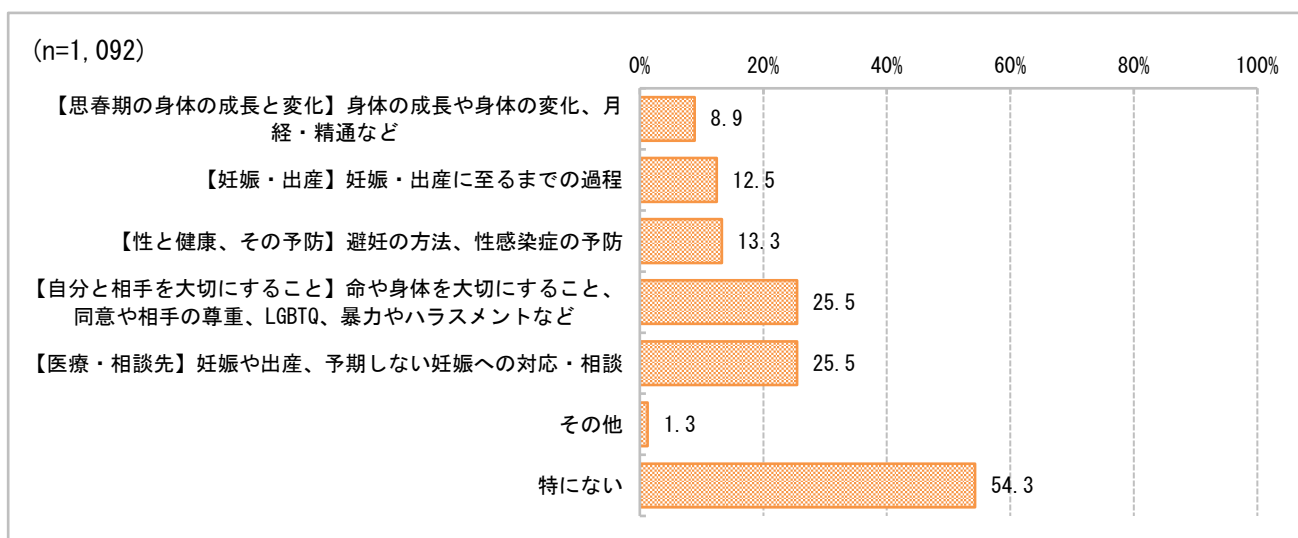


複数回答		n	%
全体		1,092	
1	【思春期の身体の成長と変化】身体の成長や身体の変化、月経・精通など	965	88.4
2	【妊娠・出産】妊娠・出産に至るまでの過程	680	62.3
3	【性と健康、その予防】避妊の方法、性感染症の予防	650	59.5
4	【自分と相手を大切にすること】命や身体を大切にすること、同意や相手の尊重、LGBTQ、暴力やハラスメントなど	377	34.5
5	【医療・相談先】妊娠や出産、予期しない妊娠への対応・相談	259	23.7
6	その他	2	0.2
7	覚えていない	86	7.9

その他の回答

- ・行ってない
- ・きちんとしたものはなかった

【Q24】 次のうち、今からでも知りたい内容がありますか。あてはまるものをすべて教えてください。

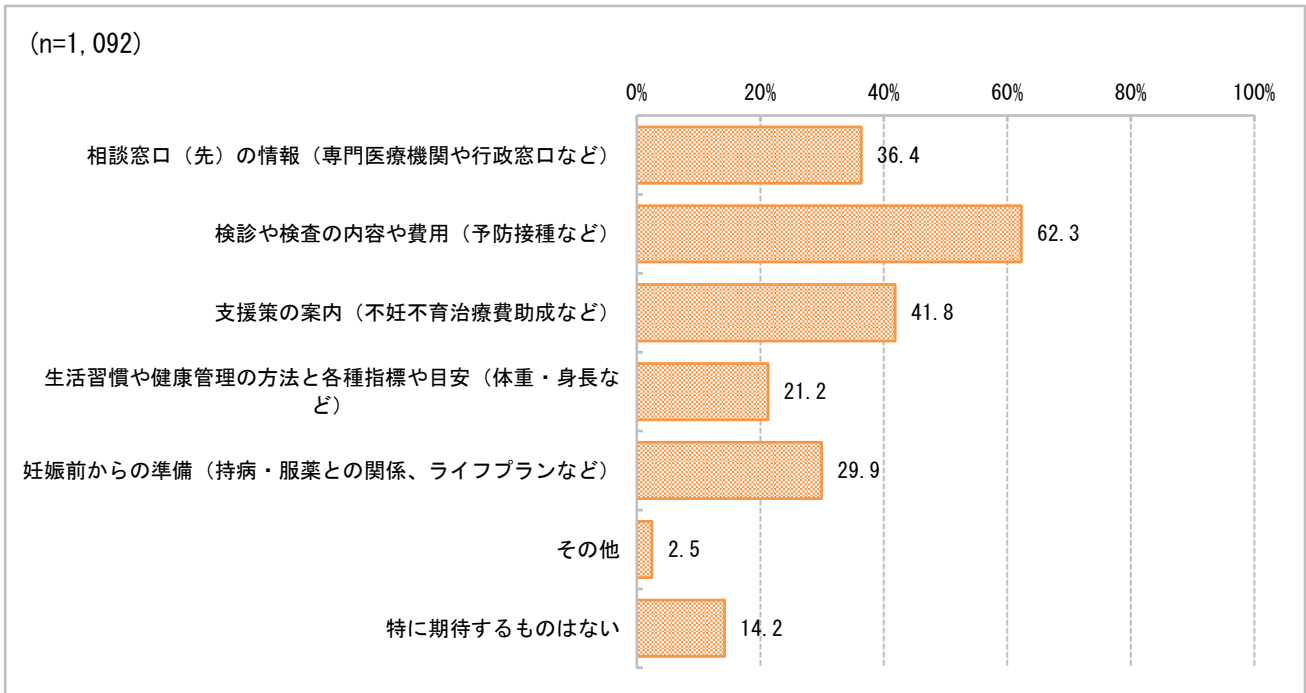


複数回答	n	%
全体	1,092	
1 【思春期の身体の成長と変化】 身体の成長や身体の変化、月経・精通など	97	8.9
2 【妊娠・出産】 妊娠・出産に至るまでの過程	136	12.5
3 【性と健康、その予防】 避妊の方法、性感染症の予防	145	13.3
4 【自分と相手を大切にすること】 命や身体を大切にすること、同意や相手の尊重、LGBTQ、暴力やハラスメントなど	278	25.5
5 【医療・相談先】 妊娠や出産、予期しない妊娠への対応・相談	278	25.5
6 その他	14	1.3
7 特になし	593	54.3

その他の回答

- ・独身なのでどうでもいい
- ・異性とのコミュニケーション
- ・化粧の仕方について
- ・株や投資、投資信託など
- ・出産育児にどのくらいのお金がかかるのか
- ・年齢による妊娠への影響
- ・妊娠後の女性の体や精神の変化
- ・婦人系のがんなどの病気に関すること
- ・妊娠出産に掛かるお金
- ・不妊治療について
- ・無痛分娩
- ・産後うつにならないためにできること、PMSについて
- ・実際の妊婦の体験話やパートナーにこうして欲しいなどの話を伺いたい。
- ・月経痛が体験できる機械があると見たことがあるので、試してみたい。自分がどれだけ痛いのか、軽いほうだとしたら、重い人はどれだけ痛みを感じているのか。月経痛で薬を飲むと癖になると、父親から注意され、隠れるように飲んでいました。そういう世代にも、孫のためにもと体験してみたいと思いました。

【Q25】小千谷市にどのような健康支援や情報提供を期待しますか。あてはまるものをすべて教えてください。

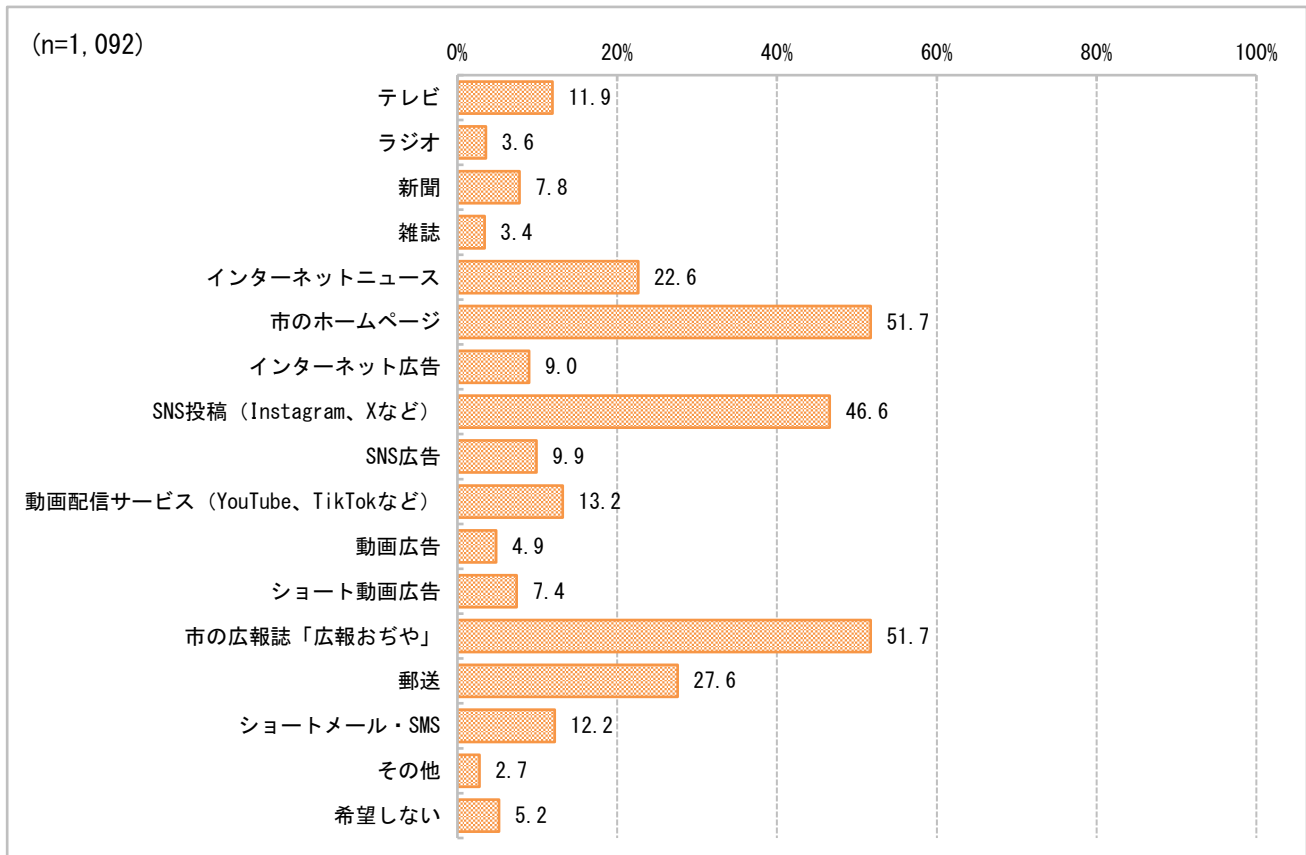


複数回答	n	%
全体	1,092	
1 相談窓口（先）の情報（専門医療機関や行政窓口など）	397	36.4
2 検診や検査の内容や費用（予防接種など）	680	62.3
3 支援策の案内（不妊不育治療費助成など）	457	41.8
4 生活習慣や健康管理の方法と各種指標や目安（体重・身長など）	232	21.2
5 妊娠前からの準備（持病・服薬との関係、ライフプランなど）	327	29.9
6 その他	27	2.5
7 特に期待するものはない	155	14.2

その他の回答

- ・金銭面的な支援
- ・産休育休子育て支援金
- ・妊婦が出回らなくても生活できる仕組み
- ・妊娠出産～子育ての切れ間ない支援の強化
- ・生理用品や生理痛軽減商品(カイロ等)の無償配布
- ・女性の必需品(ナプキンなど)を平等に支給する
- ・つわりの負担を軽くする薬剤の処方や無痛分娩の支援
- ・無痛分娩や産み分けできる産院が欲しい
- ・無痛分娩の助成
- ・今の子供達は早めにピロリ菌検査を受け早期治療できるような環境を作った方が良いと思う。
公費負担で。
- ・子育てしやすい環境、若手の子育て世帯に優しい制度
- ・学生のうちに、ただしい性に対する教育をしてほしい。自分たちのからだは、とても大切に素晴らしいものなんだと実感できるような、自分を相手を大切にできるきっかけになるような性教育をして欲しい。
- ・父親になる人への教育、個人情報を漏らさないこと
- ・男性への生理体験、妊娠体験
- ・婚活、街コン
- ・保育園などについての情報
- ・Web ページでの情報案内
- ・実際に相談窓口とかだと手間なのでネットからなどチャットで会話できるならその方がいいと思う
- ・重要な時、土日開庁してないなどの理由からやる気がないように見える。
- ・妊婦健診時の支払いの助成。市外の病院でも適応できるようにしてほしい。
- ・夜間や休日の医療相談できる機関
- ・現在インターネットが普及してますので、当アンケートを送っている層は自分で調べたりするのでは無いでしょうか？諸々の費用については補助金や助成金については困る市民はいないでしょうからできる限り努力して欲しいです。
- ・妊娠時に薬のことや家庭環境(育児と妊娠と体調のこと)の相談をしたが結局家族に頼ってとなり全く助けにならなかったのが期待しない。
- ・運動(スケボー)ができる場所の整備
- ・国産の物や無添加の物を増やす
- ・道の除雪、屋根の雪下ろし
- ・豪雪時の道路状況をラインや何かで流してほしい

【Q26】小千谷市から健康支援や情報提供を受け取る際、どのような情報の伝え方を希望しますか。あてはまるものをすべて教えてください。

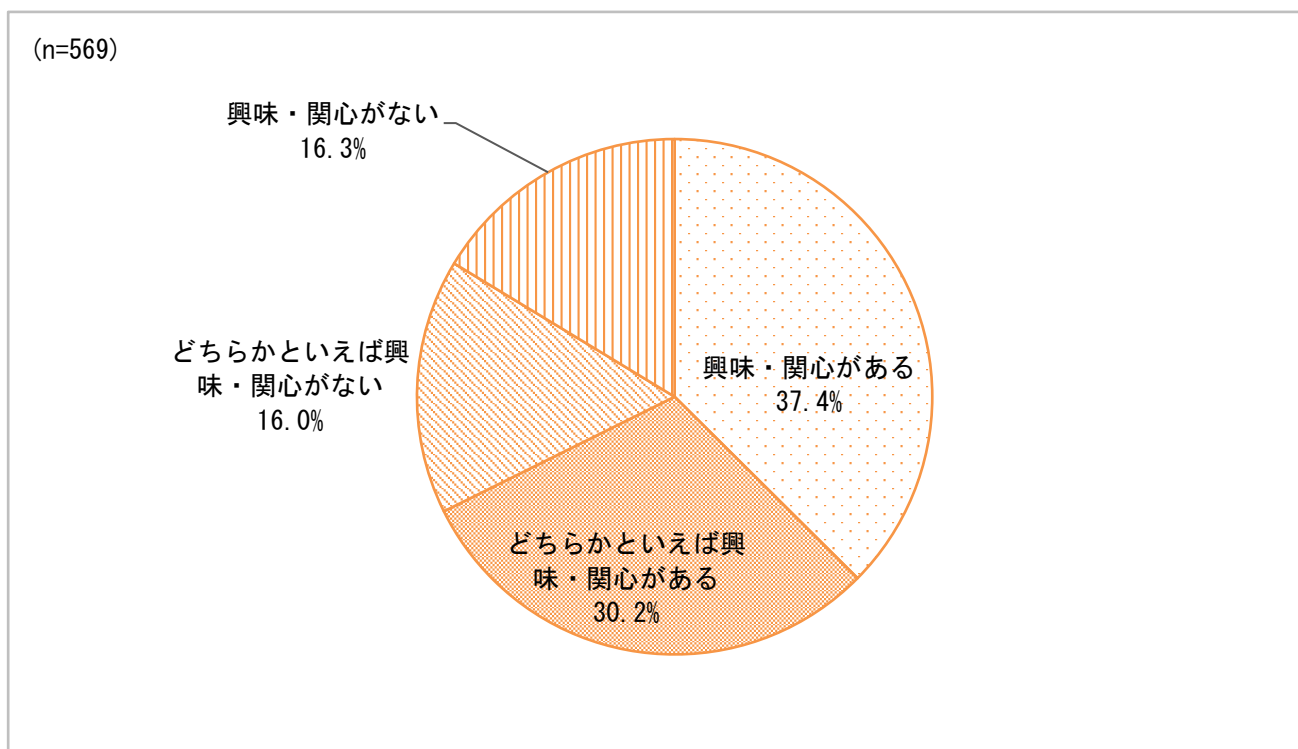


複数回答	n	%
全体	1,092	
1 テレビ	130	11.9
2 ラジオ	39	3.6
3 新聞	85	7.8
4 雑誌	37	3.4
5 インターネットニュース	247	22.6
6 市のホームページ	565	51.7
7 インターネット広告	98	9.0
8 SNS投稿 (Instagram、Xなど)	509	46.6
9 SNS広告	108	9.9
10 動画配信サービス (YouTube、TikTokなど)	144	13.2
11 動画広告	53	4.9
12 ショート動画広告	81	7.4
13 市の広報誌「広報おぢや」	565	51.7
14 郵送	301	27.6
15 ショートメール・SMS	133	12.2
16 その他	30	2.7
17 希望しない	57	5.2

その他の回答

- ・LINE (16 件)
- ・小千谷市の LINE (9 件)
- ・公式 LINE (2 件)
- ・LINE 配信
- ・ラジオ
- ・おじやオヤジの広報力をもっと使えばいいと思う

【Q27】結婚に対してどのようなイメージを持っていますか。



単一回答	n	%
全体	569	
1 興味・関心がある	213	37.4
2 どちらかといえば興味・関心がある	172	30.2
3 どちらかといえば興味・関心がない	91	16.0
4 興味・関心がない	93	16.3

(Q4で「既婚」を選択しなかった569名が回答)

【Q28】前問で「{Q27の回答}」と回答した理由をできるだけ具体的に教えてください。

結婚に対して「興味・関心がある」回答理由	年齢	性別	婚姻状況
好きな人と一緒にいられるのは幸せだと思うから。楽しそうだから。 何となく結婚はするものなのかなって思うから。	18・19歳	男性	未婚
1人では生きられないと思うから	18・19歳	男性	未婚
将来結婚して幸せな生活をしたいと考えているから	18・19歳	男性	未婚
将来結婚したいから	18・19歳	男性	未婚
結婚はしたい	18・19歳	男性	未婚
1人は寂しい	18・19歳	男性	未婚
その方が幸せだと思うから	18・19歳	男性	未婚
将来のことだから	18・19歳	男性	未婚
結婚した方が人生楽しそうだから。	18・19歳	男性	未婚
幸せな家庭を築くのが夢だから	18・19歳	男性	未婚
幸せそう	18・19歳	男性	未婚
いずれかはしたいと考えているから。	18・19歳	女性	未婚
興味あるけど具体的には分からない。 でも好きな人とは結ばれたい!	18・19歳	女性	未婚
自分の憧れであり大切な人と人生を進んでいくことは素敵なことだから。	18・19歳	女性	未婚
両親を見ていると結婚して幸せそうだったから	18・19歳	女性	未婚
結婚したいと思っているから。	18・19歳	女性	未婚
自分の決めた人と一緒に生活できることはいい影響を与えられると思うから	18・19歳	女性	未婚
好きな人と人生をおくれるから	18・19歳	女性	未婚
まず結婚に対してどのようなイメージがあるかという問いに対する 選択肢が興味・関心があるという時点で矛盾を感じるため回答できない	18・19歳	女性	未婚
結婚して幸せになりたいから。	18・19歳	女性	未婚
自分が望む時期で結婚したいから	18・19歳	女性	未婚
いずれしたいと思っている	20～24歳	男性	未婚
メンタルが弱く孤独を感じやすいため、1人で生きて行ける自信がないから	20～24歳	男性	未婚
私利私欲	20～24歳	男性	未婚
どのような生活になるのか気になる。	20～24歳	男性	未婚
結婚はいずれしたいと考えているから。	20～24歳	男性	未婚
自分の子供を育てたい	20～24歳	男性	未婚
他に盗られるリスクを減らせるから	20～24歳	男性	未婚
将来的には所帯を持ちたい	20～24歳	男性	未婚

現在彼女がおり、来年プロポーズする予定です。 彼女は若い内に結婚したいそうです。	20～24 歳	男性	未婚
自分が生涯共に添い遂げる人が欲しい。 一緒にいてくれる人が欲しいから。	20～24 歳	男性	未婚
結婚している人を羨ましいと思ったから	20～24 歳	男性	未婚
結婚したいから	20～24 歳	男性	未婚
結婚は自分の人生の転機となるもので、家族が増えることで自分自身に責任を感じたり、子や配偶者を気かけたりと今までの生活では無かったものを経験できるため。	20～24 歳	男性	未婚
興味ある	20～24 歳	男性	未婚
家庭を築きたいため。働く理由が欲しいため。	20～24 歳	男性	未婚
結婚したいから	20～24 歳	男性	未婚
共に過ごしていく大切なパートナーだから	20～24 歳	男性	未婚
1人で寂しくは嫌なので	20～24 歳	男性	未婚
将来の不安もあるが、楽しめるという期待もあります。	20～24 歳	男性	未婚
この先自分1人で亡くなるまで過ごすと考えたら自分だけではできない事もたくさんあります。自分1人でできない事や難しい物事を一緒に解決して乗り越えていける人がいてくれたら嬉しい	20～24 歳	男性	未婚
しあわせとへいわな家族	20～24 歳	男性	未婚
したい人がいるから	20～24 歳	男性	未婚
結婚希望があるから	20～24 歳	男性	未婚
支えあえる存在がいると心の余裕ができるから	20～24 歳	男性	未婚
早く結婚して元気なうちに子育てを終わらせたい	20～24 歳	男性	未婚
今の結婚はどうゆう感じか興味がある	20～24 歳	男性	その他
将来結婚したいと思っていて、このくらいの年齢でしたいなと考えているから。	20～24 歳	女性	未婚
大切な人と幸せに暮らしたいから	20～24 歳	女性	未婚
結婚したいから	20～24 歳	女性	未婚
姉も兄も結婚して子供がいるため。	20～24 歳	女性	未婚
結婚したいか	20～24 歳	女性	未婚
自分に何かあった時には、支えになってもらえる人が欲しい。 子どもが欲しい。	20～24 歳	女性	未婚
結婚願望があるから	20～24 歳	女性	未婚
今のパートナーとしたいと思っている	20～24 歳	女性	未婚
パートナーが居るため	20～24 歳	女性	未婚
パートナーがいるから	20～24 歳	女性	未婚
彼氏がいて、一緒に住み、家族になりたいから。	20～24 歳	女性	未婚
プロポーズされたので	20～24 歳	女性	未婚
老後のこと	20～24 歳	女性	未婚

将来一人になりたくないから	20～24 歳	女性	未婚
結婚したいから	20～24 歳	女性	未婚
ドレスを着るのが夢であるから。結婚式場で働いていたこともあって自分もやりたいとより強く感じたから。	20～24 歳	女性	未婚
パートナーが現在いて、結婚する将来が見えているから。	20～24 歳	女性	未婚
家庭を築きたいから。	20～24 歳	女性	未婚
一人で生きていける自信がない 画面以外の癒しが欲しい 家事を教えられながら学びたい	20～24 歳	女性	未婚
結婚したいから	20～24 歳	女性	未婚
好きな人と一緒になることに憧れがあるから。	20～24 歳	女性	未婚
結婚式をあげることが夢だから。	20～24 歳	女性	未婚
結婚して家庭を持ちたいから。	20～24 歳	女性	未婚
籍を入れたいと思っているから	20～24 歳	女性	未婚
将来的に自分自身結婚したいと考えているため。	20～24 歳	女性	未婚
人生の生きがいとなりそうだから	20～24 歳	女性	未婚
好きな人と家族になる事はとても素晴らしいことだと思うから	20～24 歳	女性	未婚
結婚したいから	20～24 歳	女性	未婚
将来的に 1 人きりになってしまうから	20～24 歳	女性	未婚
幸せな家庭を持つことに興味があります。	20～24 歳	女性	未婚
20 代後半には結婚していきたい	20～24 歳	女性	未婚
近々する予定	20～24 歳	女性	未婚
早めに結婚	20～24 歳	女性	未婚
1 人の人生ではなくなり、自分の可能性が広がるものだと思うから	20～24 歳	女性	未婚
幸せな家庭を築きたいから	20～24 歳	女性	未婚
幸せのため	20～24 歳	女性	未婚
この先、一緒に助け合い生きていくパートナーは私の中で必要だと思うから。また、ぼんやりであるが将来子供が欲しいと思っているため、その前段階として結婚があると思うから。	20～24 歳	女性	未婚
家庭を持つことに憧れているから	20～24 歳	女性	未婚
結婚したいと思う相手がいるため。	20～24 歳	女性	未婚
結婚したいと考えているから。	20～24 歳	女性	未婚
いつかしたい	20～24 歳	女性	未婚
結婚して子供を授かりたいから。	20～24 歳	女性	未婚
将来、結婚して家庭を持つことに憧れがあるため。	20～24 歳	女性	未婚
独りで終わる人生に価値を感じない為。	25～29 歳	男性	未婚
いつからしたいと思っている	25～29 歳	男性	未婚
家庭を持ちたい	25～29 歳	男性	未婚
家庭を持ちたいから	25～29 歳	男性	未婚

パートナーがいるため	25～29 歳	男性	未婚
結婚前提で付き合っている彼女がいるから	25～29 歳	男性	未婚
兄弟が結婚しているから	25～29 歳	男性	未婚
結婚願望があるため。	25～29 歳	男性	未婚
なんとなく	25～29 歳	男性	未婚
生きてるなら一度は結婚したい	25～29 歳	男性	未婚
結婚はしたいから	25～29 歳	男性	未婚
結婚は必ずしたいが相手がいない！	25～29 歳	男性	未婚
子供が欲しいのに加えて、30 代以降の生活を 1 人で行うのが想像できないため。	25～29 歳	男性	未婚
したい。	25～29 歳	男性	未婚
社会に必要とされるため	25～29 歳	男性	未婚
恋愛的に好きな人と一緒にいたいから	25～29 歳	男性	未婚
したこと無いから	25～29 歳	男性	未婚
最近プロポーズした。	25～29 歳	男性	未婚
結婚したいから	25～29 歳	男性	未婚
今のパートナーと結婚を考えているから。	25～29 歳	男性	未婚
生きていくのに必要	25～29 歳	男性	未婚
現在交際している相手があり、近々結婚を考えているため。	25～29 歳	男性	未婚
1 ヶ月以内に入籍予定のため	25～29 歳	女性	事実婚
いずれは結婚をしたいと前から思っている	25～29 歳	女性	未婚
お金がない	25～29 歳	女性	未婚
次のライフステージに進む準備（金銭面、精神面等）ができてきたため。	25～29 歳	女性	未婚
結婚したい相手がいる為	25～29 歳	女性	未婚
現在恋人があり、その人と結婚したいと思っているから	25～29 歳	女性	未婚
好きな人と生涯を共にしたいから	25～29 歳	女性	未婚
結婚願望があるから。	25～29 歳	女性	未婚
相手がいるから	25～29 歳	女性	未婚
結婚したいから	25～29 歳	女性	未婚
家族を築いていきたいから。	25～29 歳	女性	未婚
孤独死したくないから。	25～29 歳	女性	未婚
老後 1 人で生きていくのは心配だから	25～29 歳	女性	未婚
家庭を持っているのは幸せだと思う	25～29 歳	女性	未婚
現在婚約中で、今年中に入籍を検討しているからです。	25～29 歳	女性	未婚
家族を築きたいから	25～29 歳	女性	未婚
パートナーがいないと将来が孤独だと思うから	25～29 歳	女性	未婚
パートナーがいる方が毎日楽しそうだし、孤独とか感じず前向きに生きれるのかなと思うから。	25～29 歳	女性	未婚

親の仲がよく、また会社の人たちののろけを聞いていると、一人で生きていくより楽しそうなイメージがあるから。	25～29 歳	女性	未婚
楽しそうだから	25～29 歳	女性	未婚
幸せかつ妥協のイメージ	25～29 歳	女性	未婚
付き合っている彼氏がいる、周りが結婚をしているので焦りがある	25～29 歳	女性	未婚
20代のうちにしたいと思っている	25～29 歳	女性	未婚
婚約中のため	25～29 歳	女性	未婚
自分の子どもが欲しいと思う気持ちがあり、結婚もしたいと思っている。	25～29 歳	女性	未婚
結婚したいから	25～29 歳	女性	未婚
結婚予定があるため	25～29 歳	女性	未婚
仕事も落ち着いてきたので、自分の家族が欲しいと思ったため。	25～29 歳	女性	未婚
結婚の予定があるため	25～29 歳	女性	未婚
将来は結婚したいと思うから	25～29 歳	女性	未婚
人生が変わることだから	25～29 歳	女性	未婚
将来をともにするパートナーを見つけたいため	25～29 歳	女性	未婚
現在結婚を考えているため	25～29 歳	女性	未婚
時期は決めていないが関心はある	25～29 歳	女性	未婚
楽しそう	25～29 歳	女性	未婚
家族や自分の将来にとって必要なこと	25～29 歳	女性	未婚
安心して帰れる場所があったらいいなと思うから	25～29 歳	女性	未婚
結婚願望があるから	25～29 歳	女性	離別
したいから	25～29 歳	回答しない	未婚
いずれは世帯を持ちたいと考えているため。	25～29 歳	回答しない	未婚
今年には結婚するため	30～34 歳	男性	未婚
結婚願望があるので	30～34 歳	男性	未婚
必要なこと	30～34 歳	男性	未婚
将来1人で生きているより、家庭をもち、少しでも孤独を感じることなく過ごしたいため。また、自身の家庭環境が良かったため、憧れがある。ほか、現在交際している人に愛を注ぐことが幸せなため。	30～34 歳	男性	未婚
結婚をしたいと思ってるから	30～34 歳	男性	未婚
結婚したいから	30～34 歳	男性	未婚
協力していくことが大切だと思うから	30～34 歳	男性	未婚
一緒に暮らしていきたい	30～34 歳	男性	未婚
1人で死にたくない	30～34 歳	男性	未婚
可能なら人と生きたいと思っており、結婚が一番分かりやすい形なため	30～34 歳	女性	未婚
結婚したい気持ちがあるから。	30～34 歳	女性	未婚
いつかは結婚したいと考えている。	30～34 歳	女性	未婚

パートナーがいるため、将来を考える	30～34 歳	女性	未婚
年齢も年齢のため、したいという気持ちはある	30～34 歳	女性	未婚
結婚していた方が、将来損することが少なるなるだろうから。	30～34 歳	女性	未婚
家族を作り将来的に子どもが欲しいから	30～34 歳	女性	未婚
結婚したいです	30～34 歳	女性	未婚
出来るならしたいと思っている	30～34 歳	女性	未婚
以前の結婚生活が楽しかったから	30～34 歳	女性	離別
籍を入れることで苗字が変わり、諸々の手続きが大変だったりするため今のところ入れていないが、メリットもあるため	35～39 歳	男性	事実婚
年内に結婚予定の為	35～39 歳	男性	未婚
パートナーがいるから。	35～39 歳	男性	未婚
結婚を希望しているから	35～39 歳	男性	未婚
結婚を考えているパートナーがいる為。	35～39 歳	男性	未婚
嫁さんとの出会いがほしい	35～39 歳	男性	未婚
パートナーがいた方が生活が充実するから。	35～39 歳	男性	未婚
いい出会いがあればしたい	35～39 歳	男性	未婚
パートナーがいるため	35～39 歳	男性	未婚
将来的にするつもりなので	35～39 歳	男性	未婚
結婚したいとは思っているため	35～39 歳	男性	未婚
結婚して子育てをしたいので	35～39 歳	男性	未婚
将来心が通っている人と過ごしたいため	35～39 歳	男性	未婚
人生設計	35～39 歳	男性	未婚
結婚はしたいと思っていたるから	35～39 歳	男性	未婚
周りに既婚者がいるため	35～39 歳	男性	未婚
昔から恋愛に憧れており、同時に結婚にも憧れがあった。しかし出会いの機会が無く、女性経験が一度も無いまま現在に至ってしまった。	35～39 歳	男性	未婚
家族はいたほうが良いと思うから	35～39 歳	男性	未婚
付き合っている人がいるため	35～39 歳	男性	未婚
彼氏もいるので考えてます。	35～39 歳	女性	未婚
婚活してるため	35～39 歳	女性	未婚
適正年齢を越えましたが希望は捨ててないため	35～39 歳	女性	未婚
支え合える人を家族以外に作りたい 深く理解し合える人と出会ってみたい	35～39 歳	女性	未婚
いずれは結婚したい。	35～39 歳	女性	未婚
なんとなく	35～39 歳	女性	未婚
結婚したいから	35～39 歳	女性	未婚
一般的な興味です	35～39 歳	女性	未婚
結婚をして子どもを持ち自分の家庭を作りたいから。	35～39 歳	女性	未婚
いいパートナーが見つければしたい	35～39 歳	女性	未婚

子どもが欲しいため	35～39 歳	女性	未婚
できるなら結婚したいから	35～39 歳	女性	未婚
したいけどできていないから	35～39 歳	女性	未婚
幸せな家庭を築きたいから	35～39 歳	女性	未婚
自分らしく生きていくためには身近で認めてくれる家族の存在が必要ですし、ご先祖様や親戚が集まる場所である実家を守るためには、パートナーや子どもが必要だと思うからです。	35～39 歳	女性	未婚
一度はしたいから	35～39 歳	女性	未婚

※特になし、なしの回答 (5 件)

結婚に対して「どちらかといえば興味・関心がある」回答理由	年齢	性別	婚姻状況
付き合ってる人がいるから。	18・19 歳	男性	未婚
心理的支えや安心感が欲しいと思うから	18・19 歳	男性	未婚
将来的には結婚したいが縁がない	18・19 歳	男性	未婚
生きる上では避けて通れないことだから。	18・19 歳	男性	未婚
親を見ていて結婚ってそんなにいいもんじゃないなと思っていたが、自分は親みたいにならないように結婚生活おくってみたいなと思っているから。	18・19 歳	女性	未婚
周りに結婚している人が多いから。	18・19 歳	女性	未婚
少女漫画読んだから	18・19 歳	女性	未婚
結婚はしたいと考えているから	18・19 歳	女性	未婚
同性婚についての考えを深めたいから。	18・19 歳	女性	未婚
結婚してない人変な人しかいないらしいから	18・19 歳	回答しない	未婚
まず、結婚する相手が現在いないのでまだ先の話だなと思う	20～24 歳	男性	未婚
自分が信頼できるパートナーがいることが安定につながるため	20～24 歳	男性	未婚
漠然と興味はある	20～24 歳	男性	未婚
制度利用のしやすさや社会的信頼,信用の向上の為	20～24 歳	男性	未婚
したいという強い意志が今はないため	20～24 歳	男性	未婚
ぼんやりとしか考えていないため	20～24 歳	男性	未婚
ぼんやりとしてみたい以上のことはない	20～24 歳	男性	未婚
パートナーと相談をするため	20～24 歳	男性	未婚
親を安心させたい	20～24 歳	男性	未婚
まだ交際している相手もないため明確なビジョンを想像できていないが結婚について意識している部分はあるためこの回答	20～24 歳	男性	未婚
結婚したいとは思いますが独身でも良いと思う	20～24 歳	男性	未婚
孤独に生きなくて済むことがどれだけ幸せなのか感じて見たいから	20～24 歳	男性	未婚
人生で考えると一人はさみしいと思う	20～24 歳	男性	未婚
いつかはしたいと思っている	20～24 歳	男性	未婚
独身と比べての身体や精神的な負担、定年後の生活における面から考	20～24 歳	男性	未婚

えると、信頼でき助け合いができる存在と過ごすことが望ましい			
結婚はしたいけど出会いがないか、出会ったとしても趣味なども一緒に楽しみながら過ごしたい	20～24 歳	男性	未婚
将来を考えたら	20～24 歳	男性	未婚
親や祖父母の姿を見て幸せそうだなと思ったから。	20～24 歳	男性	未婚
いつかは自分の家族を持ちたいと考えているため	20～24 歳	男性	未婚
将来的にはパートナーと一緒に居たい	20～24 歳	男性	未婚
将来的にはしたい	20～24 歳	男性	未婚
家庭を築くことは素晴らしいと考えているから	20～24 歳	男性	未婚
どのような生活になるのか、結婚生活は楽しいかなど、気になるため。	20～24 歳	男性	未婚
結婚してみたいという思いがあるから	20～24 歳	男性	その他
将来的にしたい	20～24 歳	女性	未婚
なんとなく	20～24 歳	女性	未婚
1 人だと将来的に不安だから	20～24 歳	女性	未婚
将来するかもしれないから	20～24 歳	女性	未婚
老後 1 人になるのが怖いから。	20～24 歳	女性	未婚
おかねがかかる	20～24 歳	女性	未婚
長い付き合いの恋人がいるので。	20～24 歳	女性	未婚
憧れがあるから。	20～24 歳	女性	未婚
みんなするものだとかがえてしまっているから	20～24 歳	女性	未婚
結婚したいが、できるか自信がない。不安。	20～24 歳	女性	未婚
私含め同年代は、結婚をしたいということに変わりはないのですが、より具体的に言うのなら生涯変わらずにそばにいてくれる保証がある人がいてほしい。安心したい。に近い気がします。私もそう感じています。	20～24 歳	女性	未婚
幸せになれるというイメージがあるから。	20～24 歳	女性	未婚
出来たら良いなあ～程度	20～24 歳	女性	未婚
なんとなく	20～24 歳	女性	未婚
タイミングが合えば結婚できたらいいと思うため。	20～24 歳	女性	未婚
ぼんやりと結婚する機会があればできたらいいなと思っています。	20～24 歳	女性	未婚
現在交際している相手がいるため	20～24 歳	女性	未婚
結婚しての方が、マトモって感じがするから。親が老いた時に 1 人では心配だから。	20～24 歳	女性	未婚
生涯 1 人は寂しいから	20～24 歳	女性	未婚
祖父母や両親を見ていると、歳を重ねた時に生活を支え合えるパートナーが居た方が何かと都合がいいだろうと思うから。	20～24 歳	女性	未婚
結婚して家庭を築くことで、今はわからない幸せを感じられると思うから。	20～24 歳	女性	未婚
自分をサポートしてくれる人や支え合うことは生きるために人生の	20～24 歳	女性	未婚

楽しみや不安のためにもパートナーは不可欠			
関心はあり、結婚したいとも考えているが、出会いの場が少ない。	20～24 歳	女性	未婚
わかんない	20～24 歳	女性	未婚
将来一人は寂しいため。	20～24 歳	女性	未婚
幸せな家庭を築きたいから。	20～24 歳	女性	未婚
自分の将来に関係するから	20～24 歳	女性	未婚
したいとも思うがまだ現実的に考える状況じゃないため。	20～24 歳	女性	未婚
どっちでも	20～24 歳	女性	離別
信頼できるパートナーが存在するを感じてみたい	25～29 歳	男性	未婚
子供同様、人並みほど結婚願望は持ち合わせていないがいつかはするのかなと思っている程度。	25～29 歳	男性	未婚
大変そうだが充実感もありそうだから。	25～29 歳	男性	未婚
結婚しないといけない風習があるから	25～29 歳	男性	未婚
恋人がいるから	25～29 歳	男性	未婚
人生設計のプランにあり、自分の子供がほしいため。	25～29 歳	男性	未婚
結婚するから	25～29 歳	男性	未婚
一般的な人間ではありますが、（一部編集）を持っており、結婚できるのかが問題になってきます。（一部編集）でも結婚可能なのか。気になるのですが、僕的には一様結婚してみたい興味があります。	25～29 歳	男性	未婚
周りの人も結婚しているから	25～29 歳	男性	未婚
相手が現在いないため、想像が出来ないため	25～29 歳	男性	未婚
周囲が結婚してきており関心が出てきているため	25～29 歳	男性	未婚
興味・関心はあるが、具体的なプランはまだ考えていない。	25～29 歳	男性	未婚
将来のため	25～29 歳	男性	未婚
一人で生きていくのはしんどいかなと思う	25～29 歳	女性	未婚
相手がいればしたいから	25～29 歳	女性	未婚
付き合っている彼氏がいて、結婚も考えているが、事実婚でも良いと思っているため。	25～29 歳	女性	未婚
良い相手がいれば考えると思う。	25～29 歳	女性	未婚
一度はしてみたいから	25～29 歳	女性	未婚
結婚するようにいわれるから	25～29 歳	女性	未婚
同年代の人たちが結婚し始めているため。	25～29 歳	女性	未婚
将来的にはしたい	25～29 歳	女性	未婚
まだ実感が湧かないのでなんとも言えないが周りが結婚し始めているので少し興味があるぐらい	25～29 歳	女性	未婚
新潟県では移動の手段として車を持つことが必須ですが、自分が年若い車を運転できなくなった時に生活が困難になるので、結婚をして子供は産みたいと昔からなんとなく思っていた。（もし子供を産まないなら電車移動がメインの県に移り住もうと思っている）	25～29 歳	女性	未婚

相手がいればしたい	25～29 歳	女性	未婚
相手次第だから	25～29 歳	女性	未婚
まあなんとなく？	25～29 歳	女性	未婚
将来 1 人で生きていくリスクが高いと思うため。	25～29 歳	女性	未婚
結婚は興味があるが、自分より稼いでいる人でないと結婚したいとは思えない。	25～29 歳	女性	未婚
数年後に結婚していたいなと思っています	25～29 歳	女性	未婚
結婚したい人がいればしたいくらいの気持ち	25～29 歳	女性	未婚
今は自分のやりたいことがあり、結婚への意識が薄いですが将来的にしたい	25～29 歳	女性	未婚
ウェディングドレスを着てみたいと思っているから。 パートナーがいたら安心するため。	25～29 歳	女性	未婚
拒否する理由がなければするもの、と思っているから	25～29 歳	女性	未婚
周りにしてる人がいるから	25～29 歳	女性	未婚
いずれしたいと思っているから	25～29 歳	女性	未婚
今後も一緒にいたいパートナーは居る。しかし夫婦別姓や結婚したら次は子どもというようなプレッシャーがあり子どもは希望してないので結婚にデメリットを感じる。	25～29 歳	女性	未婚
結婚に向いてるか分からない	25～29 歳	女性	未婚
周りが結婚しているため	25～29 歳	女性	未婚
良い出会いがあれば	25～29 歳	女性	離別
一緒に素敵な人と喜怒哀楽を共有できることは素晴らしいなと思います。	25～29 歳	女性	離別
父親はいた方がいいかなと思っている	25～29 歳	女性	離別
一回したことがあるが微妙だったから でも子供を持つならもう一度という興味もある	25～29 歳	女性	その他
興味はあるけど相手がない	25～29 歳	回答しない	未婚
30 代になったのでできる限り結婚について意識しないといけないと思ったから	30～34 歳	男性	未婚
あまり気にならないから	30～34 歳	男性	未婚
結婚願望は多少あるが、良い出会い・良い人がいればというくらいの感覚であるため	30～34 歳	男性	未婚
結婚を考えていきたいが手取りが少なく趣味優先したい	30～34 歳	男性	未婚
精神的に良いイメージよりも悪いイメージのネット情報が多いため	30～34 歳	男性	未婚
興味はあるが相手がないのでぼんやりとしか	30～34 歳	男性	未婚
世間的にははしたいと思っているが、今のところ結婚できる見込みが薄いので、興味・関心は少ししかない。	30～34 歳	男性	未婚
結婚も人生の選択肢の一つだと考えているため	30～34 歳	男性	未婚
まだ良い出会いが無い	30～34 歳	男性	未婚

現在付き合ってる方と事実婚の予定 事実婚の制度やパートナー協定、配偶者控除など法律でカバーできない部分も市単位でサポートして頂きたいと思います	30～34 歳	男性	未婚
以前は結婚に興味や関心が無かったが、周りの人とのコミュニケーションを経て考えが変わったため。	30～34 歳	男性	未婚
元々、他人同士だから長い人生を歩んでいけるか自信が無い。	30～34 歳	男性	未婚
何となく	30～34 歳	男性	未婚
いつか結婚して子供のいる家庭が欲しいとは思いますが今は1人で自由な時間が楽しい	30～34 歳	男性	未婚
将来的には世帯を持ちたいとは思っているが、具体的な行動は起こしていないため。	30～34 歳	男性	未婚
労働に対するモチベーション維持のため	30～34 歳	男性	未婚
今すぐではないが、将来的に結婚したいから	30～34 歳	男性	未婚
家族でない他人とともに人生を全うすることに多少関心はあるが、自身の性格面から気の合う異性がおらぬのではないかと感じている。自身では結婚適正能力に劣っていると感じている。	30～34 歳	男性	未婚
関心はあるが、結婚のヴィジョンが見えない	30～34 歳	男性	未婚
生涯でしなきゃかなあと思っているくらいな感じ	30～34 歳	男性	未婚
将来のことを考えて	30～34 歳	男性	未婚
年齢的な問題でそろそろかなとは思う。出会いがないので焦っている。	30～34 歳	女性	未婚
将来のパートナーを見つけたいと思うから	30～34 歳	女性	未婚
老後のことを考えると結婚した方が安心するのではないかと考えるため	30～34 歳	女性	未婚
年齢を思うと結婚を考える時期でもあるし、周りも結婚している人が増えてきているため	30～34 歳	女性	未婚
したいきもちはある	30～34 歳	女性	未婚
結婚したら、幸せになるといいなあと思っています。	30～34 歳	女性	未婚
他者と共に長く生きていくなら、便利なものだと思っている。	30～34 歳	女性	未婚
老後を考えると一生独身でいるのは無理があると思うため	30～34 歳	女性	未婚
良いご縁があればしたいと思うから	30～34 歳	女性	未婚
人が嫌いなわけじゃ無いから誰か良い人と一緒に生きられるならそれは良い。	30～34 歳	女性	未婚
結婚を考えている相手がいる	30～34 歳	女性	未婚
周りがみんな結婚しているから、なんとなく	30～34 歳	回答しない	未婚
1人で趣味に没頭したいのもあるが同級生が結婚しているから	35～39 歳	男性	未婚
相手次第です	35～39 歳	男性	未婚
子供が好きだから	35～39 歳	男性	未婚
実際に他人と結婚して仕事と家庭生活が上手く行くか。	35～39 歳	男性	未婚

事実婚なども検討しているため	35～39 歳	男性	未婚
人生において様々な経験をしたいと思うのは当然の事です。	35～39 歳	男性	未婚
未婚のため	35～39 歳	男性	未婚
身内からそこら辺のことを聞かれるから	35～39 歳	男性	未婚
将来のためにしたほうがいいのかと思うから	35～39 歳	男性	未婚
自分の今後の将来の為	35～39 歳	男性	未婚
未婚のため	35～39 歳	男性	未婚
生活スタイル、収入の面で少し不安がある為	35～39 歳	男性	未婚
子どもをもうけるかは別として、夫婦でないといけない制度などもあるため。	35～39 歳	男性	未婚
自分を支えてくれる人が欲しいしその人の為なら頑張れるから	35～39 歳	男性	離別
再婚できるものならしたいなとなんとなく思っているから	35～39 歳	男性	離別
老後のためにパートナーが欲しい	35～39 歳	女性	未婚
1人で生きていける気がしないから	35～39 歳	女性	未婚
いい人が入ればという感じ	35～39 歳	女性	未婚
家族ができることで楽しみが増える	35～39 歳	女性	未婚
好きな人と新しいステージに行くことができる気がする	35～39 歳	女性	未婚
パートナーはいるが先のことは決めていない	35～39 歳	女性	未婚
両親から結婚式を反対され、元夫からも養育費がないため、もしもう一度結婚できるのであれば結婚式をしたいのと、子どもたちに父親は悪い人間ではないことを知ってもらいたいからです。	35～39 歳	女性	離別
ひとり親である事に経済的に不安があるため	35～39 歳	女性	離別
もう1度結婚してパートナーを見つけたいから	35～39 歳	女性	離別
人生の伴侶が欲しいと思うから	35～39 歳	回答しない	未婚
離別したけど良い経験だったから。	35～39 歳	回答しない	離別

※特になし、なしの回答（3件）

結婚に対して「どちらかといえば興味・関心がない」回答理由	年齢	性別	婚姻状況
次元が違うから	18・19 歳	男性	未婚
負担が多い	18・19 歳	男性	未婚
働くから	18・19 歳	女性	未婚
1人のほうが楽しいから	18・19 歳	女性	未婚
まだ先のことで考えていないから。	18・19 歳	女性	未婚
自分に自信がないから。	18・19 歳	女性	未婚
結婚したら面倒くさそうだから	18・19 歳	回答しない	未婚
魅力を感じない	20～24 歳	男性	未婚
多少の興味はあるけど今は縁遠いことだと思っている	20～24 歳	男性	未婚
現在におきましては関心はありませんが、今後考えが変わるかもしれません	20～24 歳	男性	未婚

結婚ということに思考のリソースをさきたくない。	20～24 歳	男性	未婚
結婚に良いイメージがない。	20～24 歳	男性	未婚
できたらいいなと思うがプライベートが減ってしまうのは嫌だ	20～24 歳	男性	未婚
必ずしも結婚が幸せにつながらないと考えているから	20～24 歳	男性	未婚
結婚が好きの人という絶対条件ではないから。	20～24 歳	男性	未婚
あまり、イメージができないため。	20～24 歳	男性	未婚
学生生活や就職活動でそれどころではない。	20～24 歳	男性	未婚
結婚にあまり良いイメージを持っていないから	20～24 歳	女性	未婚
現在は 1 人での生活が楽しいため	20～24 歳	女性	未婚
結婚して上手くいく自信もないし自分が結婚したところが想像できないから。	20～24 歳	女性	未婚
将来、困ることもあるため自分に合う人がいれば結婚した方がいいと思うが今は結婚する気はない。	20～24 歳	女性	未婚
まだ考えられない	20～24 歳	女性	未婚
今のところ考えていないから	20～24 歳	女性	未婚
まだ考えられない。	20～24 歳	女性	未婚
1 人で過ごしたいという思いがつよいため。	20～24 歳	女性	未婚
自分の時間を大切にしたいと	25～29 歳	男性	未婚
メリットよりもデメリットを考えてしまうので	25～29 歳	男性	未婚
コミュニケーションが苦手なのでパートナーを作る気がない	25～29 歳	男性	未婚
結婚生活を送っているイメージがあまりできてない	25～29 歳	男性	未婚
個人の趣味を優先したい	25～29 歳	男性	未婚
お金がない	25～29 歳	男性	未婚
現段階の法律では結婚すると女性のほうが割的に不利(苗字の変更、公的機関の手続き等)になるため、現状の婚姻手続きに納得していないから。	25～29 歳	女性	事実婚
結婚しないかもしれないから。	25～29 歳	女性	未婚
他人と暮らすビジョンが見えない	25～29 歳	女性	未婚
フィクションを見ていると良いなと思うことはあるが、現実は大変だと思うから。他人と性行為をしたいと思ったことがないので現実的に無理そう。	25～29 歳	女性	未婚
余裕がない	25～29 歳	女性	未婚
今のライフスタイルが変わってしまうことがストレスになりそう 名前が変わり、届け出や申請等が面倒 独身の時よりも、出費が増える	25～29 歳	女性	未婚
就職のことを優先してるから	25～29 歳	女性	未婚
今の生活で必要だと感じれない為	25～29 歳	女性	未婚
そもそもあまり考えていなかった	25～29 歳	女性	未婚
一人が気楽だから。結婚したいと思える相手に出会えていないから。	25～29 歳	女性	未婚

いろいろめんどうだから。	25～29 歳	女性	未婚
結婚したいと思わないから	25～29 歳	女性	未婚
自分には難しい	25～29 歳	女性	未婚
周りの夫婦仲が悪く子供の頃から結婚への興味が薄れていた	30～34 歳	男性	未婚
想像がつかない	30～34 歳	男性	未婚
全く関心が無いわけではないがそもそも相手が居ないことや結婚に関しての費用など今後のことを考えたりすると経済的余裕がないため。	30～34 歳	男性	未婚
相手がいない	30～34 歳	男性	未婚
子供は欲しいと思うが、結婚そのものに対してのこだわりはないから	30～34 歳	男性	未婚
結婚したいなどの結婚願望があまり無いから	30～34 歳	男性	未婚
仕事・私生活で手一杯	30～34 歳	男性	未婚
独身なので親を安心させたいが今の収入では到底無理	30～34 歳	男性	未婚
夫婦別姓が実現しないので。いまだに女性の負担が大きいように感じる。	30～34 歳	女性	未婚
面倒だと感じるため。	30～34 歳	女性	未婚
他人に興味がないため	30～34 歳	女性	未婚
仕事や、自分の学びが楽しすぎるため。自分にとっての結婚の優先順位が下がった。	30～34 歳	女性	未婚
両親が口喧嘩しているのを見たり、今の自分が自分以外にエネルギーを割けないから。	30～34 歳	女性	未婚
結婚しなくても自分のやりたいことをやり、生活できれば良いと思っているから	30～34 歳	女性	未婚
家事育児に積極的な男性をあまり聞かないので、共働きでも女性が家事労働を担当することになると思うと負担が大きいと感じる。また、この春から施行される共同親権により、子どもがいれば離婚後も様々な干渉を受け続ける可能性が高まったので安易に結婚・出産はできないと感じる。	30～34 歳	女性	未婚
パートナーと一緒に生活より、自分一人の生活の方が楽だと思ってるから	30～34 歳	女性	未婚
結婚したいと思う相手がいないから。	30～34 歳	女性	未婚
望んでないから	30～34 歳	女性	未婚
今は結婚したいと思っていないから。	30～34 歳	女性	未婚
いずれ再婚はしたいが、子どもは望まないの今すぐには興味がない。	30～34 歳	女性	離別
結婚したいと思えないから	30～34 歳	回答しない	未婚
イメージが湧かない	35～39 歳	男性	未婚
1人の生活に満足してるので今現在するつもりはありません。ですが今後歳を取った時に形はどうあれパートナーと言える人が居て欲し	35～39 歳	男性	未婚

いとは思いません。			
結婚生活を続けられる自信がないから。	35～39 歳	男性	未婚
お金かかるから	35～39 歳	男性	未婚
今は仕事が忙しいから。	35～39 歳	男性	未婚
金銭的余裕がない 身内の問題がある	35～39 歳	男性	未婚
自分には甲斐性がない	35～39 歳	男性	未婚
良いパートナーに巡り会わない	35～39 歳	男性	未婚
あんまりイメージが出来てない	35～39 歳	男性	未婚
今は自分の事で、精一杯だからです。	35～39 歳	男性	未婚
ご縁があったら パートナーでよい	35～39 歳	女性	未婚
少し大変なイメージ	35～39 歳	女性	未婚
金銭的にも、体調的にも 1人で生きていくのがやっとだから。	35～39 歳	女性	未婚
ストレス	35～39 歳	女性	未婚
子供のうちから自分は結婚しないだろうと漠然と思っていたから。	35～39 歳	女性	未婚
ひとりが楽	35～39 歳	女性	未婚
自分には難しいと思っているから	35～39 歳	女性	死別
離婚したばかりなので今は前向きになれない	35～39 歳	女性	離別
離婚しているため。	35～39 歳	女性	離別
離婚したのでもういい	35～39 歳	女性	離別
小千谷市に希望がないから	35～39 歳	女性	離別
離別しているので今は考えていない	35～39 歳	女性	離別

※特になし、なしの回答（4件）

結婚に対して「興味・関心がない」回答理由	年齢	性別	婚姻状況
あまり利点を感じないため	18・19 歳	男性	未婚
職とゲームだけで人生精一杯	18・19 歳	男性	未婚
他人が自分のプライベート空間にいることが嫌	18・19 歳	男性	未婚
自分には縁がないから	18・19 歳	男性	未婚
結婚は自分の幸せじゃない	18・19 歳	女性	未婚
今は気にしてない	18・19 歳	女性	未婚
よいことがない	18・19 歳	女性	未婚
結婚に興味がないのと、いいイメージがない。	18・19 歳	女性	未婚
まだあまり想像ができない	18・19 歳	回答しない	未婚
他人にそこまで興味がないから。	18・19 歳	回答しない	未婚
お金がかかるから。1人に満足しているから	20～24 歳	男性	未婚
全て1人で出来るくらいの人間的成長をしてからでないと、今は考えられない	20～24 歳	男性	未婚
(一部編集)があるので一般的な結婚は難しい	20～24 歳	男性	未婚
できる限り他人と関わりたくない	20～24 歳	男性	未婚

自分の自由な時間を失いたくないから	20～24 歳	男性	未婚
人ずっと一緒にいるのがストレスに感じる。自分の時間が減る。	20～24 歳	男性	未婚
回答者自身が（一部編集）のため結婚はないと思う	20～24 歳	男性	未婚
あきらめている	20～24 歳	男性	未婚
相手と上手くやっけていける自信がないから	20～24 歳	男性	未婚
一人の方が気が楽だから	20～24 歳	男性	未婚
家族仲が良くなかったから	20～24 歳	女性	未婚
結婚する気がないから	20～24 歳	女性	未婚
病気を持っているため	20～24 歳	女性	未婚
必要性を感じない	20～24 歳	女性	未婚
恋愛願望がない 結婚しなくても十分幸せに生きることができる	20～24 歳	女性	未婚
まだまだ先の事だから	20～24 歳	女性	未婚
興味を持ってないため	20～24 歳	女性	未婚
自分の性格的に他人とうまく生活していくのは無理だとわかっているから	20～24 歳	女性	未婚
学生のため。	20～24 歳	女性	未婚
結婚していない今が十分楽しいから	20～24 歳	女性	未婚
市内で結婚する気がない	20～24 歳	女性	未婚
人と関わるのが得意じゃないから 今の生活で十分だから 友達も結婚する気がなさそうだし、一緒に遊ぶ方が楽しいから	25～29 歳	男性	未婚
結婚は望んでない	25～29 歳	男性	未婚
独身生活が充実している	25～29 歳	男性	未婚
一人で生きるのが精一杯	25～29 歳	男性	未婚
恋愛に興味がない	25～29 歳	男性	未婚
自分の事だけを優先したいから。	25～29 歳	男性	未婚
自分には向いていない	25～29 歳	男性	未婚
余裕がない	25～29 歳	男性	未婚
触れたことはあっても動機が友達や他人依存で自分から積極的に考えたことはない	25～29 歳	男性	未婚
一人で満足してる	25～29 歳	男性	未婚
将来彼女やパートナーができる未来が見えない為。	25～29 歳	男性	未婚
恋愛に興味がないから。1 人であることが楽だと感じるから。	25～29 歳	女性	未婚
家同士の面倒事が増えるイメージがあり、興味関心が持てない	25～29 歳	女性	未婚
結婚したくないから	25～29 歳	女性	未婚
他人と暮らすのが面倒くさい	25～29 歳	女性	未婚
推しの芸能人にしか興味がない。	25～29 歳	女性	未婚
他人に興味がない。結婚はよいことだと思うがそれは自分とは別の世界の話だと思っている。誰かに配慮して生きるくらいなら 1 人で悠々自適に生きていきたい。	25～29 歳	女性	未婚

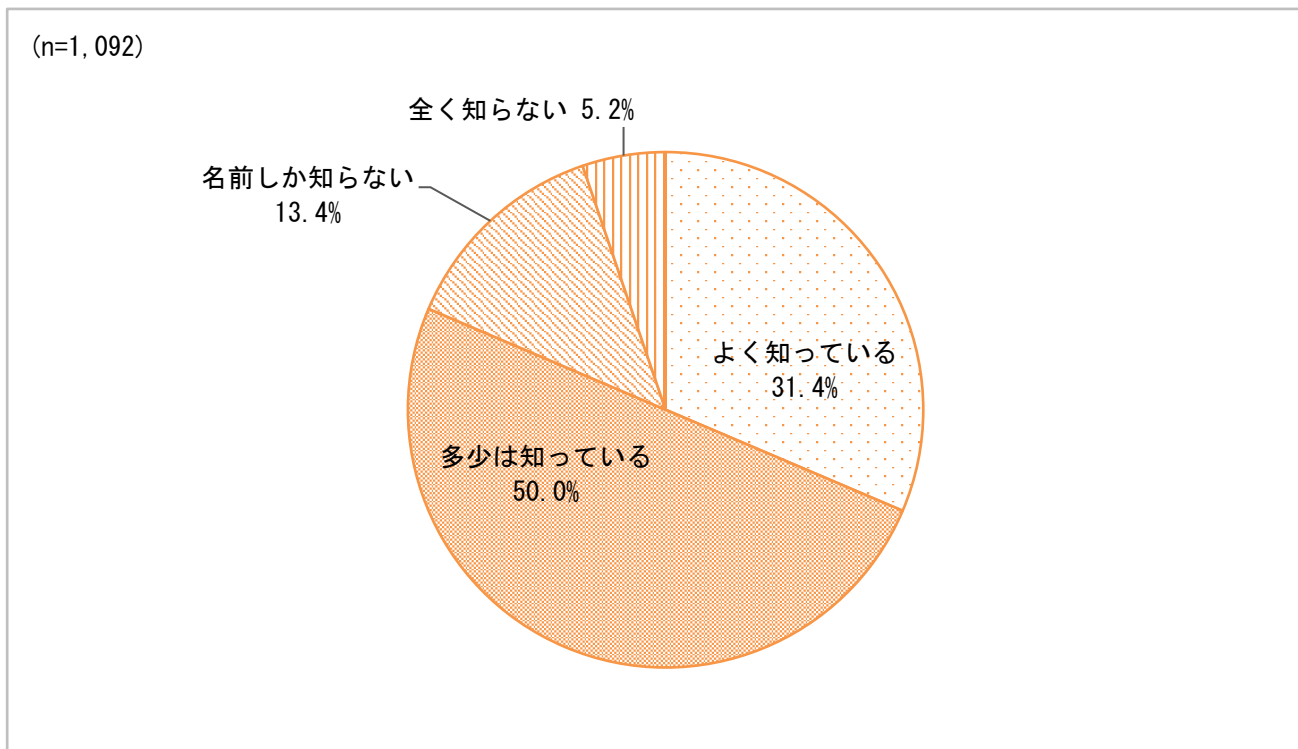
一度結婚したのでもういいかなって思う	25～29 歳	女性	離別
必要性を感じないから	25～29 歳	回答しない	未婚
(一部編集)があるため	25～29 歳	回答しない	未婚
すでに結婚しているため	30～34 歳	男性	事実婚
離婚したら慰謝料や養育費払うことになるから嫌だ。	30～34 歳	男性	未婚
束縛されたくない。	30～34 歳	男性	未婚
結婚して自分の生活に支障が出るのが嫌だから。	30～34 歳	男性	未婚
親を見てみると、メリットが内容に思えます。特にお母さんが可哀想で結婚する気になりません。もし、私が結婚したとしても幸せにできるかどうかの保証もないし、老後のためだからと言う人もいますがそれは自分のエゴであり、そのために結婚するのは相手の人の人生の重みをわかってないからだと思います。	30～34 歳	男性	未婚
自分が誰かを幸せにできるような人間ではない為	30～34 歳	男性	未婚
結婚願望が無いため	30～34 歳	女性	未婚
(一部編集)なので(一部編集)を理解してくれそうな相手がいないから。	30～34 歳	女性	未婚
異性に興味がないため	30～34 歳	女性	未婚
今の生活がいっぱいいっぱいで他人との出会いを探す余裕がない	30～34 歳	女性	未婚
結婚する気がないから	30～34 歳	女性	未婚
人との深い関わりがあまり得意ではないため	30～34 歳	女性	未婚
一回経験したから	30～34 歳	女性	離別
結婚は人生の墓場 結婚するメリットを感じない 奴隷になるつもりはない	30～34 歳	回答しない	未婚
核家族として暮らしていける経済力がそもそもない	35～39 歳	男性	未婚
経済的 金銭的理由により 結婚式の挙行や家庭を持つことが困難なため	35～39 歳	男性	未婚
いろんなことに囚われたくないから	35～39 歳	男性	未婚
ずっと1人で生きてきて、癖のある自分と一生を共にできる人なんていないと思っています。離婚率がとても高い今、わざわざ結婚する価値などないと思っています。	35～39 歳	男性	未婚
縁遠い異世界の話	35～39 歳	男性	未婚
メリットを感じない。逆に経済的に圧迫されたり自分の時間を浪費されるなどデメリットばかりだと思っている	35～39 歳	男性	未婚
イメージがない	35～39 歳	男性	未婚
1回したので、もういいかなと。 誰かと共に過ごすのが嫌だ。	35～39 歳	男性	離別
人と一緒に暮らす自信がない	35～39 歳	女性	未婚
自分が(一部編集)だから結婚はムリだと思う	35～39 歳	女性	未婚
するつもりが無いため	35～39 歳	女性	未婚

他にやりたいことが沢山あり、いまは優先ではないから。	35～39 歳	女性	未婚
面倒くさいから	35～39 歳	女性	未婚
他人と生活したくない。	35～39 歳	女性	未婚
メリットが何一つないから	35～39 歳	女性	未婚
周囲で苦勞したり後悔する声をよく聞くのでいいイメージがない	35～39 歳	女性	未婚
1 度経験したので再婚は考えられない	35～39 歳	女性	離別
離婚するまでが大変だったので。ただ子供たちのメンタル面を考えると両親揃っている方が良いとは思いますが。子供たちに申し訳ないです。	35～39 歳	女性	離別
離婚していて、もう結婚はしたくないと思うから。	35～39 歳	女性	離別
離婚経験があるから	35～39 歳	女性	離別
もう結婚したことあるから。	35～39 歳	女性	離別

※特になし、なしの回答（3 件）

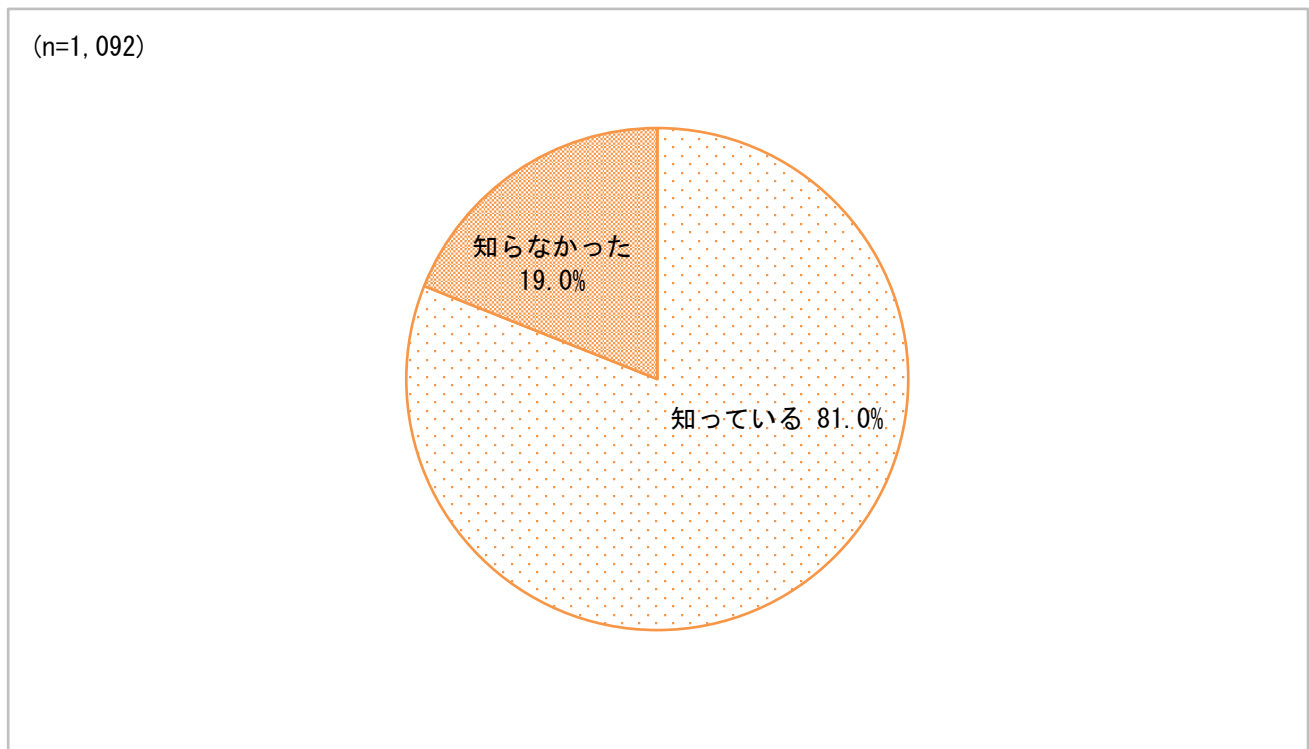
※その他、記号や意図が読み取れない回答は削除
（Q4 で「既婚」を選択しなかった 569 名が回答）

【Q29】 出産の前後に女性が取得できる「産前産後休業（産休）」、育児をする男女がともに活用できる「育児休業（育休）」の制度内容を知っていますか。



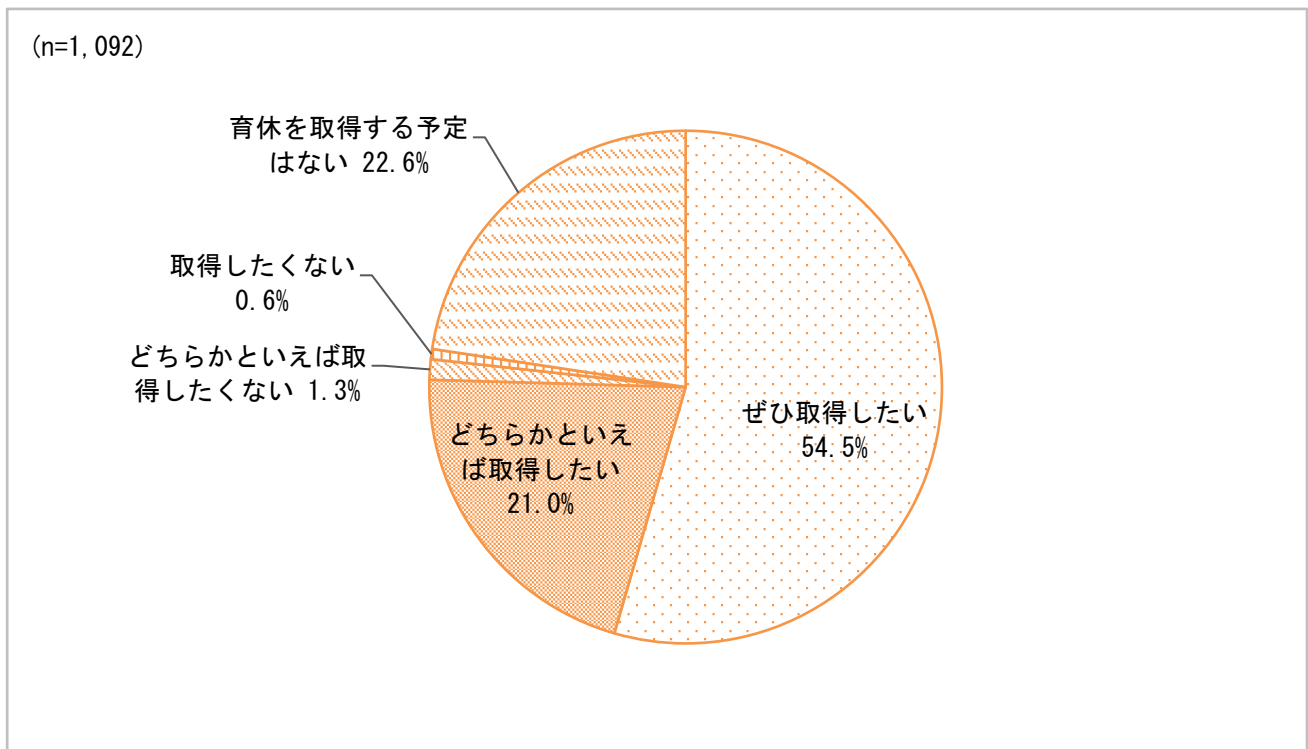
単一回答		n	%
	全体	1,092	
1	よく知っている	343	31.4
2	多少は知っている	546	50.0
3	名前しか知らない	146	13.4
4	全く知らない	57	5.2

【Q30】子どもが生まれた時に男性が活用できる「出生時育児休業（産後パパ育休）」という制度を知っていますか。



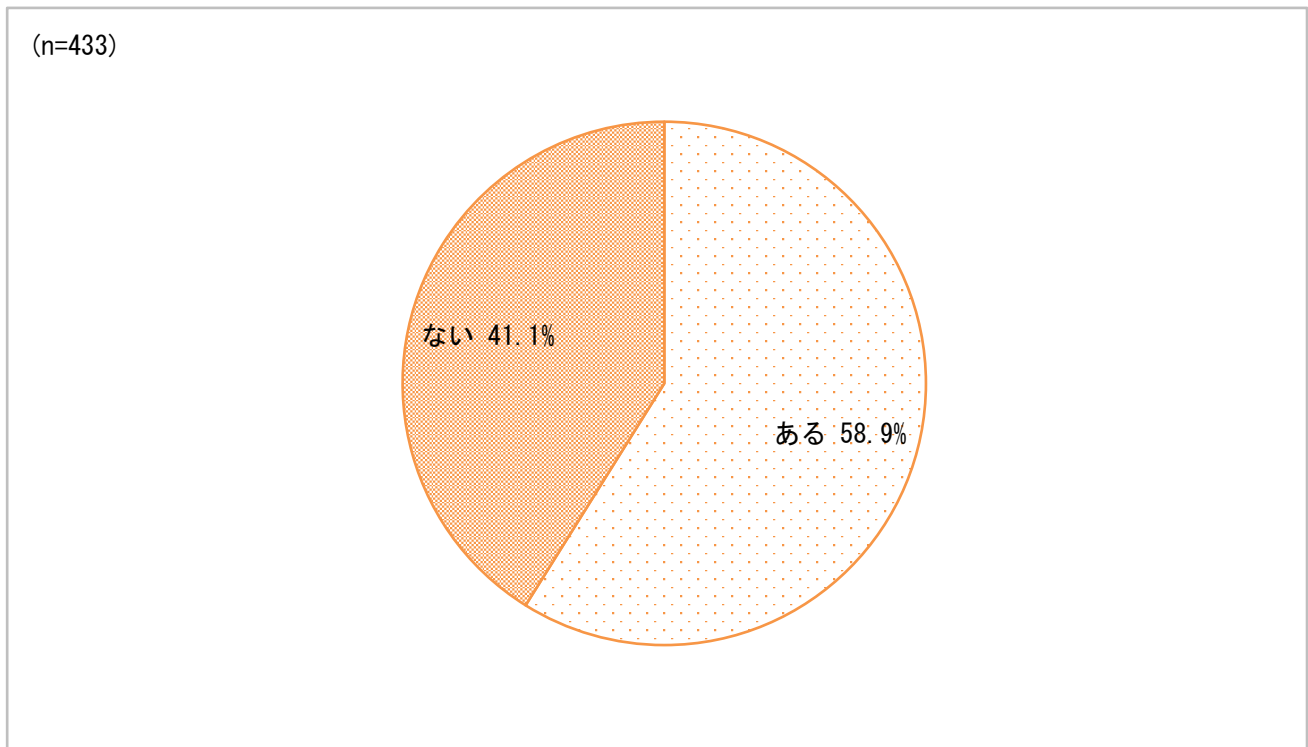
単一回答	n	%
全体	1,092	
1 知っている	885	81.0
2 知らなかった	207	19.0

【Q31】今後、「産前・産後休業（産休）」や「育児休業（育休）」、「出生時育児休業（産後パパ育休）」を取得したいですか。



単一回答	n	%
全体	1,092	
1 ぜひ取得したい	595	54.5
2 どちらかといえば取得したい	229	21.0
3 どちらかといえば取得したくない	14	1.3
4 取得したくない	7	0.6
5 育休を取得する予定はない	247	22.6

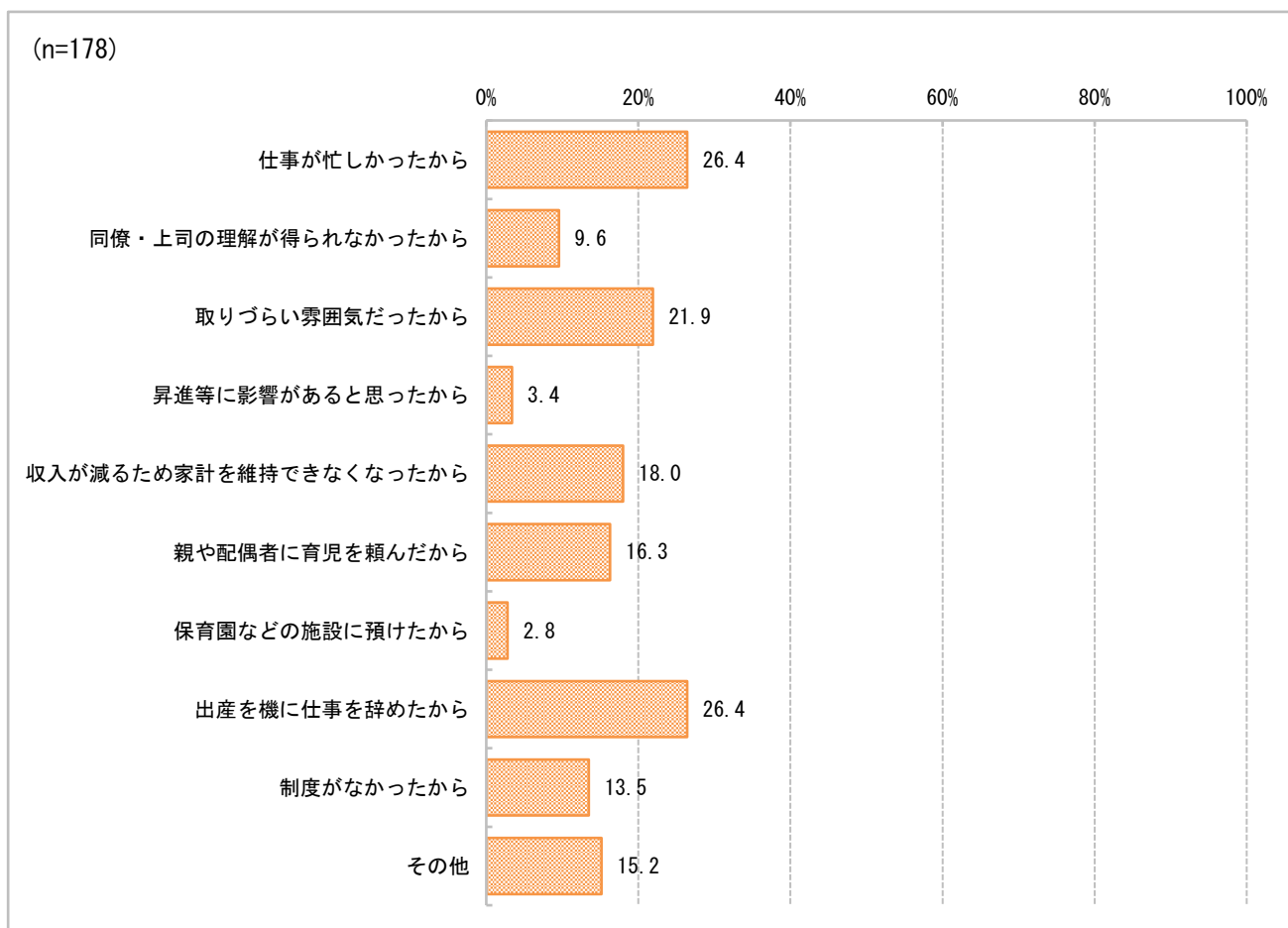
【Q32】 これまでに育児休業を取得したことはありますか。



単一回答	n	%
全体	433	
1 ある	255	58.9
2 ない	178	41.1

(Q5で「0人」を選択しなかった433名が回答)

【Q33】育児休業を取得しなかった・できなかった理由として、あてはまるものをすべて教えてください。



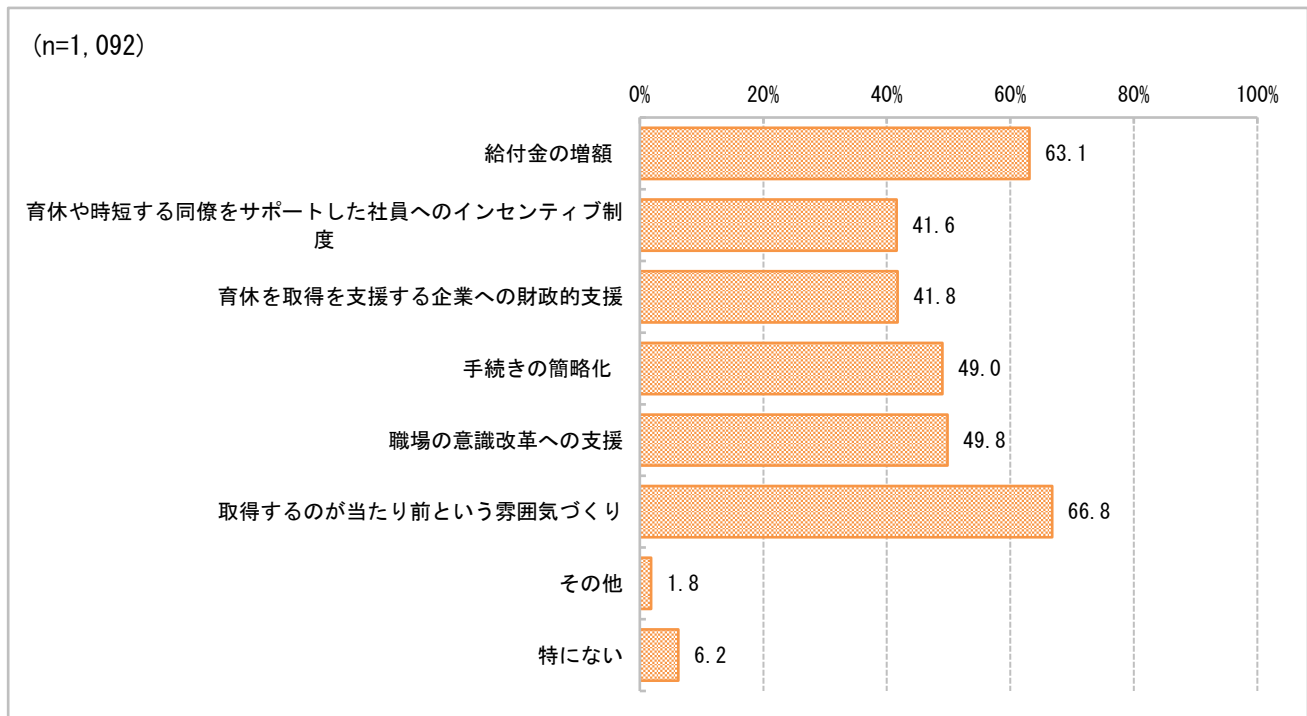
複数回答	n	%
全体	178	
1 仕事が忙しかったから	47	26.4
2 同僚・上司の理解が得られなかったから	17	9.6
3 取りづらい雰囲気だったから	39	21.9
4 昇進等に影響があると思ったから	6	3.4
5 収入が減るため家計を維持できなくなったから	32	18.0
6 親や配偶者に育児を頼んだから	29	16.3
7 保育園などの施設に預けたから	5	2.8
8 出産を機に仕事を辞めたから	47	26.4
9 制度がなかったから	24	13.5
10 その他	27	15.2

(Q32 で「ない」を選択した 178 名が回答)

その他の回答

- ・自宅での仕事だったため
- ・自営業だから。
- ・自営業なので（2件）
- ・専業主婦のため
- ・専業主婦だったから
- ・主婦
- ・出産を控えており、取得に向けて準備をしている段階だから
- ・仕事をしていなかったから
- ・無職だから
- ・無職のため
- ・アルバイトだった
- ・働いていなかったから。
- ・家族経営なので休むとまわらなくなる。個人事業主や、家族経営の家庭も取れるように市がバックアップや、給料の保証などして欲しいと思いました
- ・1人目の子供の際は、育児休暇が欠勤扱いとなり、その後の昇任昇格に影響があることがわかったため
- ・養子縁組時点で、育休期間外だったため
- ・自営業および専業主婦であり、育児休業制度の対象外であったため。
- ・妊娠を機に退職したから
- ・結婚を機に仕事を辞めたため。
- ・仕事の形態的に育児休業が無く、仕事を辞める選択肢しか無かった
- ・第二子に（一部編集）があり金がかかると思い気軽に休めなかった
- ・必要がなかった
- ・会社が倒産したため
- ・特に必要ないと言われたから
- ・これからとるから
- ・有給休暇を使って休んだ
- ・この（一部編集）一般企業において男性の育休取得実績を統計取りました？お役所が思うより遥かに低いですよ。今の田舎の認識はその程度なんだから男性の育休なんて夢のまた夢ですよ。そもそも男が育休取って何ができるのか教えてほしい。

【Q34】育休制度に対して「こうなれば使いやすい」という要望はありますか。あてはまるものをすべて教えてください。

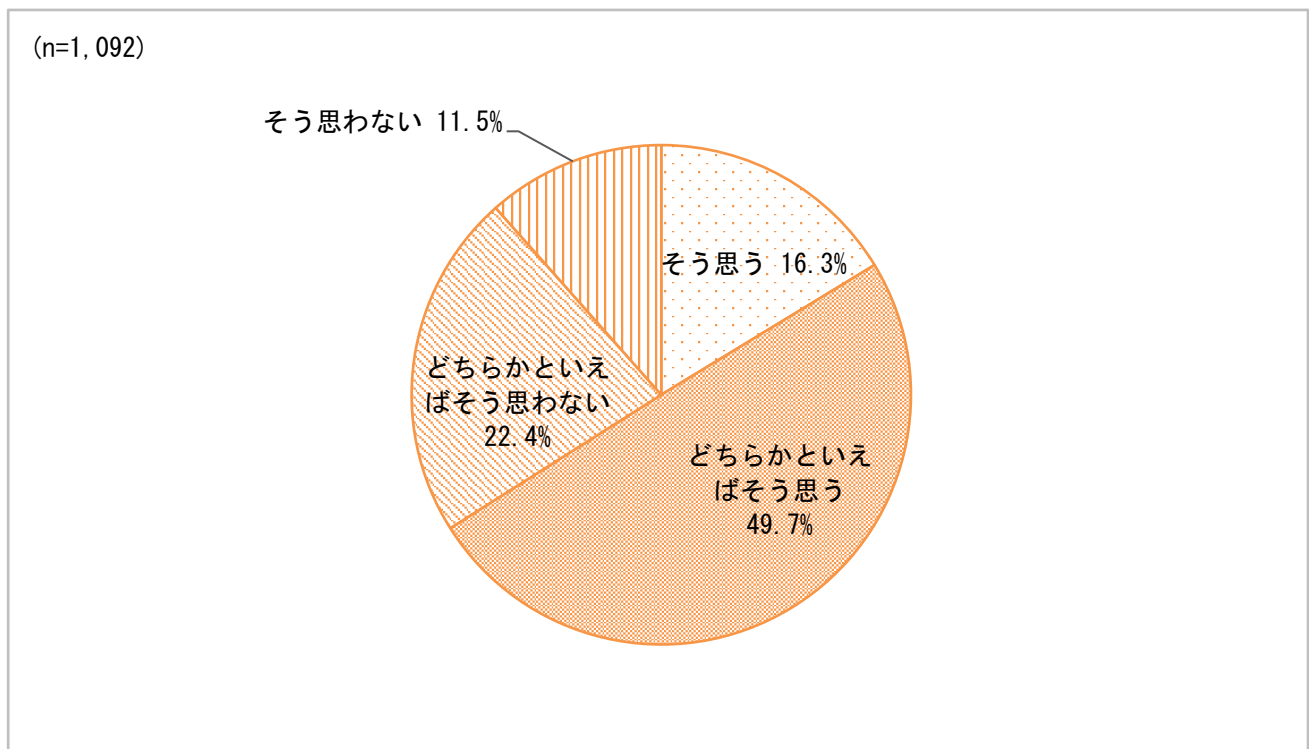


複数回答	n	%
全体	1,092	
1 給付金の増額	689	63.1
2 育休や時短する同僚をサポートした社員へのインセンティブ制度	454	41.6
3 育休を取得を支援する企業への財政的支援	456	41.8
4 手続きの簡略化	535	49.0
5 職場の意識改革への支援	544	49.8
6 取得するのが当たり前という雰囲気づくり	729	66.8
7 その他	20	1.8
8 特にない	68	6.2

その他の回答

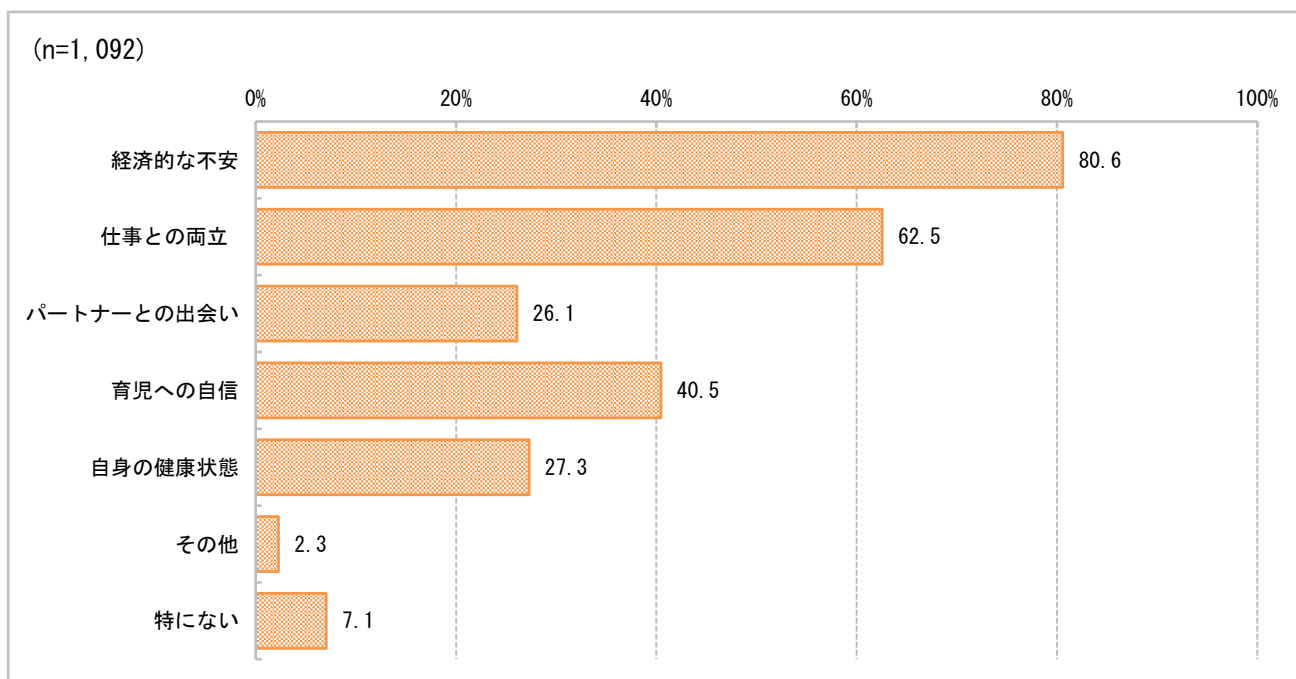
- ・上記（Q33）と同じです
→家族経営なので休むとまわらなくなる。個人事業主や、家族経営の家庭も取れるように市がバックアップや、給料の保証などして欲しいと思いました
- ・自営業なので無縁
- ・自営業者には、育児の為の休みなどありません。サポートしてくれる人もいません。
- ・雇用者だけでなく、自営業者にも育児期間中の所得補償が受けられる仕組みの整備を望みます。
- ・手当支給までの期間の短縮。
- ・育休制度そのものというよりかは、育休後の職場復帰への支援を強化するといいいかなと思います。
- ・制度とは少しズレるが職場に戻った後の居場所作りをどうにかしたい
- ・育休をとった職員の穴埋めを考えないと、現実問題職場は厳しいと思う。
- ・取得の義務化
- ・男性の育児参加の意識
- ・職場の人員の適正配置、調整
- ・育休中の人員配置
- ・2ヶ月に1回ではなく毎月給付金が入るといいなと思います
- ・育休や時短を取っても正職扱いして賃金が引き下がるようなことをなくしてほしい。
- ・育休を取ってしまうと基本給分しかでないので暮らしていけない。
- ・育休を取得した際に、その躰寄せがいくひとたちへのサポートがあれば良い
- ・育休から復帰しないひとがいるなど、制度的な問題の解決
- ・職場の従業員の人数がギリギリで稼働しており、誰かが休むと業務に支障が出る可能性があるため、家庭が大切とはいえ育休を取るよりも親や周りに面倒見をお願い出来るならお願いしようという気がして結局育休取得という発想に至らない。
- ・旦那より実母に育休を取ってもらいたい、そんな制度があってほしい
- ・家事育児をしてこなかった世代の理解が得られない
- ・経験がないからわからない

【Q35】小千谷市は「子育てするならダンゼン小千谷！」声かけ作戦など、子育て支援に力を入れていますが、小千谷市は子育てしやすい環境だと思いますか。子育て経験のない方は、小千谷市で子育てをしてみたいと思いますか。



単一回答	n	%
全体	1,092	
1 そう思う	178	16.3
2 どちらかといえばそう思う	543	49.7
3 どちらかといえばそう思わない	245	22.4
4 そう思わない	126	11.5

【Q36】 将来のライフプラン（結婚や出産）を描く上で、ハードル（壁）と感じるものはありますか。あてはまるものをすべて教えてください。



複数回答	n	%
全体	1,092	
1 経済的な不安	880	80.6
2 仕事との両立	683	62.5
3 パートナーとの出会い	285	26.1
4 育児への自信	442	40.5
5 自身の健康状態	298	27.3
6 その他	25	2.3
7 特にない	77	7.1

その他の回答

- ・過疎化
- ・子供不足による周辺学校の規模の縮小
- ・子育て環境や子育て支援の充実度
- ・他の市の方が、金銭的負担が少ないなど子育て支援が充実している
- ・十分な環境の住居の確保
- ・家族との関係性
- ・現在の家族(実家)
- ・身内の問題
- ・両親の反対、実家や墓などの相続関係、介護など
- ・困った時に誰に相談したらいいか分からない、つながりがない
- ・地域コミュニティの希薄化
- ・育児への自信と重なるがパートナーとの意見のぶつかり 出産後即離婚等
- ・小千谷市が病院が少なすぎる知識もない対応も悪い
- ・産婦人科がなくならないか心配
- ・医療ケア児の対応（保育園等）
- ・市内に産婦人科のある病院が1つしかない
- ・パートナーと一緒に過ごす時間
- ・ライフプランに結婚や出産が必ず入っている社会や行政の考え方や在り方に壁を感じます。
- ・結婚する気はないのでどうでもいい
- ・雪の多さ
- ・仕事をフルですると、お迎え等雪国だとすぐにいけない。フルタイムが難しくなる
- ・豪雪の中で子供の送り迎えとか出来るか
- ・雪
- ・車以外の移動手段について
- ・子供にとっての遊び場

【Q37】小千谷市は「安心して子どもを産み育てられるまち」「働きがいにあふれ、みんなが選びたくなるまち」を目指しています。市民が普段の生活からそう感じられるようになるには、どのようなことを市に望みますか。自由な発想でお答えください。

(任意回答)

■経済的支援の拡充／住居費や生活コストに関する回答 (149 件)

回答結果	性別	年齢	婚姻状況	子の人数
援助金の増額	男性	18・19 歳	未婚	0 人
金銭的な援助	男性	18・19 歳	未婚	0 人
治安の良さ、交通便の良さなどの子どもが安心して過ごすことのできる安全な環境。また、子育てをする親が安心して頼ることができる制度や近所付き合い、経済的支援。子育て版の地域包括ケアシステムみたいなものを構築すると思う。	男性	18・19 歳	未婚	0 人
子供を安心して育てられる支援、制度をできるだけ整える。	男性	18・19 歳	未婚	0 人
経済面の支援 手続きの簡略化	男性	20～24 歳	未婚	0 人
20 代や 30 代をターゲットにした無料の婚活イベントを開いたり、子育て支援の給付金を充実させて、共働きをしなくても子育てに集中出来る政策	男性	20～24 歳	未婚	0 人
金銭面や、周りの配慮など市全体が子育ての大変さや、どのように協力できるかを把握していると良いのではないかと思う。	男性	20～24 歳	未婚	0 人
奨学金の一部補助制度	男性	20～24 歳	未婚	0 人
幅広い企業誘致を行い、職業選択の幅が広がるといいと思う。18 歳までの医療費無料をこれからも続けてほしい。	男性	20～24 歳	未婚	0 人
財政的な援助に限ると思います。	男性	25～29 歳	既婚	0 人
若い世代への補助金の支給	男性	25～29 歳	既婚	0 人
子育てを安心してできるような補助金の整備やサポート体制、移住者や U ターン、I ターン者にも長く住んでもらえるような継続的な補助金の整備	男性	25～29 歳	既婚	0 人
子どもを育てる環境や経済的な面の補助制度などを充実させること。	男性	25～29 歳	既婚	0 人
多額の給付金や優遇制度など子供を作る方が得だと思わせるようなことをする。	男性	25～29 歳	既婚	0 人
子供の医療費無料がやってもらってとてもありがたいです 経済的な支援が直接的でわかりやすくありがたいと思います 子育て世代、若者に伝わるような発信があればいいと思う	男性	25～29 歳	既婚	1 人
助成金が足りない	男性	25～29 歳	既婚	1 人
結婚から子供を育てるにあたって養育費や光熱費、家賃（新築時のローン等含む）などのもっと経済的な対策がまず必要なのと、全国的に見ても低賃金な地域なのでもっと基本給を上げる対策等をする働きがいも出ると思う。	男性	25～29 歳	既婚	1 人

<p>またもっとみんなが行きたくなるようなイベント作りも大切だ と思う。昔に比べて祭り等に行きたい！と思えるものが少なくな っているように感じる。</p>				
<p>この1年間は前年度より子どもが増えたと拝見しました。私も 今年2人目が誕生しました。ご存知かと思いますが、年寄り が多いからか、小千谷にはドラッグストアとラーメン屋くらいし か生き残っていないのが現実であり、今後移住など考えている 層や子育て世帯に対して定期的な補助金や支援をおこなたてい くことで、出生数を増やしていく必要があると思います。 上の子の時も下の子の時もですが、私が子どもの時の同じ小学 校の同級生より小千谷市全体の産まれた人数が少ない状態。こ れが現実です。</p>	男性	25～29歳	既婚	2人
<ul style="list-style-type: none"> ・給付金増額 ・指定学用品の廃止(他にも安く手に入れられるため) ・学費外の費用も一定額市が補助 	男性	25～29歳	既婚	2人
<p>保育料の無料化</p>	男性	25～29歳	既婚	2人
<p>助成金・支援金の増額、出産祝い金の金額が目に見えてわかるよ うにして欲しい 実際に祝い金がいくらなのか個人に振り込まれるのか、出産 費用として病院に直接支払っているのかわからないわかりづら い そもそも全ての助成金・支援金にしても金額も内容も全てわか りづらい 小千谷市自体に産婦人科を残す又は作る</p>	男性	25～29歳	既婚	2人
<p>現在の小千谷市の人口比からして市議会議員が多すぎると思う ので、定数を削減してほしい。高齢者を大切にしなければなら ないが、これからの小千谷を担う若者子どもたちにもっと予算 をかけてほしい。(給食費無料化など)</p>	男性	25～29歳	既婚	2人
<p>小千谷市と隣市の長岡市で就職先を検討した際、鉄鋼業と食品 工場が似通っていて、小売業では長岡市の方が分母が多い。そ うなった際、小千谷市がベットタウンの様なポジションになる と考えているが、賃貸は少なく家賃も割高。単身の若者向けの 住宅は更に少なく、実家から出ようにも難しいが、実家には両 親と祖父母もいて自分の家庭はスペース的にも持ちづらい。小 千谷市が長岡市にも負けない街に成長するにしても、生活のし やすい便利な街になるにしても、若者がパートナーとの時間を 育みながら成長していけるような賃貸ないし分譲地等をもっと 増やして行ってほしいと思います。家賃補助や住宅取得補助、 税金の免除等の制度をインターン以外にも使用できたら更に良</p>	男性	25～29歳	未婚	0人

<p>と思います。自分には生まれ育った小千谷の土地は割に高く、シングルマザーで育ててくれた母と団地を出て、家を建てることは出来ませんでした。</p>				
<p>私は専門学校の2年間を除いて、小千谷に生まれ育ってきました。これからも小千谷に住み続けたいと考えています。そこで、外から人を呼ぶ政策も大切ですが、小千谷に今住んでいる人たちを幸せにする制度が少ないと感じました。たとえば、・保育料完全無料・新築補助金強化・医療費完全無料あたりがあるとありがたいです。錦鯉が世界的に誇れるということも十分承知しています。しかし、錦鯉も外向きPRになっていると感じます。もっと市民も参加しやすい環境整備が必要だと感じました。(例えば小千谷市民だけができる1匹オーナー制度などなど、、、まだまだいい意見があるはずですよ!!)とにかく、小千谷市としてやりたいこと、小千谷市民としてやって欲しいことの食い違いがないようにしていただきたいです。</p> <p>色々書かせてもらいましたが、これからの小千谷を担う一員として貢献できるよう頑張っていきたいです。</p>	男性	25～29歳	未婚	0人
<p>子どもが出来たら居たら経済的支援給付金</p>	男性	25～29歳	未婚	0人
<p>雪国であり、光熱費や生活費が嵩む一方、低賃金の影響や地方であることの影響があるので、結婚や子育てを目標とするならば、既婚、未婚にかかわらず根本的な生活を支える支援が必要と考える。</p>	男性	25～29歳	未婚	0人
<p>交通の便を増やす 補助金を増やす お店を増やす</p>	男性	25～29歳	未婚	0人
<p>金銭面では出産や育児にかかる費用への助成があること、知識や支援の提供策として相談会や親子教室等があること、それらの広報が分かりやすくされ、存在を認識できることを望みます。</p>	男性	25～29歳	未婚	0人
<p>出産、育児に関して市が積極的に支援して下さるとありがたいです。</p>	男性	30～34歳	既婚	0人
<p>個人的には今のお金だけでなく将来に対する漠然としたお金に対する負担から3人目に尻込みしてしまった</p> <p>40に近くなりそれなりに資産形成できたが産みたくても年齢的にキツくなってしまったし、今後子供の大学等考えると気軽にもう1人と気持ちはあるが不安です</p> <p>若い人に産む時助成して終わりではなくその先育てられる金銭的な助成も充実させてくれなければ同じような境遇の人も少なくないと思う</p> <p>市外からきた身としては選ばれて満足して欲しいと思うなら親になる人に負担を背負わせる現状をなんとかしていただきたい</p> <p>雪国だからって小学校のスキー授業とか用意させて数回しか使</p>	男性	30～34歳	既婚	1人

<p>わず人生のなんの役にも立たないのに終わったら粗大ゴミになるような高価な物無理に買わせたり祭りとか万燈とか興味無いので巻き込まないでやりたいやつだけでやるようにして欲しい等々他にもありますがこういう（一部編集）みたいな所に触れてると今は住んでますが将来的に出るつもりになられても仕方ないです</p> <p>昔からやってる人は魅力だと思ってるかもしれませんが興味無い人からしたら（一部編集）</p>				
子育て世代に対する経済的支援、サービスの増強	男性	30～34歳	既婚	1人
<ul style="list-style-type: none"> ・外国人が多くなってきているのに不安。 ・子育て世代への労働時間の短縮、経済的支援 	男性	30～34歳	既婚	1人
小千谷市独自の子どもの手当の拡充など主に金銭的な支援。 シッター、ヘルパーの斡旋及び補助金の支援。	男性	30～34歳	既婚	1人
出産に関する補助金や医療体制	男性	30～34歳	既婚	2人
高収入世帯の出生率は下がっていない事や、その他データから、少子化問題は経済政策によって改善する問題だと思います。 子育て世帯への伴走型支援や地方税の減税によって金銭的負担を軽減する事が良いと思います。	男性	30～34歳	既婚	0人
もっと子育て支援に力を入れて欲しい。他の市町村と比べるとまだまだ少ない。オムツ助成や保育料、給食費の無償化、チャイルドシートの助成など。	男性	30～34歳	既婚	2人
0歳からの保育料を無料にして欲しい。所得が多いほど、保育料が高くなることにも不平等を感じる。早急をお願いします。	男性	30～34歳	既婚	0人
結婚するにもアパート代や生活費が高い。など全てはお金の心配しかないです。	男性	30～34歳	未婚	0人
結婚や出産の費用助成、子どもがいる家庭への支援(おかね、場所)がちゃんとなってパバとも、ママ友みたいな横の繋がりができるような仕組みをつくること	男性	30～34歳	未婚	0人
<p>冬季なら除雪がしっかり行き届き、通勤しやすい（こども送り迎えなども含む）安全度の高い道</p> <p>若い世代には収入関係なく家賃や住宅ローン補助等</p> <p>給料の1/3税金で持っていかれる現状は自分一人が豊かな暮らしをするのが限界</p> <p>若者へ優遇は最優先で進めなければ先はないかと</p> <p>何かしらの市策や各種補助金申請手順など YouTube、Xなどで発信を行い市には小千谷のいいところをどんどんアピールして欲しい</p>	男性	30～34歳	未婚	0人
子育て時代の税金を減税	男性	30～34歳	未婚	0人
結婚・出産・育児に対して経済的な支援と、育児に関する準備	男性	30～34歳	未婚	0人

や対応を順序立てて説明などをし、心配や不安の解消に繋がる精神面の支援、などを行えば「安心してこどもを産み育てられるまち」になると私は思います。 普段からテレビに触れない方たちのために、XやYoutubeなどの媒体で経済的・精神的支援や能力開発支援の情報などを広告として掲示することで各々の意識改革をし、働きがい生まれるのではないかと思います。				
十分な子育て世帯への支援	男性	30～34歳	未婚	0人
産休・育休時の給料支援	男性	35～39歳	既婚	0人
出産・育児の金銭的支援や施設の充実	男性	35～39歳	既婚	0人
育児にかかる費用の補助。未満児にかかる保育料の無償化、給食費の無償化。小千谷市に住んでいる子どもは、保険に入る必要がないと思えるような補助。	男性	35～39歳	既婚	1人
国の児童手当の他に、市独自の助成金、手当の支給。こども一人に対して月一律〇〇万円、等。	男性	35～39歳	既婚	1人
未満児の保育料を減らしてほしい。保護者の収入で保育料が増減するが、頑張っって働いて収入を増やしても保育料に取られるのでは働きがいがあるとは言えないと思う。子育て世代へ所得税との二重課税ではないか。市内の子供の遊び場は狭いので市外に遊びに出ることが多い。ハラテつばめのような、有料施設だけど小千谷市民は無料で遊べるような場所があると、市民であることの特別感が得られて良いと思う。子供が高校生になると小千谷駅まで車で送迎する必要があるので、バス停を増やしたりして子供だけで駅まで行ける環境を整えてほしい。	男性	35～39歳	既婚	2人
子育て支援施設などの充実、助成金を増やす	男性	35～39歳	既婚	2人
小千谷市は子育て世帯への支援が充実しており、非常にありがたいと感じております。若い人の意見を尊重して、寄り添う姿勢が市民一人一人に求められていると思います。やはり、高校卒業後に地元に残る人・進学し就職後帰ってくる人を手厚く支援することでしょうか。	男性	35～39歳	既婚	2人
給付金支援	男性	35～39歳	既婚	2人
子供のいる家庭に経済的支援をもっとして欲しい。	男性	35～39歳	既婚	3人
手当での充実。雪に対する補助金。例えば除雪機購入による補助。融雪の拡張。スポーツをできる体育館の増設。	男性	35～39歳	既婚	3人
共働きしなくても、子育てできる支援または、所得の向上	男性	35～39歳	既婚	4人以上
子供3人以上いる家は毎月三万支給！！	男性	35～39歳	既婚	4人以上
経済的支援 子供が遊べる施設を増やす	男性	35～39歳	既婚	2人
やっぱり助成。ママ、パパ同士の交流の場。住居の支援。学費の助成、免除。何人作っても心配ないと思えるのは、やはりお	男性	35～39歳	既婚	2人

金です。				
他の市と比較してしまうため、小千谷市独自の支援方法の確立が必要だと思う。極端ですが、出産毎に育児に必要な金額の7割を支給（申請必須）。財源の確保としては高齢者の医療費免除を回すなど。抜本的な改革が必要と感じる。	男性	35～39歳	未婚	0人
定期的な（ステージ段階毎の）育児支援金 保育施設の充実 安全な遊具のある大きな公園	男性	35～39歳	未婚	0人
各種補助金の充実、除雪など道路整備の強化	男性	35～39歳	未婚	0人
個人へもちろんで会社側から薦められるように財政支援をもっと増やすべきだと思う。	男性	35～39歳	未婚	0人
住民税を安く	男性	35～39歳	未婚	0人
（条件 資格が揃った上で）金銭的な補助を受けられやすくない	男性	35～39歳	未婚	0人
給付金	男性	35～39歳	未婚	0人
教育と医療費の負担軽減	女性	18・19歳	未婚	0人
まず、無痛分娩と計画帝王切開ができるようにする小千谷で。保育園に通う費用も高いから安くしてほしい	女性	20～24歳	既婚	1人
・安心して働きにいけるよう、保育料の減額 ・中学校までの給食費無料化 ・出産した際のお祝いプレゼント 例：出産お祝い給付金、 オムツ1ケースプレゼント 等	女性	20～24歳	未婚	0人
保育園がタダとか小中給食タダとかだと嬉しいかもしれませんが、産んだ時にお金もらえても、その後お金がかかり続けると思うと、産もう！とはならないです。無茶だと思われるかもしれませんが、それくらい今お金がなくて、生活に精一杯で、子供を作ることでお金が今よりさらにかかってしまうなら諦めるしかないって思ってます。	女性	20～24歳	未婚	0人
自然豊かで治安の良い街、経済的な支援	女性	20～24歳	未婚	0人
助成金があるとか、子供が遊べる場所とかがあればいいかな	女性	20～24歳	未婚	0人
出産費用、教育費用の無償化	女性	20～24歳	未婚	0人
小千谷市が「安心して子どもを産み育てられるまち」「働きがいにあふれ、みんなが選びたくなるまち」になるためには、日常生活の利便性を高めることが大切だと考えます。例えば、若者や家族で楽しめる娯楽施設が増えることで、地域に魅力が生まれると思います。また、交通機関についてはバスの本数が少なく、移動が不便に感じるため、運行本数を増やしてほしいです。また、若者が土地を購入しやすいように提供する事がいい	女性	20～24歳	未婚	0人

<p>と思います。さらに、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、過疎化が進む町にもスーパーや洋服店、コンビニなどの生活に必要なお店を増やしてほしいと感じます。あわせて、子育て支援サービスをより充実させることで、幅広い世代が住みやすいまちになると考えます。また、子どもが安心してのびのびと遊べる遊び場が充実すると良いと思います。例えば、「ぐんぐん」や「ちびっこ広場」のような、天候に左右されずに利用できる施設があることで、子育て世代が外出しやすくなり、親子で過ごす時間も増えると考えます。（一部編集）の有無や（一部編集）「母子家庭」などの区分に限らず、働き盛りの世代でも支援を受けられる給付制度があると良いと感じます。特に、40代・50代といった世代は働く意欲や責任も大きい一方で、災害などの影響を受けた際に生活が不安定になりやすいと考えます。そのため、年齢や家庭状況に関わらず、災害時に給付金や寄付金などの支援を受けられる制度を充実させてほしいです。子育てをする父親や母親が、安心して子どもを預けて息抜きできるよう、一時預かりの制度や施設をもっと充実させてほしいです。用事があるときだけでなく、心身のリフレッシュのためにも気軽に利用できる環境が整うことで、保護者の負担が軽減され、安心して子育てができるまちになると思います。また、子育ての悩みを気軽に相談できる窓口や、親同士が交流できる場が増えると良いと思います。仕事と子育てを両立しやすくするため、急な体調不良の際にも利用できる預かり支援があると安心です。そして、父親も参加しやすい子育て講座やイベントを増やすことで、家庭全体で子育てに向き合える環境になると感じます。育児による孤立を防ぐため、地域で見守り合える仕組みやサポート体制を充実させてほしいです。</p>				
妊娠出産に対する経済的支援	女性	20～24歳	未婚	0人
教育支援 補助金 栄養、育児の授業	女性	20～24歳	未婚	0人
補助金	女性	25～29歳	既婚	0人
ベビー用品の補助や子どもの看護休暇の増加	女性	25～29歳	既婚	0人
育休・時短が当たり前の社会。夫婦共にフルタイム勤務じゃなくても子育て可能な給付金額。（マイホームも建てたい）	女性	25～29歳	既婚	0人
3歳未満児の保育料無償化	女性	25～29歳	既婚	0人
3歳までの保育料無償化を希望します。時短勤務にした場合の給料の減額分を小学校3年生まで補填して欲しいです。	女性	25～29歳	既婚	0人
○児童手当の増額 ○子供が風邪を引いた時に親が仕事を長期休めない時に預ける	女性	25～29歳	既婚	1人

場所の確保				
小千谷市の産婦人科が将来も利用できること 育休中の経済面の支援 若者が小千谷市で働きたいと思うような働き場所の確保	女性	25～29歳	既婚	1人
給付金、保育料	女性	25～29歳	既婚	1人
市内の会社の給料の増額。育児休業中の経済的支援。 積雪時の迅速な除雪対応。	女性	25～29歳	既婚	1人
・毎月オムツの割引券を配布する ・保育料の減価	女性	25～29歳	既婚	1人
小千谷市が頑張ってるのはすごい伝わってきます。ホントカができたことで前の図書館より行く回数が断然増えました。本との触れ合いに繋がるし体を思いっきり動かせます。子供を既に持っている人で、もう1人欲しいけどお金が、、という問題で産もうか迷ってる人が周りに何人かいますし、自分もそうです。全ての女性対象に子育て支援としてお金を投資してもその中にはそもそも妊娠を希望しない人もいますので、今の子持ちに対して何か支援する方が出生数も増えるのかなと思います。	女性	25～29歳	既婚	2人
支援制度が充実していればいいなど。子供達の遊び場はもちろん、二十代、三十代が集まれる場所づくりも大切だと思う。	女性	25～29歳	既婚	0人
育児しやすい街づくりを積極的に進めておられる点を、とても良い取り組みだと感じています。現在妊娠中ですが、産後ケアの無料化は特にありがたく、安心して出産・育児に向き合える支えになっています。今後さらに少子化が進む中で、妊娠・出産・育児にかかる金銭的負担は大きな課題だと思います。そのため、妊娠期から育児期にかけて、市としてできるだけ負担を軽減していただけるような支援や補助の充実に、今後も期待しています。	女性	25～29歳	既婚	0人
シルバー世代だけでなく、子育て世代への割引や支援金	女性	25～29歳	未婚	0人
全部タダでむしろお金をくれる市	女性	25～29歳	未婚	0人
子どもと一緒にいける施設やカフェの増設 交通の便をよくする（電車、バスの増便） 補助金の増加	女性	25～29歳	未婚	0人
金銭的の支援が必要です。	女性	25～29歳	未婚	0人
他の市町村よりもさらに充実した子育て支援 出産費用全額負担	女性	25～29歳	未婚	0人
支援体制がしっかりあること、周りの家庭が幸せに過ごしていることを可視化できる街であること	女性	25～29歳	未婚	0人
経済的支援	女性	25～29歳	未婚	1人
独身の人（年齢問わず）や子供が欲しくてもできない人（不妊	女性	25～29歳	未婚	0人

治療中の女性)が他の人の育休中の時に代わりに残業して働いてくれるので、その人たちの為にも給料を上げてちゃんと還元する会社が増えるといいなと思う。(不満が出ないようになれば育休中の人も罪悪感無く、伸び伸びと育児に専念できるし、将来結婚・子育ての為に今はたくさん稼ぎたいという人の要望も叶えられるので。)また、育休の支援だけでなく不妊治療の支援にも力を入れてあげてほしい。				
小千谷市独自の育児の補助金など	女性	25～29 歳	離別	1 人
小千谷は賃金が低すぎると考えます。長岡の方が圧倒的に基本給が高いので、長岡に人が流れます。なのでまず賃金をあげる事。そして雪もこんなに降っていても助成金などありませんし、娯楽もない。解決案としては、冬の助成金制度の導入、娯楽施設がないので娯楽施設があったりすると良いかもしれないです。イベントは昔に比べて増えていると思うので、親子連れの方も楽しめていると思います。今後も継続して行って欲しいです。	女性	30～34 歳	既婚	0 人
子供 1 人目は経済的になんとかなくても、2 人目は経済的不安から、つくるか悩むところがある。2 人目以降の子供に対する経済的支援がもっとあれば、前向きに考えられるかなと思う。	女性	30～34 歳	既婚	0 人
妊婦になってみて、出産準備で子供の物を色々買い揃えているところですが、食品どころか、生活用品消耗品全般、ベビーグッズすごく高いです。産休に入っても本来の給料の 50%の収入と給付金じゃ全然間に合わないので金銭面でもう少し支援が欲しいです。ベビーグッズのレンタルなどもいいかと思います。あと(一部編集)で無痛分娩ができたかなと思います。	女性	30～34 歳	既婚	1 人
経済的支援。夫も私も元々は他の市に住んでいたが、結婚した際に小千谷に越してきた。もう何年も経つがまだ賃貸に住んでいて、そういう人達に対する永住してもらうための住宅支援がもっと充実してほしい。子供のいじめ被害者へのサポート及び加害者に問題があるので加害者自身の問題解決。	女性	30～34 歳	既婚	1 人
現在はアパートだが、子どもが大きくなったときに持ち家がほしい。しかし物価高の影響などで家を建てる費用に不安があるので、何かしらの支援がほしい。空き家リフォームの補助金や一軒家の貸家の情報提供などでもいい。子育てするための時間の余裕、お金の余裕が生まれるための支援。現在は(一部編集)に産婦人科があるが、(一部編集)のみになった。(一部編集)の産婦人科は絶対になくしてはいけないと思う。	女性	30～34 歳	既婚	1 人
東京都のような子育て支援があると嬉しい。(2 人目から保育料無償、定期的にある給付金など)	女性	30～34 歳	既婚	1 人

給食費無料 子供が無料で遊べる水場 室内の遊び場の充実	女性	30～34 歳	既婚	2 人
保育料無償化です。	女性	30～34 歳	既婚	2 人
子ども関係の助成金が出ると小千谷市に住みたくなると思う。	女性	30～34 歳	既婚	2 人
金銭的に支える仕組み。	女性	30～34 歳	既婚	2 人
安心して産めるように給付金の支給、安心して育てて働けるように未満児からの無償化など。今の現状ですと 1 歳から保育園にいれても仕事を休んでしまえば 1 ヶ月の給料が未満児の保育料にしかならない。その為の対策をして頂きたいです。	女性	30～34 歳	既婚	4 人以上
とにかくお金です 育休手当が少ないし 1 ヶ月ごとにしてほしい 給料が入っても引かれるのが多すぎて手取りも増えない なのに子供を増やしたいなんて、女からしたら気に入らないですよ お金と夫の育休強制があればだいぶ余裕はでてくると思います	女性	30～34 歳	既婚	1 人
総合病院の強化 産後ママのサポート強化 手当金強化(パパの育休による減給があるため、金銭面を考えるとパパの育休を取りたくても取れないあるいは取りにくいことが現状と思う)	女性	30～34 歳	既婚	1 人
学童の無償化、または減額希望。子供の歳が近いと全員分のお金は大きな負担となり、長い時間働きたいのに働けない。小学校のスキー授業にかかる費用が大変。	女性	30～34 歳	既婚	3 人
不妊治療、不育治療の助成が手厚くなると有り難いです。	女性	30～34 歳	既婚	0 人
経済的な支援をさらに増やして頂けると嬉しい	女性	30～34 歳	既婚	1 人
もう少し子供の給付金を出してほしい	女性	30～34 歳	既婚	3 人
18 歳までの医療費無償化をこれからも続けてもらいたいですし、給食費無償化にもなったら尚助かります。	女性	30～34 歳	既婚	4 人以上
今の時代、物価高である上、給料が上がらないため、子育てをすることは経済的に『かなり』裕福でないと成り立たないような気がします。今もやっていただいていると思いますが、経済的な給付をとにかくお願いしたいです。保育料が高いです。	女性	30～34 歳	既婚	1 人
・未満児の保育料無償化 ・両親と一緒に住んでいないし、夫は仕事で朝は早いし帰りが遅い。お金のこともあるのでフルタイムで働きたいが現状厳しい。 勤務時間が 8 時からではなく 8 時半(7 時間半勤務)になれば、まだ頑張れそう。	女性	30～34 歳	既婚	1 人
もっと子どもが安心して遊べる施設が欲しい。子育てをする家庭への職場からの支援画があると働き手も増えると思う。	女性	30～34 歳	未婚	0 人
とにかく支援を手厚くしてほしい	女性	30～34 歳	未婚	0 人

職場の理解と育てやすい雰囲気。補助金制度の普及。	女性	35～39 歳	既婚	0 人
育児に関する助成金給付	女性	35～39 歳	既婚	0 人
補助金や助成金が充実していれば、3 人目以降も考えたい	女性	35～39 歳	既婚	1 人
子どもたちが遊べる遊び場がもっと増えてほしいです。出産祝い金やおむつ補助券、一時預かりなど子育てサポートが充実すると嬉しいです。おぢやつつみはとてもありがたいと思いました。	女性	35～39 歳	既婚	2 人
企業の基本給の底上げ、基本給がもっと上がれば子育てにかかる費用も確保できる。子どもが義務教育中は登校を保護者が見送りできるように始業時間を遅らせる。労働時間の短縮。小学校、中学校入学にかかる費用（体操着や制服、通学かばん）などの補助金があるといい。	女性	35～39 歳	既婚	2 人
自分の場合はつわりがとてひどく、働くこと愚か、日常生活がままならず、上の子の面倒を見ることができず兄弟を増やすことがとて困難でした。夫婦で高卒、小千谷で働いていて収入はとて引く、そんな中で子供をたくさん産む事は困難です。本当は子供いっぱい産みたかったので、支援があればもっと産みたい育てたい人はいっぱいいると思います。若い人ほど妊娠しやすいのに、収入のせいで産めず、お金に余裕ができた頃には妊娠しづらい年齢になっているのはもったいないと思います。	女性	35～39 歳	既婚	2 人
共働きの夫婦も増えているので学童の無償化、育休や時短勤務をしている社員のいる部署で負担を背負う可能性のある社員への経済的支援、学校の先生で時短勤務している職員への業務支援	女性	35～39 歳	既婚	2 人
就職先がないと家族を持つという事に不安が出ると思うのでまずは企業誘致に力を入れてほしい。あとは子どもを産んだあと大学まで約 24 年ある子育て期間の支援がほしい	女性	35～39 歳	既婚	2 人
3 歳未満児の保育料の減額を検討して頂きたいです。	女性	35～39 歳	既婚	2 人
子育て世帯への支援を強化してほしい。我が家は共働きで就学前の子供が 2 人いますが、平日は忙しくてなかなか話もゆっくり聞いてあげられません。収入が増えれば無理にフルタイムで働かなくても良いと思っています。就学前までの子供がいる家庭に継続的に金銭面での支援があるとかなり有難いです。児童手当の増額など。	女性	35～39 歳	既婚	2 人
経済的支援があるといい。未満児の保育料が高くてせっかく育休明けにフルタイムで働いても数万円取られることでなんのためにフルタイム復帰してるのかわからなくなる。 中学までの制服などの補助金もつけて中学までは経済的によゆ	女性	35～39 歳	既婚	3 人

うを持ってしっかり育て、高校からの選択肢を広げられるようにすると子育てに前向きになれると思う。				
子育てする親に資金援助。例えば入学の時に祝い金など出費が多くかかる時に少しでも援助してもらえるとありがたいと思います。	女性	35～39 歳	既婚	3 人
子供の受診料の無償化感謝しています。ありがとうございます。子供だけでなく、子育て環境にある家庭に対しての支援も増えると助かります。扶養する子供がいる世帯への児童手当以外の支援物資や親の受診料の補助等。そして家庭環境に合わせた働き方をした際の（時短勤務など）経済的支援を望みます。	女性	35～39 歳	既婚	3 人
①子どもの遊び場、居場所が増えること。ホントカの屋内広場は狭すぎます。駐車場も狭いです。長岡のてくてくに行くとき小千谷市民によく会います。てくてくのような、屋内、屋外ともに遊べる、ある程度の広さもある施設があると良いです。②中高生の遊び場、居場所も増えること。仕方がないことですが、カラオケも映画館もなく、他市に行くしかありません。小千谷駅近くに2ヶ所、居場所みたいなのが開設されたのは良かったと思います。③（一部編集）地区の公共交通機関が不便すぎます。イコテも区域外で残念すぎます。子どもが中高生になったらどうしようかと悩みます。ずっと送迎です。④公立保育園が古すぎます。⑤他市との差別化を図るには、金銭面での支援が何よりではないでしょうか。幼稚園、保育園、小中学校まで、給食費の無償化、ぜひ検討していただきたいです。⑥このようなアンケートが配布されることはとてもありがたく思います。	女性	35～39 歳	既婚	3 人
まず市役所に授乳室がほしい。正面玄関からベビーカーで入れるようにしてほしい（今の最後数段の階段があることで災害時やエレベーター点検時に困る）。立ったまま書類記入ができる記載台がほしい（抱っこ紐をつけた状態でイスに座ることが困難）。手続き中に子どもを遊ばせておけるスペースや子どもを預けておける場所がほしい（どれくらい手続きに時間がかかるかわからないため、子どもがぐずる。わんぱーくまで行くのは手間に感じる）。3歳未満児に対する保育料の無償化、もしくは魚沼市のように2子以降のカウントを在園児ではなく、実際に何番目の子なのかで数えて助成してほしい（上の子が小学生だと未満児でも減額されないため）。	女性	35～39 歳	既婚	4 人以上
Uターン、Iターンや移住で他の市町村ではなく、小千谷が選ばれる圧倒的な魅力、金銭的な補助、一時預かり等の施設などの整備、	女性	35～39 歳	既婚	0 人
とにかく分娩体制の強化。冬季、積雪の心配がない施設駐車場。	女性	35～39 歳	既婚	1 人

<p>また1歳から使える買い物カートがあるスーパーは多いけど首が座った赤ちゃんが使えるカートが設置してあるスーパーが少ない。駐車場に関して優先がない(原信しかない)出産後のお祝いをいただけるのは嬉しいけど秒でなくなるものばかり。もっと手厚い支援がほしい</p>				
<p>子供を産んだ後の手厚い支援。希望の保育園に入れる。粉ミルクやオムツ等必要な物資を無償で配達してもらい、その時に保護者の健康状態の確認が出来る。産休や育休や時短されている人のかわりに働いてくれている人への給与増額。無給扱いの子供の病気や授業参観なども有給扱いにする。保育園での持ち物をすべて貸し出しにし、保護者と保育園の負担を減らす。駐車場を広くしてほしい。制服や学校で使う物品を格安で手に入るお店がほしい。お下がりでは手にはいらぬ物も多いので。小学校中学校で必要な物不要な物リストがあれば卒業時にお下がり回しやす。家事代行サービスを無償または格安で受けられる。</p>	女性	35~39歳	既婚	2人
<p>妊娠発覚時からの助成が受けられるまでの検診費用の負担が大きい。産前産後休業、出産一時金は、正社員しか受けられないから、パートやアルバイトにも何か経済的なサポートがあってもいいと思う。赤ちゃんのおむつ券があるといい。子供がいる家庭に浄水器の取り付けサポートがあるといい。小千谷の水質は、塩素が強すぎて、赤ちゃんや小学生、アレルギーのある子供達には負担が大きすぎる。中学入学時の学用品等の経済的、サポートがあるといい。物価高で、全てを揃えるのに家庭的負担が大きすぎる。</p>	女性	35~39歳	既婚	3人
<p>子育て支援、特に収入面 医療費がかからないのはとてもありがたいですが、子どもの人数が多いほど何か金銭面で手当があるとより嬉しい</p>	女性	35~39歳	既婚	4人以上
<p>核家族が増えて、家を広くしたいと思ってる家族が多いと思うがアパートなどの選択肢が少ない。(3DK.3LDKなど) 持家の取得は自分も経験してるが出費が多く家計が大変。 一度取得するとなかなか手放せないことなど、住居の選択肢を増やしてあげた方が家族は地方から来やすくなったりすると思う。家を取得している子持ち世帯の支援があると子育てがもう少し楽になってありがたいと思っています。</p>	女性	35~39歳	既婚	4人以上
<p>サポート体制 安全な環境 補助金が充実していること 横との繋がりがつくりやすい仕組みもあるといいと思います</p>	女性	35~39歳	既婚	1人
<p>市独自の物価高騰への支援、どの世代にも行き渡る支援で愛される小千谷市になって欲しい。</p>	女性	35~39歳	既婚	1人

子育て世帯には補助金が出たり、こどもの遊び場	女性	35～39 歳	既婚	1 人
教育費の負担軽減	女性	35～39 歳	既婚	2 人
小千谷市の企業全体の給与が上がる 住宅購入時の補助金 家賃の減額(小千谷市内は高過ぎる、長岡の方が安く、新潟市内 と同等くらいに高い)	女性	35～39 歳	未婚	0 人
小学生まで医療費無料や出産祝い金など。聖籠町も過疎化し人 口が減りましたが子供に力を入れた政策で今は若い世代から人 気の街です。聖籠町に続いて小千谷も人口が増えて行って欲し いです。	女性	35～39 歳	未婚	0 人
経済的な支援と子どもの遊び場	女性	35～39 歳	未婚	0 人
家賃が高すぎる。長岡よりも高い。 雪が多いからサンルームがいいのに、(一部編集)しかないか ら他社の誘致をして欲しい。	女性	35～39 歳	未婚	0 人
補助金等	回答しない	25～29 歳	未婚	0 人
給料を上げていくこと。 光熱費の助成以前に、光熱費を下げて欲しい。 特に下水道費は小千谷市は他と比べ、高額だと感じています。	回答しない	35～39 歳	既婚	2 人

■商業施設、魅力のあるお店、地域イベントの不足に関する回答 (86 件)

回答結果	性別	年齢	婚姻状況	子の人数
<p>・結論から申し上げますと小千谷市には発展都市のようなトレンドが欲しいと思います。</p> <p>《理由》 小千谷市は住むだけならとてもよい場所だとは思いますが、家賃は安い、物価も安い、スーパーもある。しかし、私自身もそうですが成長していく過程で発展都市(東京等)への憧れが多少なりとも出てくると思います。小千谷市にはない仕事(IT、アパレル、芸能等)を求めたり、都市の店や住居(衣食住)の幅の広さを求めたりと、昔よりネット環境が整備されたことで今の若者はトレンド(流行)に敏感になっており、必然的に最新のトレンドが集まる都市への移住が加速するのだと思います。だからといって小千谷市を発展都市にしろと言っても難しい話です。</p> <p>《案1》コラボによる地地域活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漫画やアニメとのコラボ ・人気インフルエンサーとのコラボ ・大手企業とのコラボ <p>漫画アニメや大手企業と小千谷市の企業のコラボ商品を出したり、小千谷の名産品をインフルエンサーの方に発信してもらったりなどと考えました。ですがこれらは一時的な活性化には繋</p>	男性	18・19 歳	未婚	0 人

<p>がりますがその後は徐々に落ち着いてしまうものだと思います。この問題をどうにかしたいものです。</p> <p>※ここからは私情です。</p> <p>《案2》小千谷市に新幹線を開通する(とても難しいのは承知しております)</p> <p>これは私個人のお願いなのですが新幹線があると手軽で速く都市に行けるので駅の乗り換えや車などを使わなくてもいいのでハードルが下がるかとも思いました。</p>				
若者向けの施設を増やす	男性	18・19歳	未婚	0人
町に出たくなるような環境	男性	20～24歳	未婚	0人
20代や30代をターゲットにした無料の婚活イベントを開いたり、子育て支援の給付金を充実させて、共働きをしなくても子育てに集中出来る政策	男性	20～24歳	未婚	0人
若者が小千谷に居やすいように若者向けの施設やお店 娯楽施設をたくさん増やすべきだと思います。今の小千谷は高齢者に特化したような街にしか見えません。少子高齢化もあるので仕方がないとは思いますが、もう少し若者にも特化した街にして若者が小千谷に居続けたいと思われるようにして欲しいです。	男性	20～24歳	未婚	0人
子供の遊ぶ場所、急用などのとき安心して預けられる託児所や近隣住民、地域での協力体制。小千谷といえばこれ。錦鯉、花火だけじゃないジャンルをこれから増やし発信していく。	男性	20～24歳	未婚	0人
もっとチェーン店が増えると良いと思う 片貝地区にもコンビニなどが欲しい	男性	20～24歳	未婚	0人
若者が訪れやすく住みやすい環境を作るための施設(飲食、子供が遊ぶ場所など)を作ること	男性	20～24歳	未婚	0人
町おこしのイベントの活性化	男性	20～24歳	未婚	0人
面白い街、いろんなイベントや商業施設、遊べる場所がある小千谷。おぢやおやじの発信は市としてはとても役立っていると思う。気軽に何か始められるそんな雰囲気がある街がいいと思う。	男性	20～24歳	未婚	0人
小千谷市は潰れた店がそのまま残っている状態であるので、そこに新しい店を作って欲しい。なるべく今小千谷市にない店にして欲しい。また、ホントカで子供たちが楽しめるイベントをもっとしてほしい。	男性	20～24歳	未婚	0人
レジャー施設が必要だと思う	男性	20～24歳	未婚	0人
子供の遊ぶところを多くして欲しい。最近これは危ないから禁止とか言って禁止になるところが多いが2.3人の意見で禁止するのはおかしいと思うし、外で遊べば体も動かせるし、虫取りとかして知識を高めたり、地域の人たちと集まれる環境、場	男性	20～24歳	未婚	0人

所、公園などがあれば触れ合いとかもできる。それがあれば小千谷祭りの時とかももっと盛り上がると思う！				
小千谷市が良いお店作りをいっぱい作って貰える所になると良いです	男性	20～24 歳	その他	0 人
生活をする上で雪の影響を受けない、もしくは受けづらいような環境がいいと思います。また、公共交通機関を充実させたり、徒歩圏内でスーパーやドラッグストアがあるといいと思います。他にも小千谷駅周辺が賑やかな雰囲気になればいいなと思います	男性	25～29 歳	既婚	0 人
若者の利用する店が少なくなった気がする 大型ショッピングモールとまでは言わないが、もう少し若者の利用できる商業施設があった方が魅力的に感じると思う	男性	25～29 歳	既婚	0 人
まずは娯楽。遊ぶところもなければ、集まれるような場所もない。まず子供が少なすぎて同級生のつながりが少なすぎる。小学校は合併して行って良いと思う。子供を産むにも（一部編集）しかない。その（一部編集）も怪しくなっている。これで子供が増えるのだろうか。まずは娯楽施設を作ること。	男性	25～29 歳	既婚	0 人
結婚から子供を育てるにあたって養育費や光熱費、家賃（新築時のローン等含む）などのもっと経済的な対策がまず必要なのと、全国的に見ても低賃金な地域なのでもっと基本給を上げる対策等をするとう働きがいも出ると思う。またもっとみんなが行きたくなるようなイベント作りも大切だと思う。昔に比べて祭り等に行きたい！と思えるものが少なくなっているように感じる。	男性	25～29 歳	既婚	1 人
この1年間は前年度より子どもが増えたと拝見しました。私も今年2人目が誕生しました。ご存知かと思いますが、年寄りが多いからか、小千谷にはドラッグストアとラーメン屋くらいしか生き残っていないのが現実であり、今後移住など考えている層や子育て世帯に対して定期的な補助金や支援をおこなっていくことで、出生数を増やしていく必要があると思います。上の子の時も下の子の時もですが、私が子どもの時の同じ小学校の同級生より小千谷市全体の産まれた人数が少ない状態。これが現実です。	男性	25～29 歳	既婚	2 人
子供が遊ぶ場所がなく中高生が市内の施設などにお金を落とさなくなるからなにか遊べる場所または施設があると変わると思う また道の駅をもっと活用して小千谷の名産をおくでもいいし休日に人が来るようにするべきだ市内の飲食店などと市が連携してもっと上手く市内が盛り上がれると思います。 小千谷のやることは中途半端なのでもっと振り切ってやってほ	男性	25～29 歳	未婚	0 人

<p>しいです 今後とも住み続けたいので是非ともよろしく願います。</p>				
<p>美味しい食べ物のお店が増えてくれると嬉しい もっと美味しい物をアピールしてほしい</p>	男性	25～29 歳	未婚	0 人
<p>交通の便を増やす 補助金を増やす お店を増やす</p>	男性	25～29 歳	未婚	0 人
<p>子供が集まる色々なイベント等をして欲しい。</p>	男性	30～34 歳	既婚	1 人
<p>大きなショッピングモールがあると嬉しい。 安い寿司屋ができて欲しい。</p>	男性	30～34 歳	既婚	1 人
<p>(一部編集)に住んでいるがスーパーやドラッグストア、コンビニのような施設が歩いていける距離にないのが子育てをする上で不便を感じる。ちょっと買い足したい、子供が熱が出てゼリーとか買いたいと思っても車を出して買いに行かなきゃいけない。冬場は雪道の運転が苦手な人も多いので小千谷の各地区にそういうお店が一軒でもあると QOL は上がると思います。</p>	男性	30～34 歳	既婚	1 人
<p>イベントが多く、出会いが多く、地域で子供を育てていくような雰囲気</p>	男性	30～34 歳	既婚	1 人
<p>お年寄りファースト(老人会等)ばかりで子供たちのイベントなどがなくなっている</p>	男性	30～34 歳	既婚	2 人
<p>健康施設(温泉や室内プール)、商業施設(子どもが楽しめる施設含む)等の誘致を行うなどを希望します。</p>	男性	30～34 歳	既婚	2 人
<p>室内で遊べる大型施設をつくれればよりよい生活習慣を得られると思う。又、市外からも子連れ家族が訪れるキッカケになると思うので、経済的な面でも期待ができると思われる。周りの人たちが小千谷に遊びに行く理由を考えていくべきだと深く考える。</p>	男性	30～34 歳	既婚	2 人
<p>まず、雪の日に除雪をちゃんとして道を広げてほしい。そうしないとお客さんは出入り出来ないし、今も除雪頑張っているのはわかるが、大雪警報をだすだけでなく、出た日には給料の保証などが無いと個人でお店を経営する気にはならないと思う。小さい市で大型の店舗が入ってきにくい状況の中で個人事業主を優遇できないのであればネットですべて済むし、小千谷で起業する人がいなくなり、住む人がいなくなるので小千谷は将来的になくなると思う</p>	男性	30～34 歳	既婚	2 人
<p>町自体に活気が必要だと思う。現在、大型の商業施設などが長岡まで行かないと無く、週末は長岡に行かないといけなことが多い。そのため、わざわざ小千谷を選ぶメリットが薄いように感じている。また、小千谷に限った話ではないが、寒波が来ると除雪が大変なので、その辺りも小千谷を避ける要因になってしまうように思う。</p>	男性	30～34 歳	未婚	0 人

少子高齢化が加速していて働き口も市外になっているから外から呼び込むくらいしかないと思う 気軽に入れるチェーン飲食店が極端に少ないと誘致する	男性	30～34 歳	未婚	0 人
企業を誘致して働き口を増やすことと、今現在空いてる土地に商業施設や店舗を入れること。	男性	30～34 歳	未婚	0 人
近年は高齢出産が増えているのも事実でもっと高齢出産に対してのサポートと対象年齢ね範囲を広めて欲しい また町村にもよるが(自分が住んでる (一部編集))に何かしらの難しいと思います。コンビニができて欲しいし何かしらで岩沢という場所を何かしらでアピールして欲しい	男性	30～34 歳	未婚	0 人
小千谷に住んでるからこそはっきり言います。 遊べる所が無さすぎて、若い子たちは離れていきます。	男性	30～34 歳	未婚	0 人
大きな病院や薬局などはそろっているが、子どもが色々な経験をされてあげられるようなところが少なく市内でそういうことができればと思います	男性	30～34 歳	未婚	0 人
(一部編集)から移住しましたが、小千谷市の方が除雪も楽で快適に暮らせています。小千谷市で就職したい、暮らしたい、と思ってもらえるよう、他の地域に勝るメリットが目立つようにアピールしてもらいたいです。長岡市が便利とされるのは、お店がたくさんあるからでしょう。長岡市民から、小千谷市は何もない、と言われてますが、周りの市にあるチェーン店がない、セルフのガソリンスタンドも少ないのが理由でしょう。現状は、小千谷市より長岡市に住みたい、という人が多いかもしれませんが、いろいろなお店が増えれば長岡市より小千谷市に住みたい、という人も増えると思います。また、防衛関連企業を小千谷市に誘致してもらいたいです。防衛関連はこれからさらに活発になると思うので、雇用の創出の為にも是非お願いします。	男性	35～39 歳	既婚	0 人
出産・育児の金銭的支援や施設の充実	男性	35～39 歳	既婚	0 人
芸能人、お笑い芸人やスポーツ選手を呼んでイベントを企画するなどエンターテイメント要素のある楽しいイベントがあると話題になり、街に活気が生まれる一要素になるかも…とも思います。又、風船一揆の開催やブルーインパルスなどの誘致もいいのですが、天気左右される要素がありすぎて開催されなかった時の経済的損失とガッカリ感が凄いのでもう少し天気に左右されないようなイベントを企画しないととも思います。そういうところから街や人の雰囲気、活気に影響が出て「みんなが選びたくなるまち」に少しは影響するのではないかと思います。	男性	35～39 歳	既婚	1 人
就職先の増加。流行りの服が買えたり中学生や高校生の遊び場	男性	35～39 歳	既婚	1 人

があること。				
活気がない。買い物だって市外に出ることが多い。小千谷でしか得られない「物」や強みがないと人はここにいない意味がない。ハッキリ言って自分も小千谷で生まれ育ったが仕方なく住んでいる感がある。	男性	35～39 歳	既婚	2 人
都市部に比べて犯罪件数や比率は少ないと思う。しかし、現在は耳にしていないが子どもの登下校や外で遊んでいる時の猥褻被害の不安はある。見守りの体制や子ども 110 番の家的な避難先の整備や遭遇時の対応の指導をお願いしたい。超高齢社会となる中で両親の健康寿命が長くなる事が仕事や子育てをしていく上でも重要に思える。リアルタイムなところで言うと雪が多い事がネガティブなイメージしかない。雪に対してポジティブなイベントや施設を充実させて雪と共存できる環境整備や雪を有効活用できる知識、指導をお願いしたい。	男性	35～39 歳	既婚	2 人
賃金アップ 公共施設の充実 本町商店街の再開 小千谷市内の郊外地域への宅地誘致 市内小学校それぞれにおける特色ある教育活動の展開 学区外通学の柔軟な対応 闘牛や養鯉業を地域小学校の学習教材として、市外からの移住者を募る	男性	35～39 歳	既婚	2 人
ホントか周辺に駐車場を増やし、様々なことを経験できるイベントなどを開催してほしい。	男性	35～39 歳	既婚	2 人
魅力的なフードチェーン店や、温泉施設(天然じゃなくても可)などの充実を希望します 日本人ファーストで!	男性	35～39 歳	未婚	0 人
・除雪関係の充実 ・(一部編集)などの飲食店の誘致(市内は子どもや学生が行く様な飲食店が少ない) ・文房具店や駄菓子屋、おもちゃ屋などへの支援(学校があるのに学生向けの店舗が無くなっている) ・市の中心部から離れた地域だと、車が無いと何処にも行けないので、交通関係の整備、補助 ・市の中心部から離れた地域への車両型の移動販売店の運営 ・介護施設への支援 ・結婚後同居しない親への支援	男性	35～39 歳	未婚	0 人
手取りが少ないので手取りやボーナスが増えないと働き甲斐を感じられないのと閉店した空き地に大型ショッピングモールやアニメ好きの方が寄りやすいアニメイトのような店が無いのでであると子供達の遊び場は増えるのかなと思っています。整形外	男性	35～39 歳	未婚	0 人

科医院も個人的に増やしてほしいです。				
廃墟の店などを利用して新しい飲食店など若者が集まる場所をつくる	女性	18・19歳	既婚	0人
若者の転出が多いので、地元に住みたいと思えるような街づくりが必要だと思います。現に私も小千谷から離れようと思っています。その理由としては、活気を感じられませんし、小千谷において自分が成長できると思わないからです。歴史的なものなどを売りにして小千谷を広めていますそれが直接大半の若者の魅力になるわけでもなく、県外などの人を呼び込めても一時的だと思います。小千谷に住んでいて思いますが、祭りなどの行事のときばかり人が多い印象です。現時点で街の活性化を望んでいても、今は中途半端なところが多いと思うのが率直な意見です。	女性	18・19歳	未婚	0人
病院はたくさんあり、スーパーなどもたくさんあり治安も良いので続けていけると良い。また飲食店が少ないと思うので作ってほしいと思う。	女性	18・19歳	未婚	0人
商店街などのお店が増える	女性	18・19歳	未婚	0人
もっと子供が安心して遊べる場所を増やして欲しい。勉強できる場所も欲しい。10時以降も空いているコンビニが欲しい。	女性	20～24歳	既婚	0人
大人が気軽に行ける皮膚科、耳鼻科が欲しい。温泉、大浴場が近くにあったらいい。	女性	20～24歳	未婚	0人
ボランティア等による見守りの体制。 カラオケ等、市内で遊べる場所が欲しいです。	女性	20～24歳	未婚	0人
子育て支援などの制度を小千谷市内に広めて、みんな知っている！くらいの認知度があるとどんな制度があるんだろうと不安に思わず子育てを出来ると思う。そして、遊べる場所を増やして、駐車場を広くして駐車場が狭くて遊べない…とならないようにしてほしいです。働きがいに限っては、さまざまなジャンルの企業を増やしたり、都会にしか無いというのを減らしてほしいです。普段過ごしていて、小千谷市内には閉店してそのままの店がいくつかあります。昔は小千谷市内にあったお店が閉店して長岡市に行かないと買えなくなってしまっています。そうすると、長岡市に住みたいやあそこの市に行かないと無い…となると思います。私も、昔はあったお店が閉店して長岡市などに行かないと買えなくて「やっぱり長岡市に行かないと無いか…」って思うことがあります。そのように思うことが減ってほしいです。若者に人気なお店などを増やしてほしいです。ここ10年全然変化が無くてとても悲しいです。前も高校時代に小千谷市に望むことで書きましたが、変化が無くて正直諦	女性	20～24歳	未婚	0人

めてます。				
<p>小千谷市が「安心して子どもを産み育てられるまち」「働きがいにあふれ、みんなが選びたくなるまち」になるためには、日常生活の利便性を高めることが大切だと考えます。例えば、若者や家族で楽しめる娯楽施設が増えることで、地域に魅力が生まれると思います。また、交通機関についてはバスの本数が少なく、移動が不便に感じるため、運行本数を増やしてほしいです。また、若者が土地を購入しやすいように提供する事がいいと思います。さらに、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、過疎化が進む町にもスーパーや洋服店、コンビニなどの生活に必要なお店を増やしてほしいと感じます。あわせて、子育て支援サービスをより充実させることで、幅広い世代が住みやすいまちになると考えます。また、子どもが安心してのびのびと遊べる遊び場が充実すると良いと思います。例えば、「ぐんぐん」や「ちびっこ広場」のような、天候に左右されずに利用できる施設があることで、子育て世代が外出しやすくなり、親子で過ごす時間も増えると考えます。（一部編集）の有無や（一部編集）「母子家庭」などの区分に限らず、働き盛りの世代でも支援を受けられる給付制度があると良いと感じます。特に、40代・50代といった世代は働く意欲や責任も大きい一方で、災害などの影響を受けた際に生活が不安定になりやすいと考えます。そのため、年齢や家庭状況に関わらず、災害時に給付金や寄付金などの支援を受けられる制度を充実させてほしいです。子育てをする父親や母親が、安心して子どもを預けて息抜きできるよう、一時預かりの制度や施設をもっと充実させてほしいです。用事があるときだけでなく、心身のリフレッシュのためにも気軽に利用できる環境が整うことで、保護者の負担が軽減され、安心して子育てができるまちになると思います。また、子育ての悩みを気軽に相談できる窓口や、親同士が交流できる場が増えると良いと思います。仕事と子育てを両立しやすくするため、急な体調不良の際にも利用できる預かり支援があると安心です。そして、父親も参加しやすい子育て講座やイベントを増やすことで、家庭全体で子育てに向き合える環境になると感じます。育児による孤立を防ぐため、地域で見守り合える仕組みやサポート体制を充実させてほしいです。</p>	女性	20～24 歳	未婚	0 人
市として、誰もが参加でき、盛り上がるようなイベントなどの取り組みがあれば感じると思います。	女性	25～29 歳	既婚	2 人
遊園地があるといいです。	女性	25～29 歳	既婚	0 人

支援制度が充実していればいいなど。子供達の遊び場はもちろん、二十代、三十代が集まれる場所づくりも大切だと思う。	女性	25～29 歳	既婚	0 人
低所得者だけでなく働いてる世帯も今後安心できません。働きやすい仕事を作ってほしいです。金銭的支援はもちろんですが、他にも小千谷で子供達と暮らしていけるように施設も増えるとありがたいです	女性	25～29 歳	既婚	2 人
もっと子どもの遊べる場所を作ってほしいです。他にも若者向けのお店等も増やしてほしいです。どうしても出かけるとなると小千谷ではなく長岡市に行かないとお店がなく困ってしまいます。飲食店も増やしてほしいです。そして、病院や商業施設に託児所などがあるとよりいいと思います。	女性	25～29 歳	既婚	2 人
子どもと一緒にいける施設やカフェの増設 交通の便をよくする（電車、バスの増便） 補助金の増加	女性	25～29 歳	未婚	0 人
今の市営のアパートなどは老朽化があると思うので改築して今風な感じにする。公園などの遊具を増やす。圧倒的に昔に比べて遊具は少ないなと思いました。丘陵公園まではいきませんが、大きい公園もあっていいのかなとは思いますが。後は普段ならできないような体験（〇〇を作る体験等）ができるイベントを行なうのも良いかと思います。また SNS が普及してる為、若者に届きやすいと思うので Instagram などでもっと宣伝しても良いかと思います。おぢやおやじさんという方が小千谷を宣伝していただけてますが、もっと小千谷を知ってもらいたいと思うので、広報は大事だと思います。私は小千谷が好きなので、今よりもっといい環境になったらいいなと思います。応援しています。	女性	25～29 歳	未婚	0 人
こどもが遊べる場所、お年寄りが気軽に集まれる場所があっても働き盛りの人たちが安心して心を休める場所がない。職場と家の往復になる。ちょっと寄って行こう、ちょっと友達と集まろう、とすることのできる場所が欲しい。	女性	25～29 歳	未婚	0 人
書店やカフェの数を増やす。 ホントカ。にパスワード付きの WiFi を設置する。	女性	25～29 歳	未婚	0 人
小千谷は賃金が低すぎると考えます。長岡の方が圧倒的に基本給が高いので、長岡に人が流れます。なのでまず賃金をあげる事。そして雪もこんなに降っていても助成金などありませんし、娯楽もない。解決案としては、冬の助成金制度の導入、娯楽施設がないので娯楽施設があつたりすると良いかもしれないです。イベントは昔に比べて増えていると思うので、親子連れの方も楽しめていると思います。今後も継続して行って欲しいで	女性	30～34 歳	既婚	0 人

す。				
子育てに関する情報は、他の市町村よりも積極的に提供して いて良い印象があります。ただ、小千谷市に引っ越してみ てお店(特にチェーン店)の種類が少ないと感じ、市には チェーン店など幅広い種類の店舗を受け入れやすい街作 りを希望します。 生活をする上で「この店舗が小千谷にないから隣の市に 行かないきゃ」と思うことがかなり多いです。昔から住 む地元の話では、「セルフガソリンスタンドや飲食店など の大手は、地元企業との利権やしがらみがあって出店 できない」と聞きます。 また3月からの「お得な応援券」は、一市民にとっては 長岡市のようにどこでも使える共通券だけのほうがあ りがたいです。 ここにも利権やしがらみを感じ、市民を助けるのでは なく特定の企業を助ける・得するように思えてなりま せん。地元企業との付き合いもあると思いますが、市内 の会社の技術や市の特色を売り出すのはもちろん、柔 軟性を持って店舗展開しやすいまちづくりをしてほし いと思います。	女性	30～34歳	既婚	0人
医療費の無償化は凄くありがたいです。あとは、治安 の良さや子連れでもいけるお店や施設などがあると嬉 しいです。	女性	30～34歳	既婚	1人
働く場所の確保 産休育休への企業への補助 通学の安全 習い事の選択肢 外食のしやすさ(チェーン店が多いと助かる)	女性	30～34歳	既婚	1人
若い世代や親世代問わず交流できる場やイベントな ど	女性	30～34歳	未婚	0人
子ども向けのイベントや遊べる施設の充実。	女性	30～34歳	離別	1人
スーパーマーケット、ドラッグストア、ラーメン屋、 蕎麦屋、コンビニ、スナック以外の施設の選択肢。飲 食店の雰囲気のわかりやすさ。公共施設の利用の仕 方の説明。ネット予約の充実。 市のホームページで、知りたい情報に辿り着けな いので、わかりやすさ。市内の子どもの習い事はな にが展開されているのか、どこにどう連絡したら入 会できるのかなどがわかりにくいので、そのアピ ール。	女性	30～34歳	離別	1人
・雪の影響で毎年道路状況が悪いので小千谷はオ ススメしにくいです ・買い物や観光は市外に出してしまうことが多い です。小千谷も各季節のイベントだけでなく日常 的にいける観光スポットや飲食店(専門店とか) など「ここにしかない・ここにある」がもっとあ れば市外・市内の人が小千谷を選んでくれて潤 うのではないかと思います	女性	35～39歳	既婚	0人
現在未就学児を育てている方は自分の時よりかなり 手厚い市の制度があると思う。質問の意図とは違 うと承知しているが、コ	女性	35～39歳	既婚	2人

<p>コロナ禍で祭りが縮小中止だった後、コロナ禍明けと言われる時期の祭りで、渦中に我慢した子達が対象外のイベントばかりで楽しめるものが少なかったのが残念だった。特にしゃっこい祭りや宝探しが好きだったため再開された時はとても喜んだが、再開後は年齢制限が設けられていたため参加できなかった。小年齢の子どもだけでなく小学生が楽しめるようなイベントや行事など企画してもらえると嬉しく思う。具体的には我慢を頑張った子達へリベンジしゃっこいまつり等してもらえると親も誘いやすい。</p>				
<p>室内遊具のある場所をもう少し増やしてほしい 小学生まで遊べるアスレチック遊具がある場所ができてほしい 大型スーパーやモールができてほしい 学童へいつている時間を有効的に使いたいので、学校近辺に習い事の教室が多くできてほしい。</p>	女性	35～39 歳	既婚	2 人
<p>子供が遊べる施設の増加、小児科の増加 婚活目的のイベントなど</p>	女性	35～39 歳	既婚	2 人
<p>① 子どもの遊び場、居場所が増えること。ホントカの屋内広場は狭すぎます。駐車場も狭いです。長岡のてくてくに行くくと小千谷市民によく会います。てくてくのような、屋内、屋外ともに遊べる、ある程度の広さもある施設があると良いです。②中高生の遊び場、居場所も増えること。仕方がないことですが、カラオケも映画館もなく、他市に行くしかありません。小千谷駅近くに2ヶ所、居場所みたいなのが開設されたのは良かったと思います。③（一部編集）地区の公共交通機関が不便すぎます。イコテも区域外で残念すぎます。子どもが中高生になったらどうしようかと悩みます。ずっと送迎です。④公立保育園が古すぎます。⑤他市との差別化を図るには、金銭面での支援が何よりではないでしょうか。幼稚園、保育園、小中学校まで、給食費の無償化、ぜひ検討していただきたいです。⑥このようなアンケートが配布されることはとてもありがたいと思います。</p>	女性	35～39 歳	既婚	3 人
<p>まずは、産科の維持を1番にお願いしたいです。保育園の先生の給与を上げるなど、保育園の先生の意欲を高めてほしい。テレワークも可能な職場が増えたらいい。子育て世代が働きやすい職場が増えてほしい。（工場だけでなく、IT 関係など）カフェや若者向け飲食店など若者が楽しめる娯楽が増えたらいい。子どもが悪天候でも楽しめる施設が増えてほしい。中学生以降の</p>	女性	35～39 歳	既婚	2 人

子どもが楽しめる施設も増えてほしい。いろいろと良くなってきている実感があるので、今後も幅広い施策をお願いします。				
乳幼児でも遊べる、食事出来る場所(飲食店)があると助かります。求職者に対して、どこでも誰でもウエルカムな環境、会社の雰囲気作り。少しでも給料アップ!	女性	35~39 歳	既婚	2 人
まず、子供が遊べる場所が少ない。以前の防災公園も、日陰や休む場所が少なかったので、気温が高く暑くなれば帰るしかない。他の市の子供が集まる施設を参考にしてほしい。子供連れでランチが出来るいいお店もほとんどないので、ママ友と子供達でランチするとなると長岡か十日町へ行っている。育児中の人でアイデアを出し合うのがいいと思う。やっと、オシャレな施設ホントカ。ができて嬉しい。	女性	35~39 歳	既婚	2 人
★スーパーや市役所、保育園や幼稚園などの駐車場から入り口まで屋根ありのスペースをつける。雨や雪の時に抱っこしたままの車の乗り降りがすごく大変です。抱っこして荷物をもってすると傘が上手く持てず結局自分がびしょびしょになります。 ★(一部編集)、その他飲食店、スーパー、調剤薬局などドライブスルーで使用できる店舗を増やして欲しい。小さい子供がいると乗り降りも大変、外食やお薬の受取、買い物なんでも大変です。スマホで注文して駐車場までまてば車に届けてくれるなど、ドライブスルーで利用できる店舗が増えるるととてもありがたいです。 書類発行などの市の手続きもスマホをつかってドライブスルーでできるようにするなどすると面白いし話題にもなるかと思えます。	女性	35~39 歳	既婚	2 人
安心して産める場所を整備してほしい(個人医院のように食事やサービスの充実) 屋内施設、遊び場の充実	女性	35~39 歳	既婚	2 人
子供向けのイベントなど増やして欲しい	女性	35~39 歳	既婚	1 人
(一部編集)の産婦人科がなくなるという噂がある。こどもを産み育てられる街を目指しているなら産婦人科がなくなるのはありえない。あと月 1 回の派遣とかオンライン診療でもいいから女医さんを配置してほしい。男性医師しかいないと安心して受診できない。市内の働き口が限られてる。工場やスーパーばかりで、例えば若い子が働けるようなおしゃれな雑貨屋やアパレルがない。カラオケも潰れたし、飲食店以外の娯楽施設がない。そういうのも若者が流出する要因の一つだと思う。学習ワークスペースじゃなくてそういう若者が集まれる場所が充実すると流出が防げたり、若い人の働く場があれば市外に出なくてもいいと思えるんじゃないかと思う。子育てしてる人が気軽に集ま	女性	35~39 歳	未婚	0 人

<p>れるカフェもあるといい。あすえ〜るとかじゃなくて、普通の店で、店内に子育て相談に乗ってくれるブースがあるとか、ほんの少しだけでも子どもを見てもらってゆっくりコーヒーが飲めるスペースとか。特に（一部編集）など特性がある子の相談を行政の堅苦しい場所じゃなく気軽に買い物のついでとかに行ってお話せる場。同じ悩みを持つ親がお茶を飲みながら愚痴を言い合えるような場所があるといい。例えば空き家や空き店舗を活用するとか。学童が満員だから児童館を作ってほしい。放課後デイサービスも足りない。子どもが安心して遊べるように市内全ての公園に防犯カメラを設置するとか監視員常駐させるとかしてほしい。低賃金で働きがいはない。税金取られて手取りが少なすぎる。小千谷で買い物するとポイントが貯まったりクーポンがもらえたりして、お得に買い物できるアプリとかあったらいいのと思う。</p>				
若い人が使いやすい商業施設が欲しい	女性	35～39 歳	未婚	0 人
<p>一人ひとりが相手を想う思いやりを持つしかないと思いますが難しいと思います。また、保育園が遠く、隣の市にある保育園のほうが近いです。送迎に無料タクシーがあるのに乗せてもらえず、毎日の送迎がとてもストレスです。雪が特に多い地域なので小千谷で働きがいがあるとは思えません。服屋さんを増やしたりスターバックスを作ったりすればもっとよさそうですが、今後住み続けるのは大変だと思います</p>	女性	35～39 歳	離別	4 人以上

■過酷な雪対策（克雪・除雪）／交通安全、交通の便に関する回答（78 件）

回答結果	性別	年齢	婚姻状況	子の人数
<p>・結論から申し上げますと小千谷市には発展都市のようなトレンドが欲しいと思います。</p> <p>《理由》 小千谷市は住むだけならとてもよい場所だとは思いますが成長していく過程で発展都市(東京等)への憧れが多少なりとも出てくると思います。小千谷市にはない仕事(IT、アパレル、芸能等)を求めたり、都市の店や住居(衣食住)の幅の広さを求めたりと、昔よりネット環境が整備されたことで今の若者はトレンド(流行)に敏感になっており、必然的に最新のトレンドが集まる都市への移住が加速するのだと思います。だからといって小千谷市を発展都市にしると言っても難しい話です。</p> <p>《案1》コラボによる地地域活性化 ・漫画やアニメとのコラボ</p>	男性	18・19 歳	未婚	0 人

<p>・人気インフルエンサーとのコラボ</p> <p>・大手企業とのコラボ</p> <p>漫画アニメや大手企業と小千谷市の企業のコラボ商品を出したり、小千谷の名産品をインフルエンサーの方に発信してもらったりなどと考えました。ですがこれらは一時的な活性化には繋がりますがその後は徐々に落ち着いてしまうものだと思います。この問題をどうにかしたいものです。</p> <p>※ここからは私情です。</p> <p>《案2》小千谷市に新幹線を開通する(とても難しいのは承知しております)</p> <p>これは私個人のお願いなのですが新幹線があると手軽で速く都市に行けるので駅の乗り換えや車などを使わなくてもいいのでハードルが下がるかと思いました。</p>				
<p>治安の良さ、交通便の良さなどの子どもが安心して過ごすことのできる安全な環境。また、子育てをする親が安心して頼ることができる制度や近所付き合い、経済的支援。子育て版の地域包括ケアシステムみたいなものを構築すると思う。</p>	男性	18・19歳	未婚	0人
<p>冬の時期はとにかく消雪パイプが欲しい。先日、国道であるのに道がガタガタしているのは少し驚いた。危険が溢れていると個人的には感じる。</p>	男性	20～24歳	未婚	0人
<p>子育てしやすい制度があること。</p> <p>子どもの遊び場、イベントが豊富であること。</p> <p>職場までの道が綺麗であること(ゴミなし、雪なし)。</p>	男性	20～24歳	未婚	0人
<p>交通が便利だと思う</p>	男性	20～24歳	未婚	0人
<p>子育て世代が「肩身の狭さ」を感じない空気作りをして欲しい。制度よりも見て伝わりやすいよう、①子どもの声やベビーカーに対して市として「子どもは地域の宝」と明確に発信②公共施設・イベントで子連れ前提の設計・アナウンス・掲示をするなどして、「迷惑かも」と思わせない雰囲気づくりをして欲しい。子育て世代向け雪対策ガイドを作成して欲しい。子供の年齢別雪の日あるある、備えておくべき物や事などが分かると毎日の不安解消につながると思う。</p>	男性	25～29歳	既婚	0人
<p>生活をする上で雪の影響を受けない、もしくは受けづらいような環境がいいと思います。また、公共交通機関を充実させたり、徒歩圏内でスーパーやドラッグストアがあるといいと思います。他にも小千谷駅周辺が賑やかな雰囲気になればいいと思います</p>	男性	25～29歳	既婚	0人
<p>道路の街灯を整備してほしい。特に通学路などを優先してほしい。各地区でそのような声を聞く。また、今の職業柄、小中学</p>	男性	25～29歳	既婚	0人

生の安全のためにもぜひお願いしたい。				
家の屋根の除雪をお願いしたい	男性	25～29 歳	未婚	0 人
歩道もなく狭くなった雪道を命がけで学校に通う子ども達の姿を見ていると、危険で過酷な環境で子育てしたいとは思えない	男性	25～29 歳	未婚	0 人
融雪設備や除雪設備の導入への補助 雪下ろしや雪かきの人員や費用の補助	男性	25～29 歳	未婚	0 人
今以上の除雪システム。 市外や県外からの若者をターゲットにした事業の確立。	男性	25～29 歳	未婚	0 人
雪国であり、光熱費や生活費が高む一方、低賃金の影響や地方であることの影響があるので、結婚や子育てを目標とするならば、既婚、未婚にかかわらず根本的な生活を支える支援が必要と考える。	男性	25～29 歳	未婚	0 人
交通の便を増やす 補助金を増やす お店を増やす	男性	25～29 歳	未婚	0 人
通学路の安全。	男性	30～34 歳	既婚	1 人
優良企業の誘致 克雪 長岡へのアクセスの容易化	男性	30～34 歳	既婚	1 人
豪雪時の道路の確保がまだ完全的ではないので、車に子供を乗せてる人も多いと思うので、危険を減らす為にももっと除雪に力を入れて欲しいと思います。道が狭かったりすると事故の危険性も高くなるし、子供の世話で時間が無くなる親も多いと思いますので、急いでの判断ミスで事故も起きやすいと思う。道幅の確保などよろしくお願いします！	男性	30～34 歳	既婚	2 人
まず、雪の日に除雪をちゃんとして道を広げてほしい。そうしないとお客さんは出入り出来ないし、今も除雪頑張っているのはわかるが、大雪警報をだすだけでなく、出た日には給料の保証などが無いと個人でお店を経営する気にはならないと思う。小さい市で大型の店舗が入ってきにくい状況の中で個人事業主を優遇できないのであればネットですべて済むし、小千谷で起業する人がいなくなり、住む人がいなくなるので小千谷は将来的になくなると思う	男性	30～34 歳	既婚	2 人
雪害対策が弱い気がする。	男性	30～34 歳	未婚	0 人
町自体に活気が必要だと思う。現在、大型の商業施設などが長岡まで行かないと無く、週末は長岡に行かないといけないことが多い。そのため、わざわざ小千谷を選ぶメリットが薄いように感じている。また、小千谷に限った話ではないが、寒波が来ると除雪が大変なので、その辺りも小千谷を避ける要因になってしまうように思う。	男性	30～34 歳	未婚	0 人
冬季なら除雪がしっかり行き届き、通勤しやすい（こども送り迎えなども含む）安全度の高い道 若い世代には収入関係なく家賃や住宅ローン補助等	男性	30～34 歳	未婚	0 人

給料の1/3税金で持っていかれる現状は自分一人が豊かな暮らしをするのが限界 若者へ優遇は最優先で進めなければ先はないかと 何かしらの市策や各種補助金申請手順などYouTube、Xなどで発信を行い市には小千谷のいいところをどんどんアピールして欲しい				
老朽化した道路や駐車場の整備 冬季の除雪作業支援の更なる充実 などを希望したいです。	男性	30～34歳	未婚	0人
広い屋内で子どもが遊べるところを増やす。暮らしやすさを考えると、子育て世代関係なく、まずは雪対策が第一だと思う。 大通りの除雪のため、消雪パイプの設置が急務であると感じる。	男性	35～39歳	既婚	1人
私の住む地域（一部編集）では、小学校へのスクールバスがありません。自分の子が小学校に入学後、あの距離を通えるのか不安。しっかりとした歩道もないですし、冬は雪でさらに道が狭くなる。スクールバスがどの地域でも充実することでより安心して子育てができます。	男性	35～39歳	既婚	1人
安定した就職先 冬季間の交通状況の改善	男性	35～39歳	既婚	1人
長岡に通勤していると時間が足りない。 小千谷市でも働けると良いが、医療の専門職で仕事がない。 長岡までの高速道路代の補助ができると良い。	男性	35～39歳	既婚	1人
未満児の保育料を減らしてほしい。保護者の収入で保育料が増減するが、頑張って働いて収入を増やしても保育料に取られるのでは働きがいがあるとは言えないと思う。子育て世代へ所得税との二重課税ではないか。市内の子供の遊び場は狭いので市外に遊びに出ることが多い。ハラテつばめのような、有料施設だけど小千谷市民は無料で遊べるような場所があると、市民であることの特別感が得られて良いと思う。子供が高校生になると小千谷駅まで車で送迎する必要があるので、バス停を増やしたりして子供だけで駅まで行ける環境を整えてほしい。	男性	35～39歳	既婚	2人
PTAの廃止 町内の子ども会への強制参加を廃止 雪国のわりに、雪害対策の個人的費用負担の削減がされていない（消雪パイプ費など）	男性	35～39歳	既婚	2人
都市部に比べて犯罪件数や比率は少ないと思う。しかし、現在は耳にしていないが子どもの登下校や外で遊んでいる時の獣被害の不安はある。見守りの体制や子ども110番の家的な避難先の整備や遭遇時の対応の指導をお願いしたい。超高齢社会となる中で両親の健康寿命が長くなる事が仕事や子育てをしていく上でも重要に思える。リアルタイムなところで言うと雪が多い	男性	35～39歳	既婚	2人

事がネガティブなイメージしかない。雪に対してポジティブなイベントや施設を充実させて雪と共存できる環境整備や雪を有効活用できる知識、指導をお願いしたい。				
子供が遊べる施設や環境があまりにも少ない。 雪に対する対策がもう少し欲しい。 (消雪パイプの拡充や除雪費への投資)	男性	35～39歳	既婚	2人
手当ての充実。雪に対する補助金。例えば除雪機購入による補助。融雪の拡張。スポーツをできる体育館の増設。	男性	35～39歳	既婚	3人
雪が降っても恩恵がある街づくりをする。売上が下がる企業が大半。東京や大阪などと比べると明らかに不公平だし、除雪や雪下ろし、排雪、除雪機の購入など支出は増えるばかり。ここなんとかしないとU・Iターンなど望めない。	男性	35～39歳	既婚	2人
子どもたちが歩いて安全に通学できるよう、歩道の整備がさらに進むと良いと思います。	男性	35～39歳	既婚	0人
私の通勤路に小学校・中学校があります(あえて名前は出しませんが)歩いて登校される児童の皆さんはとてもマナー良く歩いていて素晴らしいのですが…。車で送り迎えされる親御さんの「運転マナー」が非常に悪い!!狭いところに無理やり突っ込んできたり(譲り合いをしない)学校近くの信号の無い交差点では一時不停止当たり前。そして猛スピード…。正直呆れます。ちなみに子供に対してシートベルト非装着だったり。大切な子供じゃないのでしょうか?当該箇所にて警察が取り締まりをしているのも見たことありません。子供を送りに来て他所の子供をはねる、なんて悲しい事件が起きる前に対策をするべきかと存じます。長くなりましたが、このような「無法地帯」では大切な家族と暮らすことは難しいです。	男性	35～39歳	未婚	0人
各種補助金の充実、除雪など道路整備の強化	男性	35～39歳	未婚	0人
公共交通機関の衰退(バスの本数の減少など)が著しいので増やしてほしい	男性	35～39歳	未婚	0人
自動車の運転マナー、モラルの向上 ※県内全体的な運転マナー、モラルの低下を感じている為。 また、昨日期日前投票に行った際に、市役所構内で歩行者に道を譲っていたら、後ろの車(子供を乗せたファミリーカー)が追い抜いて行った事もあり、小千谷市民の運転マナー、モラルの低下を感じた為。	男性	35～39歳	未婚	0人
・除雪関係の充実 ・(一部編集)などの飲食店の誘致(市内は子どもや学生が行く様な飲食店が少ない) ・文房具店や駄菓子屋、おもちゃ屋などへの支援(学校があるの	男性	35～39歳	未婚	0人

に学生向けの店舗が無くなっている) ・市の中心部から離れた地域だと、車が無いと何処にも行けないので、交通関係の整備、補助 ・市の中心部から離れた地域への車両型の移動販売店の運営 ・介護施設への支援 ・結婚後同居しない親への支援				
交通の便利さの向上 学校現場への協力体制の強化	男性	35～39 歳	未婚	0 人
選びたくなるまちという観点では、ゴミの分別の簡略化を求めます。小千谷市は他の市に比べてごみの分別が大変！という話をよく聞きます。確かにゴミの分別が簡単になるのは定住含めプラスになるのではないのでしょうか？あとは、冬季の雪道の除雪や道幅の拡張を求めます。東小千谷は各町内道が狭く除雪が大変で雪が降ると対面通行もできないくらいなので道を広げてもらいたいです。	男性	35～39 歳	未婚	0 人
自転車のルール of 周知と徹底。 子供が被害側にも加害側にもなる重要なこと。 小千谷市ではルールが徹底されているとは言い難い	男性	35～39 歳	未婚	0 人
夜暗いところは真っ暗なので街灯を増やす	女性	18・19 歳	未婚	0 人
施設が点々としているため、地方ならではの車がないと生活に支障が出るという状態になっており、また公共交通機関の 1 日の運行本数が少ないから増やして欲しいと感じる。	女性	18・19 歳	未婚	0 人
公共交通機関を発達させる。	女性	20～24 歳	未婚	0 人
除雪を頑張って欲しい	女性	20～24 歳	未婚	0 人
雪で道幅が狭くなったり雪かきがガタガタしたりと車で出かけるのもいやになるのももう少し整備をして欲しい	女性	20～24 歳	未婚	0 人
もっと雇用が増えると良いのかなと思います。(大企業の誘致とか)冬場は除雪支援をより拡大していただけると嬉しいです。屋根・カーポート等の雪の落とし場がない住宅をどうにかしていただきたいです。	女性	20～24 歳	未婚	0 人
小千谷市が「安心して子どもを産み育てられるまち」「働きがいにあふれ、みんなが選びたくなるまち」になるためには、日常生活の利便性を高めることが大切だと考えます。例えば、若者や家族で楽しめる娯楽施設が増えることで、地域に魅力が生まれると思います。また、交通機関についてはバスの本数が少なく、移動が不便に感じるため、運行本数を増やしてほしいです。また、若者が土地を購入しやすいように提供する事がいいと思います。さらに、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、過疎化が進む町にもスーパーや洋服店、コンビニなどの生活に必要なお店を増やしてほしいと感じます。	女性	20～24 歳	未婚	0 人

<p>あわせて、子育て支援サービスをより充実させることで、幅広い世代が住みやすいまちになると考えます。また、子どもが安心してのびのびと遊べる遊び場が充実すると良いと思います。例えば、「ぐんぐん」や「ちびっこ広場」のような、天候に左右されずに利用できる施設があることで、子育て世代が外出しやすくなり、親子で過ごす時間も増えると考えます。（一部編集）の有無や（一部編集）「母子家庭」などの区分に限らず、働き盛りの世代でも支援を受けられる給付制度があると良いと感じます。特に、40代・50代といった世代は働く意欲や責任も大きい一方で、災害などの影響を受けた際に生活が不安定になりやすいと考えます。そのため、年齢や家庭状況に関わらず、災害時に給付金や寄付金などの支援を受けられる制度を充実させてほしいです。子育てをする父親や母親が、安心して子どもを預けて息抜きできるよう、一時預かりの制度や施設をもっと充実させてほしいです。用事があるときだけでなく、心身のリフレッシュのためにも気軽に利用できる環境が整うことで、保護者の負担が軽減され、安心して子育てができるまちになると考えます。また、子育ての悩みを気軽に相談できる窓口や、親同士が交流できる場が増えると良いと思います。仕事と子育てを両立しやすくするため、急な体調不良の際にも利用できる預かり支援があると安心です。そして、父親も参加しやすい子育て講座やイベントを増やすことで、家庭全体で子育てに向き合える環境になると感じます。育児による孤立を防ぐため、地域で見守り合える仕組みやサポート体制を充実させてほしいです。</p>				
<p>移動しやすいまちにしたほうが良い 小千谷に住みたいと思える魅力づくりが必要</p>	女性	20～24歳	未婚	0人
<p>子育て支援の部分では、18歳まで医療費無料などとても力を入れていると思います。ありがとうございます。しかし、働きがいがある街かと言われるとそうではない気がします。単刀直入に言うと給料をあげて欲しいです。小千谷市は地方なので都市部と比べると給料が低いのは当たり前かもしれませんが、豪雪地帯ということもあり通勤前・通勤後の車や家の駐車場など、雪国ならではの課題が多いと思います。その面で雪かき苦勞様代？や北海道みたいに電気代の補助など冬季だけでも給料をあげてくれたらいいんじゃないかと思っています。</p>	女性	25～29歳	既婚	1人
<p>市内の会社の給料の増額。育児休業中の経済的支援。 積雪時の迅速な除雪対応。</p>	女性	25～29歳	既婚	1人
<p>小千谷市はテレビに取り上げられなさすぎる。すごい技術を持</p>	女性	25～29歳	未婚	0人

<p>った企業（一部編集）があるのに、三条など目立つところばかりが取り上げられて、周囲の評価が上がらない。自分たちはすごいんだという自信がつかないと思う。</p> <p>安心して子育てという点では、子供が自分の足で冒険できる範囲が狭い。車も止まらないしスピードを落とさない。親が目を離せない。地域ぐるみで見守る雰囲気であればいいと思う。</p>				
<p>子どもと一緒にいける施設やカフェの増設</p> <p>交通の便をよくする（電車、バスの増便）</p> <p>補助金の増加</p>	女性	25～29 歳	未婚	0 人
<p>西小千谷だと保護者の送迎なしで通学が難しいことが多い(冬は特に)ので駅までの交通手段が充実していると、負担が減っていいと思う。</p>	女性	25～29 歳	未婚	0 人
<p>小千谷は賃金が低すぎると考えます。長岡の方が圧倒的に基本給が高いので、長岡に人が流れます。なのでまず賃金をあげる事。そして雪もこんなに降っていても助成金などありませんし、娯楽もない。解決案としては、冬の助成金制度の導入、娯楽施設がないので娯楽施設があったりすると良いかもしれないです。イベントは昔に比べて増えていると思うので、親子連れの方も楽しめていると思います。今後も継続して行って欲しいです。</p>	女性	30～34 歳	既婚	0 人
<p>●子育て世帯への大雪への対策が悪くおぢやから出たいと思った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供の送迎時、除雪の悪さでとても困った ・朝除雪車がきても夕方また降り積もり迎えに行く道が酷い。 ・消雪パイプがある所とない所の雪の量の違いが酷くないところはとても不便 ・雪で見通しが悪く歩きの登下校も危険(特にツルハのあたりや山寺～木津の道) ・今回の災害支援対象について、働き世帯も仕事で家に居ないため通勤だけでも大変なのに帰宅後、週末は雪かき。子育て世帯も対象にしてほしい。 ・屋根の雪下ろしで休みの日は結局母がワンオペ状態。休みの日にまとめて雪を降ろすため子供たちはパパ居るのに～。状態 ・雪降ろしで、子供たちは遊んでほしいが疲れが溜まり～の悪循環。それ以外にも送迎など家庭内で雪によるストレスが増えて最悪だった。 ・業者以来も頼んでも全然来れずだった。 <p>上記より</p> <p>通学路になる所の除雪車の頻度を増やす・消雪パイプの地域拡</p>	女性	30～34 歳	既婚	2 人

<p>大等の道の確保。屋根の除雪支援金または屋根の雪が溶ける施工の助成金、冬の灯油電気代など雪への対策をもっと強めて欲しい。同じ雪の頃、魚沼へ用があり行くと道路に全く雪がなく驚いた。あんな雪壁の危ない状態で安心して子供達を育てられません。住める地域を無償で選べるのであれば冬の事を考えると絶対小千谷を選びたくない。原発も稼働して影響あるし小児科も少ないし(いつも長岡に行っています)不安しかありません。</p> <p>あと、スキー授業とか昔ながらのラジオ体操〜とか今の時代いらないです。雪遊びくらいなら良いですがこのお金のかかる雪の時期にスキーレンタルで物価上昇の中お金もかかり道が悪い中魚沼まで行き、負担です。ラジオ体操も働くために学童・保育園お金を払って朝からお願いしているのに朝の負担もおおきいです。昔と違って親は仕事だから長期休みは祖母にゆっくり見てもらう〜なんてほぼ家ありません。みんな仕事プラスで昔ながらの負担を背負っています。周りの保護者からも早くスキーなくなればいいのに。長岡はないのに。との声、他の市の知り合いからなんて、田舎だね。小千谷って(一部編集)と言われます。時代においていかれてて恥ずかしいです。いまの働く親世代の時代に合った子育て支援を他の地域より先にしていただき、胸をはってここで子育てをしたい。他の地域から羨ましいと思われる対策がでることを願っています。</p>				
<p>雨、雪でも行きやすい子どもの遊び場が増えて欲しい。公共交通機関がもっと充実してほしい。</p>	女性	30~34歳	既婚	1人
<p>冬道の除雪に力をいれてほしいです。</p>	女性	30~34歳	既婚	0人
<p>働く場所の確保 産休育休への企業への補助 通学の安全 習い事の選択肢 外食のしやすさ(チェーン店が多いと助かる)</p>	女性	30~34歳	既婚	1人
<p>子供の登下校の際に雪壁が心配なので、除雪に力を入れて欲しいです。細い道から大通りに出る時にとっても冷や冷やしてます。リアルタイムな悩みですが、見守る大人として不安が減りました。</p>	女性	30~34歳	既婚	2人
<p>お小千谷市は良い所ですが、冬は雪がすごくて、子供が生まれたら、めっちゃ寒くて、健康的 心配ですね。雪除雪が大変だと思います。水が出ない道もあるから、大きい道だけじゃなくても、狭い道でも水が出て欲しいかなあ〜</p>	女性	30~34歳	未婚	0人
<p>子育て支援はもちろんですが高齢者にも住み良いまちにして欲しいです。交通の便が減ったため高齢の親族が外出しにくそうにしています</p>	女性	30~34歳	未婚	0人
<p>・若者のUターンやIターン、移住のために就職斡旋や子育て</p>	女性	30~34歳	未婚	0人

<p>支援に取り組む小千谷市の姿勢は良いかと思います。しかし、大雪などの環境面を考えると、気軽に友人や知り合いに「小千谷に帰っておいで」などとは言えません。若者だけでなく、全世代が住み良い小千谷市になる必要があるかと思います。</p> <p>・働きがいとは、どこで働くかではなく、自分の在り方の問題だと思っています。働きがいを感じられるような在り方・姿勢を、子どもの頃から学べたり、大人になってからも学べるような場所が必要ではないでしょうか。</p>				
冬の豪雪への備え。	女性	30～34歳	未婚	0人
<p>車がないと暮らしにくい土地なので、公共交通機関が充実してくれると嬉しい。学校の統廃合が進んでいるので、スクールバスなど通学に関する支援があると良いのだろうと思う。歩道が丁寧に整備されていけば、通学や小さな子どもたちの散歩が安全になるのではないだろうか。</p>	女性	30～34歳	未婚	0人
<p>誰がどこまで市民のために働いていてくれるのか全くわからない。今この時期、これだけの積雪があっても、市は歩道の確保もしてくれない。市民のために一体何をしているのか、何に金を使っているのか、もっと伝わるように、はっきりと、明確に示すべき。正直、現状では小千谷に住み続けたいとは一切思っていない。税金高過ぎ</p>	女性	35～39歳	既婚	0人
<p>・雪の影響で毎年道路状況が悪いので小千谷はオススメしにくいです</p> <p>・買い物や観光は市外に出してしまうことが多いです。小千谷も各季節のイベントだけでなく日常的に行ける観光スポットや飲食店(専門店とか)など「ここにしかない・ここにある」がもっとあれば市外・市内の人が小千谷を選んでくれて潤うのではないかと思います</p>	女性	35～39歳	既婚	0人
<p>今シーズンのような大雪の時に除雪を頑張ってもらっているが、細い道があって通勤時間に詰まりやすくて困ってるので解消されると暮らしやすくなりそうだった。</p>	女性	35～39歳	既婚	0人
<p>不妊治療から現在の子育てまで、金銭的な支援や、精神的な支援が充実していたので、育休から復職するまで負担なく来れました。ですので「安心して子どもを産み育てられるまち」になっているように感じます。現在の生活の拠点としては何も不満はありませんが、今後みんなが選びたいようなまちと感じるのは、面白い仕事や給料の高い大手企業の働き口がある(仕事の色々選べる)ということも大きいと思います。それには交通の便が大きな役割を持つと思うので、主要道路を増やす、工業団地として機能する土地を設けるなどを望みます。主要道路が多</p>	女性	35～39歳	既婚	1人

<p>くなったり整備されれば、今住んでいる近隣の市に職場を持つ人にとっても小千谷がより住みやすく、魅力的になるのではないかと思います。</p>				
<p>大人も子供も病気になった時に直ぐにかかれる病院がある事。保育園、学校が町にあり、高校に行く際のバス、電車通学がスムーズに出来る。大人も働く職場がある。これまでの様に安全に生活出来る環境（雪国であり、冬は他県よりもお金の負担が凄い）が考慮されると助かります。</p>	女性	35～39歳	既婚	2人
<p>①子どもの遊び場、居場所が増えること。ホントカの屋内広場は狭すぎます。駐車場も狭いです。長岡のてくてくに行くくと小千谷市民によく会います。てくてくのような、屋内、屋外ともに遊べる、ある程度の広さもある施設があると良いです。②中高生の遊び場、居場所も増えること。仕方がないことですが、カラオケも映画館もなく、他市に行くしかありません。小千谷駅近くに2ヶ所、居場所みたいなのが開設されたのは良かったと思います。③（一部編集）地区の公共交通機関が不便すぎます。イコテも区域外で残念すぎます。子どもが中高生になったらどうしようかと悩みます。ずっと送迎です。④公立保育園が古すぎます。⑤他市との差別化を図るには、金銭面での支援が何よりではないでしょうか。幼稚園、保育園、小中学校まで、給食費の無償化、ぜひ検討していただきたいです。⑥このようなアンケートが配布されることはとてもありがたく思います。</p>	女性	35～39歳	既婚	3人
<p>給付金よりも、持続的な税金の減額をしてほしい。いざという時の医療機関が弱い。大雪時の対策強化。流雪溝の地域差をなくしてほしい。大雪時には常に流してほしい。消雪パイプも。</p>	女性	35～39歳	既婚	2人
<p>豪雪地帯なので、冬の生活がとにかく大変に感じます。大雪になると外出自体のハードルがあがりますが、家に子どもと籠もるのもそれはそれで親もつらいと思います。核家族の場合、子育てしながらの除雪もなかなかの重労働なのではないでしょうか？高齢者世帯への支援があるなら子育て世代にも市からの支援がほしいです。</p>	女性	35～39歳	既婚	1人
<p>乳幼児期のサポートはとても手厚いと感じておりますが、小学校低学年(1～3年生程度)の登下校時の防犯対策等の支援がもう少しあると良いと思います。</p>	女性	35～39歳	既婚	3人
<p>公共交通機関の利便性の向上 幅広い職種が選択肢にあること</p>	女性	35～39歳	死別	1人
<p>他の市より引っ越して来ました。医療関係に従事していましたのであまりにも小千谷市の子育てを盛り上げているのに病院の少なさからセカンドオピニオンもできない。ワンマンで医師が</p>	女性	35～39歳	離別	1人

天狗になっている医師不足な環境で不妊治療やナイーブな相談をするところは結局長岡や新潟市に行かなくてはならない。どこが子育てを応援しているのかわからない。人口を増やす目的なのにフルタイムでどうして休みを取って他の市まで行かなくてはいけないのか。凝り固まった回答に雪が多い時期に家に子供を置いて行き流しを行わなければならない。そんなところで子育てをどうしていくのか全くわからない。将来性がない、地域との繋がりも強く今時ではない風習に自分の子供には住ませたくないと思う。土地が多くあるなら他県から収益を得られるような仕組みを作らなければ移住する人も少ないしここに残る人も増えるはずがないと思う。				
今回の大雪のような時に、消パイがちゃんと機能していないと道が狭くなり、子どもの登下校に不安を感じます。また全ての道に歩道があるわけではないので危険と隣り合わせだと思います。消パイが老朽化しているところが多くあると思うのでぜひ改善していただきたいです。	女性	35～39 歳	離別	1 人
雪をなんとかしてほしい	回答しない	25～29 歳	未婚	0 人

■遊び場・居場所の不足に関する回答（68 件）

回答結果	性別	年齢	婚姻状況	子の人数
治安の良さ、交通便の良さなどの子どもが安心して過ごすことのできる安全な環境。また、子育てをする親が安心して頼ることができる制度や近所付き合い、経済的支援。子育て版の地域包括ケアシステムみたいなものを構築すると思う。	男性	18・19 歳	未婚	0 人
ホントカのような育児をする上で頼れる場所がもっと沢山あればいいと思う。モンスターペアレントを減らして欲しい、小千谷市を PR する上で人の優しさは外せないと思う、しかしワガママな人間が今の小千谷には多すぎます、これは小千谷だけではなく社会全体がそうなっているように感じます、しかし、それに対する対策案というのも思いつかない現状です。モンスターペアレントやクレーマーというのは負の連鎖しか生み出さないののでどうかしたいと思っています。人が暖かい小千谷であって欲しいです。	男性	18・19 歳	未婚	0 人
子供の遊ぶ場所、急用などのとき安心して預けられる託児所や近隣住民、地域での協力体制。小千谷といえばこれ。錦鯉、火花だけじゃないジャンルをこれから増やし発信していく。	男性	20～24 歳	未婚	0 人
若者が訪れやすく住みやすい環境を作るための施設(飲食、子供が遊ぶ場所など)を作ること	男性	20～24 歳	未婚	0 人
現代の子どもに合わせた遊び場の新規制作や今までの遊び場の	男性	20～24 歳	未婚	0 人

宣伝、若い世代に向けた小千谷市の支援を分かりやすくホームページに記載するなど見つけやすい部分に付随させたりする				
子育てしやすい制度があること。 子どもの遊び場、イベントが豊富であること。 職場までの道が綺麗であること（ゴミなし、雪なし）。	男性	20～24 歳	未婚	0 人
小千谷市は潰れた店がそのまま残っている状態であるので、そこに新しい店を作って欲しい。なるべく今小千谷市にない店にして欲しい。また、ホントカで子供たちが楽しめるイベントをもっとしてほしい。	男性	20～24 歳	未婚	0 人
子供の遊ぶところを多くして欲しい。最近これは危ないから禁止とか言って禁止になるところが多いが 2.3 人の意見で禁止するのはおかしいと思うし、外で遊べば体も動かせるし、虫取りとかして知識を高めたり、地域の人たちと集まれる環境、場所、公園などがあれば触れ合いとかもできる。それがあれば小千谷祭りの時とかももっと盛り上がると思う！	男性	20～24 歳	未婚	0 人
子育て世代が「肩身の狭さ」を感じない空気作りをして欲しい。制度よりも見て伝わりやすいよう、①子どもの声やベビーカーに対して市として「子どもは地域の宝」と明確に発信②公共施設・イベントで子連れ前提の設計・アナウンス・掲示をするなどして、「迷惑かも」と思わせない雰囲気づくりをして欲しい。子育て世代向け雪対策ガイドを作成して欲しい。子供の年齢別雪の日あるある、備えておくべき物や事などが分かると毎日の不安解消につながると思う。	男性	25～29 歳	既婚	0 人
子どもを育てる環境や経済的な面の補助制度などを充実させること。	男性	25～29 歳	既婚	0 人
まずは娯楽。遊ぶところもなければ、集まれるような場所もない。まず子供が少なすぎて同級生のつながりが少なすぎる。小学校は合併して行って良いと思う。子供を産むにも（一部編集）しかない。その（一部編集）も怪しくなっている。これで子供が増えるのだろうか。まずは娯楽施設を作ること。	男性	25～29 歳	既婚	0 人
近くにアスレチック公園みたいなのがあったら子供連れて楽しめそうな気がします。	男性	25～29 歳	既婚	1 人
もっと子どもが遊べる公園とかイベントが増えたら良いと思う。働きがいに関しては各企業によると思う。	男性	25～29 歳	未婚	0 人
出産、子育てへの経済的支援をはじめ、子どもの遊び場、家族の出かけられる場が多いと嬉しい。車移動が中心になりがちな土地ではあるが、日常的に家族みんなが市内を散歩するようになり、道路、山、川、公園、商業施設といった市内のあらゆる場所が地域と子育て世代との交流の拠点になれば、子育てが進	男性	25～29 歳	未婚	0 人

んでいるなあと感じるようになるのではないか。				
子供が遊ぶ場所がなく中高生が市内の施設などにお金を落とさなくなるからなにか遊べる場所または施設があると変わると思う また道の駅をもっと活用して小千谷の名産をおくでもいいし休日に来るようにするべきだ市内の飲食店などと市が連携してもっと上手く市内が盛り上がれると思います。小千谷のやることは中途半端なのでもっと振り切ってやってほしいです今後とも住み続けたいので是非ともよろしくをお願いします。	男性	25～29歳	未婚	0人
子供達の遊ぶ場を増やすべき	男性	25～29歳	未婚	0人
子供が楽しめる施設の誘致	男性	30～34歳	既婚	0人
子供が集まる色々なイベント等をして欲しい。	男性	30～34歳	既婚	1人
子供が遊べる大きな施設が必要。ホントカ、ソコラテではない遊び専用の施設。子育てをする上で小千谷市に魅力は特にない。	男性	30～34歳	既婚	1人
健康施設(温泉や室内プール)、商業施設(子どもが楽しめる施設含む)等の誘致を行うなどを希望します。	男性	30～34歳	既婚	2人
室内で遊べる大型施設をつくれればよりよい生活習慣を得られると思う。又、市外からも子連れ家族が訪れるキッカケになると思うので、経済的な面でも期待ができると思われる。周りの人たちが小千谷に遊びに行く理由を考えていくべきだと深く考える。	男性	30～34歳	既婚	2人
不妊治療の補助制度だけでなく、子育ての支援もあると良いと思います。お金ではなく、寺子屋のようなものだったり、子供が何も何することなく遊べる場の提供があると嬉しいです	男性	30～34歳	既婚	0人
大きな病院や薬局などはそろっているが、子どもが色々な経験をされてあげられるようなところが少なく市内でそういうことができると思います	男性	30～34歳	未婚	0人
広い屋内で子どもが遊べるところを増やす。暮らしやすさを考えると、子育て世代関係なく、まずは雪対策が第一だと思う。大通りの除雪のため、消雪パイプの設置が急務であると感じる。	男性	35～39歳	既婚	1人
就職先の増加。流行りの服が買えたり中学生や高校生の遊び場があること。	男性	35～39歳	既婚	1人
未満児の保育料を減らしてほしい。保護者の収入で保育料が増減するが、頑張って働いて収入を増やしても保育料に取られるのでは働きがいがあるとは言えないと思う。子育て世代へ所得税との二重課税ではないか。市内の子供の遊び場は狭いので市外に遊びに出ることが多い。ハララテつばめのような、有料施設だけど小千谷市民は無料で遊べるような場所があると、市民であることの特別感が得られて良いと思う。子供が高校生にな	男性	35～39歳	既婚	2人

ると小千谷駅まで車で送迎する必要があるので、バス停を増やしたりして子供だけで駅まで行ける環境を整えてほしい。				
わんぱくやおじゃーるはあるが、長岡市のでてくなど、広く子どもを遊ばせられる施設がない。ホントカ内の施設は作りが怪我をしそうであまり遊ばせたいと考えられない。	男性	35～39 歳	既婚	2 人
ホントか周辺に駐車場を増やし、様々なことを経験できるイベントなどを開催してほしい。	男性	35～39 歳	既婚	2 人
子供が遊べる施設や環境があまりにも少ない。 雪に対する対策がもう少し欲しい。 (消雪パイプの拡充や除雪費への投資)	男性	35～39 歳	既婚	2 人
経済的支援 子供が遊べる施設を増やす	男性	35～39 歳	既婚	2 人
定期的な(ステージ段階毎の)育児支援金 保育施設の充実 安全な遊具のある大きな公園	男性	35～39 歳	未婚	0 人
遊べるところを増やす	女性	18・19 歳	未婚	0 人
もっと子供が安心して遊べる場所を増やして欲しい。勉強できる場所も欲しい。10 時以降も空いているコンビニが欲しい。	女性	20～24 歳	既婚	0 人
子育てやイベントに関する SNS での配信の継続、公園などの公共施設の整備	女性	20～24 歳	未婚	0 人
子供が遊べる場を増やす	女性	20～24 歳	未婚	0 人
助成金があるとか、子供が遊べるところとかがあればいいかな	女性	20～24 歳	未婚	0 人
遊戯施設がほしい。長岡市や新潟市などは様々な遊戯施設があるのでそっちに住んでしまえばいいと思ってしまう。	女性	20～24 歳	未婚	0 人
子育て支援などの制度を小千谷市内に広めて、みんな知っている！くらいの認知度があるとどんな制度があるんだろうと不安に思わず子育てを出来ると思う。そして、遊べる場所を増やして、駐車場を広くして駐車場が狭くて遊べない…とならないようにしてほしいです。働きがいに関しては、さまざまなジャンルの企業を増やしたり、都会にしか無いというのを減らしてほしいです。普段過ごしていて、小千谷市内には閉店してそのままの店がいくつかあります。昔は小千谷市内にあったお店が閉店して長岡市に行かないと買えなくなってしまっています。そうすると、長岡市に住みたいやあそこの市に行かないと無い…となると思います。私も、昔はあったお店が閉店して長岡市などに行かないと買えなくて「やっぱり長岡市に行かないと無いか…」って思うことがあります。そのように思うことが減ってほしいです。若者に人気なお店などを増やしてほしいです。ここ 10 年全然変化が無くてとても悲しいです。前も高校時代に小千谷市に望むことで書きましたが、変化が無くて正直諦めています。	女性	20～24 歳	未婚	0 人

<p>医療機関をもっと充実させる。 小さい子が遊べる場所を増やす。</p>	女性	20～24 歳	未婚	0 人
<p>小千谷市が「安心して子どもを産み育てられるまち」「働きがいにあふれ、みんなが選びたくなるまち」になるためには、日常生活の利便性を高めることが大切だと考えます。例えば、若者や家族で楽しめる娯楽施設が増えることで、地域に魅力が生まれると思います。また、交通機関についてはバスの本数が少なく、移動が不便に感じるため、運行本数を増やしてほしいです。また、若者が土地を購入しやすいように提供する事がいいと思います。さらに、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、過疎化が進む町にもスーパーや洋服店、コンビニなどの生活に必要なお店を増やしてほしいと感じます。あわせて、子育て支援サービスをより充実させることで、幅広い世代が住みやすいまちになると考えます。また、子どもが安心してのびのびと遊べる遊び場が充実すると良いと思います。例えば、「ぐんぐん」や「ちびっこ広場」のような、天候に左右されずに利用できる施設があることで、子育て世代が外出しやすくなり、親子で過ごす時間も増えると考えます。（一部編集）の有無や（一部編集）「母子家庭」などの区分に限らず、働き盛りの世代でも支援を受けられる給付制度があると良いと感じます。特に、40代・50代といった世代は働く意欲や責任も大きい一方で、災害などの影響を受けた際に生活が不安定になりやすいと考えます。そのため、年齢や家庭状況に関わらず、災害時に給付金や寄付金などの支援を受けられる制度を充実させてほしいです。子育てをする父親や母親が、安心して子どもを預けて息抜きできるよう、一時預かりの制度や施設をもっと充実させてほしいです。用事があるときだけでなく、心身のリフレッシュのためにも気軽に利用できる環境が整うことで、保護者の負担が軽減され、安心して子育てができるまちになると思います。また、子育ての悩みを気軽に相談できる窓口や、親同士が交流できる場が増えると良いと思います。仕事と子育てを両立しやすくするため、急な体調不良の際にも利用できる預かり支援があると安心です。そして、父親も参加しやすい子育て講座やイベントを増やすことで、家庭全体で子育てに向き合える環境になると感じます。育児による孤立を防ぐため、地域で見守り合える仕組みやサポート体制を充実させてほしいです。</p>	女性	20～24 歳	未婚	0 人
<p>子供などが遊べる大規模な公園（中途半端はダメ）</p>	女性	20～24 歳	未婚	0 人
<p>支援制度が充実していればいいなど。子供達の遊び場はもちろん、二十代、三十代が集まれる場所づくりも大切だと思う。</p>	女性	25～29 歳	既婚	0 人

環境面、住みやすい町、子どもの居場所確保	女性	25～29 歳	既婚	0 人
もっと子どもの遊べる場所を作ってほしいです。他にも若者向けのお店等も増やしてほしいです。どうしても出かけるとなると小千谷ではなく長岡市に行かないとお店がなく困ってしまいます。飲食店も増やしてほしいです。そして、病院や商業施設に託児所などもあるとよりいいと思います。	女性	25～29 歳	既婚	2 人
今の市営のアパートなどは老朽化があると思うので改築して今風な感じにする。公園などの遊具を増やす。圧倒的に昔に比べて遊具は少ないなと思いました。丘陵公園まではいきませんが、大きい公園もあっていいのかなとは思いますが。後は普段ならできないような体験（〇〇を作る体験等）ができるイベントを行なうのも良いかと思います。また SNS が普及してる為、若者に届きやすいと思うので Instagram などでもっと宣伝しても良いかと思います。おぢやおやじさんという方が小千谷を宣伝していただけていますが、もっと小千谷を知ってもらいたいと思うので、広報は大事だと思います。私は小千谷が好きなので、今よりもっといい環境になったらいいなと思います。応援しています。	女性	25～29 歳	未婚	0 人
ホントカ。のような大人も子供も楽しめる施設を増やして欲しい。	女性	25～29 歳	未婚	0 人
こどもが遊べる場所、お年寄りが気軽に集まれる場所はあるても働き盛りの人たちが安心して心を休める場所がない。職場と家の往復になる。ちょっと寄って行こう、ちょっと友達と集まろう、とすることのできる場所が欲しい。	女性	25～29 歳	未婚	0 人
給食費無料 子供が無料で遊べる水場 室内の遊び場の充実	女性	30～34 歳	既婚	2 人
子どもの遊べる施設を増やしてほしい。年中～小学生が楽しめる場所が少ない。	女性	30～34 歳	既婚	2 人
未就学児から小学生までが遊べるような子育て支援施設の増設。ホントカでは遊具が足りないし、冬場は遊ぶところがない。	女性	30～34 歳	既婚	2 人
子どもたちが遊べる場所がもっとほしいです。	女性	30～34 歳	既婚	2 人
子どもが遊べる施設が少ないと思います。乳幼児はわんぱくや木のこんなどがありますが年中さんや年長さんになると物足りなくなり一気に遊ぶ場所が狭まります。小学生になればなおさら無くなると思います。『メディアは2時間以内』とおぢやっこ計画？でも掲げられていますが室内で遊ぶとなるとメディア頼りになってしまう理由もわかります。夏の猛暑では公園で炎天下の中遊ばせられないので、室内で子どもが走り回れて体を動かせる場所が極端に少ないのでは？と思います。ホントカ。や総合体育館では室内でおもいきり遊べるだろうと思います	女性	30～34 歳	既婚	2 人

が混雑などでなかなか思うように遊べなかったり、ホントカ。では少し狭いため衝突してしまったりの怪我などが心配です。ちぢみの里の今後の活用方法はわかりませんが子どもが遊べる施設が増えてくれればいいなと思います。				
周りの市は、子供を遊ばせる場所が充実しているのに、小千谷は新しい建物が出来ても、期待よりも遊具なども少なく、物足りない。ここに来れば、1日中子供達も体を動かして遊べる！という場所を作って欲しい。	女性	30～34歳	既婚	2人
もっと子どもが安心して遊べる施設が欲しい。子育てをする家庭への職場からの支援画があると働き手も増えると思う。	女性	30～34歳	未婚	0人
子どもたちが遊べる遊び場がもっと増えてほしいです。出産祝い金やおむつ補助券、一時預かりなど子育てサポートが充実すると嬉しいです。おぢやつつみはとてもありがたいと思いました。	女性	35～39歳	既婚	2人
仕事の雇用先があることや子育てが安心してできるほどの給与が得られることが重要だと思います。また、子どもの遊び場がさらに増えるといいなと思います	女性	35～39歳	既婚	2人
室内遊具のある場所をもう少し増やしてほしい 小学生まで遊べるアスレチック遊具がある場所ができてほしい 大型スーパーやモールができてほしい 学童へいつている時間を有効的に使いたいので、学校近辺に習い事の教室が多くできてほしい。	女性	35～39歳	既婚	2人
子供が遊べる施設の増加、小児科の増加 婚活目的のイベントなど	女性	35～39歳	既婚	2人
こどもが遊べる所が少ない 小千谷は何もない	女性	35～39歳	既婚	2人
①子どもの遊び場、居場所が増えること。ホントカの屋内広場は狭すぎます。駐車場も狭いです。長岡のてくてくに行くとき小千谷市民によく会います。てくてくのような、屋内、屋外ともに遊べる、ある程度の広さもある施設があると良いです。②中高生の遊び場、居場所も増えること。仕方がないことですが、カラオケも映画館もなく、他市に行くしかありません。小千谷駅近くに2ヶ所、居場所みたいなのが開設されたのは良かったと思います。③（一部編集）地区の公共交通機関が不便すぎます。（一部編集）も区域外で残念すぎます。子どもが中高生になったらどうしようかと悩みます。ずっと送迎です。④公立保育園が古すぎます。⑤他市との差別化を図るには、金銭面での支援が何よりではないでしょうか。幼稚園、保育園、小中学校まで、給食費の無償化、ぜひ検討していただきたいです。⑥このようなアンケートが配布されることはとてもありがたく思い	女性	35～39歳	既婚	3人

ます。				
乳幼児でも遊べる、食事出来る場所(飲食店)があると助かります。求職者に対して、どこでも誰でもウエルカムな環境、会社の雰囲気作り。少しでも給料アップ!	女性	35~39歳	既婚	2人
まず、子供が遊べる場所が少ない。以前の防災公園も、日陰や休む場所が少なかったので、気温が高く暑くなれば帰るしかない。他の市の子供が集まる施設を参考にしてほしい。子供連れでランチが出来るいいお店もほとんどないので、ママ友と子供達でランチするとなると長岡か十日町へ行っている。育児中の人でアイデアを出し合うのがいいと思う。やっと、オシャレな施設ホントカ。ができて嬉しい。	女性	35~39歳	既婚	2人
未就学児、小学生向けの遊ぶ施設が充実している印象ですが、中高生が遊べるような娯楽施設(映画館やゲームセンターなど)が少ないように感じます。	女性	35~39歳	既婚	1人
子育て世帯には補助金が出たり、こどもの遊び場	女性	35~39歳	既婚	1人
安心して産める場所を整備してほしい(個人医院のように食事やサービスの充実) 屋内施設、遊び場の充実	女性	35~39歳	既婚	2人
子どもが遊べる屋内施設が増えたら嬉しいです。	女性	35~39歳	既婚	3人
「安心してこどもを産み育てられるまち」では子どもが遊べる室内施設がもう少しあるといいと思う。ホントかに遊べるところもあるが休日になると未就学児と小学生と一緒に居ると小学生が元気過ぎて未就学児にぶつかって怪我をするんじゃないかと見守っていてもすごく不安にある 「働きがいにあふれ、みんなが選びたくなるまち」では事前に見学可能となっているところもあるが、見るのとやるのでは違うと思うので、難しいとは思いますが、応募前に1週間とかでも良いので実際に体験出来ると嬉しい。食品系の会社だったり難しいとは思いますが、試用期間も有るとは思うが採用前に体験出来ると違う気がする	女性	35~39歳	未婚	0人
経済的な支援と子どもの遊び場	女性	35~39歳	未婚	0人

■賃金水準の低さと他市への流出/労働環境と意識改革に関する回答 (67件)

回答結果	性別	年齢	婚姻状況	子の人数
・結論から申し上げますと小千谷市には発展都市のようなトレンドが欲しいと思います。 《理由》 小千谷市は住むだけならとてもよい場所だとは思いますが、家賃は安い、物価も安い、スーパーもある。しかし、私自身もそうですが成長していく過程で発展都市(東京等)への憧れが多少な	男性	18・19歳	未婚	0人

<p>りとも出てくると思います。小千谷市にはない仕事(IT、アパレル、芸能等)を求めたり、都市の店や住居(衣食住)の幅の広さを求めたりと、昔よりネット環境が整備されたことで今の若者はトレンド(流行)に敏感になっており、必然的に最新のトレンドが集まる都市への移住が加速するのだと思います。だからといって小千谷市を発展都市にしろと言っても難しい話です。</p> <p>《案1》コラボによる地地域活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漫画やアニメとのコラボ ・人気インフルエンサーとのコラボ ・大手企業とのコラボ <p>漫画アニメや大手企業と小千谷市の企業のコラボ商品を出したり、小千谷の名産品をインフルエンサーの方に発信してもらったりなどと考えました。ですがこれらは一時的な活性化には繋がりますがその後は徐々に落ち着いてしまうものだと思います。この問題をどうにかしたいものです。</p> <p>※ここからは私情です。</p> <p>《案2》小千谷市に新幹線を開通する(とても難しいのは承知しております)</p> <p>これは私個人のお願いなのですが新幹線があると手軽で速く都市に行けるので駅の乗り換えや車などを使わなくてもいいのでハードルが下がるかとも思いました。</p>				
育休をできるだけ長く、そして取りやすい雰囲気	男性	18・19歳	未婚	0人
会社での取り組みで昔ながらの発想はやめ現代社会に合わせていくべきです。それにより若手も小千谷で就職しよう!と思えるはず。名前は出しませんが小千谷市内の鉄工場では昔ながらの取り組みが多すぎて若手の社員が立て続けにやめている状態です。	男性	20~24歳	未婚	0人
自分は(一部編集)と(一部編集)を持っています。 (一部編集)を持っている人の理解度を多くの市民や企業に促進していただき、(一部編集)の雇用や賃金を上げて一般の正社員と平等に給料にしてもらいたいです。	男性	20~24歳	未婚	0人
社内の空気を良いものにし、心地よい雰囲気を感じる市。	男性	20~24歳	未婚	0人
結婚から子供を育てるにあたって養育費や光熱費、家賃(新築時のローン等含む)などのもっと経済的な対策がまず必要なのと、全国的に見ても低賃金な地域なのでもっと基本給を上げる対策等をするとう働きがいも出ると思う。またもっとみんなが行きたくなるようなイベント作りも大切だと思う。昔に比べて祭り等に行きたい!と思えるものが少なくなっているように感じる。	男性	25~29歳	既婚	1人

もっと子どもが遊べる公園とかイベントが増えたら良いと思う。働きがいに関しては各企業によると思う。	男性	25～29 歳	未婚	0 人
『安心して子どもを産み育てられるまち』という意味では子供を産む以前に、出会いの提供や婚約を推し進めることが私的に重要と感じます。そういった場を提供する機会が欲しいです。 『働きがいにあふれ、みんなが選びたくなるまち』という意味では、雇用を斡旋し人手不足解消に力を入れることで社員のワークライフバランスを保ちやすくして欲しいです。現実問題、これは非常に厳しい内容であることは重々承知ですが、これが一番の希望です。	男性	25～29 歳	未婚	0 人
・外国人が多くなってきているのに不安。 ・子育て世代への労働時間の短縮、経済的支援	男性	30～34 歳	既婚	1 人
男性の産後育休が当たり前になる社会になってほしいと感じます。	男性	30～34 歳	既婚	2 人
育児や若者の労働環境などを、地域や企業と市が協力して改善していくこと。若者が暮らしやすい環境を作れるかどうかが重要だと思います。	男性	30～34 歳	事実婚	0 人
給料の会社間格差が無くなれば良い	男性	30～34 歳	未婚	0 人
もっと魅力を発信してもらいたいです せつかくある食、文化、伝統、などもっと他所の市町村からも遊びに来たくなる、移住したくなるような市にしてもらいたいです 働き口は選ばなければそれなりにあるし、買い物、病院もそれなりに市内で済むので割とコンパクトで良いと思う	男性	30～34 歳	未婚	0 人
賃金の上昇等の経済方面	男性	30～34 歳	未婚	0 人
育休について、実際に育休を取得する場合に問題になるのは、職場の環境になるのではないかと思います、小千谷市に住んでいる人でも職場は小千谷市以外という人も多いと思います。 近年、育休に対する職場の環境は昔から比べれば良くなってきているとは思いますが、退職の理由で人間関係の問題が多く、休みを取りにくい環境もまだまだ多いと思います。質問の中にも育休制度について言及がありましたが、小千谷市外の企業の職場での人間関係については、小千谷市がどうこうできるものでもないと思います。誰もが育休を取れる環境になるのが一番良いとは思いますが、現状ではすぐに実現とはいかないでしょう。そのため、育休は取るべきだという雰囲気作りをしていくのと同時に、育休を取りたくても取りにくい環境にある人が特に助かる、小千谷市独自の支援を検討していただけたらと思います。	男性	35～39 歳	既婚	0 人

賃金アップ 公共施設の充実 本町商店街の再開発 小千谷市内の郊外地域への宅地誘致 市内小学校それぞれにおける特色ある教育活動の展開 学区外通学の柔軟な対応 闘牛や養鯉業を地域小学校の学習教材として、市外からの移住者を募る	男性	35～39歳	既婚	2人
・地元で安定した仕事に就ける環境を増やす ・若い世代が働き続けたいと思える企業誘致や支援の推進 ・テレワークなど柔軟な働き方ができる環境づくりの支援 ・子育てと仕事を両立しやすい職場づくりの推進	男性	35～39歳	既婚	3人
共働きしなくても、子育てできる支援または、所得の向上	男性	35～39歳	既婚	4人以上
子育てとなると、育児休暇するにあたり職場の雰囲気、あとは給料に関する経済的な支援もしくは給料アップと考える。	男性	35～39歳	既婚	2人
フレックスや週4日勤務など、働き手の希望に合った勤務形態	男性	35～39歳	未婚	0人
手取りが少ないので手取りやボーナスが増えないと働き甲斐が感じられないのと閉店した空き地に大型ショッピングモールやアニメ好きの方が寄りやすい（一部編集）のような店が無いのであると子供達の遊び場は増えるのかなと思っています。整形外科医院も個人的に増やしてほしいです。	男性	35～39歳	未婚	0人
子育てに時間的、経済的な不安を抱かない様に、市内での就労でも十分な収入が確保できると安心できる。	男性	35～39歳	未婚	0人
年収を増やして欲しい。	男性	35～39歳	未婚	0人
個人的な意見ですが今の時代収入と支出のバランスが崩れていて生活を維持することが厳しくなっているなか、結婚や子どもの事など次のステップになかなか目標が向かわないのが現状	男性	35～39歳	離別	2人
働きやすい環境や、子育て支援を沢山増やしてほしいと望んでいます	女性	20～24歳	未婚	0人
育休に偏見がなく、当たり前のように推進していくような雰囲気。	女性	20～24歳	未婚	0人
ベビー用品の補助や子どもの看護休暇の増加	女性	25～29歳	既婚	0人
育休・時短が当たり前の社会。夫婦共にフルタイム勤務じゃなくても子育て可能な給付金額。（マイホームも建てたい）	女性	25～29歳	既婚	0人
子育て支援の部分では、18歳まで医療費無料などとても力を入れていると思います。ありがとうございます。しかし、働きがいがある街かと言われるとそうではない気がします。単刀直入に言うと給料をあげて欲しいです。小千谷市は地方なので都市部と比べると給料が低いのは当たり前かもしれませんが、	女性	25～29歳	既婚	1人

豪雪地帯ということもあり通勤前・退勤後の車や家の駐車場など、雪国ならではの問題が多いと思います。その面で雪かき苦労様代？や北海道みたいに電気代の補助など冬季だけでも給料をあげてくれたらいいんじゃないかと思います。				
市内の会社の給料の増額。育児休業中の経済的支援。 積雪時の迅速な除雪対応。	女性	25～29 歳	既婚	1 人
正規だけでなく、パートさんの時給もあげる。産婦人科が少なく尚且つ年倍の方なので、女医さんが居てくれると助かる。	女性	25～29 歳	既婚	1 人
小千谷の企業の労働条件の改善	女性	25～29 歳	未婚	0 人
育休は女性がとるものであって、男性で育休とる人は珍しいと大多数に思われがち。仕事と育児は両立したいと考えているので、女性の育児の負担割合のことを考えると、男性も育休はとって当たり前という、意識改革や支援制度の確立が希望。また、結婚や子供に興味がないと、子育て制度や支援にどんなものがあるのか、調べたりもしないので、詳細をよく知らない若い世代が一定数いると思う(自身も含めて)。SNS や広告・市内に掲示など情報が目に入りやすいと調べるきっかけになると思う。	女性	25～29 歳	未婚	0 人
公務員の給料アップ 公務員の奨学金補助 ↑同じ小千谷で働いているのに公務員は奨学金負担の制度に含まれないのは公務員ではない他者が不公平に感じるということがあるのかもしれないが、小千谷に帰ってきて就職したのに、もしくはUターンしてこなくてもよかったのでは？と思ってしまう。雇用が安定しているからといっても、子育て世代と言われる今の時期は給料も低く、家庭を持ちたいが現実的な部分を見ると難しいという判断になりやすく、選びたくなるまち、安心して子どもを産み育てられるまちとはならなそう。そう考えると働きがいとは？仕組みとしては理解できるけど、実際に当事者になると納得しきれない、と感じてしまいます。	女性	25～29 歳	未婚	0 人
育休を取得しやすいように企業への支援と取得しやすい環境づくり。給与を上げて欲しい。	女性	25～29 歳	未婚	0 人
社協職員の給与基準向上	女性	25～29 歳	未婚	0 人
子供が通う幼稚園、保育園、小学校、中学校高校の先生が安心して働けるようになると親も安心できると思います。	女性	25～29 歳	未婚	0 人
小千谷は賃金が低すぎると考えます。長岡の方が圧倒的に基本給が高いので、長岡に人が流れます。なのでまず賃金をあげる事。そして雪もこんなに降っていても助成金などありませんし、娯楽もない。解決案としては、冬の助成金制度の導入、娯楽施設がないので娯楽施設があったりすると良いかもしれないです。イベントは昔に比べて増えていると思うので、親子連れの	女性	30～34 歳	既婚	0 人

方も楽しめていると思います。今後も継続して行って欲しいです。				
とにかくお金です 育休手当が少ないし1ヶ月ごとにしてほしい 給料が入っても引かれるのが多すぎて手取りも増えない なのに子供を増やしたいなんて、女からしたら気に入らないですよ お金と夫の育休強制があればだいぶ余裕はでてくると思います	女性	30~34歳	既婚	1人
仕事の量や残業が多すぎて皆自由時間がないように思える。男女共にそこそこ働くだけでも十分生活ができるようになればいいと思っている。市内企業、役所等勤めているの残業を減り且つ給料が上がる制度等があればいいなと思う。	女性	30~34歳	既婚	1人
今の時代、物価高である上、給料が上がらないため、子育てをすることは経済的に『かなり』裕福でないと成り立たないような気がします。今もやっていただいていると思いますが、経済的な給付をとにかくお願いしたいです。保育料が高いです。	女性	30~34歳	既婚	1人
・未満児の保育料無償化 ・両親と一緒に住んでいないし、夫は仕事で朝は早いし帰りが遅い。お金のこともあるのでフルタイムで働きたいが現状厳しい。勤務時間が8時からではなく8時半(7時間半勤務)になれば、まだ頑張れそう。	女性	30~34歳	既婚	1人
小学校になると、親が仕事の場合、朝子供の方が出る時間が遅くなり、親が仕事の時間をずらしたりしなければいけなくなる。朝、小学校が始まるまでの間預かってくれるようなところがあると助かる。	女性	30~34歳	既婚	2人
職場の理解と育てやすい雰囲気。補助金制度の普及。	女性	35~39歳	既婚	0人
・就職先の充実。給料面で長岡に働きに行っているが、プライベートの時間が少ない。子どもとの時間も確保したいので、小千谷での就職先や給料面の充実が図れば、嬉しい。 ・(一部編集)	女性	35~39歳	既婚	2人
企業の基本給の底上げ、基本給がもっと上がれば子育てにかかる費用も確保できる。子どもが義務教育中は登校を保護者が見送りできるように始業時間を遅らせる。労働時間の短縮。 小学校、中学校入学にかかる費用(体操着や制服、通学かばん)などの補助金があるといい。	女性	35~39歳	既婚	2人
仕事の雇用先があることや子育てが安心してできるほどの給与が得られることが重要だと思います。 また、子どもの遊び場がさらに増えるといいなと思います	女性	35~39歳	既婚	2人
手取りが少ないため、不安がつきまとう(子どもの教育資金、	女性	35~39歳	既婚	2人

老後資金)年をとってからのことを考えると、転職して小千谷で働きたいが、なかなか今より条件のよい会社はない				
自分の場合はつわりがとてひどく、働くこと愚か、日常生活がままならず、上の子の面倒を見ることができず兄弟を増やすことがとても困難でした。夫婦で高卒、小千谷で働いていて収入はとても引く、そんな中で子供をたくさん産む事は困難です。本当は子供いっぱい産みたかったのですが、支援があればもっと産みたい育てたい人はいっぱいいると思います。若い人ほど妊娠しやすいのに、収入のせいで産めず、お金に余裕ができた頃には妊娠しづらい年齢になっているのはもったいないと思います。	女性	35～39歳	既婚	2人
生活の土台がない状態(不安な状態)で結婚や子どもを考えるとできないので、家族と一般的な生活が維持できる給与が残業なしで得られる仕事があること。(仕事も選択できること)	女性	35～39歳	既婚	2人
仕事と子育てを両立出来るよう、急な休み等に理解してもらえるように会社へ呼びかけて欲しい。子育て世代でもしっかり働ける環境を作ってほしい。(正社員として)	女性	35～39歳	既婚	2人
妊娠中の仕事が大変だが、周りに迷惑がかかるため休まず無理をすることが何度かあった。健診等も公休で行っていたため体が休まらなかった。妊婦健診でも特急が取れるよう普及してほしい。また、どの職場でもそのような休暇を取りやすい環境になって欲しい。	女性	35～39歳	既婚	3人
夫婦でシフト制の仕事をしているため、カレンダー通りの休日ではありません。そのため、土日にも仕事があることがありますが、通園している保育園は土曜が半日しかやっておらず、夫婦でシフトを調整するのがとても大変です。職場に理解はなく、あなただけ土曜日全部休ませることはできない、それでは正社員でいられないと言われてしまいます。夫とシフトを調整しきれずに、子ども3人だけで留守番をさせてしまったことも何度もありました。小千谷市全体で休日の保育をすることはできないのでしょうか?そういった日は一つの保育園に集めても良いので保育園を1日開園するなどしていただくと、もっと働きやすくなるのではないかと思います。それか、逆に小学生未満(といっても1、2年生で1人でお留守番は難しい)の子供がいる方はウィークデーのみ仕事、カレンダー通りに休めるように企業に働きかけることはできないのでしょうか?子どもを産んで育てたいと思っても、産んだ後の仕事や生活が心配で仕方ないと思います。	女性	35～39歳	既婚	3人
子どもが複数いても両親共働きしなくても生活していけるくら	女性	35～39歳	既婚	4人以上

いの所得の増加。				
小千谷市が頑張ってくれても、職場が育児時短制度を使わせてくれない。時短の人は要らないと、消極的。せっかくの制度を上手く利用できない。時短どころか超過勤務ばかりで、一定の収入を得たいと思い、子育てしながら働くのはやはり大変だと思う。	女性	35～39 歳	既婚	4 人以上
子供を産んだ後の手厚い支援。希望の保育園に入れる。粉ミルクやオムツ等必要な物資を無償で配達してもらい、その時に保護者の健康状態の確認が出来る。産休や育休や時短されている人のかわりに働いてくれている人への給与増額。無給扱いの子供の病気や授業参観なども有給扱いにする。保育園での持ち物をすべて貸し出しにし、保護者と保育園の負担を減らす。駐車場を広くしてほしい。制服や学校で使う物品を格安で手に入るお店がほしい。お下がりでは手にはいらぬ物も多いので。小学校中学校で必要な物不要な物リストがあれば卒業時にお下がりにも回しやすい。家事代行サービスを無償または格安で受けられる。	女性	35～39 歳	既婚	2 人
まずは、産科の維持を 1 番にお願いしたいです。保育園の先生の給与を上げるなど、保育園の先生の意欲を高めてほしい。テレワークも可能な職場が増えたらいい。子育て世代が働きやすい職場が増えてほしい。(工場だけでなく、IT 関係など)カフェや若者向け飲食店など若者が楽しめる娯楽が増えたらいい。子どもが悪天候でも楽しめる施設が増えてほしい。中学生以降の子どもが楽しめる施設も増えてほしい。いろいろと良くなってきている実感があるので、今後も幅広い施策をお願いします。	女性	35～39 歳	既婚	2 人
乳幼児でも遊べる、食事出来る場所(飲食店)があると助かります。求職者に対して、どこでも誰でもウエルカムな環境、会社の雰囲気作り。少しでも給料アップ!	女性	35～39 歳	既婚	2 人
職員の接遇向上。色々な取り組みをしていただいていると思います。小千谷市が良い方向に向かっていくことを願います。	女性	35～39 歳	既婚	3 人
小千谷市の企業全体の給与が上がる 住宅購入時の補助金 家賃の減額(小千谷市内は高過ぎる、長岡の方が安く、新潟市内と同等くらいに高い)	女性	35～39 歳	未婚	0 人
「安心して子どもを産み育てられるまち」では 子どもが遊べる室内施設がもう少しあるといいと思う。 ホントかに遊べるところもあるが休日になると未就学児と小学生と一緒に居ると小学生が元気過ぎて未就学児にぶつかって怪我をするんじゃないかと見守っていてもすごく不安にある 「働きがいにあふれ、みんなが選びたくなるまち」では	女性	35～39 歳	未婚	0 人

<p>事前に見学可能となっているところもあるが、見るのとやるのでは違うと思うので、難しいとは思いますが、応募前に1週間とかでも良いので実際に体験出来ると嬉しい。食品系の会社だったり難しいとは思いますが、試用期間も有るとは思うが採用前に体験出来ると違う気がする</p>				
<p>錦鯉など世界中に輸出されているように、小千谷にいても海外の仕事ができることをPRすること。若手も活躍できる、経験を積める、挑戦できる環境を整えることで、意欲のある若者が地元に残ることやIターンも見込めると思う。(例えば、管理職に早期につけるようにする、海外事業の責任者にするなど、大企業ではできないこと。)中小企業では管理職になり悩みが増え、精神を病む方が増えている。「管理する」や「決断する」を養うための講座などがあるとよいのではないかと思う。子育てについては、昔みたいに大勢(様々な目がある状態)で育てる仕組みがあると安心できると思う。短時間でもすぐに預けられたり、近所のおばあちゃんが見てくれたり、町の人を巻き込んで子育てできる仕組みがあったら素敵だなと思う。</p>	女性	35～39歳	未婚	0人
<p>仕事と家庭の両立 正規非正規関係なく必要な休暇がある</p>	女性	35～39歳	未婚	0人
<p>産休育休や時短勤務が取得しやすい企業が増えるといいと思います。PTAの負担が減ると子どもを持ちたい方も増えるのでは?いつまでも昔のやり方が正しいと続けるのは止めた方がいいかもしれません。小千谷市は～18才まで医療助成があるのと妊婦さんの医療助成が始まったのは素晴らしいと思います!</p>	女性	35～39歳	未婚	0人
<p>他の市より引っ越して来ました。医療関係に従事していましたのであまりにも小千谷市の子育てを盛り上げているのに病院の少なさからセカンドオピニオンもできない。ワンマンで医師が天狗になっている医師不足な環境で不妊治療やナイーブな相談をすることは結局長岡や新潟市に行かなくてはならない。どこが子育てを応援しているのかわからない。人口を増やす目的なのにフルタイムでどうして休みを取って他の市まで行かなくてはいけないのか。凝り固まった回答に雪が多い時期に家に子供を置いて行き流しを行わなければならない。そんなところで子育てをどうしていくのか全くわからない。将来性がない、地域との繋がりも強く今時ではない風習に自分の子供には住ませたくないと思う。土地が多くあるなら他県から収益を得られるような仕組みを作らなければ移住する人も少ないしここに残る人も増えるはずがないと思う。</p>	女性	35～39歳	離別	1人
<p>ICTが活用できる働き方。わたしは都内の企業で働いていましたが、離婚を機に娘を連れて小千谷に戻りました。理解のある</p>	女性	35～39歳	離別	1人

職場で、今は完全在宅で都内の仕事をしています。シングルマザーで在宅で働けるのは小さい子供がいる私にとってはとても助かっています。このような働き方は田舎にないと周りは話すので、恵まれていると同時にこの働き方が田舎でも広がればなと感じています。(スキルにもよると思いますが)				
給料を上げていくこと。光熱費の助成以前に、光熱費を下げて欲しい。特に下水道費は小千谷市は他と比べ、高額だと感じています。	回答しない	35～39歳	既婚	2人

■情報発信の改善に関する回答 (47件)

回答結果	性別	年齢	婚姻状況	子の人数
小千谷市の良い点だけでなく、課題点も市の内外に発信し、みんなで小千谷市を改善できる環境(施設も機会も)を整備すること。	男性	18・19歳	未婚	0人
子供の遊ぶ場所、急用などのとき安心して預けられる託児所や近隣住民、地域での協力体制。小千谷といえばこれ。錦鯉、花火だけじゃないジャンルをこれから増やし発信していく。	男性	20～24歳	未婚	0人
現代の子どもに合わせた遊び場の新規制作や今までの遊び場の宣伝、若い世代に向けた小千谷市の支援を分かりやすくホームページに記載するなど見つけやすい部分に付随させたりする	男性	20～24歳	未婚	0人
年代性別ごとに必要な情報を断片的でなく包括的、体系的でわかりやすく周知してほしい。社会人の勉強時間は1日平均7分なので小千谷市の利用できる制度を誰にでも理解できるようにわかりやすく体系的に説明してほしい	男性	20～24歳	未婚	0人
子供ファーストの政策とそのアピール	男性	25～29歳	既婚	0人
子供の医療費無料がやってもらってとてもありがたいです 経済的な支援が直接的でわかりやすくありがたいと思います 子育て世代、若者に伝わるような発信があればいいと思う	男性	25～29歳	既婚	1人
助成金・支援金の増額、出産祝い金の金額が目に見えてわかるようにしてほしい 実際に祝い金がいくらなのか個人に振り込まれるのか、出産費用として病院に直接支払っているのかわからないわかりづらい そもそも全ての助成金・支援金にしても金額も内容も全てわかりづらい 小千谷市自体に産婦人科を残す又は作る	男性	25～29歳	既婚	2人
『安心して子どもを産み育てられるまち』という意味では子供を産む以前に、出会いの提供や婚約を推し進めることが私的に重要と感じます。そういった場を提供する機会が欲しいです。	男性	25～29歳	未婚	0人

『働きがいにあふれ、みんなが選びたくなるまち』という意味では、雇用を斡旋し人手不足解消に力を入れることで社員のワークライフバランスを保ちやすくして欲しいです。現実問題、これは非常に厳しい内容であることは重々承知ですが、これが一番の希望です。				
どんな支援などがあるか一覧で知りたい。	男性	25～29 歳	未婚	0 人
美味しい食べ物のお店が増えてくれると嬉しい もっと美味しい物をアピールしてほしい	男性	25～29 歳	未婚	0 人
実例の紹介	男性	25～29 歳	未婚	0 人
金銭面では出産や育児にかかる費用への助成があること、知識や支援の提供策として相談会や親子教室等があること、それらの広報が分かりやすくされ、存在を認識できることを望みます。	男性	25～29 歳	未婚	0 人
現在の施策は「子ども」がいる世帯向けのものが中心に感じられ、子どもがいない世帯には恩恵が少ないように思うことがあります。以前住んでいた新潟市では、子育て支援だけでなく、結婚に関するサポートや情報提供も比較的充実していると感じていました。私は結婚を機に小千谷市に来て、小千谷市で婚姻届を提出しましたが、その際に利用できる制度やサポートについての案内が特にありませんでした。窓口で簡単な案内やチラシの配布があるだけでも、必要な人に情報が届きやすくなるのではないかと思います。(結婚1年後におぢやおやじさんのSNSでずっと住まいる応援事業を知った時はショックでした…)市役所を訪れる機会は多くありませんが、訪れた際にポスター掲示があれば目に留まりますし、広報誌に案内が掲載されていれば確認することもできます。どのような制度やサポート体制があるのか、より積極的に周知していただけるとありがたいです。	男性	30～34 歳	既婚	0 人
目指す姿に対してどのような支援を行なっているか(あるいはどのような支援をする予定があるか)一目でわかるものがあると良いと思います。調査していただきありがとうございました。今後も可能な限り協力したいと思います。	男性	30～34 歳	既婚	0 人
積極的な支援情報の発信と、利用実績の発信	男性	30～34 歳	既婚	0 人
地元民が小千谷を魅力を理解し、それを市外の人に伝えたいこと。	男性	30～34 歳	既婚	1 人
もっと魅力を発信してもらいたいです せっかくある食、文化、伝統、などもっと他所の市町村からも遊びに来たくなる、移住したくなるような市にしてもらいたいです 働き口は選ばなければそれなりにあるし、買い物、病院もそれなりに市内で済むので割とコンパクトで良いと思う	男性	30～34 歳	未婚	0 人

<p>冬季なら除雪がしっかり行き届き、通勤しやすい（こども送り迎えなども含む）安全度の高い道</p> <p>若い世代には収入関係なく家賃や住宅ローン補助等給料の1/3税金で持っていかれる現状は自分一人が豊かな暮らしをするのが限界</p> <p>若者へ優遇は最優先で進めなければ先はないかと</p> <p>何かしらの市策や各種補助金申請手順など YouTube、Xなどで発信を行い市には小千谷のいいところをどんどんアピールして欲しい</p>	男性	30～34歳	未婚	0人
<p>結婚・出産・育児に対して経済的な支援と、育児に関する準備や対応を順序立てて説明などをし、心配や不安の解消に繋がる精神面の支援、などを行えば「安心してこどもを産み育てられるまち」になると私は思います。普段からテレビに触れない方たちのために、XやYoutubeなどの媒体で経済的・精神的支援や能力開発支援の情報などを広告として掲示することで各々の意識改革をし、働きがい生まれるのではないかと思います。</p>	男性	30～34歳	未婚	0人
<p>近年は高齢出産が増えているのも事実でもっと高齢出産に対してのサポートと対象年齢ね範囲を広めて欲しい</p> <p>また町村にもよるが(自分が住んでる(一部編集))に何かしらの難しいと思いますがコンビニができて欲しいし何かしらで岩沢という場所を何かしらでアピールして欲しい</p>	男性	30～34歳	未婚	0人
<p>上記のようなテーマを目指していることが事態が全く認知されていないのでまずは政策内容が周知されるようにすることが大切だと思います。</p>	男性	35～39歳	未婚	0人
<p>職場が市外なのでわからない。普段小千谷の情報は SNS か LINE の市報しか見てないので、それらで発信して貰えば2、30代が一番見ると思います。</p>	男性	35～39歳	未婚	0人
<p>出産育児について小千谷市の情報をもっと受け取れるよう到来たらいいと思う。周りから話を聞いてそんな事が出来るのかと知らないこともあった。</p>	女性	20～24歳	既婚	0人
<p>Ti mun bit r hn v phng php h tr trc khi c con (訳:「妊娠(子供を持つこと)前のサポート方法(妊活・準備)について詳しく知りたい」)</p>	女性	20～24歳	既婚	0人
<p>具体的に支援を受けた人が近くにいたり、様子が分かるような発信をしてくれたりしたら、身近に感じやすい。</p>	女性	20～24歳	未婚	0人
<p>子育てやイベントに関する SNS での配信の継続、公園などの公共施設の整備</p>	女性	20～24歳	未婚	0人
<p>全ての方が浸透できるような積極的な子育て支援の告知、声掛け</p>	女性	20～24歳	未婚	0人

情報提供の豊富さ	女性	20～24 歳	未婚	0 人
もっとどんな制度があるか知りたいです。市報やホームページでわかりやすく情報発信をしていただけるとありがたいです。	女性	20～24 歳	未婚	0 人
子育て支援などの制度を小千谷市内に広めて、みんな知っている！くらいの認知度があるとどんな制度があるんだろうと不安に思わず子育てを出来ると思う。そして、遊べる場所を増やして、駐車場を広くして駐車場が狭くて遊べない…とならないようにしてほしいです。働きがいに関しては、さまざまなジャンルの企業を増やしたり、都会にしか無いというのを減らしてほしいです。普段過ごしていて、小千谷市内には閉店してそのままの店がいくつかあります。昔は小千谷市内にあったお店が閉店して長岡市に行かないと買えなくなってしまっています。そうなると、長岡市に住みたいやあその市に行かないと無い…となると思います。私も、昔はあったお店が閉店して長岡市などに行かないと買えなくて「やっぱり長岡市に行かないと無いか…」って思うことがあります。そのように思うことが減ってほしいです。若者に人気なお店などを増やしてほしいです。ここ 10 年全然変化が無くてとても悲しいです。前も高校時代に小千谷市に望むことで書きましたが、変化が無くて正直諦めています。	女性	20～24 歳	未婚	0 人
広告や市報、SNS など妊娠前から、どのような支援があるのか知る機会、目にする機会を作ること。	女性	25～29 歳	既婚	1 人
小千谷市はテレビに取り上げられなさすぎる。すごい技術を持った企業（一部編集）があるのに、三条など目立つところばかりが取り上げられて、周囲の評価が上がらない。自分たちはすごいんだという自信がつかないと思う。安心して子育てという点では、子供が自分の足で冒険できる範囲が狭い。車も止まらないしスピードを落とさない。親が目を見せない。地域ぐるみで見守る雰囲気ができればいいと思う。	女性	25～29 歳	未婚	0 人
育休は女性がとるものであって、男性で育休とる人は珍しいと大多数に思われがち。仕事と育児は両立したいと考えているので、女性の育児の負担割合のことを考えると、男性も育休はとって当たり前という、意識改革や支援制度の確立が希望。また、結婚や子供に興味がないと、子育て制度や支援にどんなものがあるのか、調べたりもしないので、詳細をよく知らない若い世代が一定数いると思う（自身も含めて）。SNS や広告・市内に掲示など情報が目に入りやすいと調べるきっかけになると思う。	女性	25～29 歳	未婚	0 人
今の市営のアパートなどは老朽化があると思うので改築して今風な感じにする。公園などの遊具を増やす。圧倒的に昔に比べ	女性	25～29 歳	未婚	0 人

て遊具は少ないなと思いました。丘陵公園まではいきませんが、大きい公園もあっていいのかなとは思いますが。後は普段ならできないような体験（○○を作る体験等）ができるイベントを行なうのも良いかと思えます。また SNS が普及してる為、若者に届きやすいと思うので Instagram などでもっと宣伝しても良いかと思えます。おぢやおやじさんという方が小千谷を宣伝していただけてますが、もっと小千谷を知ってもらいたいと思うので、広報は大事だと思います。私は小千谷が好きなので、今よりもっといい環境になったらいいなと思えます。応援しています。				
育児支援の強化、それが子育て世代に伝わる為の宣伝対策	女性	25～29 歳	未婚	0 人
我が家も春に第一子出産予定ですが、小千谷は子育て支援がたくさんあって安心して我が子を迎えられるなと思えました。原信にポスターが貼ってあるのも目にしますが、やはり Instagram 等の SNS でもっと子育て世代の目に留まるようにしたらいいのかなと思えます。担当者の皆様、日々市民のためにご尽力くださり本当にありがとうございます。	女性	30～34 歳	既婚	0 人
もっと SNS などでアピールすべき！妊娠出産をしないという制度があるか知らないし、知ろうとしない人が多い気がする。自然と目に止まるようにもっと大々的にどういうことをしているかアピールしてもいいと思う	女性	30～34 歳	既婚	2 人
市からの情報を簡単に得られたり、検索できるとありがたい	女性	30～34 歳	既婚	1 人
小千谷は「子どもが育ちやすい環境(対子ども向け)」と、「高齢者施設(対高齢者向け)」が多いのに対して、「若者が出会う場」「未婚者独身者に対する施設」はほぼ無く、言っていることとやっていることがちぐはぐな気がしています。近隣市町村では若者のサークル活動や活躍の場などがあるのに、小千谷はそういう類いの場が無い、或いは周知されていないのかなと思えます。	女性	30～34 歳	未婚	0 人
スーパーマーケット、ドラッグストア、ラーメン屋、蕎麦屋、コンビニ、スナック以外の施設の選択肢。飲食店の雰囲気のわかりやすさ。公共施設の利用の仕方の説明。ネット予約の充実。市のホームページで、知りたい情報に辿り着けないので、わかりやすさ。市内の子どもの習い事はなにが展開されているのか、どこにどう連絡したら入会できるのかなどがわかりにくいので、そのアピール。	女性	30～34 歳	離別	1 人
安心して子供を産み育てています。助産師さんの訪問やわんぱーくの活動などありがたい支援があり、助かっています。わんぱーくを Google マップで調べると古い内観の写真が出てくるので、今の素敵な施設をぜひアピールしてください！	女性	35～39 歳	既婚	1 人

高校生まで医療費を全額無償だったり、子どもの健診でおぢやつつみを提供したりと、住んでみないと分からない所がたくさんあるのでそういった所をもっと全面的にアピールしてほしい	女性	35～39 歳	既婚	2 人
結婚を機に小千谷に来ました。「小千谷は商業施設が少なく、催しは多くあるけれど地元民で盛り上がるものが主」という認識を持っていました。実際数年住んでみたら、子育てのしやすさや地域のつながりの深さから得られる安心感は本当に心強く、催しも他の地域にもっと発信してほしいと思う素晴らしいものが多くあり驚きました。ぜひこの素晴らしさを多くの人に知ってもらえるといいなと思います。SNS を活用するなどし、他の地域の人も惹きつけるような発信の仕方をするとういのではないかと思います。	女性	35～39 歳	既婚	3 人
市外から転居した際、家賃補助がありとても助かりました。勤務先へのアクセスもよく、家を建てる際にも補助金があり良かったです。産婦人科の先生が長らく勤められておられますが、新しい先生は居られず今後小千谷で出産が難しくなってしまうのではと不安にもなります。また、学童が増え高学年になるまで利用できるかと安心して仕事ができるのかなと思います。地元で活躍して居られる方の情報やイベント情報が市報や Instagram 等で知る事ができることもとても魅力的だと思います。生活を豊かにする商業施設がもう少し増え、学生達も過ごしやすい街になればいいなと思っています。	女性	35～39 歳	既婚	2 人
困った時に適切どころへ相談できるような連絡先の整備 市で対処することではないと思う相談でも突き放さないで次の場所を案内してくれるような優しさ 会社が子育てしやすい、働きやすい会社を作るための費用補助（市民に限らず）、それを利用した企業への取材 人手不足をどうにかしたいけど何をしたらいいかわからない会社は多いと思う	女性	35～39 歳	未婚	0 人
錦鯉など世界中に輸出されているように、小千谷にいても海外の仕事ができることを PR すること。若手も活躍できる、経験を積める、挑戦できる環境を整えることで、意欲のある若者が地元に残ることや I ターンも見込めると思う。(例えば、管理職に早期につけるようにする、海外事業の責任者にするなど、大企業ではできないこと。)中小企業では管理職になり悩みが増え、精神を病む方が増えている。「管理する」や「決断する」を養うための講座などがあるとよいのではないかと思います。子育てについては、昔みたいに大勢(様々な目がある状態)で育てる仕組みがあると安心できると思う。短時間でもすぐに預けられ	女性	35～39 歳	未婚	0 人

たり、近所のおばあちゃんが見てくれたり、町の人を巻き込んで子育てできる仕組みがあったら素敵だなと思う。				
いくら子どもを育てやすい環境になっても、雇用環境がなければ、成人になった子どもは出ていきます。戻ってくる人も少ないです。子育て対策に力を入れるのはもちろんですが、小千谷市が好き、ここで働きたいと思うような会社や働き方の発信がもっと必要なのではないでしょうか。長岡市のように、長岡に住みながら東京の会社で働けるような仕組みづくりもいいと思います。	女性	35～39 歳	未婚	0 人

■働く場所（企業）の選択肢不足に関する回答（44 件）

回答結果	性別	年齢	婚姻状況	子の人数
会社での取り組みで昔ながらの発想はやめ現代社会に合わせていくべきです。それにより若手も小千谷で就職しよう！と思えるはず。名前は出しませんが小千谷市内の鉄工場では昔ながらの取り組みが多すぎて若手の社員が立て続けにやめている状態です。	男性	20～24 歳	未婚	0 人
幅広い企業誘致を行い、職業選択の幅が広がるといいと思う。18 歳までの医療費無料をこれからも続けてほしい。	男性	20～24 歳	未婚	0 人
市内に生活基盤を持たない世帯（市外・県外からの転入者）であっても経済的な不安を持たずに済む待遇の企業の誘致。	男性	30～34 歳	既婚	0 人
優良企業の誘致 克雪 長岡へのアクセスの容易化	男性	30～34 歳	既婚	1 人
少子高齢化が加速していて働き口も市外になっているから外から呼び込むくらいしかないと思う 気軽に入れるチェーン飲食店が極端に少ないと誘致する	男性	30～34 歳	未婚	0 人
企業を誘致して働き口を増やすことと、今現在空いてる土地に商業施設や店舗を入れること。	男性	30～34 歳	未婚	0 人
（一部編集）から移住しましたが、小千谷市の方が除雪も楽で快適に暮らせています。小千谷市で就職したい、暮らしたい、と思ってもらえるよう、他の地域に勝るメリットが目立つようにアピールしてもらいたいです。長岡市が便利とされるのは、お店がたくさんあるからでしょう。長岡市民から、小千谷市は何もない、と言われますが、周りの市にあるチェーン店がない、セルフのガソリンスタンドも少ないのが理由でしょう。現状は、小千谷市より長岡市に住みたい、という人が多いかもしれませんが、いろいろなお店が増えれば長岡市より小千谷市に住みたい、という人も増えると思います。また、防衛関連企業を小千谷市に誘致してもらいたいです。防衛関連はこれからさらに活発になると思うので、雇用の創出の為に是非お願いします。	男性	35～39 歳	既婚	0 人

雇用安定 消防団や地域役員などの仕事量の最小化もしくは廃止	男性	35～39 歳	既婚	0 人
市からの直接的なサポートの他に子育てしやすい就業先が増えると、働きながら育てるがしやすいと思う。 子供の教育が特に充実していると嬉しい。	男性	35～39 歳	既婚	1 人
安定した就職先 冬季間の交通状況の改善	男性	35～39 歳	既婚	1 人
長岡に通勤していると時間が足りない。 小千谷市でも働けると良いが、医療の専門職で仕事がない。 長岡までの高速道路代の補助ができると良い。	男性	35～39 歳	既婚	1 人
就職先の増加。流行りの服が買えたり中学生や高校生の遊び場があること。	男性	35～39 歳	既婚	1 人
雇用	男性	35～39 歳	既婚	2 人
・地元で安定した仕事に就ける環境を増やす ・若い世代が働き続けたいと思える企業誘致や支援の推進 ・テレワークなど柔軟な働き方ができる環境づくりの支援 ・子育てと仕事を両立しやすい職場づくりの推進	男性	35～39 歳	既婚	3 人
魅力的な就職先がない	男性	35～39 歳	既婚	3 人
就職先の充実が必要だと思う	男性	35～39 歳	未婚	0 人
職の選択肢が増えると嬉しい	女性	20～24 歳	未婚	0 人
もっと雇用が増えると良いのかなと思います。(大企業の誘致とか)冬場は除雪支援をより拡大していただけると嬉しいです。屋根・カーポート等の雪の落とし場がない住宅をどうにかしていただきたいです。	女性	20～24 歳	未婚	0 人
子育て支援などの制度を小千谷市内に広めて、みんな知っている！くらいの認知度があるとどんな制度があるんだろうと不安に思わず子育てを出来ると思う。そして、遊べる場所を増やして、駐車場を広くして駐車場が狭くて遊べない…とならないようにしてほしいです。働きがいに関しては、さまざまなジャンルの企業を増やしたり、都会にしか無いというのを減らしてほしいです。普段過ごしていて、小千谷市内には閉店してそのままの店がいくつかあります。昔は小千谷市内にあったお店が閉店して長岡市に行かないと買えなくなってしまっています。そうすると、長岡市に住みたいやあその市に行かないと無い…となると思います。私も、昔はあったお店が閉店して長岡市などに行かないと買えなくて「やっぱり長岡市に行かないと無いか…」って思うことがあります。そのように思うことが減ってほしいです。若者に人気なお店などを増やしてほしいです。ここ 10 年全然変化が無くてとても悲しいです。前も高校時代に小千谷市に望むことで書きましたが、変化が無くて正直諦	女性	20～24 歳	未婚	0 人

めてます。				
<p>小千谷市が「安心して子どもを産み育てられるまち」「働きがいにあふれ、みんなが選びたくなるまち」になるためには、日常生活の利便性を高めることが大切だと考えます。例えば、若者や家族で楽しめる娯楽施設が増えることで、地域に魅力が生まれると思います。また、交通機関についてはバスの本数が少なく、移動が不便に感じるため、運行本数を増やしてほしいです。また、若者が土地を購入しやすいように提供する事がいいと思います。さらに、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、過疎化が進む町にもスーパーや洋服店、コンビニなどの生活に必要なお店を増やしてほしいと感じます。あわせて、子育て支援サービスをより充実させることで、幅広い世代が住みやすいまちになると考えます。また、子どもが安心してのびのびと遊べる遊び場が充実すると良いと思います。例えば、「ぐんぐん」や「ちびっこ広場」のような、天候に左右されずに利用できる施設があることで、子育て世代が外出しやすくなり、親子で過ごす時間も増えると考えます。（一部編集）の有無や（一部編集）「母子家庭」などの区分に限らず、働き盛りの世代でも支援を受けられる給付制度があると良いと感じます。特に、40代・50代といった世代は働く意欲や責任も大きい一方で、災害などの影響を受けた際に生活が不安定になりやすいと考えます。そのため、年齢や家庭状況に関わらず、災害時に給付金や寄付金などの支援を受けられる制度を充実させてほしいです。子育てをする父親や母親が、安心して子どもを預けて息抜きできるよう、一時預かりの制度や施設をもっと充実させてほしいです。用事があるときだけでなく、心身のリフレッシュのためにも気軽に利用できる環境が整うことで、保護者の負担が軽減され、安心して子育てができるまちになると思います。また、子育ての悩みを気軽に相談できる窓口や、親同士が交流できる場が増えると良いと思います。仕事と子育てを両立しやすくするため、急な体調不良の際にも利用できる預かり支援があると安心です。そして、父親も参加しやすい子育て講座やイベントを増やすことで、家庭全体で子育てに向き合える環境になると感じます。育児による孤立を防ぐため、地域で見守り合える仕組みやサポート体制を充実させてほしいです。</p>	女性	20～24 歳	未婚	0 人
<p>様々な業種の働きたいと思える企業が増えれば、若者が残る、帰ってくるまちに近づくと感じます。</p>	女性	20～24 歳	未婚	0 人
<p>小千谷市の産婦人科が将来も利用できること 育休中の経済面の支援</p>	女性	25～29 歳	既婚	1 人

若者が小千谷市で働きたいと思うような働き場所の確保				
低所得者だけでなく働いてる世帯も今後安心できません。 働きやすい仕事を作ってほしいです。 金銭的支援はもちろんですが、他にも小千谷で子供達と暮らしていけるように施設も増えるとありがたいです	女性	25～29 歳	既婚	2 人
若い人が働きやすい環境 平日働いてる人でも家庭環境など悩みなどが気軽に相談しやすい窓口がほしい	女性	25～29 歳	未婚	0 人
地元ならではの雰囲気は苦手と感じています。仕事の求人が少ないと感じています。	女性	25～29 歳	離別	2 人
職がもう少し幅広くあればと思う あとは最低賃金あがるとか 正社員になりたいけどなれないし職も微妙だから市外にアルバイトでてる 子育ての面で言えば子供の病院無償化ちょー助かってます あとはシングルの立場から自由に話すなら親族同居な時点で手当がゼロなのは結構厳しいなーとは思ってしまう 家があっても家計は別だし、家にも家賃的なものも入れてる、でも同居な時点で申請は通らないから、なんか少しそこに慈悲があったらありがたい	女性	25～29 歳	その他	1 人
小千谷市内に働き先の選択肢がいっぱいあったらいいなと思います。	女性	30～34 歳	既婚	1 人
働く場所の確保 産休育休への企業への補助 通学の安全 習い事の選択肢 外食のしやすさ（チェーン店が多いと助かる）	女性	30～34 歳	既婚	1 人
不妊治療から現在の子育てまで、金銭的な支援や、精神的な支援が充実していたので、育休から復職するまで負担なく来れました。ですので「安心してこどもを産み育てられるまち」になっているように感じます。 現在の生活の拠点としては何も不満はありませんが、今後みんなが選びたいようなまちと感ずるのは、面白い仕事や給料の高い大手企業の働き口がある(仕事色々選べる)ということも大きいと思います。それには交通の便が大きな役割を持つと思うので、主要道路を増やす、工業団地として機能する土地を設けるなどを望みます。主要道路が多くなったり整備されれば、今住んでいる近隣の市に職場を持つ人にとっても小千谷がより住みやすく、魅力的になるのではないかと思います。	女性	35～39 歳	既婚	1 人
子供を産んでも働き続けられる職場が多くあること。乳幼児連れの買い物は大変なので、買い物サポートのようなサービスが	女性	35～39 歳	既婚	1 人

あると助かる。産後は孤立しがちなので、こちらから要請しなくても定期的に見回ってくれる等のサポートがあると心強い。				
働く場の選択肢が少ない事が、市外在住の働く子育て世代の定住促進に繋がっていないと感じる。	女性	35～39 歳	既婚	1 人
・就職先の充実。給料面で長岡に働きに行っているが、プライベートの時間が少ない。子どもとの時間も確保したいので、小千谷での就職先や給料面の充実が図れば、嬉しい。 ・（一部編集）	女性	35～39 歳	既婚	2 人
仕事の雇用先があることや子育てが安心してできるほどの給与が得られることが重要だと思います。また、子どもの遊び場がさらに増えるといいなと思います	女性	35～39 歳	既婚	2 人
企業誘致して、働く場所を増やす。婦人科医を増やす。3 人目出産からお祝い金。少し大袈裟くらいな政策をしないと、なかなか難しいと思う。	女性	35～39 歳	既婚	2 人
手取りが少ないため、不安がつきまとう（子どもの教育資金、老後資金）年をとってからのことを考えると、転職して小千谷で働きたいが、なかなか今より条件のよい会社はない	女性	35～39 歳	既婚	2 人
就職先がないと家族を持つという事に不安が出ると思うのでまずは企業誘致に力を入れてほしい。あとは子どもを産んだあと大学まで約 24 年ある子育て期間の支援がほしい	女性	35～39 歳	既婚	2 人
生活の土台がない状態（不安な状態）で結婚や子どもを考えることはできないので、家族と一般的な生活が維持できる給与が残業なしで得られる仕事があること。（仕事も選択できること）	女性	35～39 歳	既婚	2 人
大人も子供も病気になった時に直ぐにかかれる病院がある事。保育園、学校が町にあり、高校に行く際のバス、電車通学がスムーズに出来る。大人も働く職場がある。これまでの様に安全に生活出来る環境（雪国であり、冬は他県よりもお金の負担が凄い）が考慮されると助かります。	女性	35～39 歳	既婚	2 人
まずは、産科の維持を 1 番にお願いしたいです。保育園の先生の給与を上げるなど、保育園の先生の意欲を高めてほしい。テレワークも可能な職場が増えたらいい。子育て世代が働きやすい職場が増えてほしい。（工場だけでなく、IT 関係など）カフェや若者向け飲食店など若者が楽しめる娯楽が増えたらいい。子どもが悪天候でも楽しめる施設が増えてほしい。中学生以降の子どもが楽しめる施設も増えてほしい。いろいろと良くなってきている実感があるので、今後も幅広い施策をお願いします。	女性	35～39 歳	既婚	2 人
子どもがいるので土日休みの求人を探すのが、派遣やバイトなどが多く、正社員の求人が少ない。	女性	35～39 歳	既婚	2 人
少子化が進む地域で近くの小学校が無くなるのは悲しい。	女性	35～39 歳	未婚	0 人

<p>存続しようにも小学生、子供がいない。空き家問題と併せて、もう少し移住にアピール等していければと思う。ただ田舎特有の歓迎ムードが無いのも田舎あるある。働き場所が無ければ移住する意味もないのでまずは、企業誘致でしょうかね。</p> <p>win-winの関係が出きるような環境が整うといいと思う。</p>				
<ul style="list-style-type: none"> ・安定した就職先があること ・公共料金が割安であること ・内科、歯科以外の専門医院も複数あってほしい 	女性	35～39歳	未婚	0人
<p>いくら子どもを育てやすい環境になっても、雇用環境がなければ、成人になった子どもは出ていきます。戻ってくる人も少ないです。子育て対策に力を入れるのはもちろんですが、小千谷市が好き、ここで働きたいと思うような会社や働き方の発信がもっと必要なのではないでしょうか。長岡市のように、長岡に住みながら東京の会社で働けるような仕組みづくりもいいと思います。</p>	女性	35～39歳	未婚	0人
<p>公共交通機関の利便性の向上</p> <p>幅広い職種が選択肢にあること</p>	女性	35～39歳	死別	1人

■小児科・産婦人科への不安、医療機関の不足に関する回答（36件）

回答結果	性別	年齢	婚姻状況	子の人数
<p>まずは娯楽。遊ぶところもなければ、集まれるような場所もない。まず子供が少なすぎて同級生のつながりが少なすぎる。小学校は合併して行って良いと思う。子供を産むにも（一部編集）しかない。その（一部編集）も怪しくなっている。これで子供が増えるのだろうか。まずは娯楽施設を作ること。</p>	男性	25～29歳	既婚	0人
<p>助成金・支援金の増額、出産祝い金の金額が目に見えてわかるようにして欲しい</p> <p>実際に祝い金がいくらなのか個人に振り込まれるのか、出産費用として病院に直接支払っているのかわからないわかりづらい</p> <p>そもそも全ての助成金・支援金にしても金額も内容も全てわかりづらい</p> <p>小千谷市自体に産婦人科を残す又は作る</p>	男性	25～29歳	既婚	2人
<p>街の小児科がにたはらこどもクリニックしかなく人が集中してしまう。2から3箇所の小さなクリニックが必要</p> <p>また、（一部編集）で出産は先生が少なく不安</p>	男性	35～39歳	既婚	1人
小児科を増やしてほしい	男性	35～39歳	既婚	2人
産婦人科や子供が受診できる医療機関の維持	男性	35～39歳	既婚	2人
小児科の数が少なすぎる 過疎化が進み将来が不安	男性	35～39歳	既婚	3人

子どもを見てもらえる病院が、にたはら子どもクリニックか(一部編集)しかない。(一部編集)は経営難もあるのか、全く急患を受け入れてくれない。幼い子どもは体調を崩しやすいので、何とかしてほしい	男性	35～39 歳	既婚	4人以上
具体的に思いつきませんが、気になるのは(一部編集)の待ち時間が長く、具合が悪いのに、、とってしまったことです。経営難ということは知っていますが、もう少し改善していただけたらと思います。しかし、ホントカや防災公園などたくさんイベントがあったり、子供たちは楽しそうに遊んでいる姿をよく見るし、小千谷祭りの市全体で盛り上がっている感じもとても好きなのでそこは継続してもらいたいし、お囃子に今年も参加したいと思っています。どんどん目に見えて小千谷市がここ最近活性化しているを感じています。これからもっとより良くなっていくことを期待します。	女性	18・19 歳	未婚	0人
Ti mun bit r hn v phng php h tr trc khi c con (訳:「妊娠(子供を持つこと)前のサポート方法(妊活・準備)について詳しく知りたい」)	女性	20～24 歳	既婚	0人
不妊治療や病院へ行くことへのハードルが高いと考えるため、妊娠を望んでいる人のための病院ではない相談窓口があったらいいと思う。	女性	20～24 歳	未婚	0人
大人が気軽に行ける皮膚科、耳鼻科が欲しい。温泉、大浴場が近くにあったらいい。	女性	20～24 歳	未婚	0人
医療機関をもっと充実させる。 小さい子が遊べる場所を増やす。	女性	20～24 歳	未婚	0人
・土日も開いている婦人科が欲しい、治療や検査のために平日に仕事を何度も休むのは難しい ・産休育休を取得したいが、休みの間のお金が不安	女性	25～29 歳	既婚	0人
小千谷市の産婦人科が将来も利用できること 育休中の経済面の支援 若者が小千谷市で働きたいと思うような働き場所の確保	女性	25～29 歳	既婚	1人
安心して通院できる産婦人科を作ってほしい。	女性	25～29 歳	既婚	0人
正規だけでなく、パートさんの時給もあげる。産婦人科が少なく尚且つ年倍の方なので、女医さんが居てくれると助かる。	女性	25～29 歳	既婚	1人
もっと子どもの遊べる場所を作ってほしいです。他にも若者向けのお店等も増やしてほしいです。どうしても出かけるとなると小千谷ではなく長岡市に行かないとお店がなく困ってしまいます。飲食店も増やしてほしいです。そして、病院や商業施設に託児所などがあるとよりいいと思います。	女性	25～29 歳	既婚	2人
産婦人科や婦人科が小千谷にあれば妊娠した際などラクな気が	女性	25～29 歳	未婚	0人

する。				
現在はアパートだが、子どもが大きくなったときに持ち家がほしい。しかし物価高の影響などで家を建てる費用に不安があるので、何かしらの支援がほしい。空き家リフォームの補助金や一軒家の貸家の情報提供などでもいい。子育てするための時間の余裕、お金の余裕が生まれるための支援。現在は（一部編集）に産婦人科があるが、魚沼地域では（一部編集）のみになった。（一部編集）の産婦人科は絶対になくしてはいけないと思う。	女性	30～34歳	既婚	1人
出産について、（一部編集）は帝王切開を行っておらず、安心してお産ができる環境なのかは疑問です。産後ケアが無料なのはありがたいです。ただ利用の際は病院に電話して利用する理由など色々と聞かれるので、実際に利用してみてハードルが高く感じました。予約が簡単にできて、もっと気軽に使えるようになると助かります。	女性	30～34歳	既婚	1人
小千谷市で出産、育児ができるように産婦人科と小児科がずっと残っていて欲しい。	女性	30～34歳	既婚	1人
総合病院の強化 産後ママのサポート強化 手当金強化(パパの育休による減給があるため、金銭面を考えるとパパの育休を取りたくても取れないあるいは取りにくいことが現状と思う)	女性	30～34歳	既婚	1人
子どもが救急対応になると、小児科が対応していなくて、長岡まで行かなきゃいけないこと。医療をもっと充実してほしい。	女性	30～34歳	既婚	2人
企業誘致して、働く場所を増やす。婦人科医を増やす。3人目出産からお祝い金。少し大袈裟くらいな政策をしないと、なかなか難しいと思う。	女性	35～39歳	既婚	2人
小児科が（一部編集）とにたはらしかない。（一部編集）は土日休診で、にたはらに集中する。学童は東小千谷は複数あるが家族に働いていない人がいると普段は預けられない。色々な家庭事情があるから有料でも子どもを見てほしい。	女性	35～39歳	既婚	2人
子供が遊べる施設の増加、小児科の増加 婚活目的のイベントなど	女性	35～39歳	既婚	2人
市内で分娩できる産科、小児科の維持、増加。	女性	35～39歳	既婚	2人
大人も子供も病気になった時に直ぐにかかれる病院がある事。保育園、学校が町にあり、高校に行く際のバス、電車通学がスムーズに出来る。大人も働く職場がある。これまでの様に安全に生活出来る環境（雪国であり、冬は他県よりもお金の負担が凄い）が考慮されると助かります。	女性	35～39歳	既婚	2人
とにかく分娩体制の強化。冬季、積雪の心配がない施設駐車場。また1歳から使える買い物カートがあるスーパーは多いけど首	女性	35～39歳	既婚	1人

が座った赤ちゃんが使えるカートが設置してあるスーパーが少ない。駐車場に関しても優先がない（原信しかない）出産後のお祝いをいただけるのは嬉しいけど秒でなくなるものばかり。もっと手厚い支援がほしい				
まずは、産科の維持を1番にお願いしたいです。保育園の先生の給与を上げるなど、保育園の先生の意欲を高めてほしい。テレワークも可能な職場が増えたらいい。子育て世代が働きやすい職場が増えてほしい。（工場だけでなく、IT関係など）カフェや若者向け飲食店など若者が楽しめる娯楽が増えたらいい。子どもが悪天候でも楽しめる施設が増えてほしい。中学生以降の子どもが楽しめる施設も増えてほしい。いろいろと良くなってきている実感があるので、今後も幅広い施策をお願いします。	女性	35～39歳	既婚	2人
まず、病院が少なすぎる。これでは子育てしていくのに不安しかない。感染症が流行する時期は小児科の発熱外来の予約が取れない。なんとか通院できたところで高熱の子供を何時間も待たさないといけない。整形外科もない、眼科も皮膚科も少ない。医療過疎は将来、人口が減る一つの要因だと思う	女性	35～39歳	既婚	2人
（一部編集）でお産ができなくなった事がせつない。	女性	35～39歳	既婚	2人
安心して産める場所を整備してほしい（個人医院のように食事やサービスの充実）屋内施設、遊び場の充実	女性	35～39歳	既婚	2人
<ul style="list-style-type: none"> ・安定した就職先があること ・公共料金が割安であること ・内科、歯科以外の専門医院も複数あってほしい 	女性	35～39歳	未婚	0人
（一部編集）の産婦人科がなくなるという噂がある。こどもを産み育てられる街を目指しているなら産婦人科がなくなるのはありえない。あと月1回の派遣とかオンライン診療でもいいから女医さんを配置してほしい。男性医師しかいないと安心して受診できない。市内の働き口が限られてる。工場やスーパーばかりで、例えば若い子が働けるようなおしゃれな雑貨屋やアパレルがない。カラオケも潰れたし、飲食店以外の娯楽施設がない。そういうのも若者が流出する要因の一つだと思う。学習ワークスペースじゃなくてそういう若者が集まれる場所が充実すると流出が防げたり、若い人の働く場があれば市外に出なくてもいいと思えるんじゃないかと思う。子育てしてる人が気軽に集まれるカフェもあるといい。あすえ〜とかじゃなくて、普通の店で、店内に子育て相談に乗ってくれるブースがあるとか、ほんの少しだけでもこどもを見てもらってゆっくりコーヒーが飲めるスペースとか。特に（一部編集）など特性がある子の相談を行政の堅苦しい場所じゃなく気軽に買い物ついでとかに行っ	女性	35～39歳	未婚	0人

話せる場。同じ悩みを持つ親がお茶を飲みながら愚痴を言い合えるような場所があるといい。例えば空き家や空き店舗を活用するとか。学童が満員だから児童館を作ってほしい。放課後デイサービスも足りない。こどもが安心して遊べるように市内全ての公園に防犯カメラを設置するとか監視員常駐させるとかしてほしい。低賃金で働きがいはない。税金取られて手取りが少なすぎる。小千谷で買い物するとポイントが貯まったりクーポンがもらえたりして、お得に買い物できるアプリとかあったらいいのと思う。				
他の市より引っ越して来ました。医療関係に従事していましたのであまりにも小千谷市の子育てを盛り上げているのに病院の少なさからセカンドオピニオンもできない。ワンマンで医師が天狗になっている医師不足な環境で不妊治療やナイーブな相談をすることは結局長岡や新潟市に行かなくてはならない。どこが子育てを応援しているのかわからない。人口を増やす目的なのにフルタイムでどうして休みを取って他の市まで行かなくてはいけないのか。凝り固まった回答に雪が多い時期に家に子供を置いて行き流しを行わなければならない。そんなところで子育てをどうしていくのか全くわからない。将来性がない、地域との繋がりも強く今時ではない風習に自分の子供には住ませたくないと思う。土地が多くあるなら他県から収益を得られるような仕組みを作らなければ移住する人も少ないしここに残る人も増えるはずがないと思う。	女性	35～39 歳	離別	1 人

■公平な支援への要望に関する回答 (26 件)

回答結果	性別	年齢	婚姻状況	子の人数
若者が訪れやすく住みやすい環境を作るための施設(飲食、子供が遊ぶ場所など)を作ること	男性	20～24 歳	未婚	0 人
もっと若者の意見を聞いて欲しい	男性	20～24 歳	未婚	0 人
そういうまちを目指すなら高齢者よりももっと若者の意見を聞くべきだしすぐ反映するべきだと思います	男性	25～29 歳	未婚	0 人
現在の施策は「子ども」がいる世帯向けのものが中心に感じられ、子どもがいない世帯には恩恵が少ないように思うことがあります。以前住んでいた新潟市では、子育て支援だけでなく、結婚に関するサポートや情報提供も比較的充実していると感じていました。私は結婚を機に小千谷市に来て、小千谷市で婚姻届を提出しましたが、その際に利用できる制度やサポートについての案内が特にありませんでした。窓口で簡単な案内やチラシの配布があるだけでも、必要な人に情報が届きやすくなるの	男性	30～34 歳	既婚	0 人

ではないかと思います。(結婚1年後におぢやおやじさんのSNSでずっと住まいる応援事業を知った時はショックでした…)市役所を訪れる機会は多くありませんが、訪れた際にポスター掲示があれば目に留まりますし、広報誌に案内が掲載されていれば確認することもできます。どのような制度やサポート体制があるのか、より積極的に周知していただけるとありがたいです。				
0歳からの保育料を無料にして欲しい。所得が多いほど、保育料が高くなることにも不平等を感じる。早急をお願いします。	男性	30～34歳	既婚	0人
若者がUターンしたくなる環境がまだ不十分な気がする。仕事や子育てをするには不便さを感じる。	男性	30～34歳	未婚	0人
既婚者や子持ちが優遇される一方で独身が冷遇されないよう、平等な市政を望みます。	男性	30～34歳	未婚	0人
活気ある街作り。若手主導の政治。高齢者優遇の現状打破。	男性	35～39歳	既婚	2人
片親世代への支援を厚くしたりとかですかね。	女性	18・19歳	未婚	0人
若い世代を置き去りにしない、高齢世代の意識改革など	女性	20～24歳	未婚	0人
シルバー世代だけでなく、子育て世代への割引や支援金	女性	25～29歳	未婚	0人
地元就職した人たちにメリットが欲しい。ずっと小千谷に納税している人にはなにもなく、Uターン、Iターンの人たちが優遇されていることに疑問を感じる。	女性	25～29歳	未婚	0人
現在私は奨学金返済中です。小千谷市に奨学金返還制度ができた際とても嬉しくありがたかったです。ですがUターン者と在住者との差額が大きくて、元から小千谷市に住んでいる者からするとUターン者が羨ましいと思いました。ありがたい制度を利用させていただいているのですが、Uターン者と同額にならずとももう少し近づけていただけたらもっと嬉しいなと思います。	女性	25～29歳	未婚	0人
独身の人(年齢問わず)や子供が欲しくてもできない人(不妊治療中の女性)が他の人の育休中の時に代わりに残業して働いてくれるので、その人たちの為にも給料を上げてちゃんと還元する会社が増えるといいなと思う。(不満が出ないようになれば育休中の人も罪悪感無く、伸び伸びと育児に専念できるし、将来結婚・子育ての為に今はたくさん稼ぎたいという人の要望も叶えられるので。)また、育休の支援だけでなく不妊治療の支援にも力を入れてあげてほしい。	女性	25～29歳	未婚	0人
今ひとり親ですが、児童扶養手当が所得制限より4千円多いだけでももらうことができていません。1人で子ども2人を養うために働かなければいけないけれど、頑張って仕事した分、所得が多くなり、もらえる手当がもらえない。あまりにもひどすぎる。心も体も疲弊しています。	女性	25～29歳	離別	2人

<p>職がもう少し幅広くあればと思う あとは最低賃金あがるとか 正社員になりたいけどなれないし職も微妙だから市外にアルバイトでてる 子育ての面で言えば子供の病院無償化ちょー助かってます あとはシングルの立場から自由に話すなら親族同居な時点で手当がゼロなのは結構厳しいなーとは思ってしまう 家があっても家計は別だし、家にも家賃的なものも入れてる、でも同居な時点で申請は通らないから、なんか少しそこに慈悲があったらありがたい</p>	女性	25～29 歳	その他	1 人
<p>子育てに関する情報は、他の市町村よりも積極的に提供していて良い印象があります。ただ、小千谷市に引っ越してみてもお店(特にチェーン店)の種類少なさを感じ、市にはチェーン店など幅広い種類の店舗を受け入れやすい街作りを希望します。 生活をする上で「この店舗が小千谷にないから隣の市に行かなきゃ」と思うことがかなり多いです。昔から住む地元の話では、「セルフガソリンスタンドや飲食店などの大手は、地元企業との利権やしがらみがあって出店できない」と聞きます。また3月からの「お得な応援券」は、一市民にとっては長岡市のようにどこでも使える共通券だけのほうがありがたいです。ここにも利権やしがらみを感じ、市民を助けるのではなく特定の企業を助ける・得するように思えてなりません。 地元企業との付き合いもあると思いますが、市内の会社の技術や市の特色を売り出すのはもちろん、柔軟性を持って店舗展開しやすいまちづくりをしてほしいと思います。</p>	女性	30～34 歳	既婚	0 人
<p>仕事と子育ての両立が難しい。時短勤務にすると収入が減る。母子家庭には色々なサービスがあるのにワンオペでやっている人は置いていかれてる感じがします。もっと平等になって欲しい。子どもの検診でマッサージ券など付いてきたが、その間、子どもたちは誰が見るのでしょうか。ファミサポを時々利用するのでその料金に使える券の方が利用者、提供者どちらにもメリットがありよっぽど良いです。母にも優しいまちになってほしいです。</p>	女性	30～34 歳	既婚	2 人
<p>市の将来の事などを考えると、子育て支援などはもちろん大切な事だとは思いますが、未婚や子どもを持たない夫婦などへは何も無いのかと感じています。子育て支援や婚活イベントなどのポスターをよく見かけたり、子育てするなら小千谷！など、今は生涯結婚しない人だっただけ増えてるのに、そういう人がいかにしろにされてるような気持ちになる事が多いです。子育てや結婚していないと生きづらい環境は作らないでほしいです。</p>	女性	30～34 歳	未婚	0 人

子育て支援はもちろんですが高齢者にも住み良いまちにしたいです。交通の便が減ったため高齢の親族が外出しにくそうにしています	女性	30～34 歳	未婚	0 人
子育て支援ばかりに目がいくことなく、独身世代に対しても負担をかけないまちづくり。	女性	30～34 歳	未婚	0 人
独身への経済支援	女性	30～34 歳	未婚	0 人
小千谷は「子どもが育ちやすい環境(対子ども向け)」と、「高齢者施設(対高齢者向け)」が多いのに対して、「若者が出会う場」「未婚者独身者に対する施設」はほぼ無く、言っていることとやっていることがちぐはぐな気がしています。近隣市町村では若者のサークル活動や活躍の場などがあるのに、小千谷はそういう類いの場が無い、或いは周知されていないのかなと思います。	女性	30～34 歳	未婚	0 人
市独自の物価高騰への支援、どの世代にも行き渡る支援で愛される小千谷市になって欲しい。	女性	35～39 歳	既婚	1 人
現在の子育て支援策は今いらっしゃるご夫婦や事実婚のパートナーに向けての支援が大半だと感じています。多様なライフスタイルにあった未婚者に向けての支援策（仕事を続けながら将来のために卵子凍結など）もあると嬉しいです。若者が離れないように仕事や遊ぶところを増やしていけば小千谷市に住み続けてくれて将来的には結婚も視野に入れやすいと思います。	女性	35～39 歳	未婚	0 人
子ども手当も大事ですが、その前段階の人たち、一人暮らしの若者など、今後結婚子育てしていく人たちが、このまま小千谷で生活していってもらえるような手当ももっとあればいいかと思っています	女性	35～39 歳	未婚	0 人

■預かり保育・病児保育の課題に関する回答（24 件）

回答結果	性別	年齢	婚姻状況	子の人数
子供の遊ぶ場所、急用などのとき安心して預けられる託児所や近隣住民、地域での協力体制。小千谷といえばこれ。錦鯉、花火だけじゃないジャンルをこれから増やし発信していく。	男性	20～24 歳	未婚	0 人
保育園以外にも子供を預かってもらえる施設があるといい	男性	25～29 歳	未婚	0 人
小千谷市独自の子どもの手当の拡充など主に金銭的な支援。シッター、ヘルパーの斡旋及び補助金の支援。	男性	30～34 歳	既婚	1 人
核家族化が進んでおり、育児に関わる人数は年々減っている。この点を解消できればよい。	男性	35～39 歳	既婚	1 人
東小千谷地区は規模が小さい保育園もあり定期的に保育園同士が関われる機会があると嬉しいです。園児数が少ない保育園に通う親も小学入学時など安心できるかもと思いました	男性	35～39 歳	既婚	2 人
定期的な（ステージ段階毎の）育児支援金	男性	35～39 歳	未婚	0 人

保育施設の充実 安全な遊具のある大きな公園				
共働きが増える社会の中で、働いていても子どもを見てもらえる施設やシルバー人材などが市内で充実するといいいのではと思います。	男性	35～39 歳	離別	0 人
サポートの充実、子育て支援施設の充実	女性	18・19 歳	未婚	0 人
<p>小千谷市が「安心して子どもを産み育てられるまち」「働きがいにあふれ、みんなが選びたくなるまち」になるためには、日常生活の利便性を高めることが大切だと考えます。例えば、若者や家族で楽しめる娯楽施設が増えることで、地域に魅力が生まれると思います。また、交通機関についてはバスの本数が少なく、移動が不便に感じるため、運行本数を増やしてほしいです。また、若者が土地を購入しやすいように提供する事がいいと思います。さらに、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、過疎化が進む町にもスーパーや洋服店、コンビニなどの生活に必要なお店を増やしてほしいと感じます。あわせて、子育て支援サービスをより充実させることで、幅広い世代が住みやすいまちになると考えます。また、子どもが安心してのびのびと遊べる遊び場が充実すると良いと思います。例えば、「ぐんぐん」や「ちびっこ広場」のような、天候に左右されずに利用できる施設があることで、子育て世代が外出しやすくなり、親子で過ごす時間も増えると考えます。（一部編集）の有無や（一部編集）「母子家庭」などの区分に限らず、働き盛りの世代でも支援を受けられる給付制度があると良いと感じます。特に、40代・50代といった世代は働く意欲や責任も大きい一方で、災害などの影響を受けた際に生活が不安定になりやすいと考えます。そのため、年齢や家庭状況に関わらず、災害時に給付金や寄付金などの支援を受けられる制度を充実させてほしいです。子育てをする父親や母親が、安心して子どもを預けて息抜きできるよう、一時預かりの制度や施設をもっと充実させてほしいです。用事があるときだけでなく、心身のリフレッシュのためにも気軽に利用できる環境が整うことで、保護者の負担が軽減され、安心して子育てができるまちになると思います。また、子育ての悩みを気軽に相談できる窓口や、親同士が交流できる場が増えると良いと思います。仕事と子育てを両立しやすくするため、急な体調不良の際にも利用できる預かり支援があると安心です。そして、父親も参加しやすい子育て講座やイベントを増やすことで、家庭全体で子育てに向き合える環境になると感じます。育児による孤立を防ぐため、地域で見守り合える仕組みやサポート体制を充実させてほしいです。</p>	女性	20～24 歳	未婚	0 人

○児童手当の増額 ○子供が風邪を引いた時に親が仕事を長期休めない時に預ける場所の確保	女性	25～29 歳	既婚	1 人
もっと子どもの遊べる場所を作ってほしいです。他にも若者向けのお店等も増やしてほしいです。どうしても出かけるとなると小千谷ではなく長岡市に行かないとお店がなく困ってしまいます。飲食店も増やしてほしいです。そして、病院や商業施設に託児所などもあるとよりいいと思います。	女性	25～29 歳	既婚	2 人
保育士の充実とか?? 預け先があることって大事な気がします。かといって保育園等で働く先生たちがストレス過多で精神的に追い込まれたりサビ残で倒れたり元も子もないので、もしするとするなら預け先の充実+そこで働く先生方の働き方改革(無駄な負担減らす、パワハラ等ないか定期的に見回るなど)とかすればいいのかなと思います。	女性	25～29 歳	未婚	0 人
難しいとは思いますが、Q34 にもあるように、産休に入る人を支えてくれる人に財政的な支援をしてくれたらいいなと思います。制度として産休育休はあっても、やっぱりしわ寄せは現場の人にいくので…。子育ての環境としては小千谷市はいい環境だなと思うので、じゃんじゃん子どもを産んで欲しいなと思います。	女性	30～34 歳	既婚	1 人
病児、病後児保育がもっと手軽に利用できて、預けられる時間も長くなると、仕事との両立もしやすくなると思う。	女性	30～34 歳	既婚	2 人
仕事と子育ての両立が難しい。時短勤務にすると収入が減る。母子家庭には色々なサービスがあるのにワンオペでやっている人は置いていかれてる感じがします。もっと平等になって欲しい。子どもの検診でマッサージ券など付いてきたが、その間、子どもたちは誰が見るのでしょうか。ファミサポを時々利用するのでその料金に使える券の方が利用者、提供者どちらにもメリットがありよっぽど良いです。母にも優しいまちになってほしいです。	女性	30～34 歳	既婚	2 人
小学校になると、親が仕事の場合、朝子供の方が出る時間が遅くなり、親が仕事の時間をずらしたりしなければいけなくなる。朝、小学校が始まるまでの間預かってくれるようなところがあると助かる。	女性	30～34 歳	既婚	2 人
延長保育無料や送迎の心配がない整備された公共交通機関など、子供を 1 人で歩かせられない現代でも、地域全体で子供を見守り、共働きにも安心安全に子育てができる小千谷市を望みます。	女性	35～39 歳	既婚	1 人
ファミサポの適用範囲をもう少し広げてほしい。近くに親族が	女性	35～39 歳	既婚	2 人

いない核家族の場合、子どもの世話をするのが両親しかいない。しかし、保育園による迎え要請や緊急時などに両親しかいない場合、大変不安である。ファミサポは、元気な子供は預かってくれるが緊急時にも頼れるように制度を少し変えてほしい。				
子供が病気をした時に病児病後児保育を利用出来れば急に仕事を休まず周りに迷惑が掛からなくて良いなと思っていたが、利用するには条件が色々あり全く使えない制度だった。もっと利用制限を緩和したり弁当が出たりしたら良いのと思った。利用者はいるのでしょうか？隣の魚沼市の方が育てやすいと思う。3人目から無条件で保育料無料だし。	女性	35～39歳	既婚	2人
小児科が（一部編集）とにたはらしかない。（一部編集）は土日休診で、にたはらに集中する。学童は東小千谷は複数あるが家族に働いていない人がいると普段は預けられない。色々な家庭事情があるから有料でも子どもを見てほしい。	女性	35～39歳	既婚	2人
保育園、学童の終了時間の延長。保育園は19時まで、学童は18時半までですが、時間がギリギリです。また、病児保育はありますが、医師の意見書が必要だったり、予約が平日日中の電話予約のみのため、ハードルが高いです。	女性	35～39歳	既婚	2人
夫婦でシフト制の仕事をしているため、カレンダー通りの休日ではありません。そのため、土日にも仕事があることがありますが、通園している保育園は土曜が半日しかやっておらず、夫婦でシフトを調整するのがとても大変です。職場に理解はなく、あなただけ土曜日全部休ませることはできない、それでは正社員でいられないと言われてしまいます。夫とシフトを調整しきれずに、子ども3人だけで留守番をさせてしまったことも何度もありました。小千谷市全体で休日の保育をすることはできないのでしょうか？そういった日は一つの保育園に集めても良いので保育園を1日開園するなどしていただくと、もっと働きやすくなるのではないかと思います。それか、逆に小学生未満（といっても1、2年生で1人でお留守番は難しい）の子供がいる方はウィークデーのみ仕事、カレンダー通りに休めるように企業に働きかけることはできないのでしょうか？子どもを産んで育てたいと思っても、産んだ後の仕事や生活が心配で仕方ないと思います。	女性	35～39歳	既婚	3人
Uターン、Iターンや移住で他の市町村ではなく、小千谷が選ばれる圧倒的な魅力、金銭的な補助、一時預かり等の施設などの整備、	女性	35～39歳	既婚	0人
（一部編集）の産婦人科がなくなるという噂がある。こどもを産み育てられる街を目指しているなら産婦人科がなくなるのはあ	女性	35～39歳	未婚	0人

<p>りえない。あと月 1 回の派遣とかオンライン診療でもいいから女医さんを配置してほしい。男性医師しかいないと安心して受診できない。市内の働き口が限られてる。工場やスーパーばかりで、例えば若い子が働けるようなおしゃれな雑貨屋やアパレルがない。カラオケも潰れたし、飲食店以外の娯楽施設がない。そういうのも若者が流出する要因の一つだと思う。学習ワークスペースじゃなくてそういう若者が集まれる場所が充実すると流出が防げたり、若い人の働く場があれば市外に出なくてもいいと思えるんじゃないかと思う。子育てしてる人が気軽に集まれるカフェもあるといい。あすえ〜とかじゃなくて、普通の店で、店内に子育て相談に乗ってくれるブースがあるとか、ほんの少しだけでも子どもを見てもらってゆっくりコーヒーが飲めるスペースとか。特に（一部編集）など特性がある子の相談を行政の堅苦しい場所じゃなく気軽に買い物のついでとかに行ってお話せる場。同じ悩みを持つ親がお茶を飲みながら愚痴を言い合えるような場所があるといい。例えば空き家や空き店舗を活用するとか。学童が満員だから児童館を作ってほしい。放課後デイサービスも足りない。子どもが安心して遊べるように市内全ての公園に防犯カメラを設置するとか監視員常駐させるとかしてほしい。低賃金で働きがいはない。税金取られて手取りが少なすぎる。小千谷で買い物するとポイントが貯まったりクーポンがもらえたりして、お得に買い物できるアプリとかあったらいいのと思う。</p>				
---	--	--	--	--

■現在の取り組みへのポジティブな意見、感謝に関する回答（53件）

回答結果	性別	年齢	婚姻状況	子の人数
<p>面白い街、いろんなイベントや商業施設、遊べる場所がある小千谷。おぢやおやじの発信は市としてはとても役立っていると思う。気軽に何か始められるそんな雰囲気がある街がいいと思う。</p>	男性	20～24 歳	未婚	0 人
<p>小千谷はとてもいい町だと思うので特になし</p>	男性	20～24 歳	未婚	0 人
<p>幅広い企業誘致を行い、職業選択の幅が広がるといいと思う。18 歳までの医療費無料をこれからも続けてほしい。</p>	男性	20～24 歳	未婚	0 人
<p>子供の医療費無料がやってもらってとてもありがたいです経済的な支援が直接的でわかりやすくありがたいと思います子育て世代、若者に伝わるような発信があればいいと思う</p>	男性	25～29 歳	既婚	1 人
<p>実際に妊娠して様々な対応を受けているがすごく手厚くありがたいなと思う。</p>	男性	25～29 歳	既婚	0 人
<p>目指す姿に対してどのような支援を行なっているか(あるいは</p>	男性	30～34 歳	既婚	0 人

どのような支援をする予定があるか)一目でわかるものがあると良いと思います。調査していただきありがとうございました。今後も可能な限り協力したいと思います。				
oK	男性	30～34 歳	未婚	0 人
小千谷祭りのテレビ番組を見て、若い人たちが活発になってうれしかったです。いつもご尽力ありがとうございます。	男性	30～34 歳	未婚	0 人
数年に1度でも良いので、このアンケートをまたやってくれると嬉しいです。より良い市政になります。	男性	35～39 歳	既婚	0 人
(一部編集)から移住しましたが、小千谷市の方が除雪も楽で快適に暮らせています。小千谷市で就職したい、暮らしたい、と思ってもらえるよう、他の地域に勝るメリットが目立つようにアピールしてもらいたいです。長岡市が便利とされるのは、お店がたくさんあるからでしょう。長岡市民から、小千谷市は何もない、と言われますが、周りの市にあるチェーン店がない、セルフのガソリンスタンドも少ないのが理由でしょう。現状は、小千谷市より長岡市に住みたい、という人が多いかもしれませんが、いろいろなお店が増えれば長岡市より小千谷市に住みたい、という人も増えると思います。 また、防衛関連企業を小千谷市に誘致してもらいたいです。防衛関連はこれからさらに活発になると思うので、雇用の創出の為にも是非お願いします。	男性	35～39 歳	既婚	0 人
小千谷市は子育て世帯への支援が充実しており、非常にありがたいと感じております。若い人の意見を尊重して、寄り添う姿勢が市民一人一人に求められていると思います。やはり、高校卒業後に地元に残る人・進学し就職後帰ってくる人を手厚く支援することでしょうか。	男性	35～39 歳	既婚	2 人
駅前通りの発展 ホントカ、ソコラテのような公共施設が充実してきて嬉しい	男性	35～39 歳	既婚	2 人
既に住みやすい地域ではあると思いますが、やはり所謂田舎なのでもう少し雇用と人口を増やし豊かなまちづくりをしていただけるとありがたいです。	男性	35～39 歳	未婚	0 人
小千谷の魅力を伝える！そして小千谷で生まれる子供達が元気に過ごせる環境を作る！みんなが笑い合える市にしたいと思いました！！小千谷大好きです！！今後も小千谷で楽しんでいきます！	女性	18・19 歳	未婚	0 人
病院はたくさんあり、スーパーなどもたくさんあり治安も良いので続けていけると良い。また飲食店が少ないと思うので作ってほしいと思う。	女性	18・19 歳	未婚	0 人
具体的に思いつきませんが、気になるのは(一部編集)の待ち	女性	18・19 歳	未婚	0 人

<p>時間が長く、具合が悪いのに、と思ってしまったことです。経営難ということは知っていますが、もう少し改善していただけたらと思います。しかし、ホントカや防災公園などたくさんイベントがあったり、子供たちは楽しそうに遊んでいる姿をよく見るし、小千谷祭りの市全体で盛り上がっている感じもとても好きなのでそこは継続してもらいたいし、お囃子に今年も参加したいと思ってます。どんどん目に見えて小千谷市がここ最近活性化していることを感じています。これからもっとより良くなっていくことを期待します。</p>				
<p>生んだ後や子育て中も支援が多い。その支援は子供を預かってくれたり、補助金があったりなど。また小千谷つつみのように赤ちゃんグッズが届くとかはどうでしょうか。</p>	女性	20～24 歳	未婚	0 人
<p>小千谷市に住んでいた際、不妊治療の助成金に助けられました。各自治体の中で、上限額が高く、体外受精に進むことも前向きに検討できたので、本当にありがたかったです。これからも、子供を望む人のために取り組みを続けて欲しいです。</p>	女性	25～29 歳	既婚	0 人
<p>子育て支援の部分では、18 歳まで医療費無料などとても力を入れていていると思います。ありがとうございます。 しかし、働きがいがある街かと言われるとそうではない気がします。単刀直入に言うとう給料をあげて欲しいです。小千谷市は地方なので都市部と比べると給料が低いのは当たり前かもしれませんが、豪雪地帯ということもあり通勤前・退勤後の車や家の駐車場など、雪国ならではの多いと思います。 その面で雪かき苦勞様代？や北海道みたいに電気代の補助など冬季だけでも給料をあげてくれたらいいんじゃないかと思ます。</p>	女性	25～29 歳	既婚	1 人
<p>小千谷市が頑張ってるのはすごい伝わってきます。ホントカができたことで前の図書館より行く回数が断然増えました。本との触れ合いに繋がるし体を思いっきり動かします。子供を既に持っている人で、もう 1 人欲しいけどお金が、という問題で産もうか迷ってる人が周りに何人かいますし、自分もそうです。全ての女性対象に子育て支援としてお金を投資してもその中にはそもそも妊娠を希望しない人もいるので、今の子持ちに対して何か支援する方が出生数も増えるのかなと思います。</p>	女性	25～29 歳	既婚	2 人
<p>育児しやすい街づくりを積極的に進めておられる点を、とても良い取り組みだと感じています。現在妊娠中ですが、産後ケアの無料化は特にありがたく、安心して出産・育児に向き合える支えになっています。今後さらに少子化が進む中で、妊娠・出産・育児にかかる金銭的負担は大きな課題だと思います。その</p>	女性	25～29 歳	既婚	0 人

ため、妊娠期から育児期にかけて、市としてできるだけ負担を軽減していただけるような支援や補助の充実に、今後も期待しています。				
小千谷市には満足してます	女性	25～29 歳	未婚	0 人
(現在もそうですが) 普段から様々なイベントが開催され、若者に活気があり、明るい雰囲気に満ちた市であり続けてほしいです。4 月に小千谷に引っ越してきて、第一印象で「感じが良い」街だなと感じたのを覚えています。ホントカで子どもたちが遊び、キッチンカーや地元の作家さんたちが出店していたり…。体育館のアリーナが開放されていたり、運動イベントがあったり…。そういったところを見て、小千谷を選んで、ここに引っ越してよかったなーと思っています。	女性	25～29 歳	未婚	0 人
現在私は奨学金返済中です。小千谷市に奨学金返還制度ができた際とても嬉しくありがたかったです。ですが U ターン者と在住者との差額が大きくて、元から小千谷市に住んでいる者からすると U ターン者が羨ましいと思いました。ありがたい制度を利用させていただいているのですが、U ターン者と同額にならずとももう少し近づけていただけたらもっと嬉しいなと思います。	女性	25～29 歳	未婚	0 人
職がもう少し幅広くあればと思う あとは最低賃金あがるとか 正社員なりたいけどなれないし職も微妙だから市外にアルバイトでてる 子育ての面で言えば子供の病院無償化ちょー助かってます あとはシングルの立場から自由に話すなら親族同居な時点で手当がゼロなのは結構厳しいなーとは思ってしまう 家があっても家計は別だし、家にも家賃的なものも入れてる、でも同居な時点で申請は通らないから、なんか少しそこに慈悲があったらありがたい	女性	25～29 歳	その他	1 人
我が家も春に第一子出産予定ですが、小千谷は子育て支援がたくさんあって安心して我が子を迎えられるなと思いました。原信にポスターが貼ってあるのも目にしますが、やはり Instagram 等の SNS でもっと子育て世代の目に留まるようにしたらいいのかなと思います。担当者の皆様、日々市民のためにご尽力くださり本当にありがとうございます。	女性	30～34 歳	既婚	0 人
子育てに関する情報は、他の市町村よりも積極的に提供していて良い印象があります。ただ、小千谷市に引っ越してみてもお店(特にチェーン店)の種類の少なさを感じ、市にはチェーン店など幅広い種類の店舗を受け入れやすい街作りを希望します。	女性	30～34 歳	既婚	0 人

<p>生活をする上で「この店舗が小千谷にないから隣の市に行かなきゃ」と思うことがかなり多いです。昔から住む地元の話では、「セルフガソリンスタンドや飲食店などの大手は、地元企業との利権やしがらみがあって出店できない」と聞きます。また3月からの「お得な応援券」は、一市民にとっては長岡市のようにどこでも使える共通券だけのほうがありがたいです。ここにも利権やしがらみを感じ、市民を助けるのではなく特定の企業を助ける・得するように思えてなりません。地元企業との付き合いもあると思いますが、市内の会社の技術や市の特色を売り出すのはもちろん、柔軟性を持って店舗展開しやすいまちづくりをしてほしいと思います。</p>				
<p>私も夫も小千谷出身ではありませんが、小千谷に家建て、核家族で住んでいます。年々住みやすくなっていると感じています。市長さんが変わってから、子育て支援に力をいれていることが様々な政策から伝わってきます。今後も医療費無料、ホントカ等の子どもの遊び場がある施設を作る、性教育、育休推進している企業への支援金等、できることから子育て支援をぜひお願いいたします。</p>	女性	30～34歳	既婚	1人
<p>難しいとは思いますが、Q34にもあるように、産休に入る人を支えてくれる人に財政的な支援をしてくれたらいいなと思います。制度として産休育休はあっても、やっぱりしわ寄せは現場の人にいくので…。子育ての環境としては小千谷市はいい環境だなと思うので、じゃんじゃん子どもを産んで欲しいなと思います。</p>	女性	30～34歳	既婚	1人
<p>医療費の無償化は凄くありがたいです。 あとは、治安の良さや子連れでもいけるお店や施設などがあると嬉しいです。</p>	女性	30～34歳	既婚	1人
<p>アンケート遅くなり申し訳ございません 小児科にかかる費用の負担がなく気軽に病院に連れて行ける小千谷市にとっても感謝しています わんぱ〜くの子どもの預かり制度も幼稚園に預けるまではよく利用させていただき助かりました ドライブスルーや子どもと遊べて飲食も可能な場所がもう少しあると嬉しいなと感じます 小千谷市に移住してから子ども達が笑顔で挨拶をしてくれ、困った時は周りの方に助けられ暖かい場所だと思います</p>	女性	30～34歳	既婚	2人
<p>小千谷市の子育て支援には、不妊不育治療費助成や妊産婦医療費無料など、実際に利用したものもあり感謝しています。しかし、国の制度を前提とした施策や、他自治体の動きを参考にし</p>	女性	30～34歳	既婚	1人

<p>て始められる施策が多く、生活実感として特色を感じられるものはまだ限られます。医療や子育ての現場では、多世代同居や地域のつながりを前提とした話が多く、核家族世帯や自営業世帯の実情とは合わない場面もありました。今後は、国の制度では手が届かない層へのサポートや、日常的な子育てコストを確実に下げる仕組み、生活構造や家族形態の多様性を前提とした支援があると、小千谷市ならではの特色としてより実感につながると思います。また、選ばれる地域であり続けるためには、子育て支援の充実に加え、教育面など子どもや家庭を取り巻く環境全体の整備も重要だと感じます。教育環境の改善・強化が進めば、金銭的支援だけでは不十分な部分も補われ、子育てしやすい環境も整い、支援の価値をより身近に感じられると思います。</p>				
<p>18歳までの医療費無償化をこれからも続けてもらいたいですし、給食費無償化にもなったら尚助かります。</p>	女性	30～34歳	既婚	4人以上
<p>不妊治療から現在の子育てまで、金銭的な支援や、精神的な支援が充実していたので、育休から復職するまで負担なく来れました。ですので「安心して子どもを産み育てられるまち」になっているように感じます。現在の生活の拠点としては何も不満はありませんが、今後みんなが選びたいようなまちと感ずるのは、面白い仕事や給料の高い大手企業の働き口がある(仕事が色々選べる)ということも大きいと思います。それには交通の便が大きな役割を持つと思うので、主要道路を増やす、工業団地として機能する土地を設けるなどを望みます。主要道路が多くなったり整備されれば、今住んでいる近隣の市に職場を持つ人にとっても小千谷がより住みやすく、魅力的になるのではないかと思います。</p>	女性	35～39歳	既婚	1人
<p>安心して子供を産み育てています。助産師さんの訪問やわんぱーくの活動などありがたい支援があり、助かっています。わんぱーくを Google マップで調べると古い内観の写真が出てくるので、今の素敵な施設をぜひアピールしてください！</p>	女性	35～39歳	既婚	1人
<p>現在未就学児を育てている方は自分の時よりかなり手厚い市の制度があると思う。質問の意図とは違うと承知しているが、コロナ禍で祭りが縮小中止だった後、コロナ禍明けと言われる時期の祭りで、渦中に我慢した子達が対象外のイベントばかりで楽しめるものが少なかったのが残念だった。特にしゃっこい祭りで宝探しが好きだったため再開された時はとても喜んだが、再開後は年齢制限が設けられていたため参加できなかった。小年齢の子どもだけでなく小学生が楽しめるようなイベントや</p>	女性	35～39歳	既婚	2人

行事など企画してもらえると嬉しく思う。具体的には我慢を頑張った子達へリベンジしゃっこいまつり等してもらえると親も誘いやすい。				
子どもたちが遊べる遊び場がもっと増えてほしいです。出産祝い金やおむつ補助券、一時預かりなど子育てサポートが充実すると嬉しいです。おちやつつみはとてありがたいと思いました。	女性	35～39 歳	既婚	2 人
子供を 2 人育てていますが、1 人目より 2 人目の方が支援が手厚くなっている事を実感しています。自分の体力があれば 3 人目も欲しいという気持ちです。他の市で暮らしたこともありますが、小千谷市はどこよりも住みやすいと感じています。これからも市民に手厚い住みやすい市であって欲しいです。	女性	35～39 歳	既婚	2 人
高校生まで医療費を全額無償だったり、子どもの健診でおちやつつみを提供したりと、住んでみないと分からない所がたくさんあるのでそういった所をもっと全面的にアピールしてほしい	女性	35～39 歳	既婚	2 人
学童の費用が高いです。働いていますが、かなり負担に思い、だからと言って時短にはできず。小千谷市の学童のサポートはすごくいいので使用しやすいようにしてください。2 人預けるとなると年間にしてかなりの高額になるので不安です。	女性	35～39 歳	既婚	2 人
結婚を機に小千谷に来ました。「小千谷は商業施設が少なく、催しは多くあるけれど地元民で盛り上がるものが主」という認識を持っていました。実際数年住んでみたら、子育てのしやすさや地域のつながりの深さから得られる安心感は本当に心強く、催しも他の地域にもっと発信してほしいと思う素晴らしいものが多くあり驚きました。ぜひこの素晴らしさを多くの人に知ってもらえるといいなと思います。SNS を活用するなどし、他の地域の人も惹きつけるような発信の仕方をするとういのではないかと思います。	女性	35～39 歳	既婚	3 人
子供の受診料の無償化感謝しています。ありがとうございます。子供だけでなく、子育て環境にある家庭に対しての支援も増えると助かります。扶養する子供がいる世帯への児童手当以外の支援物資や親の受診料の補助等。そして家庭環境に合わせた働き方をした際の（時短勤務など）経済的支援を望みます。	女性	35～39 歳	既婚	3 人
①子どもの遊び場、居場所が増えること。ホントカの屋内広場は狭すぎます。駐車場も狭いです。長岡のてくてくに行くとき小千谷市民によく会います。てくてくのような、屋内、屋外ともに遊べる、ある程度の広さもある施設があると良いです。②中高生の遊び場、居場所も増えること。仕方がないことですが、カラオケも映画館もなく、他市に行くしかありません。小千谷	女性	35～39 歳	既婚	3 人

<p>駅近くに2ヶ所、居場所みたいなのが開設されたのは良かったと思います。③(一部編集)の公共交通機関が不便すぎます。イコテも区域外で残念すぎます。子どもが中高生になったらどうしようかと悩みます。ずっと送迎です。④公立保育園が古すぎます。⑤他市との差別化を図るには、金銭面での支援が何よりではないでしょうか。幼稚園、保育園、小中学校まで、給食費の無償化、ぜひ検討していただきたいです。⑥このようなアンケートが配布されることはとてもありがたく思います。</p>				
<p>the aim of ojjiya city was good, because it is important that you live in the place where you can have your peace of mind especially the concern of our children. (訳:小千谷市の目標は良かったと思います。子どもたちのことを特に心配しながら、安心して暮らせる場所に住むことが大切だからです。)</p>	女性	35~39歳	既婚	1人
<p>市外から転居した際、家賃補助がありとても助かりました。勤務先へのアクセスもよく、家を建てる際にも補助金があり良かったです。産婦人科の先生が長らく勤められておられますが、新しい先生は居られず今後小千谷で出産が難しくなるのではと不安にもなります。また、学童が増え高学年になるまで利用できると安心して仕事ができるのかなと思います。地元で活躍して居られる方の情報やイベント情報が市報やInstagram等で知る事ができることもとても魅力的だと思います。生活を豊かにする商業施設がもう少し増え、学生達も過ごしやすい街になればいいなと思っています。</p>	女性	35~39歳	既婚	2人
<p>まず、子供が遊べる場所が少ない。以前の防災公園も、日陰や休む場所が少なかったので、気温が高く暑くなれば帰るしかない。他の市の子供が集まる施設を参考にしてほしい。子供連れでランチが出来るいいお店もほとんどないので、ママ友と子供達でランチするとなると長岡か十日町へ行っている。育児中の人でアイデアを出し合うのがいいと思う。やっとな、オシャレな施設ホントカ。ができて嬉しい。</p>	女性	35~39歳	既婚	2人
<p>宮崎市長になってから子育ての医療費の補助や子育て応援の企画、学びの多様化校の設立、若者支援など様々な取り組みを嬉しく感じます。現在、私は(一部編集)を抱えたシングルマザーの親族をサポートしています。(一部編集)を長年抱えている、長期間働けずに経済的に厳しい状況、その子どもも幼い時から精神的な症状が出ており小学校入学からまもなく不登校と様々な困難を抱えています。自分ではこの問題を抱えきれず行政に相談しましたが「そうなんです。自分でやって下さい。」というような対応をされ失望しました。行政には困難ケースを</p>	女性	35~39歳	既婚	2人

早期に発見し関係機関との情報共有、切れ間ない包括的なサポート体制を期待します。孤立させたくない・ストップしない・人と人、人と社会資源をつなぐ役割を小千谷市に強く求めます。				
ホントカ。でのイベントや行事を通じて市民と交流がある場があるのはとても良いなと思います。あとは経済的なところで、子どもの医療費無料はありがたいですが、530 円に戻ってもいいので他の面で現金支給される等にまわしていただけたら嬉しい。	女性	35～39 歳	既婚	3 人
子育てについて、子育て世代への温かい言葉かけや、ちょっとした時の気遣いなどのサポートは必須だと思います。わんパークはスタッフさん方がとても温かいですし、原信のマタニティ駐車場小さい子どもいる人用の駐車場等、またホントカも子どもいる前提での設備があるのでとても良いです。長岡に行ったときに、赤ちゃん含む子ども二人連れて重い本抱えて図書館行って、大変だから私物で席を取って近くにいたのに、一言も何とも言われずに席が取られるということが二回ありました。子育てだけではなく、お年寄りの方等々へも同じですが、お互いの立場に対する理解と思いやりをお互いに深めるようなことが必要なのかなど。小千谷の方は出会う方々総じて温かいですが。	女性	35～39 歳	既婚	2 人
子供や妊婦の医療費が無料なのはいつも助かっています。ありがとうございます。現在（一部編集）には学童がないため（一部編集）へ進学せずに他校へ通う新一年生が毎年多く、現在少人数の吉谷小学校が更に年々生徒数が減少しています。共働き世帯が多い家庭で親も子供も安心して通学できる制度（学童等のサービスの充実、発達ゆっくりな子にも柔軟に対応できるスタッフを育成・配置等）が、こちらの地区でももっと増えたらいいのにな、と思います。現時点で、このままでは少子化が更に加速しそうだと心配しています。	女性	35～39 歳	既婚	2 人
乳幼児期のサポートはとても手厚いと感じておりますが、小学校低学年(1～3年生程度)の登下校時の防犯対策等の支援がもう少しあると良いと思います。	女性	35～39 歳	既婚	3 人
産休育休や時短勤務が取得しやすい企業が増えるといいと思います。PTA の負担が減ると子どもを持ちたい方も増えるのでは？いつまでも昔のやり方が正しいと続けるのは止めた方がいいかもしれません。小千谷市は～18 才まで医療助成があるのと妊婦さんの医療助成が始まったのは素晴らしいと思います！	女性	35～39 歳	未婚	0 人
小千谷の人たちは優しい。	女性	35～39 歳	離別	4 人以上

■その他の回答（96件）

回答結果	性別	年齢	婚姻状況	子の人数
この質問集への"分からない/今は考えていない"等の選択肢の追加 逃げる選択肢が不足している	男性	18・19歳	未婚	0人
まずは誰もが住み続けたいと思えるまちづくり、特に若者が小千谷で住み続け生涯生活したいと思える環境を望む	男性	18・19歳	未婚	0人
市民みんなが子供達の親やおじいちゃん、おばーちゃん代わりに	男性	20～24歳	既婚	1人
どう考えても若い夫婦に子供ができて経済的に安心なんてできない 子供を預けれるところがあってもそこそこの額とられればプラマイゼロ むしろ働いたぶん疲労でマイナス	男性	20～24歳	既婚	1人
へいわ	男性	20～24歳	未婚	0人
白山運動公園をちゃんと管理してほしい	男性	20～24歳	未婚	0人
妊娠から出産、育休までの経済的不安が少子化へ繋がっていると思う。また、どれくらいの費用がかかるのかイメージがつかず、躊躇している人もいると思う。小千谷市の制度をフルで使った場合の費用等がわかるとありがたい。(参考になる)	男性	20～24歳	未婚	0人
家にいても子供たちの声が聞こえてくるようになる。	男性	20～24歳	未婚	0人
学校と地域の連携	男性	20～24歳	未婚	0人
若者が来ようと思える場所が必要だと思います	男性	20～24歳	未婚	0人
市が普段の生活に影響を与えること。	男性	20～24歳	未婚	0人
何か突出したものがあればいいという訳でもないと思う。とにかく平和に安定して暮らせる街づくりを続けて欲しい。	男性	20～24歳	未婚	0人
特にありません。私は、24歳、市内の企業へ就職しましたが、休憩時間0分で、飯食わせてくれなかったし、暴言も多く言われ泣きながら帰りました。お陰様で体調不良で退職しました。目指してるとは思いません。(一部編集)	男性	20～24歳	未婚	0人
隣の市と比べた時のメリットが分かりづらく方向性が見えないことがある。大きい市ではなく、小さい市に住むという事を考えた政策をして欲しい	男性	20～24歳	未婚	0人
健全者を主として考えているとしか思えない。(一部編集)は働く場も住まいもない。小千谷から出ていけと言われんばかりの環境の悪さ。高齢者より(一部編集)のほうにも目をそらさずちゃんと向き合ってほしい。働く場や住まいが整えられれば雇用も増え人口の増加にもなるのではないか?	男性	20～24歳	未婚	0人
少子化対策、不妊治療	男性	20～24歳	未婚	0人
市全体で子育て支援を促進する	男性	20～24歳	その他	0人
無理だと思う	男性	25～29歳	既婚	0人
公立保育園の保育の質の低さ。保育園側が事情はあれど保護者	男性	25～29歳	既婚	2人

同士のつながりの機会を減らしている。				
支援の充実	男性	25～29 歳	既婚	2 人
今はお年寄りが多くいてまだ賑わう事もあると思いますが、今後は今よりも人がいなくなります。これは全国的そうだと思います。そうなっても最低限移動が出来るようになっているばいいかなおもってます。	男性	25～29 歳	未婚	0 人
多数の人で助け合うことのできる市であってほしい。	男性	25～29 歳	未婚	0 人
長岡や南魚沼等近隣市町村と比べて、ゴミの分別が厳しい。	男性	30～34 歳	既婚	1 人
他の市や区との差別化。	男性	30～34 歳	既婚	1 人
ゴミの分別を簡単にしたいです	男性	30～34 歳	既婚	1 人
子育ての支援が充実していれば子育てしやすいと思う。特に医療ケア児の子育て支援に関して検討してほしい。	男性	30～34 歳	既婚	2 人
分かりやすく経済負担が減るとか、仕事の負担が減るとかといった制度がないと、人に小千谷に住むことを勧めるまでにはならない。	男性	30～34 歳	既婚	2 人
目指すだけで実現しないため何も期待しない。	男性	30～34 歳	未婚	0 人
みんなが安心して生まれてくれればいい	男性	30～34 歳	未婚	0 人
小千谷市全体の考え方が変わらないと無理だと思います。村社会的な考え方、他県から入ってくる人に対して、敵対心を持つ人が多々いる限り小千谷市は減る一方だと思います。小千谷市の法人又は団体、家族会などが機能していない事も過疎化に繋がっていると考えます。	男性	30～34 歳	未婚	0 人
育児をすることが特をするという状態をつくること	男性	35～39 歳	既婚	1 人
家族が近くにおらず一人で生活しているため、病気や困りごとがあった際の多言語サポートを充実させてほしいです。外国人も住みやすい環境づくりを期待しています	男性	35～39 歳	既婚	2 人
他の市町村との差別化 どこの市町村を見てもだいたい支援などは同じだから	男性	35～39 歳	既婚	2 人
そもそも田舎の封建的な風潮で、しかも低賃金で長時間労働を強いて、休日には町内の奉仕活動、そのくせ社会保険料などの引かれるものは都会と同じなんて環境で誰が選ぼうと思うか、お上の雲の上からの目線じゃなくて若い世代の目線で見てみなよ。自分の子どもたちが都会に出たいって言った俺は止めない。というより俺も出ることを考えている。この土地になんの魅力も感じない。根っからの地元民の「I LOVE 小千谷！小千谷最高！」みたいな空気も気持ち悪い。少なくとも新潟市と比較してみなよ。新潟市のほうが何倍も住みやすいよ。行政も民間企業もいろんな面で新潟市の方が充実している。「政令指定都市と比較するなんてナンセンス」というならこのアンケート	男性	35～39 歳	既婚	2 人

のように無駄に高すぎる理想を市民に見せつける行為をやめてくれ。期待させるな。この8年、市政が思ってるほど小千谷は特に変化はないぞ。強いて言えば東小千谷あたりの商店街が高齢化でシャッター街になったくらいじゃないか？意識高い系になるのは結構だが、現実を見て早急に改善すべき点にテコ入れをすることが最優先じゃないかと思う。何より「私達は市民の意見を取り入れようとしています」的なこのアンケートが一番腹が立つ。こんなことに無駄なコストをかけるな。財政を見直せ。支出を減らせ。まずはそこから。体育館とか図書館とかクッソ無駄。見栄とかいらんから。市の予算は子供の小遣いじゃねえんだよ。文字うつの疲れたからやめる				
「安心して子どもを産み育てられるまち」「働きがいにあふれ、みんなが選びたいまち」をうたっている市役所内のすべての部署が、そういった制度を取得しやすい環境にあるのでしょうか？対外的に制度の普及を求めるよりかは、まず足元から制度の普及を進める必要があるのではないのでしょうか。	男性	35～39歳	既婚	2人
学校生活における問題への対処が悪く教員を信頼できない。また教育委員会も人員不足等なのか対応が遅い。更に保護者の人格にも問題があり、この町に将来的にすみ続けたいと思えない。遊ぶ場所、ショップもなく、田舎すぎてつまらないからせめて長岡くらいじゃないと魅力を感じない。みんなが選びたい町には程遠い。	男性	35～39歳	既婚	3人
おむつ替えスペースが少ない ※特に小千谷駅になく困った	男性	35～39歳	既婚	2人
色々な支援を増やして欲しい	男性	35～39歳	既婚	2人
・そもそも支援や制度があるから出産しているのではない。 ・愛国心、郷土愛などの愛着の押し付けは非常に不快です。 ・それよりも昭和体質、古い価値観からの脱却を望みます。	男性	35～39歳	既婚	1人
悪いところがないマッチングアプリのようなものの提供。	男性	35～39歳	未婚	0人
地域と市が、コミュニケーションをとってより良い市に発展していくことを願っています。	男性	35～39歳	未婚	0人
子供が安心して集える居場所作り。社会全体での子育て参加。特産品等で市を潤して市民に還元できる仕組み作り。高齢者や（一部編集）を持っていても働ける雇用の創出。	男性	35～39歳	未婚	0人
すみやすい町	男性	35～39歳	未婚	0人
起業する人への助成金	男性	35～39歳	未婚	0人
片貝での生活を考えた際に、家を見つけるまでの期間、もしくは家を建てるまでの期間、越路町への転出が多く見受けられます。この町で考えるための受け皿になる場所が欲しいです。	男性	35～39歳	未婚	0人
周りの人達からの支援対策	男性	35～39歳	未婚	0人

家庭と一緒に地域社会全体で子育てをしていく環境を整えること。	女性	18・19歳	未婚	0人
温かい雰囲気の中で助けを求めている人が自ら声を出せるような地域にしていくこと！	女性	18・19歳	未婚	0人
人が増えて栄えること	女性	18・19歳	未婚	0人
活気のある市 子供や子育て世代・若い世代が過ごしやすい市	女性	20～24歳	未婚	0人
どの世代の人も安心して暮らせる市。	女性	20～24歳	未婚	0人
市単位でできることは限られていると思いますが、若者にとって居心地のいい、住みたいと思う市にしてほしいです。	女性	20～24歳	未婚	0人
やりたい仕事に就くための勉強ができないこと やりたい仕事に就くために必要な知識を教わることがないこと	女性	20～24歳	未婚	0人
市内で完結できる生活環境の整備	女性	25～29歳	既婚	0人
市政が今の状態なら何も変わらないし、子育てには向かない街 図書館より手厚い保証 新規事業への投資 街の活性を促していかなければ人口流出は止まらない (一部編集)は機能していない 子供も産めない、遊ぶところもない全て長岡任せである現状を打破してほしい 飲み屋もなければ娯楽施設もない年頃になった子供はみんな出ていくことでしょう ならばそう言った町で子を産み根を張ろうとするのが当たり前だとおもう ゴミもそうここまで分別する町ありますか？ゴミの分別が非常にストレスです どこにお金をかけるのかは価値観一つだと思いますが図書館、防災館？、今それ必要でしょうか？	女性	25～29歳	既婚	3人
出会いの場を増やせること。	女性	25～29歳	未婚	0人
教育にお金を十分に使い、市内全ての学校を子どもを通わせたいと思う学校にしてほしい。教員も含めて、小千谷市の学校に赴任したいと思えるような学校であれば、もっと小千谷市に住みたいとなるのではないかと思う。	女性	25～29歳	未婚	0人
固定観念(特にご年配の方)を見直す風潮	女性	25～29歳	未婚	0人
手当や医療費助成など金銭的援助を行うだけの子育て支援ではなく、こどもの早期療育や保護者の養育能力を高め、納税できる大人を育てることが必要と考える。	女性	25～29歳	未婚	0人
駅前のシャッター街などを活用してほしい	女性	25～29歳	未婚	0人
まちが綺麗で衛生的であるようにすること	女性	25～29歳	未婚	0人
働きがいにあふれることです。	女性	25～29歳	未婚	0人

様々な相談ができるようになるといい	女性	25～29 歳	未婚	0 人
ライフラインの整備。経済的不安の払拭。	女性	30～34 歳	既婚	0 人
子どもを1年で入園することを前提に誰でも預けられる支援を進めるのではなく自身で育てられる環境づくりや経済的支援があってほしい。	女性	30～34 歳	既婚	1 人
今子育てや就職している人たちだけではなく、これから経験していく人たちへの金銭的・精神的サポート。	女性	30～34 歳	既婚	2 人
子供の体調で会社を休む場合の支援がほしい	女性	30～34 歳	既婚	2 人
焼却炉を良くして、分別が楽になるようにしてほしいです。	女性	30～34 歳	既婚	1 人
とにかくお金。ベビーシッターなんていない。お金があれば親が子供をみる時間も余裕も出来る。他人に子供をまかせてまで仕事に行く意味がわからない。ベビーシッターや託児所系はかなりズレた支援だと思う。	女性	30～34 歳	既婚	1 人
とにかく金銭的な不安を無くさないとうちにもならないと思います。産み育てるのも転職するのも引越すのもお金かかるので。	女性	30～34 歳	既婚	2 人
物価が安くなるような調整。家族の職場の位置関係もあると思うが、小千谷市役所職員は小千谷市に住んでいる人が多いように感じる。市外に住んでいる市役所職員に望むことを問うてはどうか。	女性	30～34 歳	未婚	0 人
市民の意見を反映していると市民が実感できるような姿勢を示し続けること。	女性	30～34 歳	未婚	0 人
子連れで公共施設などに訪れた親が子供から目を離したり他の人の邪魔になっているのを見かける。子供を増やすだけでなく、公共マナーも守れる社会を目指してほしい。	女性	35～39 歳	既婚	0 人
土曜日保育のできる園を増やす+現状できてる園の土曜日預けるのは特別なんだ感、子どもがかわいそう。と、わかってるのに仕事の都合の母親も多いのに平気で言ってくる環境改善。よそから転居してくてくれたお母さん達や若い方は土日関係なく働いてる方も多い。園の都合で、かわいそうと言う理由だけで仕事を変えたりキャリアを諦めてるのはもったいないと思う。	女性	35～39 歳	既婚	1 人
地域に保育園や学校がない。	女性	35～39 歳	既婚	1 人
学童の費用が高い。避難場所であり子供が遊ぶ学校体育館の冷房の取り付け。屋内施設の大型遊具の設置。	女性	35～39 歳	既婚	2 人
よくわからない。手続きは簡略化してほしい。	女性	35～39 歳	既婚	2 人
まずは妊娠・出産した女性の心のケアと身体的ケアの充実を望みます。特に産後外出できず家に閉じこもり新生児との生活は想像以上に変なものです。社会から孤立していると感じる事	女性	35～39 歳	既婚	3 人

<p>もあります。外出出来るようになったとしても小さい子供を連れて出かけるのは容易な事ではありません。もう少し近場に気軽にいける・相談できる場所があるといいと思います。市の事業ではなく、民間での運営もいいと思います。夜間サロンもあると少しホッとできるのかな、と。あとは産後の働き方について…。市独自でなにか保証出来る事があるとより選びたくなるかなあと。</p>				
<p>大学や、専門に行くことが当たり前な現代で、高校卒業後、地元に残ることは考えづらいのではないのでしょうか。Iターン・Uターンをしてくれる人たちに手厚いサポートすることぐらいしか思いつきません。</p>	女性	35～39歳	既婚	0人
<p>インフルエンザの予防注射の費用を負担</p>	女性	35～39歳	既婚	2人
<p>ほかの街に住んでいた経験もありますが、小千谷は少し閉鎖的な感じがします。他所から来た身からすると、仲間に入りにくい。そんなイメージでした。素敵なイベントもたくさんあり、関わりを持つとあたたかい人達もたくさんいらっしゃることに気がきました。今の子どもたちが将来大人になった時。小千谷で働きたい！やっぱり育った街に帰りたい！そう思えるようなあたたかさを街全体で作れたら。いろんな政策をされていますが、もっと若い力を巻き込んでもいいのかなと思っています。</p>	女性	35～39歳	既婚	2人
<p>子育て支援が充実しているまち。</p>	女性	35～39歳	既婚	2人
<p>いま、小学生と中学生の子育てをしています。部活の地域移行でスポーツをする子が減っているし、部活がなくなることでスポーツをやる手軽さが減っているような気がします。家でスマホやゲーム、動画の時間が増えてしまうのではなか、もう少し子供達が手軽にスポーツに親しむ環境が作れたらいいなと思っています。</p>	女性	35～39歳	既婚	2人
<p>子どもを育てて初めて、自分が子どもの時がいかに豊かで恵まれていたか実感します。私の住む地域は高齢化が進み、子どもが急激に減る地域です。クラスは10人以下になりましたが、学校の先生方は保護者の顔まで覚えてくれ、また子ども1人に注げる時間が多く、家族感覚に近いアットホームな学校で安心して通わせていられます。ですが、クラスが5人程度になり、複式学級となり、担任が減り、学校側はボランティアやOBを雇いなんとかしてくれていますが、人手不足で大変そうです。進級して中学入学も、部活の地域移行により、親は毎週2.3日送迎は当たり前。我が家のように祖父母が居ない家庭は送迎に苦悩しています。クラブを回るバスがあったら、、、と親達は疲弊しています。市内の中学なら良いですが、郊外の地域の保</p>	女性	35～39歳	既婚	4人以上

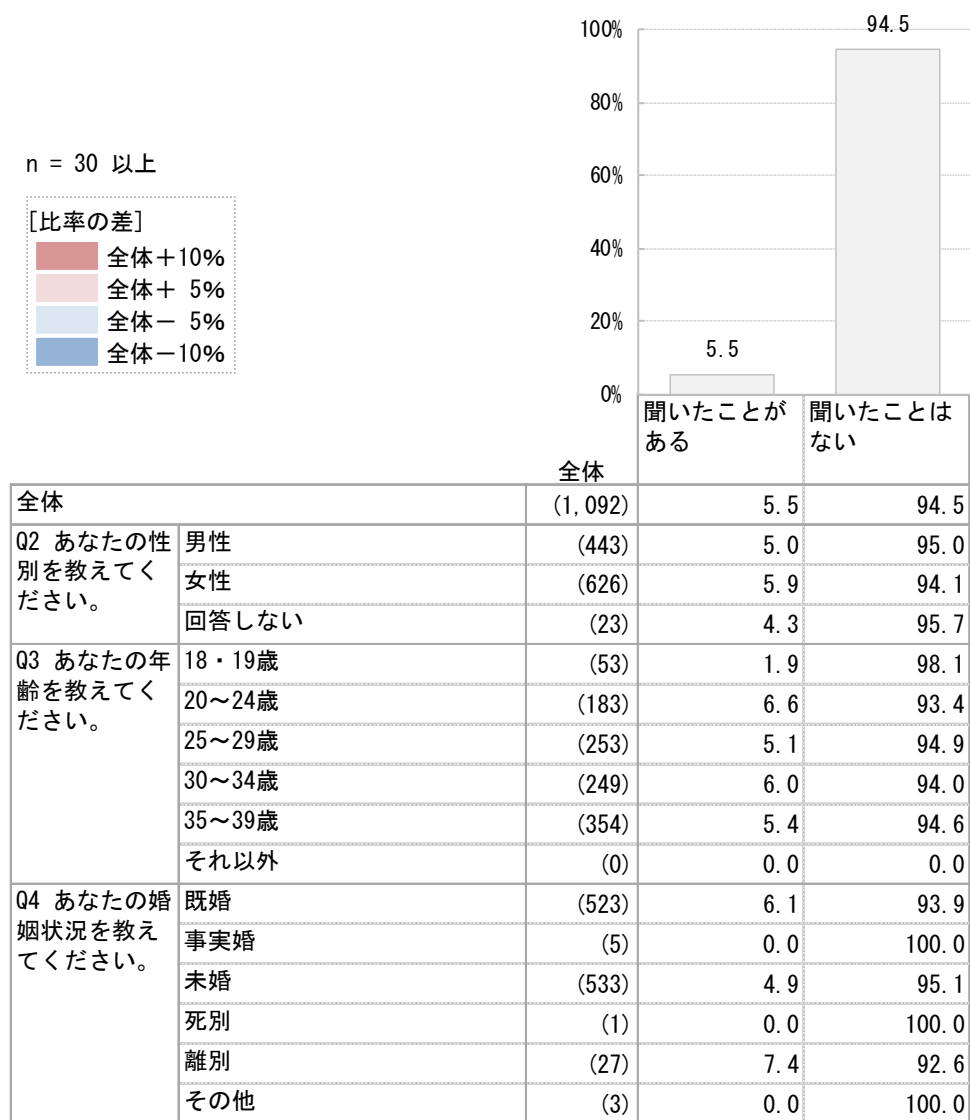
<p>護者は大変な思いをしています。郊外地域は人が減り、さまざまな生活が負担となります。それが故に、また人が減る。私の住む地域は子育てしにくいです。ここも同じ小千谷なのに。</p> <p>また、育児中は時間がありません。子どもが小さければ尚のこと。時短で働き、子を迎えに行き、買い物をし、料理を作る。とてもハードです。もう1人欲しいなんて思う余裕ができるでしょうか？お母さんに時間の余裕ができて、笑顔になる余裕が無ければ、子どもは増えないと思います。例えば、スーパーで1人で買い物する時間が欲しい。今日はお惣菜にしたい、テイクアウトにしたい。小千谷市にはそんな小さな願いを叶えてあげて欲しいと思います。子育てしやすいって、具体的に何だろう？と思うんです。お母さんに余裕ができる政策やサービスがあれば、おのずと子育てしやすくなると思います。</p>				
<p>子供を連れていきやすい環境や雰囲気作り。商業施設や飲食店に、当たり前のように子供向け用品が置いてあると歓迎されていると感じて嬉しい。（子供を乗せるカート、子供用のイス、食器など。また、それらを用意していることを知らせるポスターや声かけ）</p>	女性	35～39歳	既婚	2人
<p>治安がいいことは絶対条件だと思います</p>	女性	35～39歳	未婚	0人
<p>小千谷市住んでいますが、子育てするならダンゼン小千谷！は、初めて聞きました。正直、近隣の市より子育てや金銭面のフォローが多いという印象はないです。他の市は良いなあと思うことがよくある。</p>	女性	35～39歳	未婚	0人
<p>主要施設をまとめて欲しい</p>	女性	35～39歳	未婚	0人
<p>お節介的に口を出してしまう干渉文化をなくすこと</p>	女性	35～39歳	未婚	0人
<p>男性1人の稼ぎで、ある程度の生活ができること。女性が働かなければ生活できないのではなく、働きたい意思がある人が働ける環境。</p>	女性	35～39歳	離別	1人
<p>今でもたくさんの政策をしていただいています、市外及び県外の人に魅力的だと思ってもらえるような街づくりをしてほしいと思います。</p>	女性	35～39歳	離別	1人
<p>（一部編集）への支援や、施設を充実させて欲しい。駅へのエレベーター設置やバリアフリー化など。</p>	女性	35～39歳	離別	1人
<p>刺激ある事を増やして欲しい</p>	回答しない	18・19歳	未婚	0人
<p>このアンケートのQ17の生理周期を把握しているかの問いが必須回答なのが不愉快でした。</p>	回答しない	25～29歳	未婚	0人
<p>年配者のノンデリカリーへの啓発。</p>	回答しない	30～34歳	未婚	0人
<p>お互い様精神が根付けばいいなと思っています。赤子は来た道年寄り行く道で。</p>	回答しない	35～39歳	離別	0人

II. 調査結果 –クロス集計結果（本設問）–

- ・「n」はアンケートの回答数を示す。
- ・クロス集計は、性別、年齢別、婚姻状況別を基本とし、その設問の分析趣旨に沿った軸で追加集計結果を掲載している。
- ・フリー回答結果は回答者の個人的な意見や感想を原文のまま掲載しているため一部の表現に誤字脱字や異なる表記が含まれる場合がある。個人を特定する内容や暴力的な内容が含まれる回答の一部は（一部編集）と置き換えている。
- ・フリー回答は、傾向別且つ件数の多い順に掲載している。その中での掲載順は、性別、年齢、その他その設問の分析趣旨に沿った属性を選択肢順で掲載している。
- ・考察コメントについては、±5pt 以上傾向が見えた場合には「やや高い・やや低い／やや多い・やや少ない」、±10pt 以上傾向が見えた場合には「高い・低い／多い・少ない」などの表現を用いている。

【Q8】 「プレコンセプションケア」という言葉を聞いたことがありますか。

プレコンセプションケアとは：男女ともに若いうちから健康管理を行うことで、将来の妊娠を考える・考えないに関わらず、自分たちの健康を維持し、より豊かな人生を送るためのケアのことです。



「プレコンセプションケア」という言葉の認知については、90%以上が「聞いたことはない」と回答した。性別、年齢、婚姻状況による傾向の違いは見られなかった。

<医学・保健的見地>

- ・こども家庭庁のデータを参照すると、現在の認知度は10%となっている。
「聞いたことがある」の回答が、5%程度という状況は全国と比較して低いと考える。
特に10代が少なく1.9%と、学校教育における課題と考える。

参考：プレコンセプションケア推進5か年計画指標一覧

https://www.cfa.go.jp/assets/contents/node/basic_page/field_ref_resources/355db5bf-037d-4d17-bd25-d1382da80d5f/262fe789/20250701_councilspreconception-care_06.pdf

- ・既存の報告との比較として、全国の18～24歳を対象としたプレコンセプションケア（PCC）行動尺度によるWEB調査(en)では「適正体重の維持」は58.4%であった。本調査の結果(18.9～34.4%)はこれより低い傾向にある。同様に、「適切な食事」は全国調査では61.6～73.6%に対し、本調査では、32.1～38.3%、「ストレス管理」は、全国調査57.6～70.6%に対し17.0～26.2%と低い結果であった。いずれの項目においても、18～19歳は20～24歳よりも低い傾向がみられた。全国調査のPCC行動尺度で示されている「適切な食事」、「ストレス管理」、「適正体重」といった健康行動の達成状況は、本市では全体として低い傾向にある。特に、年齢が若い層ほど達成率が低いことから、PCCという用語の認知向上に加え、体重管理、飲酒・喫煙習慣、定期健康診査への受診など、具体的な健康行動につながるアプローチが求められる。

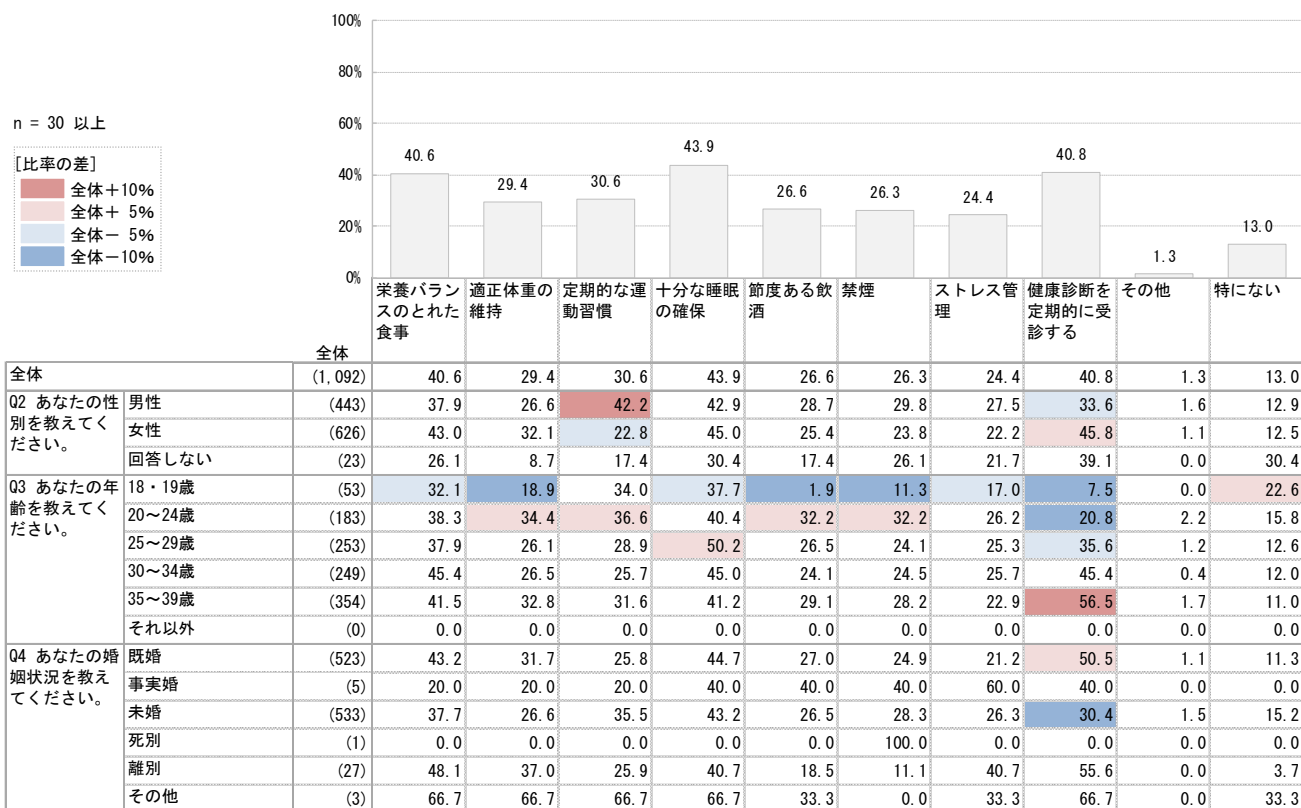
参考：未婚若年成人男女におけるプレコンセプションケア・ヘルスリテラシーの現状(en)

https://www.jstage.jst.go.jp/article/kenko/91/4/91_123/_pdf/-char/en

<マーケティング見地>

- ・90%以上が「プレコンセプションケア」という言葉を「聞いたことはない」と回答し、属性による差も見られない。専門用語の認知を図るには対象層がイメージしやすい言葉で実態を広めていく視点も必要である。「プレコンセプションケア」という用語のみの認知度向上を目指さず「未来の家族と自分のために、今からはじめるカラダづくり」という若者が自分ごととして捉えられるようなメッセージで広め、その中で「プレコンセプションケア」という言葉に触れていくというプロセスが良いと考える。

【Q9】生涯、心も身体も健康で過ごせるために今から取り組んでいることはありますか。あてはまるものをすべて教えてください。



健康への取り組みについて、最も回答が多かったのは「十分な睡眠の確保」で約45%、次いで「栄養バランスのとれた食事」「健康診断を定期的に受診する」約40%、「定期的な運動習慣」約30%であった。性別で見ると、男性は「定期的な運動習慣」の回答が高く、女性はやや低かった。「健康診断を定期的に受診する」については、男性がやや低く、女性はやや高かった。

年齢別に見ると、「適正体重の維持」は18・19歳が低く、20～24歳はやや高めである。「定期的な運動習慣」は20～24歳がやや高め。「十分な睡眠の確保」は18・19歳がやや低く、25～29歳がやや高い。「節度ある飲酒」および「禁煙」については、18・19歳が低く、20～24歳がやや高い。「ストレス管理」については18・19歳がやや低い。「健康診断を定期的に受診する」については、18・19歳、20～24歳が低く、25～29歳もやや低いが、35～39歳で高くなる。

婚姻状況別に見ると、「健康診断を定期的に受診する」の回答は既婚者がやや高く、未婚者は低い傾向にあった。

<医学・保健的見地>

- ・運動習慣は国民健康・栄養調査でも男女差がついており、全国と同様の傾向ではある。

参考：生活習慣病の調査・統計（日本医療・健康情報研究所）

<https://seikatsusyukanbyo.com/statistics/2024/010826.php>

全国と比較すると男性はより高く、女性は若干低い状況である。

男女ともに30代前半での運動習慣が低いことから、この年代への介入を検討すべきである。男女ともに既婚者の方が運動習慣は低いため、子どもと一緒に運動できる場の提供ができれば改善できる可能性がある。

検診受診者数も全国と比較すると低いため、男女ともに若年者への検診受診の機会提供が必要である。

参考：e-Stat

<https://www.estat.go.jp/statsearch/files?page=1&layout=datalist&toukei=00450061&tstat=000001206248&cycle=7&tclass1=000001206254&tclass2val=0>

ストレス管理としてアルコール、喫煙と答えている回答者もいるため、ストレス管理には慎重な評価が必要である。

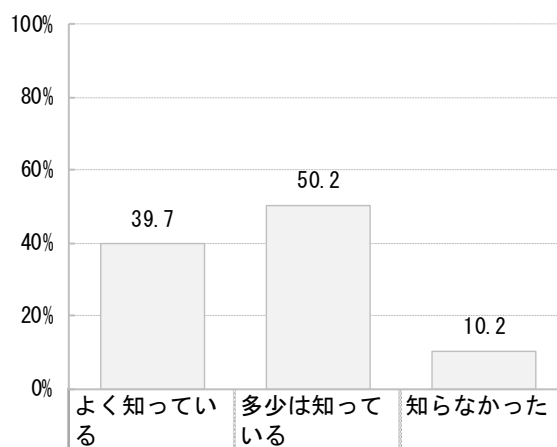
<マーケティング見地>

- ・健康への取り組みは、年齢や属性によって差がある。10代～20代前半の若年層は「健康診断を定期的に受診する」と回答した割合が低く、未婚者も既婚者に比べて受診率が低い。若年層・未婚層への健康増進アプローチは「将来の妊娠や病気予防のため」といった遠い未来の訴求ではなく、「本来の能力を發揮できる」「心も身体も元気に過ごせる」「未来の健康への投資」のような現在のQOL(Quality of Life=生活の質)向上に直結するメリットから働きかけることも効果的だと考える。

【Q10】自身の健康状態（体重、食事、睡眠等）が、男女ともに妊娠・出産に影響することを知っていますか。

n = 30 以上

[比率の差]	
	全体+10%
	全体+ 5%
	全体- 5%
	全体-10%



		全体	よく知っている	多少は知っている	知らなかった
全体		(1,092)	39.7	50.2	10.2
Q2 あなたの性別を教えてください。	男性	(443)	29.8	56.4	13.8
	女性	(626)	46.8	45.5	7.7
	回答しない	(23)	34.8	56.5	8.7
Q3 あなたの年齢を教えてください。	18・19歳	(53)	28.3	52.8	18.9
	20～24歳	(183)	41.5	48.6	9.8
	25～29歳	(253)	37.9	50.6	11.5
	30～34歳	(249)	41.4	51.4	7.2
	35～39歳	(354)	40.4	49.4	10.2
	それ以外	(0)	0.0	0.0	0.0
Q4 あなたの婚姻状況を教えてください。	既婚	(523)	47.2	46.8	5.9
	事実婚	(5)	20.0	60.0	20.0
	未婚	(533)	31.9	53.7	14.4
	死別	(1)	0.0	100.0	0.0
	離別	(27)	51.9	44.4	3.7
	その他	(3)	33.3	33.3	33.3

自身の健康状態が男女ともに妊娠・出産に影響することについて、「よく知っている」は約40%、「多少は知っている」は約50%、「知らなかった」が約10%であった。

性別で見ると、「よく知っている」と回答した男性はやや少なく、女性はやや多い傾向があった。

年齢別にみると、「よく知っている」と回答した割合は18・19歳で低かったが、他の年齢では大きな違いは見られなかった。

婚姻状況別に見ると、「よく知っている」と回答した割合は既婚者でやや多く、未婚者でやや少ないことがわかった。

<医学・保健的見地>

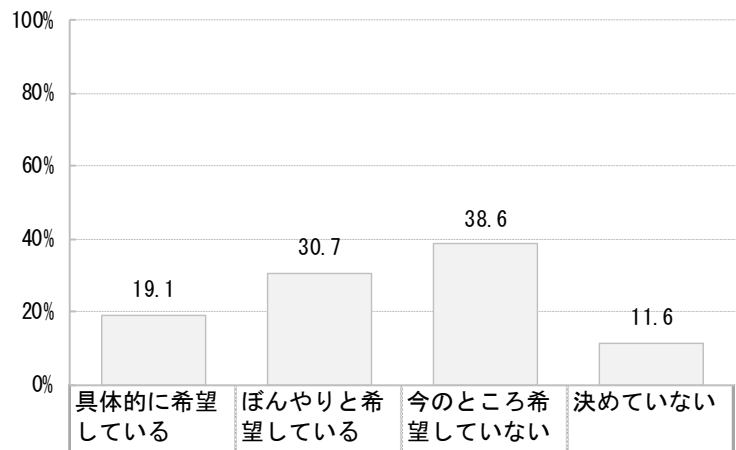
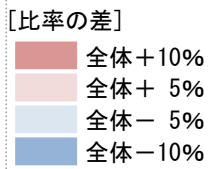
- ・男女ともに既婚者の方が自分ごととして認知率が高い様子。

<マーケティング見地>

- ・自身の健康状態が妊娠・出産に影響することの認知は、18・19歳や未婚者、および男性で「よく知っている」割合が低い。若年層への情報発信は、SNSやショート動画などのメディアを通じて行うと良い。(Q26)
- ・妊娠・出産と聞くと女性に関わることだとイメージされそうであるが、男女ともに影響があるという知識を啓蒙していくべきだと考える。

【Q11】 今後、自分の子どもを持ちたいという希望はありますか。既に子どもがいる方も今後のこととして教えてください。

n = 30 以上



		全体	具体的に希望している	ぼんやりと希望している	今のところ希望していない	決めていない
全体		(1,092)	19.1	30.7	38.6	11.6
Q2 あなたの性別を教えてください。	男性	(443)	21.4	31.8	33.0	13.8
	女性	(626)	18.1	30.5	41.7	9.7
	回答しない	(23)	4.3	13.0	60.9	21.7
Q3 あなたの年齢を教えてください。	18・19歳	(53)	11.3	34.0	24.5	30.2
	20～24歳	(183)	19.7	41.0	24.6	14.8
	25～29歳	(253)	29.6	37.2	24.1	9.1
	30～34歳	(249)	20.9	30.5	41.4	7.2
	35～39歳	(354)	11.3	20.3	56.2	12.1
	それ以外	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0
Q4 あなたの婚姻状況を教えてください。	既婚	(523)	25.4	22.8	45.9	5.9
	事実婚	(5)	20.0	60.0	20.0	0.0
	未婚	(533)	13.7	38.6	30.6	17.1
	死別	(1)	0.0	0.0	0.0	100.0
	離別	(27)	7.4	18.5	63.0	11.1
	その他	(3)	0.0	66.7	0.0	33.3

自分の子どもを持ちたいという希望については「希望している（「具体的に希望している」「ぼんやりと希望している」の合計）」が約50%、「今のところ希望していない」が約40%、「決めていない」が約10%という結果だった。

性別で見ると、「今のところ希望していない」と回答した男性はやや少なかった。

年齢別に見ると、「具体的に希望している」という回答が最も多いのは25～29歳で、「ぼんやりと希望している」は20～24歳が多かった。「今のところ希望していない」という回答は、18～29歳の各層で低く、35～39歳で高くなる。また、18・19歳では「決めていない」という回答が目立った。

婚姻状況別に見ると、既婚者は「具体的に希望している」と「今のところ希望していない」がやや多く、未婚者は反対に「ぼんやりと希望している」と「決めていない」がやや多い傾向が見られた。

<マーケティング見地>

- ・「具体的に希望している」は25～29歳で多くなる一方、20～24歳や未婚者では「ぼんやりと希望している」「決めていない」層が多い傾向にある。結婚や出産を具体的にイメージできていない若年層に対しては、20代前半でキャリアをシミュレーションできる「ライフプランニング ワークショップ」の機会を提供し、具体的な人生設計に役立ててもらおうと良いと考える。

参考：日本総研 2023 ライフプランニング事業事例集（令和5年度こども家庭庁委託調査事業）

https://www.cfa.go.jp/assets/contents/node/basic_page/field_ref_resources/b1f489bb-4ead-4f24-a749-bda926d7637d/008e5254/20240422_policies_shoushika_koufukin_taisaku-r05-research_01.pdf

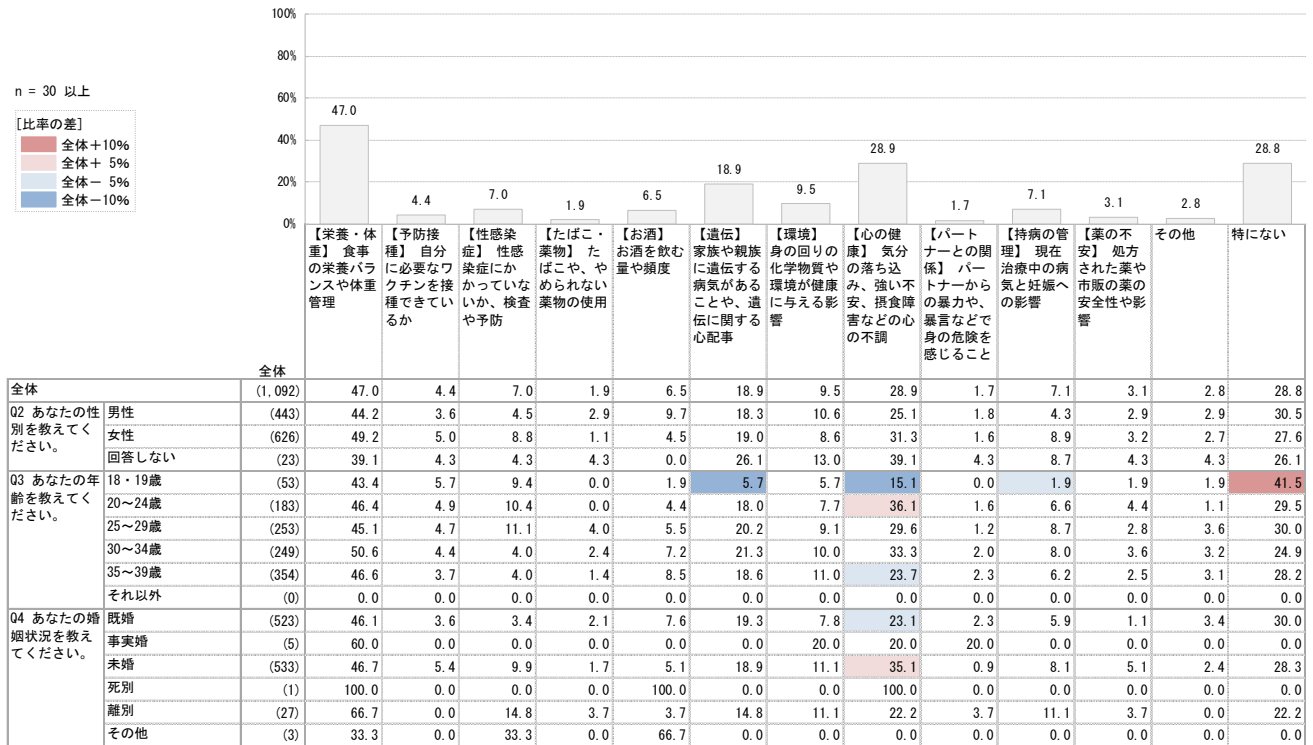
【Q12】前問で「{Q11の回答}」と回答した理由を可能なかぎり具体的に教えてください。

※フリー回答一覧は、単純集計結果（本設問）に掲載

<マーケティング見地>

- ・「具体的に希望している」と回答したうち、未婚・子ども0人の10代後半～20代は、「子どもが好き」「自分の家族をつくりたい」「幸せな家庭を築きたい」といったポジティブな憧れや、「〇歳までに〇人欲しい」といった具体的なライフプランをすでに描いている傾向がある。また、結婚を直近に控えている層も多く含まれている。既婚・子ども0人の20代～30代は、回答の多くが「現在妊娠中（あるいはもうすぐ生まれる）」「妊活中」「不妊治療中」であり、すでに子どもを持つための具体的な行動を起こしている、あるいは直近の予定があるケースがほとんどである。既婚・子ども1人以上の20代～30代は、「上の子にきょうだいをつくってあげたい」「夫婦で〇人は欲しいと話し合っている」「家族が増えるのが嬉しい」など、具体的な家族計画に基づいて、次の人数の追加を明確に希望している。
- ・「ぼんやりと希望している」と回答したうち、未婚・子ども0人の20代中心は、「いつかは欲しい」「結婚したら欲しい」という願望はあるものの、「まだ相手がいない」「今の給料（経済面）では不安」「自分のことで精一杯（仕事や学業など）」といった理由から、現実的なハードルを感じており、具体的な計画に至っていない層が多くを占めている。既婚・子ども0人の20代～30代は、子どもを望む気持ちはあるが、「生活（金銭的・時間的）に余裕がない」「年齢や健康面での不安がある」「必ず授かるとは限らない」など、現実的な不安や条件を考慮し、状況を見極めている傾向がある。既婚・子ども1人以上の20代～30代は、「もう1人欲しいが経済的に不安」「もう少し子育てが落ち着いてから」「仕事との両立が不安」など、すでに子育てを経験しているからこそ、現状のバランスを考慮している。
- ・「今のところ希望していない」と回答したうち、未婚・子ども0人の回答者は、年齢に関わらず「自分のことで精一杯」「お金がかかる（経済的な不安）」「子育てをする自信がない」「自分の自由な時間を優先したい」「そもそも結婚願望がない」といった理由が目立つ。既婚・子ども0人の30代後半は、「夫婦2人の生活で満足している」「経済的な余裕がない」「自身の健康上の理由（病気や年齢）」「不妊で授かれなかった」などから、あえて子どもを持たない選択をしている、あるいは諦めているケースが見られる。既婚・子ども1人以上（特に2人以上）の30代後半では、「すでに希望の人数がいる（家族計画の完了）」、「経済的・体力的にこれ以上は限界」「今の生活を維持したい」といった理由が大多数を占める。
- ・「決めていない」と回答したうち、未婚・子ども0人の10代後半～20代は、「将来が想像できない」「相手がいない」「今は自分のこと（学業や仕事）で精一杯」など、ライフステージ的にまだ子どもを持つことを具体的に考える段階にないという回答が多い。既婚・子ども1人以上の30代では、「子どもは授かりものだから」「先のことはわからない」「将来がどうなるか不安」といった、自然に任せる姿勢や、見通しが立たないことから決めきれないという意見が見受けられる。

【Q13】現在、ご自身の健康や身体に関して不安を感じていることはありますか。あてはまるものをすべて教えてください。



自身の健康や身体に関する不安については、約 50%が「【栄養・体重】食事の栄養バランスや体重管理」を挙げており、最も高い割合となった。次いで、約 30%が「【心の健康】気分の落ち込み、強い不安、摂食障害などの心の不調」、約 20%が「【遺伝】家族や親族に遺伝する病気があることや、遺伝に関する心配事」に不安があると回答した。

年齢別に見ると、18・19 歳は「遺伝」や「心の健康」に関する不安が低く、「【持病の管理】現在治療中の病気と妊娠への影響」についてもやや低い。一方で 20～24 歳は「心の健康」がやや高く、35～39 歳ではやや低い。また、既婚者は「心の健康」がやや低く、未婚者は高いことがわかった。

<医学・保健的見地>

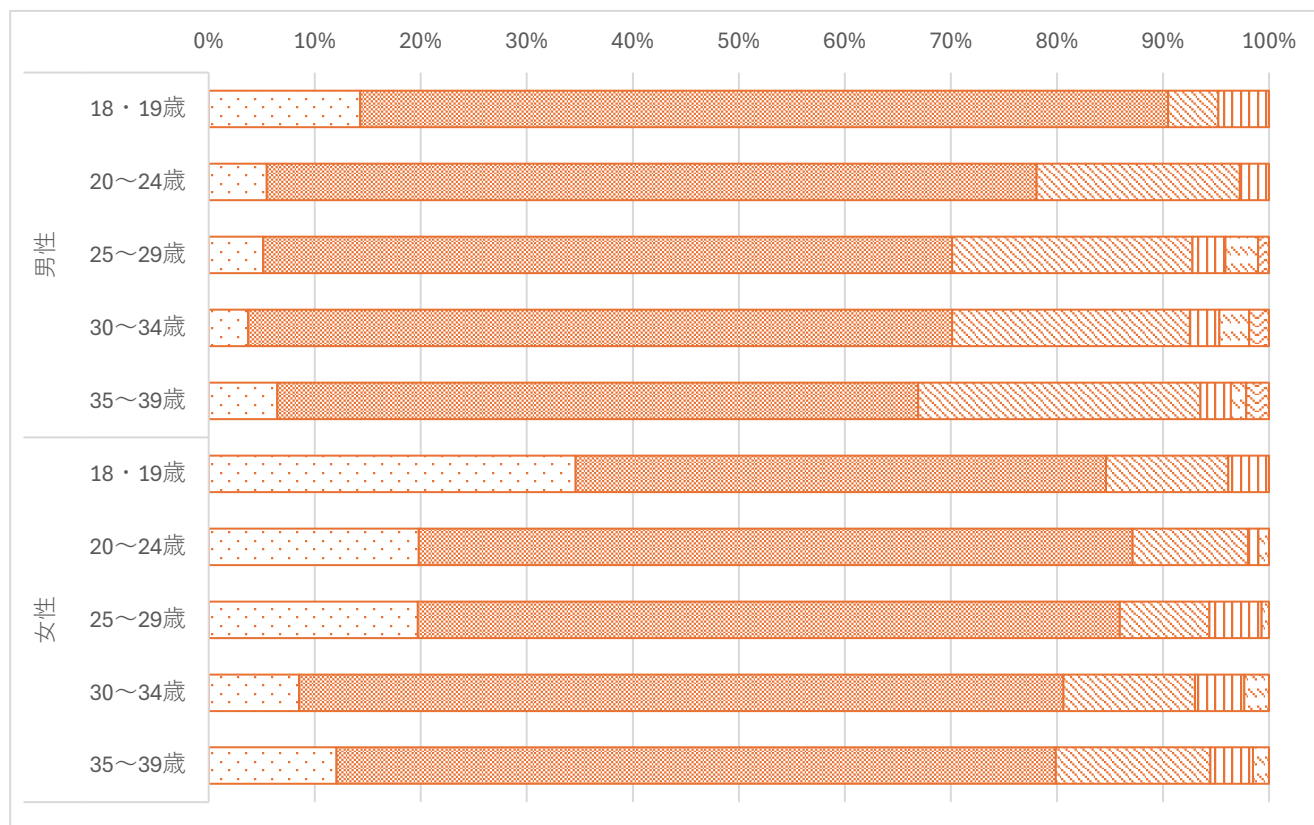
・食事、栄養バランス、体重管理に関する情報のニーズが高いため、自治体として介入のポイントになるのではないかと考える。

<マーケティング見地>

・「【栄養・体重】食事の栄養バランスや体重管理」への不安がトップであるが、注目すべきは 20～24 歳の若年層や未婚者において「【心の健康】気分の落ち込み、強い不安、摂食障害などの心の不調」への不安が高い点である。プレコンセプションケアの入り口として「メンタルヘルスケア」を位置づけ、行政の窓口に行かなくても、LINE やチャットで気軽に相談できる SOS 窓口を設置することが望ましいと考える。

【Q14】あなたの身長と体重を教えてください。

記入の際、小数点以下は切り捨て、2桁もしくは3桁の数字を半角でご入力ください。



		全体	低体重	普通体重	肥満 (1度)	肥満 (2度)	肥満 (3度)	肥満 (4度)	判定不可
全体		1,092	121	703	170	38	16	6	38
			11.1	64.4	15.6	3.5	1.5	0.5	3.5
男性	18・19歳	21	3	16	1	1	0	0	0
			14.3	76.2	4.8	4.8	0.0	0.0	0.0
	20～24歳	76	4	53	14	2	0	0	3
			5.3	69.7	18.4	2.6	0.0	0.0	3.9
	25～29歳	98	5	63	22	3	3	1	1
			5.1	64.3	22.4	3.1	3.1	1.0	1.0
	30～34歳	108	4	71	24	3	3	2	1
			3.7	65.7	22.2	2.8	2.8	1.9	0.9
	35～39歳	140	9	84	37	4	2	3	1
			6.4	60.0	26.4	2.9	1.4	2.1	0.7
女性	18・19歳	28	9	13	3	1	0	0	2
			32.1	46.4	10.7	3.6	0.0	0.0	7.1
	20～24歳	107	20	68	11	1	1	0	6
			14.3	48.6	7.9	0.7	0.7	0.0	4.3
	25～29歳	147	28	94	12	7	1	0	5
			19.0	63.9	8.2	4.8	0.7	0.0	3.4
	30～34歳	137	11	93	16	6	3	0	8
			8.0	67.9	11.7	4.4	2.2	0.0	5.8
	35～39歳	207	24	135	29	8	3	0	8
			11.6	65.2	14.0	3.9	1.4	0.0	3.9

※性別「回答しない」は除外

対象者の身長、体重は、全体平均で身長 163.62cm、体重 60.71 kgだった。

性別で見ると、身長の平均は男性が 171.41cm、女性は 157.95cm、体重の平均は男性 69.40 kg、女性 54.48 kgであった。

年齢別に見ると、身長の平均は 18・19 歳が一番低く、年齢を重ねるほど高くなっている。体重も 18・19 歳が一番低く、年齢を重ねるほど重くなっている。

<医学・保健的見地>

・やせの状況

全国の 20 代男性における「やせ」の割合は 11.5%であるのに対し、小千谷市では約 5%と全国の半分以下にとどまっている。

全国の 30 代女性における「やせ」の割合は 16.1%であるのに対し、小千谷市では 30～34 歳で 8.0%、35～39 歳で 11.6%と低く、全体としてやせの割合は全国より少ない傾向にある。

・肥満の状況

全国の 20 代男性の「肥満」は 21.0%である。小千谷市では 20～24 歳で 21.1%と全国と同程度であるが、25～29 歳では 29.6%へと増加し、全国平均を上回る。30 代では、30～34 歳で 29.6%、35～39 歳で 32.9%と推移し、全国平均の 34.3%よりやや低いものの、依然として約 3 割が肥満という高い水準にある。

全国の 20 代女性の「肥満」は 7.4%、30 代で 11.9%と低い水準に保たれている。一方、小千谷市では女性の肥満割合が高く、20～24 歳で 9.3%、25～29 歳で 13.6%、30～34 歳で 18.3%、35～39 歳で 19.4%と、全国平均をそれぞれ上回っている。

また、適正体重（普通体重）の割合も、全国の 20～29 歳女性では 75.5%であるのに対し、小千谷市では 20～24 歳で 48.6%、25～29 歳で 64.0%と低く、肥満の多さを反映していると推測される。

参考：令和 5 年 国民健康・栄養調査結果の概要

<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/001603146.pdf>

<マーケティング見地>

- ・男性は、20 代で「やせ」が少なく、20 代後半から肥満が急増する傾向が見られ、女性は全国より「肥満」の割合が目立つ。加齢やライフステージの変化に伴う身体の変化を可視化し、また、小千谷市ならではの「車移動が多く運動不足になりがち」「雪が積もると外に出る機会が減り、運動の機会が減る」など、地域的な傾向や外部要因も踏まえて、年齢ごとの適切な体重管理やセルフケアの目安をわかりやすく情報提供することが求められる。

【Q15】あなたは、現在タバコを吸っていますか。

n = 30 以上

[比率の差]



		全体	毎日吸っている	時々吸う日がある	以前は吸っていたが、1ヶ月以上吸っていない	吸わない
全体		(1,092)	11.2	1.5	5.1	82.2
Q2 あなたの性別を教えてください。	男性	(443)	19.6	2.3	7.2	70.9
	女性	(626)	5.3	1.0	3.4	90.4
	回答しない	(23)	8.7	0.0	13.0	78.3
Q3 あなたの年齢を教えてください。	18・19歳	(53)	0.0	0.0	0.0	100.0
	20～24歳	(183)	6.0	2.2	2.2	89.6
	25～29歳	(253)	13.4	2.8	5.1	78.7
	30～34歳	(249)	14.9	0.4	6.4	78.3
	35～39歳	(354)	11.3	1.1	6.5	81.1
	それ以外	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0
Q4 あなたの婚姻状況を教えてください。	既婚	(523)	14.0	1.1	7.1	77.8
	事実婚	(5)	0.0	0.0	0.0	100.0
	未婚	(533)	7.9	1.7	3.0	87.4
	死別	(1)	0.0	0.0	0.0	100.0
	離別	(27)	18.5	3.7	11.1	66.7
	その他	(3)	66.7	0.0	0.0	33.3

喫煙率については、「毎日吸っている」が約 10%、「吸わない」が約 80%であった。

性別で見ると、「毎日吸っている」男性はやや多く、「吸わない」男性は少ない。反対に女性は「毎日吸っている」人がやや少なく「吸わない」人がやや多い。

年齢別に見ると、18・19 歳は「吸わない」が 100%であったが、20～24 歳では約 90%に低下している。

婚姻状況別に見ると、未婚者の「吸わない」が約 90%で、やや多いことがわかった。

<医学・保健的見地>

- ・未婚者の方が喫煙率は低く、既婚者の方が高い状況。

パパママ学級などで喫煙のリスクについて協調して伝えるなどの介入をした方が良いのではないか。

参考：2022（令和 4）年 国民生活基礎調査 III 世帯員の健康状況 P20 5 喫煙の状況

<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/k-tyosa/k-tyosa22/dl/04.pdf>

<マーケティング見地>

- ・18・19 歳は「吸わない」が 100%であるのに対し、20～24 歳で「毎日吸っている」という回答が増え、25～29 歳で倍増している。また「毎日吸っている」は男性がやや多く、「吸わない」の回答は未婚層がやや多い。20 歳になる前に、将来の健康リスクだけでなく、経済的メリットなどの観点でも、非喫煙を促すことができると良いと考える。

【Q16】あなたは、1日あたりどのくらいの量を飲酒しますか。

※1合あたりの各酒類の量は下記を目安に換算してください。

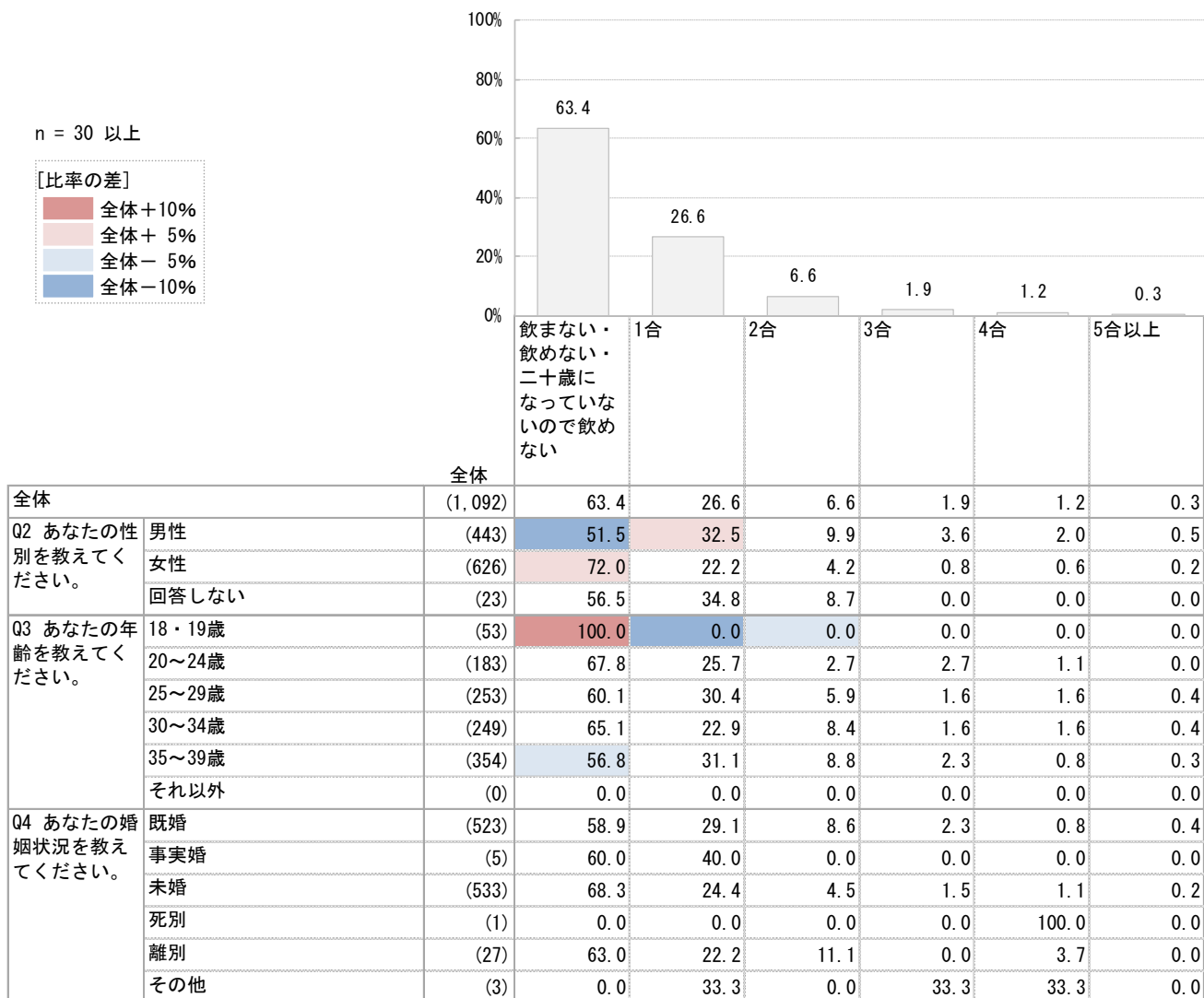
日本酒 1合（アルコール度数 15 度・180ml）

ビール（アルコール度数 5 度・500ml）

焼酎（アルコール度数 25 度・110ml）

ワイン（アルコール度数 14 度・180ml）

缶チューハイ（アルコール度数 7 度・350ml）



性別・婚姻状況別集計

		全体	飲まない・飲めない・二十歳になっていないので飲めない	1合	2合	3合	4合	5合以上
全体		(1092)	692 63.4	291 26.6	72 6.6	21 1.9	13 1.2	3 0.3
Q2 あなたの性別を教えてください。× Q4 あなたの婚姻状況を教えてください。	男性	(443)	228 51.5	144 32.5	44 9.9	16 3.6	9 2.0	2 0.5
	既婚	(194)	78 40.2	77 39.7	26 13.4	9 4.6	2 1.0	2 1.0
	事実婚	(2)	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	未婚	(241)	147 61.0	66 27.4	16 6.6	6 2.5	6 2.5	0 0.0
	死別	(0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	離別	(4)	1 25.0	1 25.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	その他	(2)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0
	女性	(626)	451 72.0	139 22.2	26 4.2	5 0.8	4 0.6	1 0.2
	既婚	(321)	226 70.4	73 22.7	17 5.3	3 0.9	2 0.6	0 0.0
	事実婚	(2)	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	未婚	(279)	209 74.9	59 21.1	8 2.9	2 0.7	0 0.0	1 0.4
	死別	(1)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0
	離別	(22)	15 68.2	5 22.7	1 4.5	0 0.0	1 4.5	0 0.0
	その他	(1)	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	回答しない	(23)	13 56.5	8 34.8	2 8.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	既婚	(8)	4 50.0	2 25.0	2 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	事実婚	(1)	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	未婚	(13)	8 61.5	5 38.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	死別	(0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
離別	(1)	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
その他	(0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	

1日あたりの飲酒量について、全体では「飲まない・飲めない・二十歳になっていないので飲めない」が約65%、「1合」が約25%で、「5合以上」は1%に満たなかった。

性別で見ると、男性は「飲まない・飲めない・二十歳になっていないので飲めない」の割合が低く、女性はやや高い。

年齢別に見ると、18・19歳の「飲まない・飲めない・二十歳になっていないので飲めない」は100%であり、20代以降は35～39歳の約55%を筆頭に「飲まない」層がやや低い傾向にある。

婚姻状況による有意な傾向は見られなかった。

<医学・保健的見地>

- ・平成8年のデータではあるが、全国と比較して飲酒量が多い。また、既婚の男性への飲酒のリスクへの啓発をした方が良いのではないか。

参考：厚生労働省 健康日本21（アルコール）

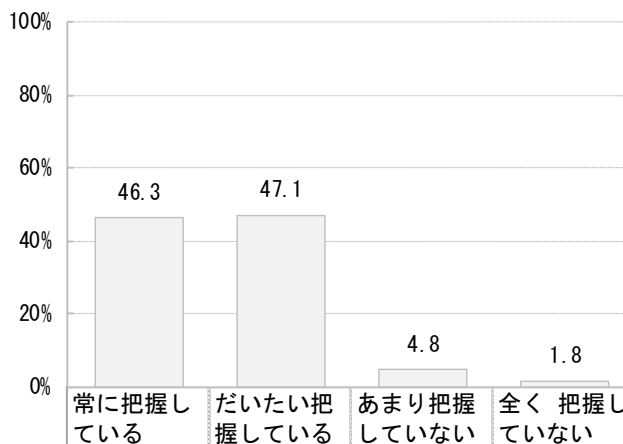
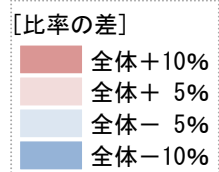
https://www.mhlw.go.jp/www1/topics/kenko21_11/b5.html

<マーケティング見地>

- ・若年層ほど「飲酒しない」傾向が強いが、年齢が上がるにつれて飲酒量が増加している。
1日60g（3合）以上の飲酒は急性アルコール中毒のリスクが高まる多量飲酒とされているが、全体で3.4%（3合1.9%、4合1.2%、5合以上0.3%の合計）の回答があった。性別と婚姻状況別で見ると、男性の既婚層ほど「飲まない」割合が低く、「1合」以上と回答する割合が高い。女性は出産前後でアルコールを控えるタイミングがあるが、男性にはないことから、男性のアルコール摂取が高くなることも予想される。また、結婚し、同居することで夫婦間の飲酒の誘いが増え、また飲酒を楽しむことで夫婦のコミュニケーションがとりやすくなることなどから、飲酒の機会が増えることが予想される。アルコールに関する健康啓発は、既婚層に多量飲酒の基準を明確に示すことが効果的であると考える。

【Q17】自分の月経周期（生理の時期や周期）を把握していますか。

n = 30 以上



		全体	常に把握している	だいたい把握している	あまり把握していない	全く把握していない
全体		(626)	46.3	47.1	4.8	1.8
Q2 あなたの性別を教えてください。	男性	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性	(626)	46.3	47.1	4.8	1.8
	回答しない	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0
Q3 あなたの年齢を教えてください。	18・19歳	(28)	17.9	64.3	10.7	7.1
	20～24歳	(107)	42.1	48.6	7.5	1.9
	25～29歳	(147)	43.5	48.3	5.4	2.7
	30～34歳	(137)	50.4	46.0	2.9	0.7
	35～39歳	(207)	51.7	44.0	3.4	1.0
	それ以外	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0
Q4 あなたの婚姻状況を教えてください。	既婚	(321)	49.5	45.8	3.1	1.6
	事実婚	(2)	100.0	0.0	0.0	0.0
	未婚	(279)	41.2	49.5	7.2	2.2
	死別	(1)	100.0	0.0	0.0	0.0
	離別	(22)	59.1	40.9	0.0	0.0
	その他	(1)	0.0	100.0	0.0	0.0

(Q2で「女性」を選択した626名が回答)

女性のみを対象とした月経周期の把握については、「常に把握している」「だいたい把握している」がともに約 45%であった。

年齢別に見ると、35～39 歳は「常に把握している」が約 50%とやや高い。

婚姻状況別に見ると「常に把握している」と答えた未婚者がやや低い傾向にある。

<医学・保健的見地>

・間接的な比較となるが、以下の論文と比較すると、月経周期を把握しているものは多いと考えられうる。

また、ルナルナのアンケートと比較すると同程度が年代によっては高い状況である。

参考：月経のセルフモニタリングにおけるスマートフォンアプリの効果的利用 表 4

https://www.jstage.jst.go.jp/article/jspog/22/3/22_271/_pdf/-char/en

「生理不順について」の調査結果（株式会社エムティーアイ）

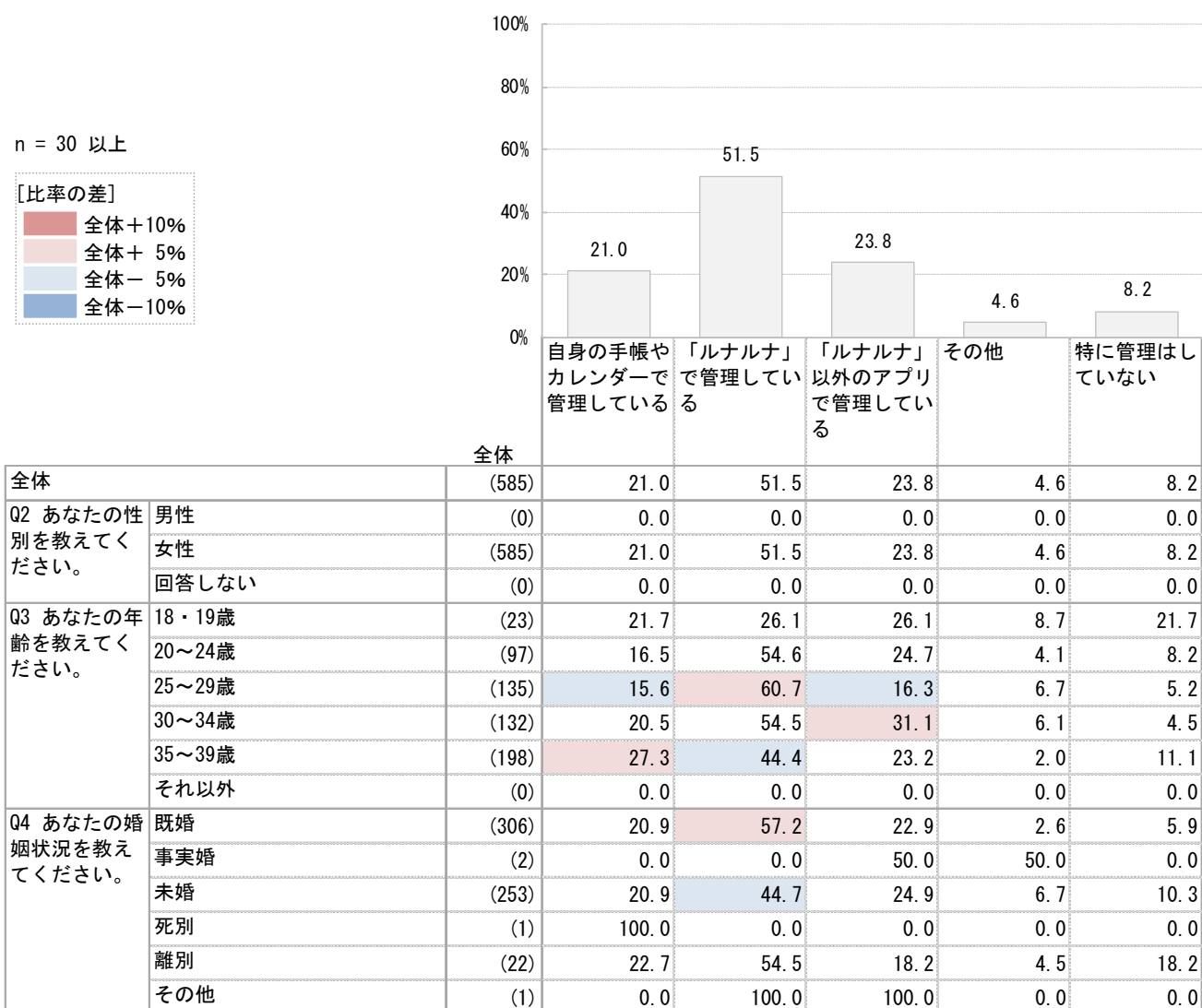
<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000151.000002943.html>

<マーケティング見地>

・35～39 歳は「常に把握している」割合が約 50%と高い。一方、未婚層は低い傾向にある。未婚女性に対し、月経周期把握の重要性を発信するとともに、バンドワゴン効果（Bandwagon Effect）を見込んで、「90%以上が月経周期を把握している」と啓蒙することも一つだと考える。

【Q18】前問で「常に把握している」「だいたい把握している」と回答した方にお聞きします。
どのように管理していますか。あてはまるものをすべて教えてください。

※ルナルナは、株式会社エムティーアイが運営する女性向けの生理日記録・管理ツールです。



(Q17で「常に把握している」「だいたい把握している」を選択した585名が回答)

Q17 で月経周期を把握していると回答した方に管理方法を聞いたところ、「『ルナルナ』で管理している」が約 50%、「『ルナルナ』以外のアプリで管理している」が約 25%、「自身の手帳やカレンダーで管理している」が約 20%であった。

年齢別に見ると、25～29 歳は「ルナルナ」が約 60%でやや多く、30～34 歳は「『ルナルナ』以外のアプリ」が約 30%でやや多め、35～39 歳は「手帳やカレンダー」が約 25%で他年齢よりやや高い。

婚姻状況別に見ると、「ルナルナ」と回答した既婚者が約 55%とやや多かった。

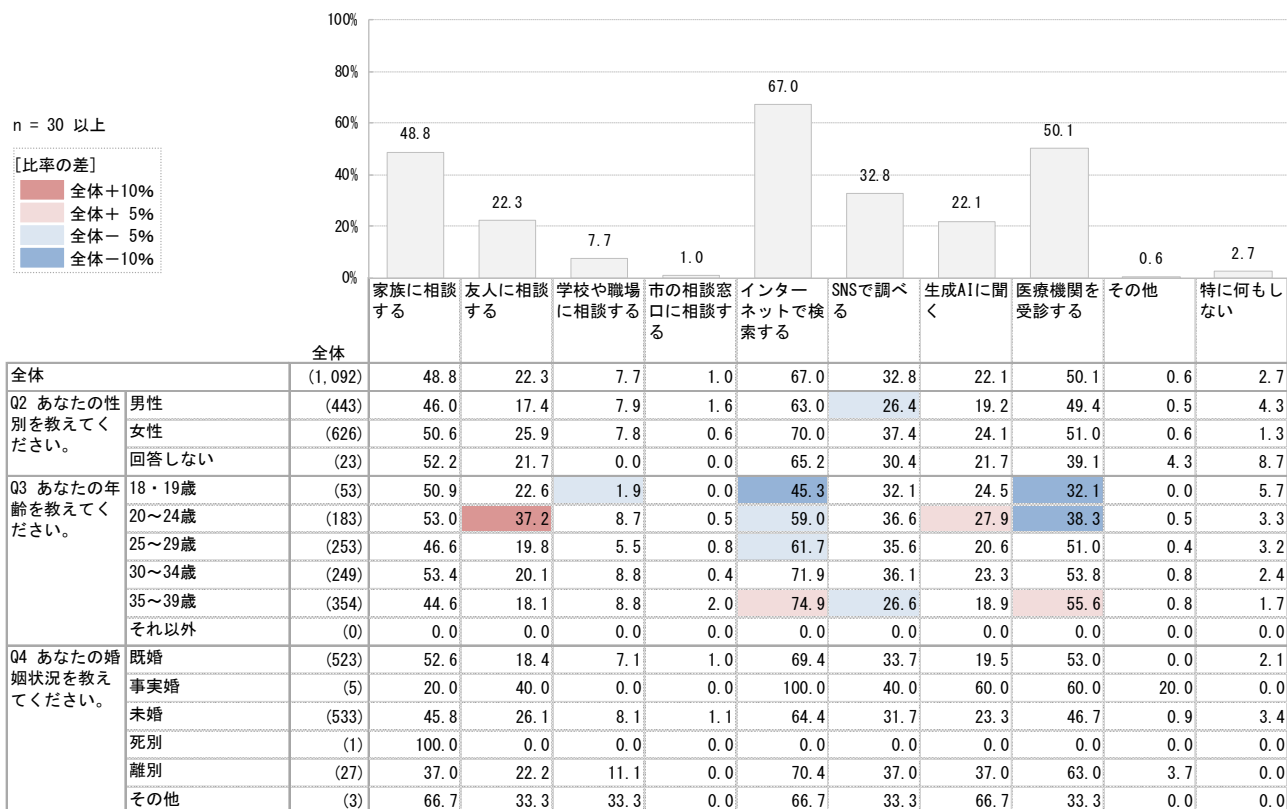
<医学・保健的見地>

- ・世代によって、アプリか紙媒体か異なる様子。世代に合わせた介入を検討すべき。

<マーケティング見地>

- ・月経周期の管理は「『ルナルナ』で管理をしている」が約 50%、「『ルナルナ』以外のアプリで管理している」が 20%以上であることから、アプリ利用者が過半数を占め、特に 25～29 歳や既婚者で高いことがわかった。今後も新潟県とともに、ルナルナの活用を強化し、アプリを通じて小千谷市に住む女性向けに支援サービスや助成の情報、地域のクリニックに関する情報発信などができると良いと考える。

【Q19】ご自身の身体や健康に関する悩みや疑問が生じたときに、どうしますか。あてはまるものをすべて教えてください。



自身の身体や健康に関する悩みが生じた際の対応は、「インターネットで検索する」が65%以上で最多だった。次いで「家族に相談する」「医療機関を受診する」が各約50%、「SNSで調べる」が約30%、「友人に相談する」「生成AIに聞く」が各約20%となった。「学校や職場に相談する」は10%未満、「市の相談窓口」は1%に留まった。

性別で見ると、「SNSで調べる」と回答した男性はやや少なかった。

年齢別に見ると、18・19歳は「インターネットで検索する」や「医療機関を受診する」の回答が低く、「学校や職場に相談する」もやや低い。20～24歳は「友人に相談する」の回答が多く、「生成AIに聞く」はやや多い。一方で、「医療機関を受診する」は少なく、「インターネットで検索する」はやや少なかった。25～29歳も「インターネットで検索する」がやや少なく、若年層ほどその割合が低い傾向にある。反対に35～39歳は「インターネットで検索する」や「医療機関を受診する」がやや多く、「SNSで調べる」人はやや少なかった。

<医学・保健的見地>

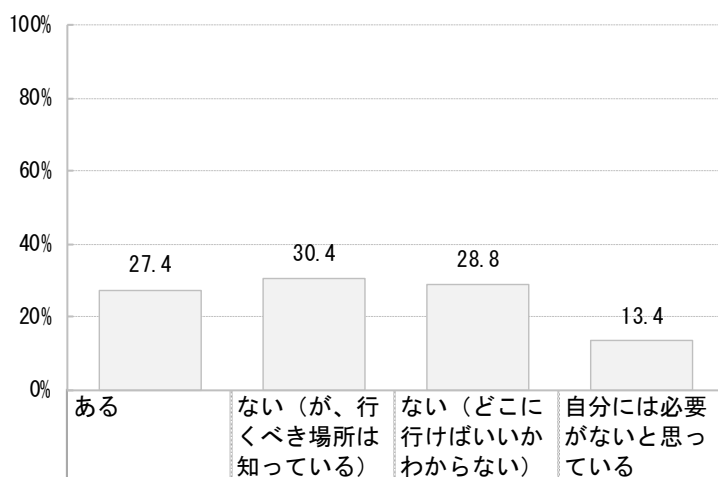
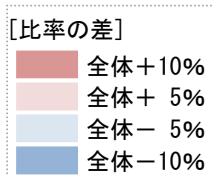
- ・世代によって対応策が異なる。若年者でも医療機関の受診ハードルを下げる取り組みが必要。

<マーケティング見地>

- ・「家族に相談する」は約50%以下に留まった。「インターネットで検索する」は65%以上であるが、その傾向が高いのは35～39歳であり、年齢が低くなるほど割合が低くなっている。スマートフォンを持ち歩いていることにより、インターネットメディアで情報収集することがスムーズであるためか「SNSで調べる」も30%以上、「生成AIに聞く」も20%ほどいる。
- ・「市の窓口で相談する」は、全体でわずか1%に留まるが、窓口がある安心感を訴求しつつ、LINEやチャットなどを整備し、アクセスチャネルを増やすことによって、実際の相談が増えると考え。また既存の小千谷市のLINE公式アカウントやその他の広報物でも窓口の実態を啓蒙し「こんなときは相談してみてね」「こんな風に解決につながります」というような事例も見せることで、安心して問合せができるという認知を広めたい。

【Q20】 かかりつけの婦人科・泌尿器科はありますか。

n = 30 以上



		全体	ある	ない（が、行くべき場所は知っている）	ない（どこに行けばいいかわからない）	自分には必要がないと思っている
全体		(1,092)	27.4	30.4	28.8	13.4
Q2 あなたの性別を教えてください。	男性	(443)	6.8	28.7	37.7	26.9
	女性	(626)	42.3	31.8	22.5	3.4
	回答しない	(23)	17.4	26.1	30.4	26.1
Q3 あなたの年齢を教えてください。	18・19歳	(53)	11.3	17.0	39.6	32.1
	20～24歳	(183)	15.8	26.2	43.7	14.2
	25～29歳	(253)	30.8	30.4	23.3	15.4
	30～34歳	(249)	27.3	34.5	26.5	11.6
	35～39歳	(354)	33.3	31.6	25.1	9.9
	それ以外	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0
Q4 あなたの婚姻状況を教えてください。	既婚	(523)	39.6	31.9	19.5	9.0
	事実婚	(5)	40.0	20.0	20.0	20.0
	未婚	(533)	14.4	28.9	38.8	17.8
	死別	(1)	0.0	100.0	0.0	0.0
	離別	(27)	44.4	33.3	14.8	7.4
	その他	(3)	33.3	0.0	33.3	33.3

性別・年齢別集計

		全体	ある	ない（が、行くべき場所は知っている）	ない（どこに行けばいいかわからない）	自分には必要がないと思っている
全体		(1092)	299 27.4	332 30.4	315 28.8	146 13.4
Q2 あなたの性別を教えてください。 x Q3 あなたの年齢を教えてください。	男性	(443)	30 6.8	127 28.7	167 37.7	119 26.9
	18・19歳	(21)	2 9.5	3 14.3	7 33.3	9 42.9
	20～24歳	(76)	4 5.3	13 17.1	34 44.7	25 32.9
	25～29歳	(98)	8 8.2	28 28.6	31 31.6	31 31.6
	30～34歳	(108)	6 5.6	40 37.0	39 36.1	23 21.3
	35～39歳	(140)	10 7.1	43 30.7	56 40.0	31 22.1
	それ以外	(0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	女性	(626)	265 42.3	199 31.8	141 22.5	21 3.4
	18・19歳	(28)	4 14.3	6 21.4	12 42.9	6 21.4
	20～24歳	(107)	25 23.4	35 32.7	46 43.0	1 0.9
	25～29歳	(147)	69 46.9	46 31.3	26 17.7	6 4.1
	30～34歳	(137)	61 44.5	45 32.8	26 19.0	5 3.6
	35～39歳	(207)	106 51.2	67 32.4	31 15.0	3 1.4
	それ以外	(0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	回答しない	(23)	4 17.4	6 26.1	7 30.4	6 26.1
	18・19歳	(4)	0 0.0	0 0.0	2 50.0	2 50.0
	20～24歳	(0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	25～29歳	(8)	1 12.5	3 37.5	2 25.0	2 25.0
	30～34歳	(4)	1 25.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0
	35～39歳	(7)	2 28.6	2 28.6	2 28.6	1 14.3
	それ以外	(0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

かかりつけの婦人科・泌尿器科については、「ある」が約 25%、「ない（が行くべき場所は知っている）」と「ない（どこに行けばいいかわからない）」が各約 30%、「自分には必要がないと思っている」が約 15%であった。

性別で見ると、「ある」と回答した男性は約 5%と少なく、女性は約 40%と多い。

年齢別に見ると、18～24 歳で「ある」と回答した割合は約 10～15%と低く、それに伴い「ない（どこに行けばいいかわからない）」という回答がいずれも約 40～45%と高くなっている。

婚姻状況別に見ると、「ある」と回答した既婚者は約 40%と多いが、未婚者は約 15%と少なかった。

<医学・保健的見地>

- ・男女ともに若年者でどこに行けばいいかわからないや必要がないと思っているという回答が多い。
女性の場合は現在 20 歳から子宮頸がん検診が始まるため、18～19 歳女性で自分には必要がないと思っているという集団へは介入が必要。

<マーケティング見地>

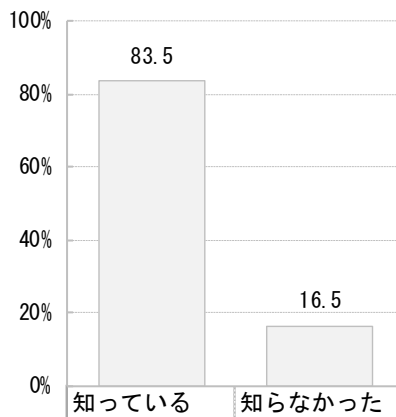
- ・18・19 歳、20～24 歳の若年層や未婚層は「かかりつけの婦人科・泌尿器科がある」割合が約 10～15%と低く、「どこに行けばいいかわからない」人が約 40%であることがわかった。

若年・未婚層向けに小千谷市内の「クリニックガイド」を作成し、目的別のクリニック情報、受診の目安、マップなどを掲載し、その情報を SNS やルナルナを通じて提供することが必要であると考え

【Q21】 性感染症が将来の不妊の原因になる可能性があることを知っていますか。

n = 30 以上

[比率の差]



		全体	知っている	知らなかった
全体		(1,092)	83.5	16.5
Q2 あなたの性別を教えてください。	男性	(443)	77.9	22.1
	女性	(626)	87.7	12.3
	回答しない	(23)	78.3	21.7
Q3 あなたの年齢を教えてください。	18・19歳	(53)	79.2	20.8
	20～24歳	(183)	89.1	10.9
	25～29歳	(253)	83.8	16.2
	30～34歳	(249)	80.7	19.3
	35～39歳	(354)	83.1	16.9
	それ以外	(0)	0.0	0.0
Q4 あなたの婚姻状況を教えてください。	既婚	(523)	86.0	14.0
	事実婚	(5)	40.0	60.0
	未婚	(533)	81.1	18.9
	死別	(1)	100.0	0.0
	離別	(27)	92.6	7.4
	その他	(3)	66.7	33.3

性感染症が将来の不妊の原因になる可能性についての認知度は、約 85%であった。
性別で見ると、「知っている」と回答した男性は約 80%とやや少なかった。
年齢別に見ると、特に 20～24 歳で「知っている」が約 90%と高くなり、婚姻状況による違いは見られなかった。

<医学・保健的見地>

- ・妊孕性に対して、男性の自分ごと化が必要。

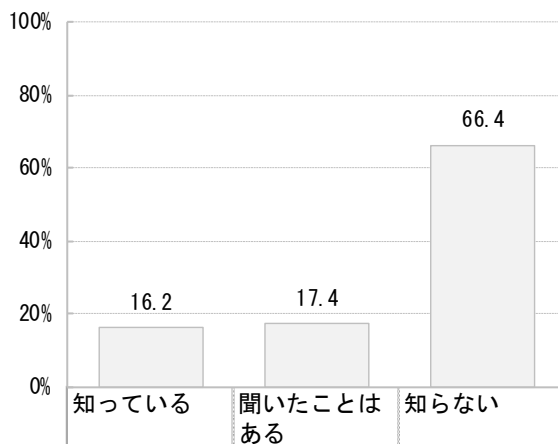
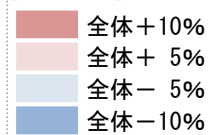
<マーケティング見地>

- ・性感染症が不妊の原因になることの認知度は全体で 80%以上と高く、20～24 歳では約 90%に達する。これに関する知識は定着しつつあるため、性感染症の疑いや不安を感じた際にどこに行けば良いか知っておくための情報発信をすべきである。若年・未婚層向けに小千谷市内の「クリニックガイド」の情報を市の LINE 公式アカウントや企業や施設のトイレに掲示するポスターなどで発信していくと良い。

【Q22】小千谷市では、不妊不育治療費の助成事業があります。知っていましたか。

n = 30 以上

[比率の差]



		全体	知っている	聞いたことはある	知らない
全体		(1,092)	16.2	17.4	66.4
Q2 あなたの性別を教えてください。	男性	(443)	10.6	17.6	71.8
	女性	(626)	20.4	17.6	62.0
	回答しない	(23)	8.7	8.7	82.6
Q3 あなたの年齢を教えてください。	18・19歳	(53)	0.0	9.4	90.6
	20～24歳	(183)	3.8	15.3	80.9
	25～29歳	(253)	13.0	17.8	69.2
	30～34歳	(249)	18.1	24.1	57.8
	35～39歳	(354)	26.0	14.7	59.3
	それ以外	(0)	0.0	0.0	0.0
Q4 あなたの婚姻状況を教えてください。	既婚	(523)	27.5	22.4	50.1
	事実婚	(5)	20.0	0.0	80.0
	未婚	(533)	4.5	12.4	83.1
	死別	(1)	0.0	0.0	100.0
	離別	(27)	29.6	22.2	48.1
	その他	(3)	0.0	33.3	66.7

小千谷市の不妊不育治療費助成事業の認知度は、「知っている」「聞いたことはある」が各約 15%、「知らない」が約 65%であった。

性別で見ると、男性の「知っている」割合がやや低い。

年齢別に見ると、18～24 歳で「知っている」と回答した割合は 5%未満と極めて低かった。30～34 歳は「聞いたことはある」がやや高く、35～39 歳では「知っている」が約 25%とやや高い傾向にあった。

婚姻状況別に見ると「知っている」と答えた既婚者は約 30%と高いが、未婚者は約 5%と少なかった。

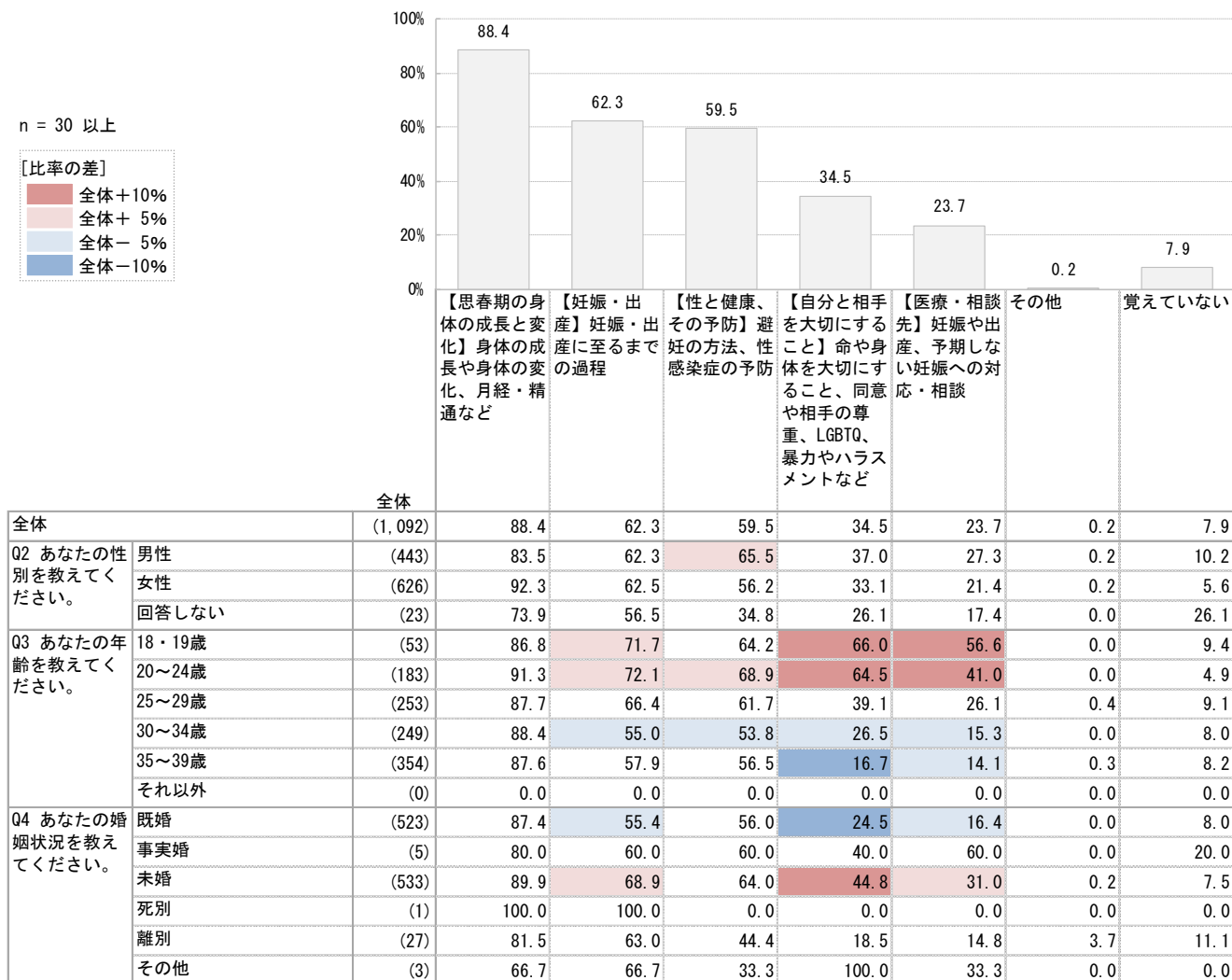
<医学・保健的見地>

- ・既婚であっても半数が認知していない状況。周知の工夫が必要。

<マーケティング見地>

- ・小千谷市の不妊不育治療費助成事業の認知度は、必要性が顕在化していないとされる 18・19 歳で 0%、20～24 歳では約 4%と極めて低い。また、婚姻状況別にみると未婚層で 5%以下であった。制度が必要になってから知るのではなく、若いうちから「小千谷市は将来子どもを望んだ際に手厚い金銭的サポートがあるまちだ」というイメージと安心感を定着させるための啓蒙活動が必要である。この認知が、将来の定住や出産意欲につながる可能性も高い。

【Q23】ご自身が小・中学校で学んだと記憶しているテーマについて、あてはまるものをすべて教えてください。



自身が小・中学校で学んだテーマの記憶について、「【思春期の身体の成長と変化】身体の成長や身体の変化、月経・精通など」は約90%が記憶していた。一方、「【妊娠・出産】妊娠・出産に至るまでの過程」や「【性と健康、その予防】避妊の方法、性感染症の予防」は約60%、「【自分と相手を大切にすること】命や身体を大切にすること、同意や相手の尊重、LGBTQ、暴力やハラスメントなど」は約35%、「【医療・相談先】妊娠や出産、予期しない妊娠への対応・相談」は約25%に留まった。

性別で見ると「性と健康、その予防」について記憶がある男性は約65%とやや多かった。

年齢別に見ると、18～24歳の若い層で「自分と相手を大切にすること」や「医療・相談先」の記憶がある割合が高く、30代以降では低くなる傾向が見られた。

婚姻状況別に見ると、「自分と相手を大切にすること」の記憶は未婚層で高く、既婚層で低い結果となった。

<医学・保健的見地>

- ・20代前半と20代後半以降とで分布が異なる点に注目したい。

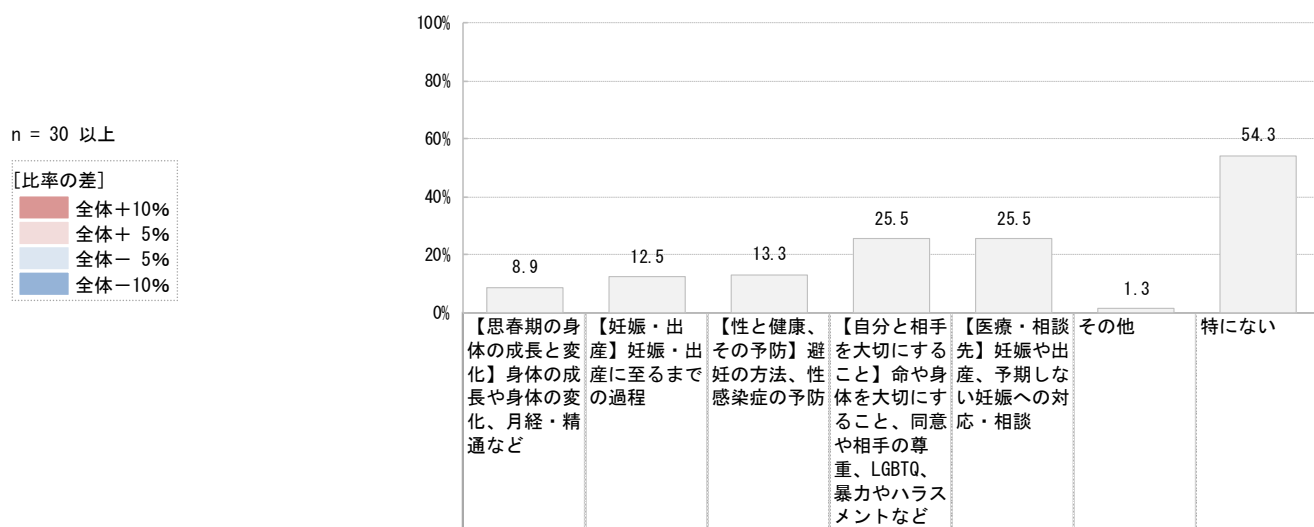
<小千谷市の見解>

- ・2012年以前から、保健の授業で性別の認識に関する内容や、困ったときの相談窓口について説明する機会を増やしていたことが影響している可能性がある。

<マーケティング見地>

- ・学校で学んだ記憶として「【思春期の身体の成長と変化】身体の成長や身体の変化、月経・精通など」は約90%と高いが「【自分と相手を大切にすること】命や身体を大切にすること、同意や相手の尊重、LGBTQ、暴力やハラスメントなど」や「【医療・相談先】妊娠や出産・予期しない妊娠への対応、相談」は年齢が上がるにつれて低い。学校教育だけでは補いきれないパートナーシップや具体的な相談先に関する情報を、社会人になっても継続的に学べる機会として提供する必要があると考える。

【Q24】 次のうち、今からでも知りたい内容がありますか。あてはまるものをすべて教えてください。



		全体	8.9	12.5	13.3	25.5	25.5	1.3	54.3
全体		(1,092)							
Q2 あなたの性別を教えてください。	男性	(443)	9.3	10.4	9.9	22.6	19.0	1.1	59.1
	女性	(626)	8.6	14.4	15.8	27.8	30.8	1.3	50.3
	回答しない	(23)	8.7	0.0	8.7	17.4	4.3	4.3	69.6
Q3 あなたの年齢を教えてください。	18・19歳	(53)	9.4	18.9	20.8	13.2	17.0	0.0	62.3
	20～24歳	(183)	10.4	19.1	17.5	25.7	37.2	2.2	42.1
	25～29歳	(253)	7.9	11.5	13.4	23.3	28.1	0.8	52.6
	30～34歳	(249)	7.2	12.0	12.4	24.1	21.3	1.2	59.8
	35～39歳	(354)	9.9	9.0	10.5	29.7	21.8	1.4	56.8
	それ以外	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
Q4 あなたの婚姻状況を教えてください。	既婚	(523)	9.2	10.3	8.6	26.0	21.0	1.0	58.3
	事実婚	(5)	20.0	20.0	20.0	40.0	20.0	0.0	60.0
	未婚	(533)	8.3	14.6	17.8	24.6	30.0	1.7	50.5
	死別	(1)	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	離別	(27)	14.8	11.1	3.7	25.9	18.5	0.0	59.3
	その他	(3)	0.0	0.0	66.7	66.7	33.3	0.0	0.0

Q23 のテーマのうち、今からでも知りたい内容については、「【自分と相手を大切にすること】命や身体を大切にすること、同意や相手の尊重、LGBTQ、暴力やハラスメントなど」と「【医療・相談先】妊娠や出産、予期しない妊娠への対応・相談」がいずれも約 25%、次いで「【妊娠・出産】妊娠・出産に至るまでの過程」と「【性と健康、その予防】避妊の方法、性感染症の予防」が約 15%となり、「【思春期の身体の成長と変化】身体の成長や身体の変化、月経・精通など」は 10%に満たなかった。年齢別に見ると、18・19 歳は「自分と相手を大切にすること」を知りたいと答えた割合が少なく、20～24 歳は「医療・相談先」について知りたいと答えた割合が多かった。婚姻状況別では有意な傾向の違いは見られなかった。

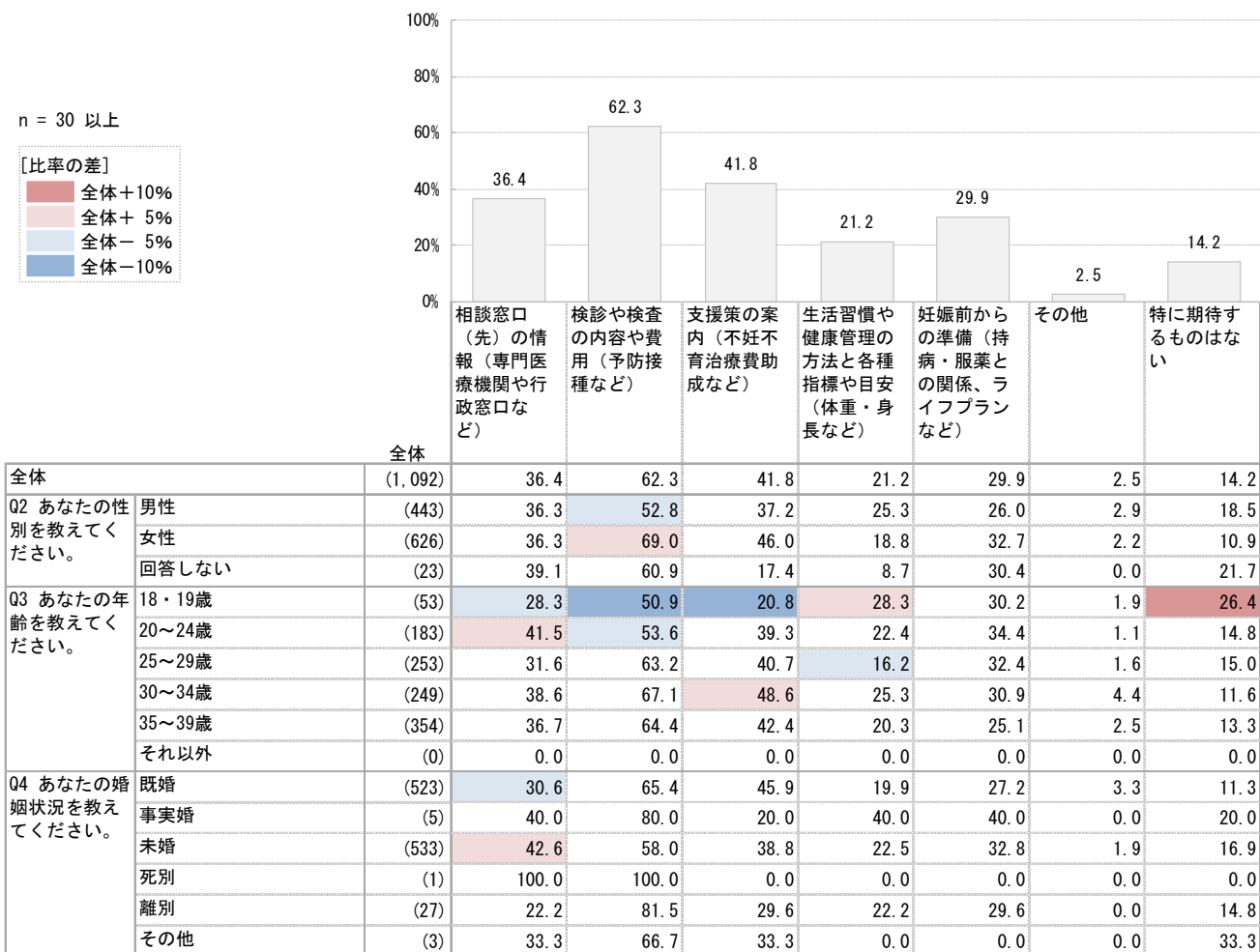
<医学・保健的見地>

- ・若年者において高校卒業後であっても出産、妊娠、性感染症等には学びのニーズがある。小中学校で学ばなかった項目（【自分と相手を大切にすること】命や身体を大切にすること、同意や相手の尊重、LGBTQ、暴力やハラスメントなど、【医療・相談先】妊娠や出産、予期しない妊娠への対応・相談）には 20 歳以降にニーズがある。対象に合わせた知識の啓発。子供がいれば一緒に参加するのも一案。

<マーケティング見地>

- ・今からでも知りたい内容として「【自分と相手を大切にすること】命や身体を大切にすること、同意や相手の尊重、LGBTQ、暴力やハラスメントなど」「【医療・相談先】妊娠や出産、予期しない妊娠への対応・相談」が約 25%で上位に挙がり、特に 20～24 歳で「【医療・相談先】妊娠や出産、予期しない妊娠への対応・相談」へのニーズが高い。単なる情報提供や健康講座ではなく、専門家との面談や同じ悩みを持つ人が集まる座談会など、人間関係の悩みや予期せぬトラブルの具体的な対処法をテーマにしたコンテンツや窓口があると良いと考える。その際は、個人が特定できないようにメタバースなどの仮想空間を活用することもひとつだと考える。

【Q25】小千谷市にどのような健康支援や情報提供を期待しますか。あてはまるものをすべて教えてください。



小千谷市からの健康支援や情報提供への期待について、全体で最も多かったのは「検診や検査の内容や費用（予防接種など）」で約 60%であった。次いで、「支援策の案内（不妊不育治療費助成など）」が約 40%、「相談窓口（先）の情報（専門医療機関や行政窓口など）」が約 35%、「妊娠前からの準備（持病・服薬との関係、ライフプランなど）」が約 30%、「生活習慣や健康管理の方法と各種指標や目安（体重・身長など）」が約 20%と続いた。

性別で見ると、「検診や検査の内容や費用（予防接種など）」については男性がやや低く、女性がやや高い傾向にある。

年齢別に見ると、18・19歳の「検診や検査の内容や費用（予防接種など）」と「支援策の案内（不妊不育治療費助成など）」が低く、これに伴い「特に期待するものはない」の割合が高かった。

婚姻状況別に見ると、未婚者で「相談窓口（先）の情報（専門医療機関や行政窓口など）」への期待がやや高く、約 40%であった。

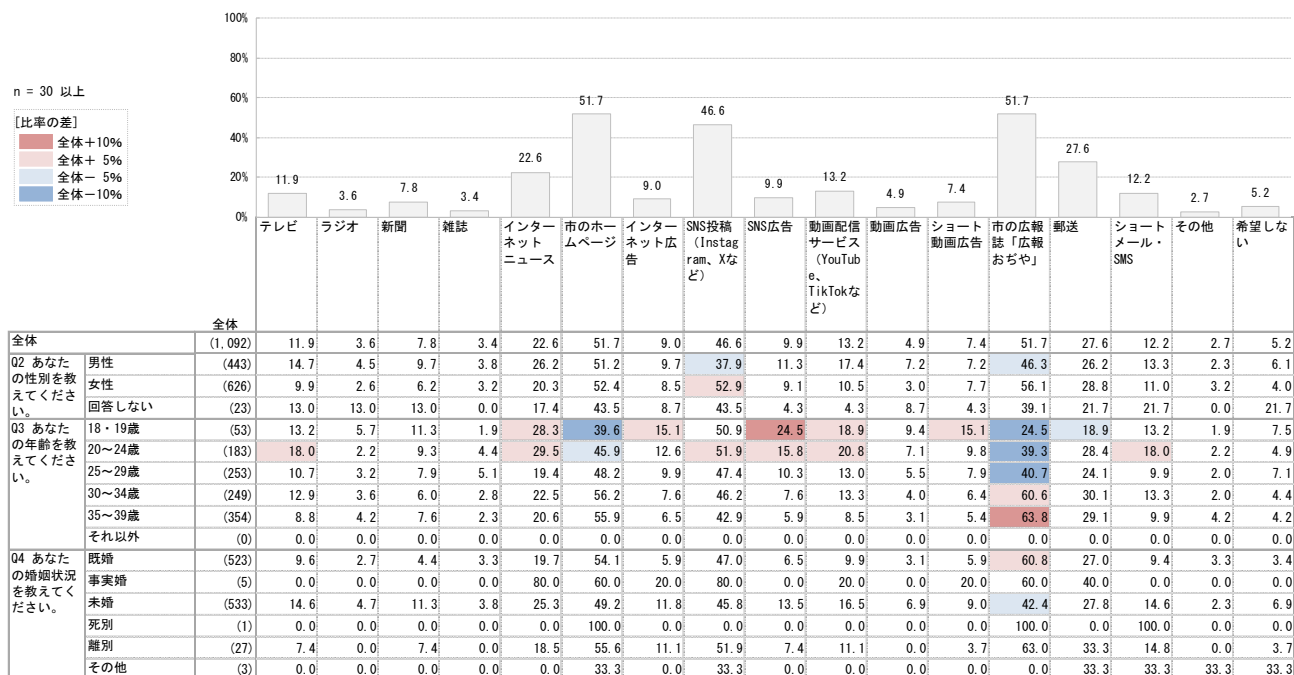
<医学・保健的見地>

- ・行政に求める情報提供内容とその方法が年代によって異なるため、それぞれに合わせた介入を検討すべき。

<マーケティング見地>

- ・市に期待する支援のトップは「検診や検査の内容や費用（予防接種など）」で約 60%。10代は「期待するものはない」が他年齢よりも高く約 25%であることから、健康ついてまだ自分ごと化できていないことも予想される。プレコンセプションケアの重要性を若年層のニーズに合わせたことばで訴求する必要がある。未婚層は「相談窓口（先）の情報（専門医療機関や行政窓口など）」への期待がやや高いため、窓口見学会の開催や未婚者の相談事例の公開など、相談しやすくなるコンテンツを整備したい。

【Q26】小千谷市から健康支援や情報提供を受け取る際、どのような情報の伝え方を希望しますか。あてはまるものをすべて教えてください。



小千谷市から健康支援や情報提供を受け取る際の希望する伝え方は、全体で「市のホームページ」と「市の広報誌『広報おぢや』」が最も多く約 50%であった。次いで「SNS 投稿（Instagram、X など）」が約 45%、「郵送」が約 30%となった。

性別で見ると、男性は「SNS 投稿（Instagram、X など）」および「市の広報誌『広報おぢや』」の回答がやや低く、女性は「SNS 投稿（Instagram、X など）」の回答がやや高い。

年齢別に見ると、18・19 歳は「SNS 広告」の回答が約 25%と高い一方、「市のホームページ」や「市の広報誌『広報おぢや』」は低い傾向が見られた。

「市の広報誌『広報おぢや』」は、年齢別に見ると 18・19 歳、20～24 歳、25～29 歳で低く、30～34 歳でやや高く、35～39 歳で高い傾向にある。婚姻状況別では既婚者で高く、未婚者で低いことがわかった。

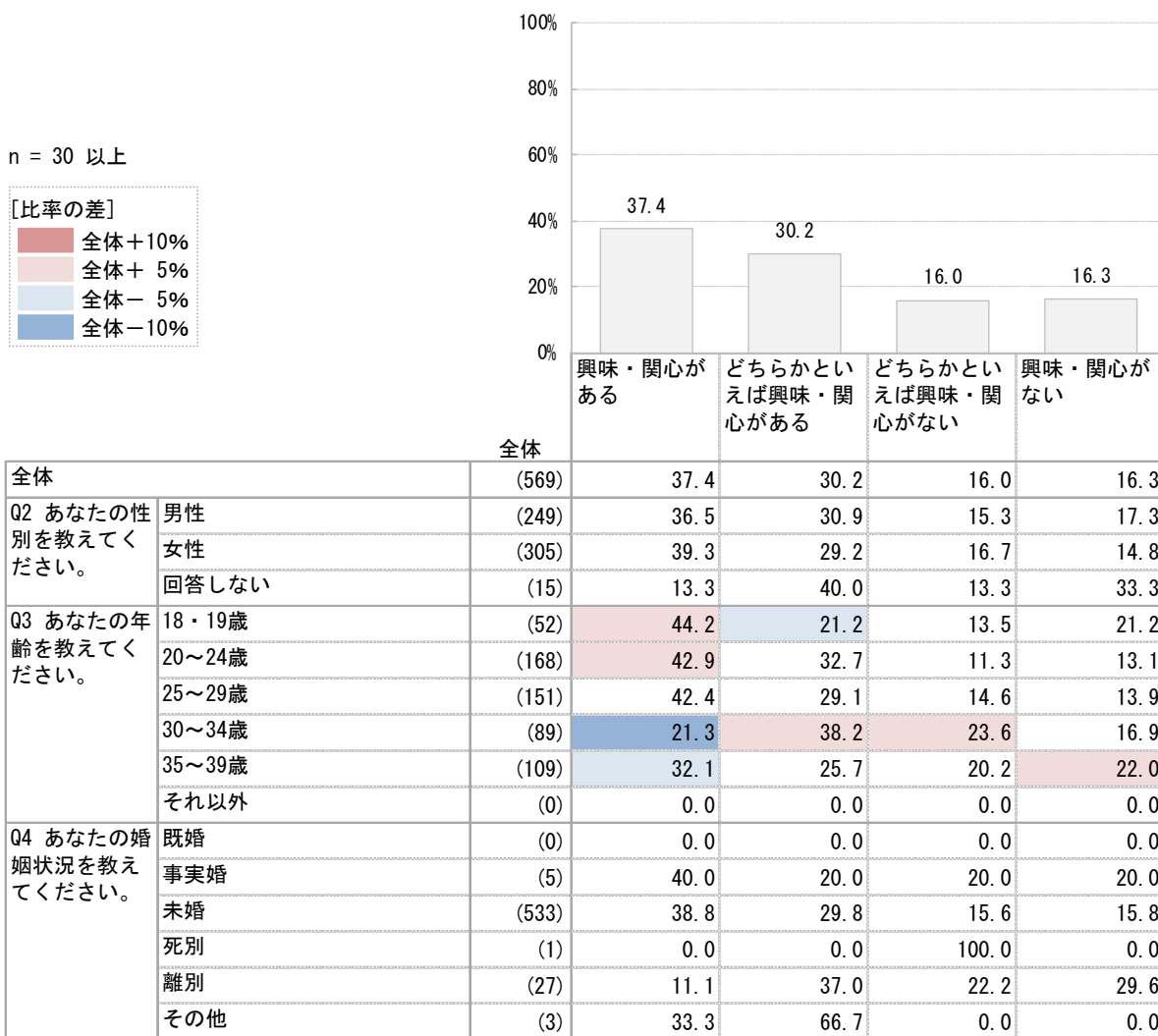
<医学・保健的見地>

- ・行政に求める情報提供内容とその方法が年代によって異なるため、それぞれに合わせた介入を検討すべき。

<マーケティング見地>

- ・情報を受け取るチャネルは、18・19 歳が「SNS 広告」や「インターネットニュース」、「動画配信サービス」を好む一方、年齢が上がるにつれ「市の広報誌『広報おぢや』」の希望が高くなる。ひとつの施策に特化した広報ではなく、ターゲットに応じた明確なメディアミックスが必要である。若年層には Instagram のリールや YouTube ショート、TikTok などのショート動画で興味喚起を図り「SNS 広告」でクリックを促し、詳細情報を市の WEB サイトで見ってもらうなど、情報を取得してもらうための導線を設計する必要があると考える。

【Q27】結婚に対してどのようなイメージを持っていますか。



(Q4で「既婚」を選択しなかった569名が回答)

婚姻状況別・年齢別集計

		全体	興味・関心がある	どちらかといえば興味・関心がある	どちらかといえば興味・関心がない	興味・関心がない
全体		(569)	213	172	91	93
Q4 あなたの婚姻状況を教えてください。 x Q3 あなたの年齢を教えてください。	未婚	(533)	37.4	30.2	16.0	16.3
			207	159	83	84
	18・19歳	(52)	38.8	29.8	15.6	15.8
			23	11	7	11
	20～24歳	(165)	44.2	21.2	13.5	21.2
			71	53	19	22
	25～29歳	(141)	43.0	32.1	11.5	13.3
			61	39	21	20
30～34歳	(85)	43.3	27.7	14.9	14.2	
		18	34	20	13	
35～39歳	(90)	21.2	40.0	23.5	15.3	
		34	22	16	18	
それ以外	(0)	37.8	24.4	17.8	20.0	
		0	0	0	0	
		0.0	0.0	0.0	0.0	

(本表はQ4で「未婚」を選択した533名が回答)

既婚者以外に聞いた結婚に対するイメージは、全体で見ると「興味・関心がある」が約35%、「どちらかといえば興味・関心がある」が約30%であった。一方で「どちらかといえば興味・関心がない」と「興味・関心がない」はいずれも約15%という結果だった。

年齢別に見ると、18・19歳および20～24歳で「興味・関心がある」と回答した割合がやや高く、30～34歳で低くなり、35～39歳でもやや低くなる傾向が見られた。

<医学・保健的見地>

- ・質問・選択肢が異なるため、直接比較はできないが、内閣府の「今後の結婚願望」に関する調査と比較すると、同程度と推測される。

参考：男女共同参画白書 令和4年版 今後の結婚願望（独身者）

https://www.gender.go.jp/about_danjo/whitepaper/r04/zentai/html/zuhyo/zuhyo00-39.html

<マーケティング見地>

- ・未婚層のうち「興味・関心がある」と回答した18・19歳は、約40%と他年齢よりもやや高い。30～34歳は「興味・関心がある」が約20%で他年齢よりも低い、「どちらかといえば興味・関心がある」が約40.0%で他年齢よりも高いことがわかった。

【Q28】 前問で「{Q27の回答}」と回答した理由をできるだけ具体的に教えてください。

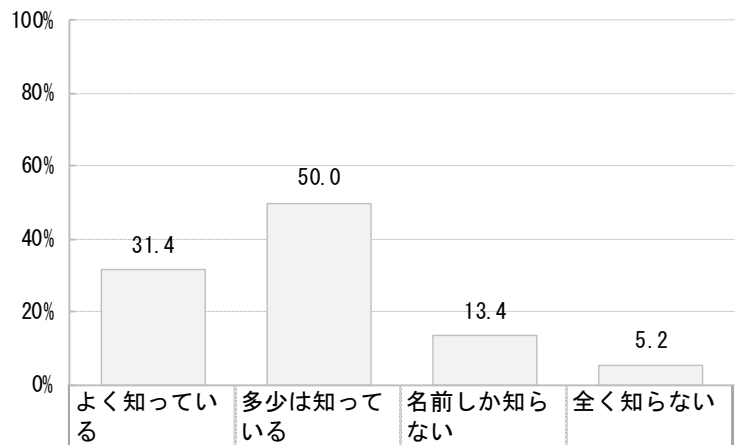
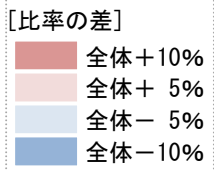
※フリー回答の一覧は、単純集計結果（本設問）に掲載

<マーケティング見地>

- ・ Q27で「興味・関心がある」「どちらかといえば興味・関心がある」と回答した人の Q28 のその理由を見ると、男女ともに、孤独への不安感がありつつも、結婚に対するポジティブなイメージがあり、充実、素敵、幸せ、安心、楽しみが増えるというキーワードが用いられている。
- ・ 一方で「どちらかといえば興味・関心がない」と「興味・関心がない」と回答した人の Q28 のその理由を見ると、男性は負担感や経済的な不安、自由な時間がなくなる、プライベートで他人を受け入れたくないという意見が目立った。女性は、現在の生活の満足感が高いことに加え、法・制度への不満や届け出・申請の負担などの意見があった。ネガティブなイメージのキーワードとしては、ストレス、想像できない、デメリット、自信がない、一人の方が楽しい、面倒、不利、負担などが挙がった。昨今は SNS やインターネットニュースでも、夫婦トラブル、家族トラブルが話題を集めやすくなっていた。以前は他人に見えづらかった家族間の問題が、SNS 上の著名投稿などにより表面化し、共感者を集めてしまっている。このサイクルをポジティブに活用できるよう、結婚して良かったこと、子どもがいて良かったこと、家族がいて良かったことを発信し、若いうちから結婚へのポジティブなイメージを持ってもらうことも重要だと考える。

【Q29】 出産の前後に女性が取得できる「産前産後休業（産休）」、育児をする男女がともに活用できる「育児休業（育休）」の制度内容を知っていますか。

n = 30 以上



		全体	よく知っている	多少は知っている	名前しか知らない	全く知らない
全体		(1,092)	31.4	50.0	13.4	5.2
Q2 あなたの性別を教えてください。	男性	(443)	26.4	50.8	16.3	6.5
	女性	(626)	35.8	49.5	10.9	3.8
	回答しない	(23)	8.7	47.8	26.1	17.4
Q3 あなたの年齢を教えてください。	18・19歳	(53)	17.0	47.2	26.4	9.4
	20～24歳	(183)	25.1	53.0	15.8	6.0
	25～29歳	(253)	28.5	48.6	18.2	4.7
	30～34歳	(249)	33.7	50.6	10.0	5.6
	35～39歳	(354)	37.3	49.4	9.0	4.2
	それ以外	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0
Q4 あなたの婚姻状況を教えてください。	既婚	(523)	44.2	46.3	5.9	3.6
	事実婚	(5)	20.0	60.0	20.0	0.0
	未婚	(533)	18.6	53.8	20.8	6.8
	死別	(1)	0.0	100.0	0.0	0.0
	離別	(27)	40.7	48.1	7.4	3.7
	その他	(3)	33.3	0.0	33.3	33.3

「産前産後休業（産休）」と「育児休業（育休）」の制度内容の認知度については、「よく知っている」が約 30%、「多少は知っている」が 50%であり、合わせて約 80%以上が制度内容を知っていることがわかった。

性別による大きな傾向の違いはないが、年齢別に見ると 18・19 歳は「よく知っている」が少なく、20～24 歳もやや少ない。反対に 35～39 歳は「よく知っている」が約 35%とやや高い傾向にある。婚姻状況別に見ると「よく知っている」と回答した割合は既婚者が約 45%で多く、未婚者は約 20%程度で少ない結果となった。

<医学・保健的見地>

- ・参考の調査結果では、18 から 25 歳で育休について「名称は聞いたことがあるが、内容は知らない」が、25.8%であった。本調査結果では、「名前しか知らない」の回答が、18・19 歳で 26.4%だが、20～24 歳で 15.8%、25～29 歳で 18.2%と 20 歳前半では「名前しか知らない」が少なく、育休を認知する割合は若干高いと言える。

参考：若年層における育児休業等取得に対する意識調査（速報値）

厚生労働省イクメンプロジェクト（P5）

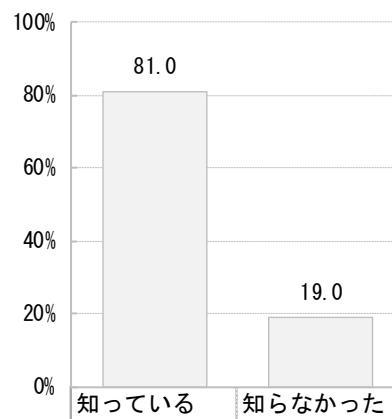
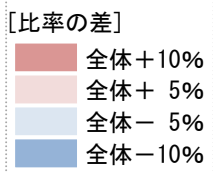
https://ikumen-project.mhlw.go.jp/assets/pdf/event/report_R5_2.pdf

<マーケティング見地>

- ・産休・育休制度の内容は全体で 80%以上が認知しているが、18・19 歳や未婚者では「よく知っている」割合が低く「名前しか知らない」が高い。若年層や未婚層に対しても、将来の仕事と子育ての両立がイメージできるよう、市内の企業と連携して若年社員向けのライフプランニング研修や制度説明の場を設けることもできるのではないかと考える。仕事を続けながら子育てができる環境があることを市と企業が連携して周知させることで、安心して働き続けられるイメージを訴求したい。

【Q30】子どもが生まれた時に男性が活用できる「出生時育児休業（産後パパ育休）」という制度を知っていますか。

n = 30 以上



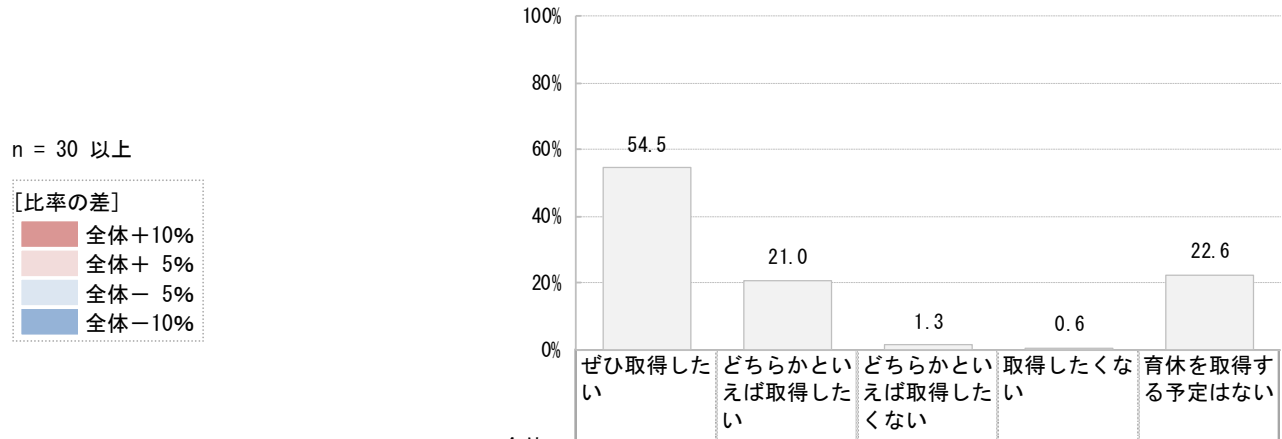
		全体	知っている	知らなかった
全体		(1,092)	81.0	19.0
Q2 あなたの性別を教えてください。	男性	(443)	77.2	22.8
	女性	(626)	84.3	15.7
	回答しない	(23)	65.2	34.8
Q3 あなたの年齢を教えてください。	18・19歳	(53)	77.4	22.6
	20～24歳	(183)	78.7	21.3
	25～29歳	(253)	77.9	22.1
	30～34歳	(249)	81.1	18.9
	35～39歳	(354)	85.0	15.0
	それ以外	(0)	0.0	0.0
Q4 あなたの婚姻状況を教えてください。	既婚	(523)	85.3	14.7
	事実婚	(5)	80.0	20.0
	未婚	(533)	76.9	23.1
	死別	(1)	100.0	0.0
	離別	(27)	85.2	14.8
	その他	(3)	33.3	66.7

「出生時育児休業（産後パパ育休）」という制度の認知度については、「知っている」が約 80%、「知らなかった」が約 20%であり、性別、年齢、婚姻状況による顕著な傾向は見られなかった。

<マーケティング見地>

- ・「産後パパ育休」の認知度は約 80%と高いが、既婚・子ども 0 人で「知らなかった」と回答した人は約 25%、未婚・子ども 0 人で「知らなかった」と回答した人も約 20%であった。この制度の認知は、子どもがいる人に高い傾向があり、子どもがいない人に低い傾向があるため、子どもを産む前、結婚を考える前の人にも知ってもらう工夫が必要である。制度の対象になる前から認知を上げ、取得率を上げるためにも市と企業が連携し、社内外を問わない取得者のロールモデル提示や、企業風土の改善事例を発信することなどが求められる。

【Q31】今後、「産前・産後休業（産休）」や「育児休業（育休）」、「出生時育児休業（産後パパ育休）」を取得したいですか。



		全体	ぜひ取得したい	どちらかとい えば取得した い	どちらかとい えば取得した くない	取得したくな い	育休を取得す る予定はない
全体		(1,092)	54.5	21.0	1.3	0.6	22.6
Q2 あなたの性別を教えてください。	男性	(443)	42.0	31.2	2.0	1.4	23.5
	女性	(626)	63.9	13.9	0.8	0.2	21.2
	回答しない	(23)	39.1	17.4	0.0	0.0	43.5
Q3 あなたの年齢を教えてください。	18・19歳	(53)	45.3	30.2	1.9	0.0	22.6
	20～24歳	(183)	61.7	20.8	1.6	1.1	14.8
	25～29歳	(253)	63.2	18.2	1.2	0.0	17.4
	30～34歳	(249)	57.8	18.9	1.6	0.8	20.9
	35～39歳	(354)	43.5	23.2	0.8	0.8	31.6
	それ以外	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
Q4 あなたの婚姻状況を教えてください。	既婚	(523)	59.1	17.4	1.3	0.6	21.6
	事実婚	(5)	80.0	0.0	0.0	0.0	20.0
	未婚	(533)	50.7	24.8	1.3	0.6	22.7
	死別	(1)	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	離別	(27)	40.7	18.5	0.0	0.0	40.7
	その他	(3)	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0

Q11 の回答別集計

		全体	ぜひ取得したい	どちらかとい えば取得した い	どちらかとい えば取得した くない	取得したくな い	育休を取得す る予定はない
全体		(1092)	595	229	14	7	247
Q11 今後、自分の子どもを持ちたいという希望はありますか。既に子どもがいる方も今後のこととして教えてください。	具体的に希望している	(209)	162	36	2	1	8
	ぼんやりと希望している	(335)	231	82	10	1	11
	今のところ希望していない	(421)	69.0	24.5	3.0	0.3	3.3
	決めていない	(127)	146	78	2	3	192
			34.7	18.5	0.5	0.7	45.6
		56	33	0	2	36	
		44.1	26.0	0.0	1.6	28.3	

今後の「産前・産後休業（産休）」や「育児休業（育休）」、「出生時育児休業（産後パパ育休）」の取得意向について、「ぜひ取得したい」と回答した割合は約 55%であった。次いで「どちらかといえば取得したい」が約 20%、「育休を取得する予定はない」が約 20%となった。

性別で見ると、男性は「ぜひ取得したい」の割合が低く、「どちらかといえば取得したい」の割合が高い。一方女性は「ぜひ取得したい」がやや高く、「どちらかといえば取得したい」がやや低い。

年齢別に見ると、「ぜひ取得したい」の割合は 18・19 歳で約 45%とやや低く、20～24 歳および 25～29 歳では約 60%とやや高くなった。なお、35～39 歳の「ぜひ取得したい」割合は約 45%と低めであった。婚姻状況別の傾向は見られなかった。

<医学・保健的見地>

- ・子どもが欲しい人で育休を取得したい人の割合は 9 割を超えている。実際の取得者の全国割合は女性 86.6%、男性 40.5%であるため、男性も入れて 9 割を超えるのであれば、取得希望の割合は高い可能性がある。Q32 にもかかわるが、希望に合わせて育休が取れるように、事業所も受け入れやすい体制作りをしていただくように介入が必要。

参考：令和 6 年度雇用均等基本調査

<https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/dl/71-r06/06.pdf>

<マーケティング見地>

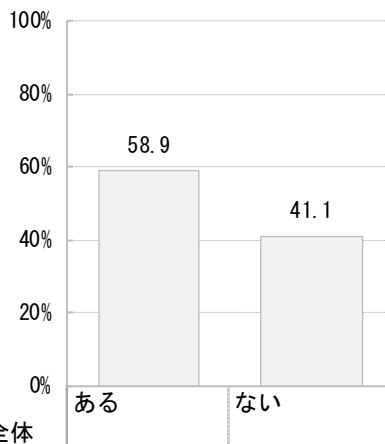
- ・それぞれの休業を「ぜひ取得したい」という意向は全体で約 55%。男性よりも女性が高く、また 20～24 歳、25～29 歳で約 60%と高い。取得意向の高い 20 代の希望を実現させるため、個人への情報提供だけでなく、市内の企業にも協力を仰ぎ、男女ともに気兼ねなく制度を利用できる職場環境の整備を市が後押しする必要があると考える。例えば、男性の育児休業取得実績のない企業が、初めて制度を活用する場合は、市の担当者が手続きのフォローをする、取得実績をつくり復帰した社員への育児サポートや保育サービスの支援を充実させるなど、市と企業が連携することで、制度取得率を上げていくことができると考える。

【Q32】 これまでに育児休業を取得したことはありますか。

n = 30 以上

[比率の差]

全体+10%
全体+ 5%
全体- 5%
全体-10%



		全体	ある	ない
全体		(433)	58.9	41.1
Q2 あなたの性別を教えてください。	男性	(144)	31.3	68.8
	女性	(282)	73.0	27.0
	回答しない	(7)	57.1	42.9
Q3 あなたの年齢を教えてください。	18・19歳	(0)	0.0	0.0
	20～24歳	(6)	83.3	16.7
	25～29歳	(62)	59.7	40.3
	30～34歳	(131)	64.9	35.1
	35～39歳	(234)	54.7	45.3
	それ以外	(0)	0.0	0.0
Q4 あなたの婚姻状況を教えてください。	既婚	(403)	59.1	40.9
	事実婚	(1)	0.0	100.0
	未婚	(4)	25.0	75.0
	死別	(1)	0.0	100.0
	離別	(23)	69.6	30.4
	その他	(1)	0.0	100.0

(Q5で「0人」を選択しなかった433名が回答)

過去の育児休業の取得について全体で見ると「ある」が約 60%、「ない」が約 40%であった。性別で見ると、男性で「ある」と回答した割合は低く約 30%であり、一方の女性は「ある」と回答した割合が約 75%で高い。年齢別に見ると、30～34 歳で「ある」が約 65%とやや高く、「ない」は約 35%であった。

<医学・保健的見地>

- ・厚生労働省が発表した「令和 6 年度雇用均等基本調査」育児休業制度の利用状況では、女性が 86.6% (P15)、男性が 40.5% (P15) であった。本調査では、女性が 73.0%、男性 31.3%と、男女それぞれ約 10%程度低い。

参考：令和 6 年度雇用均等基本調査

<https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/dl/71-r06/06.pdf>

<マーケティング見地>

- ・育休取得率は、女性が約 75%であるのに対し男性は約 30%と大きなギャップがある。男性の育休取得を阻む要因を解消するため、企業側へのインセンティブ制度や優良企業であることを市から PR するなど、地域全体で男女ともに育児休業を取得しやすい雰囲気をつくる必要がある。

性別・年齢別集計

		全体	仕事が忙しかったから	同僚・上司の理解が得られなかったから	取りづらい雰囲気だったから	昇進等に影響があると思ったから	収入が減るため家計を維持できなくなったから	親や配偶者に育児を頼んだから	保育園などの施設に預けたから	出産を機に仕事を辞めたから	制度がなかったから	その他
全体		(178)	47 26.4	17 9.6	39 21.9	6 3.4	32 18.0	29 16.3	5 2.8	47 26.4	24 13.5	27 15.2
Q2 あなたの性別を教えてください。 x Q3 あなたの年齢を教えてください。	男性	(99)	42 42.4	13 13.1	32 32.3	5 5.1	28 28.3	26 26.3	3 3.0	2 2.0	11 11.1	11 11.1
	18・19歳	(0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	20~24歳	(0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	25~29歳	(12)	5 41.7	2 16.7	5 41.7	1 8.3	2 16.7	0 0.0	0 0.0	1 8.3	2 16.7	1 8.3
	30~34歳	(29)	14 48.3	3 10.3	13 44.8	0 0.0	10 34.5	8 27.6	1 3.4	0 0.0	1 3.4	4 13.8
	35~39歳	(58)	23 39.7	8 13.8	14 24.1	4 6.9	16 27.6	18 31.0	2 3.4	1 1.7	8 13.8	6 10.3
	それ以外	(0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	女性	(76)	4 5.3	4 5.3	7 9.2	1 1.3	4 5.3	3 3.9	2 2.6	44 57.9	12 15.8	16 21.1
	18・19歳	(0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	20~24歳	(1)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
	25~29歳	(11)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 9.1	0 0.0	7 63.6	2 18.2	3 27.3
	30~34歳	(17)	1 5.9	1 5.9	1 5.9	0 0.0	1 5.9	1 5.9	0 0.0	6 35.3	2 11.8	7 41.2
	35~39歳	(47)	3 6.4	3 6.4	6 12.8	1 2.1	3 6.4	1 2.1	2 4.3	31 66.0	8 17.0	5 10.6
	それ以外	(0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	回答しない	(3)	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	1 33.3	0 0.0
	18・19歳	(0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	20~24歳	(0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	25~29歳	(2)	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0
	30~34歳	(0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
35~39歳	(1)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	
それ以外	(0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	

育児休業を取得しなかった・できなかった理由は、「仕事が忙しかったから」と「出産を機に仕事を辞めたから」がいずれも約 25%であった。次いで「取りづらい雰囲気だったから」と「収入が減るため家計を維持できなくなったから」が各約 20%、「親や配偶者に育児を頼んだから」と「制度がなかったから」が各約 15%、「同僚・上司の理解が得られなかったから」が約 10%となった。

性別で見ると、男性は「仕事が忙しかったから」「取りづらい雰囲気だったから」「収入が減るため家計を維持できなくなったから」の回答割合が高い。反対に女性はこれらの項目が低く「出産を機に仕事を辞めたから」が高い傾向にある。

年齢別に見ると、30～34歳で「仕事が忙しかったから」「取りづらい雰囲気だったから」「収入が減るため家計を維持できなくなったから」の回答割合がやや高く、「出産を機に仕事を辞めたから」は低かった。

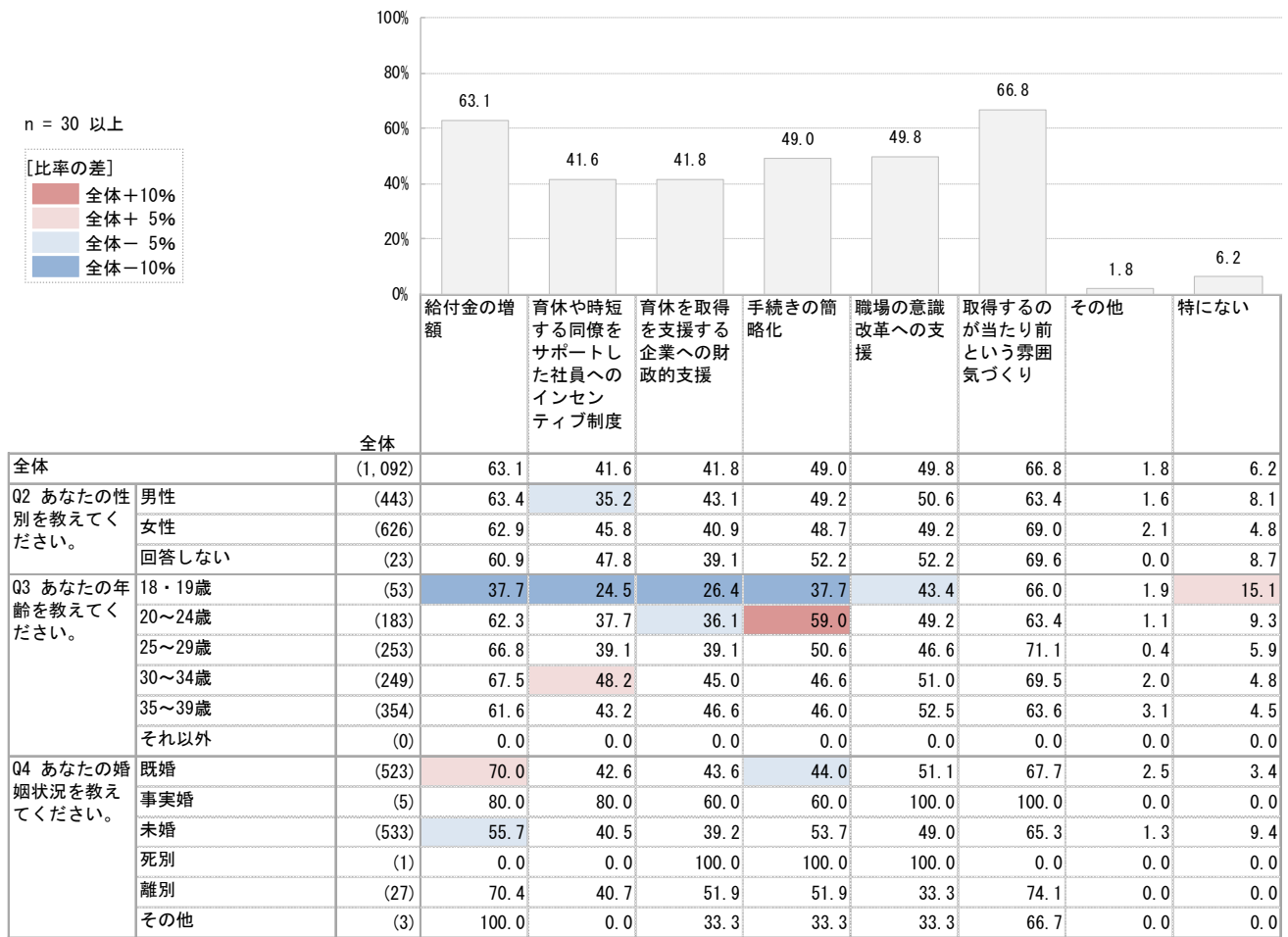
<医学・保健的見地>

- ・仕事の忙しさや職場の雰囲気の改善、収入の保証などが必要。行政から職場へのアプローチを検討すべき。

<マーケティング見地>

- ・育休を取得しなかった理由は、男性において「仕事が忙しかったから」「取りづらい雰囲気だったから」「収入が減るため家計を維持できなくなったから」の回答が特に高い。男性の取得を促進するためには、職場の雰囲気改善や業務の属人化解消が必須であり、代替要員を確保する企業への財政的支援や、男性育休を推進する経営者の意識改革を促す施策が有効であると考えられる。

【Q34】育休制度に対して「こうなれば使いやすい」という要望はありますか。あてはまるものをすべて教えてください。



育休制度に対して「こうなれば使いやすい」という要望は、「給付金の増額」と「取得するのが当たり前という雰囲気づくり」がいずれも約 65%であった。次いで「手続きの簡略化」と「職場の意識改革への支援」が約 50%、「育休や時短する同僚をサポートした社員へのインセンティブ制度」と「育休を取得を支援する企業への財政的支援」が約 40%となった。

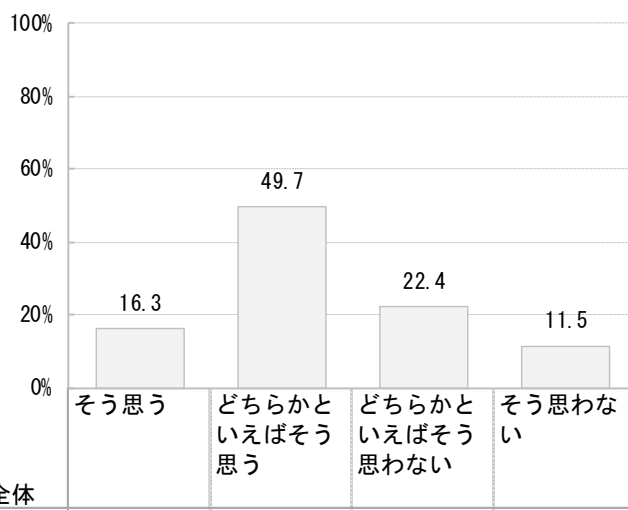
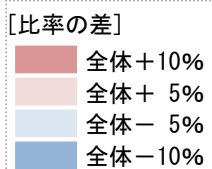
性別で見ると、「育休や時短する同僚をサポートした社員へのインセンティブ制度」と回答した男性は 35% となりやや低かった。年齢別に見ると、18・19 歳はいずれの項目も低い傾向にある一方で、20～24 歳は「手続きの簡略化」が約 60%と高い傾向が見られた。

<マーケティング見地>

- ・育休制度への要望は「取得するのが当たり前という雰囲気づくり」が約 65%でトップ。次いで、「給付金の増額」も 60%以上から要望があった。経済的支援の充実に加え、職場内での理解促進が強く求められている。「子育てするならダンゼン小千谷！」の取り組みの企業版をつくり、企業への支援を拡充することで、経営者にメリットを与え、対象者が取得しやすい雰囲気を醸成していきたい。

【Q35】小千谷市は「子育てするならダンゼン小千谷！」声かけ作戦など、子育て支援に力を入れていますが、小千谷市は子育てしやすい環境だと思いますか。子育て経験のない方は、小千谷市で子育てをしてみたいと思いますか。

n = 30 以上



		全体	16.3	49.7	22.4	11.5
全体		(1,092)				
Q2 あなたの性別を教えてください。	男性	(443)	16.3	47.0	22.8	14.0
	女性	(626)	16.5	52.2	21.9	9.4
	回答しない	(23)	13.0	34.8	30.4	21.7
Q3 あなたの年齢を教えてください。	18・19歳	(53)	18.9	41.5	28.3	11.3
	20～24歳	(183)	15.8	50.8	19.7	13.7
	25～29歳	(253)	15.8	49.0	24.5	10.7
	30～34歳	(249)	14.9	53.0	20.1	12.0
	35～39歳	(354)	17.5	48.6	23.2	10.7
	それ以外	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0
Q4 あなたの婚姻状況を教えてください。	既婚	(523)	21.2	51.6	18.7	8.4
	事実婚	(5)	0.0	60.0	20.0	20.0
	未婚	(533)	12.0	47.5	26.3	14.3
	死別	(1)	0.0	0.0	0.0	100.0
	離別	(27)	11.1	55.6	22.2	11.1
	その他	(3)	0.0	66.7	0.0	33.3

婚姻状況別・子どもの人数別集計

		全体	そう思う	どちらかとい えばそう思う	どちらかとい えばそう思わ ない	そう思わない
全体		(1092)	178 16.3	543 49.7	245 22.4	126 11.5
Q4 あなたの婚 姻状況を教え てください。 x 05 あなたの 子どもの人数 を教えてください。	既婚	(523)	111 21.2	270 51.6	98 18.7	44 8.4
	0人	(120)	28 23.3	52 43.3	26 21.7	14 11.7
	1人	(138)	39 28.3	79 57.2	13 9.4	7 5.1
	2人	(209)	35 16.7	115 55.0	40 19.1	19 9.1
	3人	(39)	4 10.3	20 51.3	13 33.3	2 5.1
	4人以上	(17)	5 29.4	4 23.5	6 35.3	2 11.8
	事実婚	(5)	0 0.0	3 60.0	1 20.0	1 20.0
	0人	(4)	0 0.0	2 50.0	1 25.0	1 25.0
	1人	(1)	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
	2人	(0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	3人	(0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	4人以上	(0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	未婚	(533)	64 12.0	253 47.5	140 26.3	76 14.3
	0人	(529)	64 12.1	251 47.4	138 26.1	76 14.4
	1人	(4)	0 0.0	2 50.0	2 50.0	0 0.0
	2人	(0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	3人	(0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	4人以上	(0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	死別	(1)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
	0人	(0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	1人	(1)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
	2人	(0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	3人	(0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	4人以上	(0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	離別	(27)	3 11.1	15 55.6	6 22.2	3 11.1
	0人	(4)	0 0.0	2 50.0	1 25.0	1 25.0
	1人	(16)	2 12.5	10 62.5	3 18.8	1 6.3
	2人	(5)	0 0.0	3 60.0	2 40.0	0 0.0
	3人	(0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	4人以上	(2)	1 50.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0
	その他	(3)	0 0.0	2 66.7	0 0.0	1 33.3
	0人	(2)	0 0.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0
1人	(1)	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	
2人	(0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
3人	(0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
4人以上	(0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	

小千谷市の子育て環境の評価、または未経験者における子育て意向を聞いたところ、「そう思う」は約 15%、「どちらかといえばそう思う」は約 50%、「どちらかといえばそう思わない」は約 20%、「そう思わない」は約 10%であった。

年齢別に見ると、18・19 歳で「どちらかといえばそう思う」と答えた割合がやや低く、それに伴い「どちらかといえばそう思わない」と答えた割合がやや高かった。

婚姻状況別による有意な傾向は見られなかった。

<医学・保健的見地>

- ・3人以上の世帯への手厚い介入が必要な可能性がある。

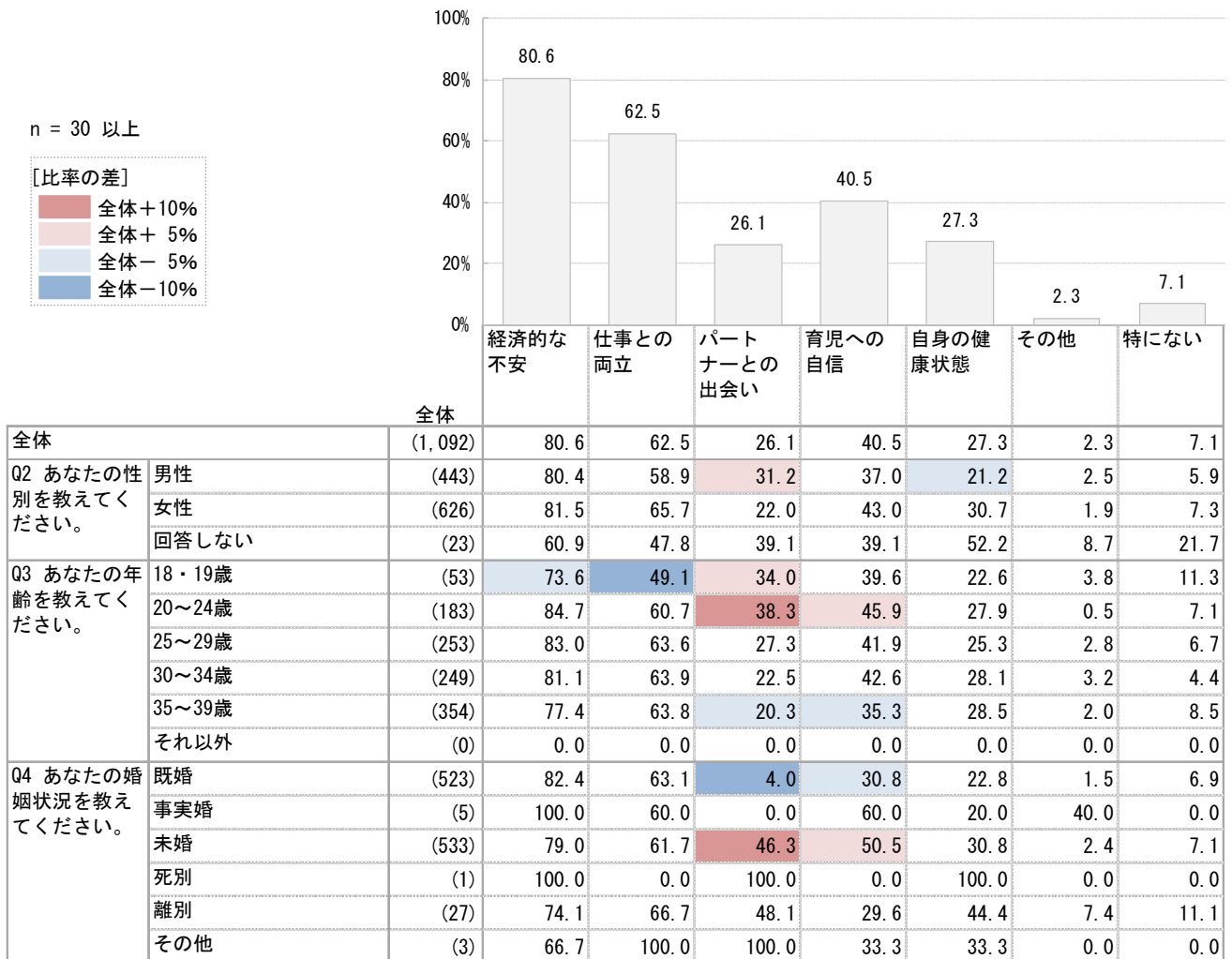
<マーケティング見地>

- ・小千谷市が、子育てしやすい環境であるかという質問に対して、「そう思う」と回答した割合は、既婚・子どもが1人（n=138）は 28.3%、既婚・子どもが2人（n=209）は 16.7%、既婚・子どもが3人（n=39）は 10.3%となり、子どもの人数が増えると低くなる傾向がみえた。また全体の n 数を参考にすると子どもが3人いる世帯が少ないこともよくわかる。

また、18・19 歳は他世代よりも「どちらかといえばそう思う」と回答する割合がやや低く、「どちらかといえばそう思わない」と回答した割合がやや高いこともわかった。

「子育てするならダンゼン小千谷！」という市の取り組みやメッセージが若年層に十分に届いていない可能性がある。ターゲットとしたい若年層の共感を呼ぶキャッチコピーやビジュアルを用いて、取り組みを再構築・発信する必要があると考える。

【Q36】 将来のライフプラン（結婚や出産）を描く上で、ハードル（壁）と感じるものはありますか。あてはまるものをすべて教えてください。



将来のライフプラン（結婚や出産）を描く上でのハードルについては、全体で「経済的な不安」が約 80%と最も多く、次いで「仕事との両立」が約 60%、「育児への自信」が約 40%、「パートナーとの出会い」と「自身の健康状態」が各約 25%であった。

性別で見ると、「パートナーとの出会い」は男性がやや高く約 30%、「自身の健康状態」は男性がやや低く約 20%であった。年齢別に見ると、18・19 歳は「仕事との両立」が約 50%と低い。また「パートナーとの出会い」については 18・19 歳でやや高く、20～24 歳で高い傾向が見られた。

<医学・保健的見地>

- ・全国調査と同様に小千谷市でも経済的な懸念が一番の理由。介入の余地はあるのか検討すべき。

参考：日本財団 少子化に関する意識調査 P21

Q06.あなたが、将来「子どもを持ちたくない・いなくてもよい」と思う理由は何ですか。に対して「経済的な負担が大きいためから 42.8%」

https://www.nippon-foundation.or.jp/wp-content/uploads/2024/11/new_pr_20241129_01.pdf

参考：国立社会保障・人口問題研究所

表Ⅲ-1-9 妻の年齢別に見た、理想の子供数を持たない理由

https://www.ipss.go.jp/ps-doukou/j/doukou15/gaiyou15html/NFS15G_html10.html

<マーケティング見地>

- ・全体として、将来のライフプラン（結婚や出産）を描く上でのハードルは「経済的な不安」約 80%、「仕事との両立」約 60%。「育児への自信」約 40%となり、お金、時間、心の面それぞれに不安があることがわかった。また、男性や 18・19 歳、20～24 歳の若年層では「出会い」をハードルに感じる割合が高いこともわかった。最大の壁である経済不安と仕事の両立への不安を払拭するため、市の支援（助成や補助など）をわかりやすく説明してくれる窓口があると良い。「出会い」をハードルに感じる男性や若年層向けには出会いを創出するイベントや結婚までの悩みを相談できる専任サポーターへ相談できる場を設けるなども良いと考える。市の取り組みであるという安心感とともに、状況別に支援策があるという点を強みに、市への相談件数が増えていくと良いと考える。

【Q37】小千谷市は「安心して子どもを産み育てられるまち」「働きがいにあふれ、みんなが選びたくなるまち」を目指しています。市民が普段の生活からそう感じられるようになるには、どのようなことを市に望みますか。自由な発想でお答えください。

※フリー回答一覧は、単純集計結果（本設問）に掲載

<マーケティング見地>

1. 経済的支援の拡充／住居費や生活コスト：149件

代表的な意見としては、「18歳までの医療費無償化の継続」「3歳未満児の保育料完全無料化」「家賃やローン補助」といったものがあり、傾向として物価高や低賃金の中で日々の生活コストへの経済的不安や子育て・育児との両立が定住のハードルとなっていることが読み取れる。そのため、市の支援制度の情報を発信することや窓口の開設、相談しやすいシステムづくり、官民連携（GtoBtoCエコシステム）を強化し、市による直接的な支援だけでなく、企業に対する育休取得時の財政支援等を行うことで、家庭の経済的不安を社会全体で軽減する対策が考えられる。

2. 商業施設、魅力のあるお店、地域イベントの不足：83件

代表的な意見としては、「気軽に利用できるチェーン飲食店が少ない」「若者が利用できる商業施設がなく市外へ出る必要がある」といったものがあり、傾向として日常の買い物や娯楽が市内で完結せず、若者や子育て世代の定住意欲の低下を招いていることが読み取れる。そのため、「8.働く場所の選択肢増加（企業誘致）」の枠組みを商業分野にも広げ、市民の生活基盤となる魅力的な店舗や施設を誘致し、まちの活力を高める対策が考えられる。

3. 過酷な雪対策（克雪・除雪）／交通安全、交通の便：78件

代表的な意見としては、「消雪パイプの拡充」「除雪機購入や雪下ろしの費用補助」「通学路の安全確保」といったものがあり、傾向として雪国特有の負担が生活の質を著しく下げ、定住や子育てを避ける要因となっていることが読み取れる。そのため、企業向けライフプランニングワークショップなどを通じて、雪国での仕事と家庭の両立について企業側の理解を深めるよう促すとともに、官民連携で冬場の柔軟な働き方（テレワーク等）や支援体制を構築する対策が考えられる。

4. 遊び場・居場所の不足：66件

代表的な意見としては、「悪天候でも遊べる大型室内施設が欲しい」「中高生の居場所がない」といったものがあり、傾向として幅広い年齢層の子供が天候に左右されず安全に過ごせる場所が不足していることが読み取れる。遊び場を増やすという構想と並行して、年齢別に市内でどのように過ごすことができるか、情報発信していくことも求められる。既存の施設を活用した過ごし方を募集し、その施設の遊具を充実させることやルールを設けて遊べるようにすることも検討できると良いと考える。

5. 賃金水準の低さと他市への流出／労働環境と意識改革：64 件

代表的な意見としては、「低賃金」「男性が育休を取りやすい雰囲気づくりが必要」「時短勤務への理解不足（古い価値観）」といったものがあり、傾向として低賃金や古い企業風土が若者の市外流出や仕事と子育ての両立を阻害していることが読み取れる。そのため、官民連携のエコシステムとして、企

業に対する育休取得の風土づくりや財政支援を強力に後押しし、企業向けライフプランニング ワークショップを実施して経営者や社員の意識改革・行動喚起を促す対策が考えられる。

6. 小児科・産婦人科への不安、医療機関の不足：59 件

代表的な意見としては、「市内の産婦人科存続への不安」「小児科が少なく集中してしまう」といったものがあり、傾向として市内で安心して出産・子育てをするための医療体制への危機感が読み取れる。そのため「クリニックガイド」を制作して既存の医療機関や受診の目安を分かりやすく提示することや、医療機関へのアクセス支援を行うことで、市民の不安を和らげ適切な受診行動へつなげる対策が考えられる。

7. 情報発信の改善：45 件

代表的な意見としては、「どんな支援があるか一覧で知りたい」「SNS や動画でわかりやすく発信してほしい」といったものがあり、傾向として充実した制度があっても必要な人に届いておらず、若年層との情報伝達のミスマッチが起きていることが読み取れる。そのため、若年層には「OJIYA の MIRAI」として SNS やショート動画を積極的に活用し、市の支援制度や「プレコンセプションケアのメリット（今の自分のカラダづくりの重要性）」をターゲットへ直接届けて知る機会をつくる対策が考えられる。若年層以外にも、「広報おぢや」を活用した情報発信や、支援施策の内容によっては、広報・広告を強化して、市民の活用を促すことも求められる。

8. 働く場所（企業）の選択肢不足：43 件

代表的な意見としては、「工場やスーパーばかりで選択肢が少ない」「IT やアパレルなど若者が働きたい企業がない」といったものがあり、傾向として市内の就職先が製造業などに偏っており、多様な働き方を求める若者の市外流出の一因となっていることが読み取れる。そのため、行政が主体となって「働く場所の選択肢増加（企業誘致）」を進め、若者が自身のライフプランに合わせて多様な職業を選べるよう労働環境を整備する対策が考えられる。企業誘致については、性別や年齢、スキルを問わずに働くことができ、働きやすさと共に働きがいを感じられるような仕組みを持った企業を呼び込むことができれば良い。大企業の支社・工場を開設するだけでなく、僻地にあるために通勤に時間がかかり求人を集めることができない地元企業のサテライトオフィスやテレワーク施設など、天候や時間などの都合によって活用できるオフィスの開設、テレワークステーションおぢや活用事例の発信も検討し、企業と連携した働きやすさの追求が求められる。

9. 公平な支援への要望：31件

代表的な意見としては、「子育て世帯や移住者ばかりが優遇されている」「独身や子どものいない世帯への恩恵がない」といったものがあり、傾向として特定の層への支援に対する不公平感があり、まち全体の生活基盤の底上げが求められていることが読み取れる。そのため、支援の対象を限定しない、まちづくりのための取組みや環境整備への取組みに関する情報発信や、未婚・既婚を問わず全ての若者の「未来の家族と自分のために 今からはじめるカラダづくり」につながる包括的な支援についても積極的に情報発信していきたい。

10. 預かり保育・病児保育の課題：26件

代表的な意見としては、「病児保育の利用条件が厳しい」「土日や休日の預かり保育が必要」といったものがあり、傾向として共働き世帯の多様な働き方に対応できる預かり体制が不十分であり、仕事と育児の両立の大きな障壁になっていることが読み取れる。預かりサービスの拡充支援や土日の保育対応を整備していく大事だが、企業と連携して、子どもの体調が悪いときにテレワークに切り替えて仕事ができるような仕組みを整備するなど、労働環境の改善や意識改革も求められている。市としては、企業に多様で柔軟な働き方の課題をヒアリングし、市内の企業の実態に基いた対策をしていくべきだと考える。

11. 現在の取組みへのポジティブな意見、感謝：47件

代表的な意見としては、「18歳までの医療費無料がとても助かっている」「ホントカ。ができて嬉しい」「不妊治療の助成金に助けられた」といったものがあり、傾向として市が近年進めている子育て支援策が実際に市民の助けとなっており、非常に高く評価されていることが読み取れる。そのため、これらの有益な支援策や利用者の声を SNS やショート動画) を通じて継続的に発信し、より多くの市民の理解を深め、制度利用の行動を喚起できると良いと考える。

本調査に係り、医学・保健の専門的な観点から御協力いただきました皆様

新潟大学大学院医歯学総合研究科分子細胞医学専攻遺伝子制御講座（産科婦人科学）
吉原弘祐様、 工藤梨沙様

新潟大学医学部保健学科看護学専攻
有森直子様、 関島香代子様、 柳生田紀子様、 西方真弓様

調査委託
グローバルマーケティング株式会社